授　業　内　容

（シラバス）

令　和　４　年　度
ライフプランニング総合学科

香蘭女子短期大学

Koran Women's Junior College

ライフプランニング総合学科　教育の基本方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する。
2. 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている。
3. 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる。
4. 幅広い分野

ライフプランニング総合学科科目ナンバリング

（ナンバリングの構成）

LP　１０　１　０１

学科コード　ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	種別	科目水準	通し番号

ライフプランニング総合学科　学科コード　LP

ナンバリングの意味すること

種別	科目水準	通し番号
１　０	１	０　１

種別	授業科目	ナンバー
総合	総合演習Ⅰ	10101
	総合演習Ⅱ	10102
	総合演習Ⅲ	10103
	総合演習Ⅳ	10104
必修	基礎科目Ⅰ	20101
	基礎科目Ⅱ	20102
	基礎科目Ⅲ	20103
	基礎科目Ⅳ	20104
	情報リテラシー	20105
	メディアリテラシー	20106
	卒業研究	20201
教養	文学	30101
	文化人類学	30102
	歴史	30103
	心理学	30104
	経済学(暮らしと経済)	30105
	金融論(暮らしと金融)	30106
	流通論(暮らしと商品流通)	30107
	社会福祉概論	30108
	高齢者福祉論	30109
	数学	30110
	ビジネス統計	30111
	天文学(星と宇宙の不思議)	30112
	英語	30113
	韓国語	30114
	フランス語	30115
	企業論	30116
	経営分析	30117
	日本語文法の基礎	30118
	日本語語彙の基礎	30119
	日本語読解・作文の基礎	30120
	日常日本語会話の基礎	30121
	日本事情	30122
指定	メジャーガイド	40101
一般事務指定	ベーシック簿記	41201
	ビジネス実務演習Ⅰ	41203
	日商簿記Ⅰ	41204
	人的資源論	41206
	パーソナルファイナンス	41207
	経営概論	41208
	ビジネス実務演習Ⅱ	41209
	原価計算論	41210
医療事務指定	医療保障制度	42201
	医療の基礎知識	42202
	医療事務	42203
	医療概論	42204
	医療秘書実務	42205
	調剤報酬請求事務	42206
事務系関連	Excel演習	50201
	Word演習	50202
	ファイナンシャルプランナーⅠ(3級)	50203
	保険の基礎知識	50204
	銀行論	50205
	日商簿記Ⅱ	50206
	ファイナンシャルプランナーⅡ(2級)	50207
	コンピュータ会計	50208
	財務会計論	50209
	証券外務員Ⅰ（特別会員）	50210
	証券外務員Ⅱ（正会員）	50211
ブライダル指定	ブライダル業務Ⅰ	43201
	ブライダル業務Ⅱ	43202
	ブライダル業務の実務	43203
	ホテル業務概論	43204
	ブライダル業務Ⅲ	43205
観光指定	ホテルビジネス概論	44201
	観光ビジネス論	44202
	ホテルビジネス実務	44203
	観光デザイン入門	44204
	観光英語	44205
	観光デザイン演習	44206
	ホスピタリティー論	44207

種別	授業科目	ナンバー
ビューティー・ファッション指定	カラーコーディネート演習Ⅰ	45201
	ファッションビジネス論	45202
	ファッションコーディネート演習	45203
	ファッション情報分析	45204
	カラーコーディネート演習Ⅱ	45205
	美容芸術演習A(メイク技法)	45206
	美容芸術演習B(ネイルアート)	45207
	美容芸術演習C(ヘアスタイル技法)	45208
サービス系関連	マーケティング論	51201
	英会話	51202
	人間環境心理学	51203
	グループ・プロセス	51204
	ピアサポート	51205
	臨床心理学	51206
	フラワーアレンジメント	51207
	英語コミュニケーション	51208
	ダイエット論	51209
	フィジカルトレーニング	51210
	和装コーディネート	51211
インテリア指定	インテリア入門	46201
	インテリア販売	46202
	インテリア製図	46203
	インテリアプレゼンテーション	46204
	インテリア計画	46205
	インテリア設計	46206
	インテリアコーディネート	46207
	インテリアグリーン	46208
CG・Web デザイン指定	CG演習A	47201
	CG演習B	47202
	Webデザイン論	47203
	Webクリエート演習	47204
	CGデザイン演習Ⅰ	47205
	CGデザイン演習Ⅱ	47206
	Webプログラミング演習	47207
クリエイティブデザイン系関連	データベース入門演習	52201
	雑貨製作	52202
	Webデータベース演習	52203
	福祉住環境Ⅰ	52204
	環境設計	52205
	福祉住環境Ⅱ	52206
	情報システム概論	52207
	芸術の世界	52208
資格・検定支援	英語検定対策講座A	60201
	サービス接遇検定2級対策講座	60202
	社会人ホスピタリティ検定対策講座	60203
	Word検定対策講座	60204
	秘書検定2級対策講座	60205
	英語検定対策講座B	60206
	Excel検定対策講座	60207
地域創生	地域創生入門	61201
	地域創生演習	61202
	地域創生論	61203
チャレンジ	インターンシップ	62101
	海外研修	62102
	地域チャレンジⅠ	62103
	地域チャレンジⅡ	62104
	地域チャレンジⅢ	62105
	地域チャレンジⅣ	62106
	地域チャレンジⅤ	62107
	地域チャレンジⅥ	62108
	検定チャレンジⅠ	62209
	検定チャレンジⅡ	62210
	検定チャレンジⅢ	62211
	検定チャレンジⅣ	62212
	検定チャレンジⅤ	62213
	検定チャレンジⅥ	62214

〈種別〉

種別	
総合	10
必修	20
教養	30
専門	
指定科目	40
一般事務指定科目	41
医療事務指定科目	42
事務系関連科目	50
ブライダル指定科目	43
観光指定科目	44
ﾌｧｯｼｮﾝ･ﾋﾞｭｰﾃｨｰ指定科目	45
サービス系関連科目	51
インテリア指定科目	46
CG･Webデザイン指定科目	47
ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ系関連科目	52
選択	
資格･検定支援	60
地域創生	61
チャレンジ	62

〈科目水準〉

基礎的科目	1
発展的科目	2

〈通し番号〉カリキュラム表順

令和4年(2022年)度　行事予定表

※補講について
通常の補講日(補講期間)以外に土曜日や5限目に補講を行うことがある。このような場合は事前に教務課掲示板により連絡するので注意すること。

(後期授業開始を保育2年以外9／22、保育2年9／29開始とする)

4月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	金	全学科2年生 OR			
2	土	入学式			
3	日				
4	月	全学科 オリエンテーション期間			
5	火				
6	水				
7	木				
8	金	前期・1期授業開始			
9	土				
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木			FA・専攻登録変更日	LP登録変更日
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木	食栄・保育登録変更日			
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金	全学科金曜授業日(昭和の日)			
30	土	休校日			

5月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	日		休校日		
2	月		休校日		
3	火		憲法記念日		
4	水		みどりの日		
5	木		こどもの日		
6	金		休校日		
7	土		休校日		
8	日				
9	月				
10	火				
11	水				
12	木				
13	金				
14	土				
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土	食2年月曜授業日			
22	日				
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金				
28	土		体育大会		
29	日				
30	月				
31	火				

6月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	水				
2	木				
3	金			FA・LP 1期 授業・補講 試験期間 6/3～6/9	
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木			1期 授業終了	
10	金			2期 授業開始	
11	土				
12	日				
13	月		食2給食管理学外実習		
14	火				
15	水				
16	木			FA2期 登録変更日	LP2期 登録変更日
17	金				
18	土				
19	日				
20	月			1期 試験結果発表	
21	火				
22	水			FA・LP1期 追再試験期間 22・23・24	
23	木				
24	金				
25	土	食2年火曜授業日			
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				

7月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木				
8	金				
9	土	食2年水曜授業日			
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日				
18	月	全学科月曜授業日(海の日)			
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土	食2年木曜授業日			
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木	食2以外前期授業終了	セメスター科目授業終了		
29	金	食2授業終了 保・食1補講			
30	土	補講	FA補講期間 7/29～8/1		
31	日				

8月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	月		補講終了		
2	火		食・保 単位認定試験		
3	水				
4	木			FA&LP クォーター科目 授業・補講・試験終了	
5	金			FA補講期間 8/2～8/6	LP 試験予備日
6	土				
7	日				
8	月				
9	火				
10	水				
11	木	山の日			
12	金				
13	土				
14	日				
15	月				
16	火		保2保育実習Ⅱ（保育所）Ⅲ（施設）		
17	水				
18	木				
19	金				
20	土				
21	日		Web実施		
22	月		前期・2期結果発表(保2以外) 履修登録(食栄・保1)		
23	火			FA・専・LP学科 対面での 追再試期間	
24	水				
25	木				
26	金				
27	土				
28	日		Web実施		
29	月		保2前期結果発表・履修登録		
30	火				
31	水				

9月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	木		食2・保2 対面での 追再試期間	FA・専・LP 追再試結果発表 履修登録	
2	金				
3	土				
4	日				
5	月		保2教育実習・（幼稚園） 食2病院給食実習		
6	火				
7	水				
8	木				
9	金				
10	土				
11	日				
12	月				
13	火				
14	水			FA企業研修	
15	木				
16	金				
17	土				
18	日				
19	月	敬老の日			
20	火	秋季入学式			
21	水				
22	木	保2以外後期・3期 授業開始			
23	金	全学科金曜授業日・食栄・保1追再試結果発表			
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水			FA・専攻登録変更日	LP3・4期登録変更日
29	木	保2後期開始			
30	金	保2追再試結果発表			

10月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	土				
2	日				
3	月				
4	火				
5	水		食栄・保育登録変更日		
6	木				
7	金				
8	土				
9	日				
10	月	全学科月曜授業日(スポーツの日)			
11	火				
12	水				
13	木				
14	金				
15	土				
16	日				
17	月				
18	火				
19	水				
20	木				
21	金				
22	土				
23	日				
24	月				
25	火				
26	水				
27	木				
28	金				
29	土				
30	日				
31	月				

11月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	火		香蘭祭週間	香蘭祭週間 11/7まで	
2	水				
3	木		出校(通常の木曜扱い)		
4	金		RAN FES(前夜祭)		
5	土		香蘭祭		
6	日		香蘭祭		
7	月		後片付け		
8	火		代休		
9	水				
10	木				
11	金				
12	土				
13	日				
14	月				
15	火				
16	水				
17	木			FALP3期 授業・補講・ 試験期間 11/17～11/23	
18	金				
19	土				
20	日				
21	月				
22	火				
23	水		全学科水曜授業日	3期授業終了	
24	木		4期 授業開始		
25	金				
26	土				
27	日				
28	月				
29	火				
30	水		4期 登録変更日		

12月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	木				
2	金				
3	土				
4	日				
5	月				
6	火			3期 試験結果発表	
7	水				
8	木			FA・LP3期 追再試験期間	
9	金				
10	土				
11	日				
12	月				
13	火				
14	水				
15	木				
16	金				
17	土				
18	日				
19	月				
20	火				
21	水				
22	木				
23	金	冬季期間前授業終了			
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水				
29	木				
30	金				
31	土				

1月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	日		元日		
2	月		振替休日		
3	火				
4	水				
5	木				
6	金				
7	土				
8	日				
9	月		成人の日		
10	火		授業再開		
11	水				
12	木				
13	金				
14	土	全学科月曜授業日			
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金				
21	土				
22	日				
23	月				
24	火				
25	水		セメスター科目授業終了		
26	木				
27	金				
28	土				
29	日				
30	月				
31	火				

2月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	水		保2授業終了	FA&LP クォーター科目 授業・補講・試験終了	
2	木		保2補講 2/2・3		
3	金		保1・食栄 試験終了	FA試験期間 1/30～2/4	LP 試験予備日
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水				
16	木				
17	金		保1以外本試結果発表		
18	土				
19	日				
20	月				
21	火				
22	水				
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				

3月

学期		学科	保育食栄	FA	LP
1	水				
2	木				
3	金		保1本試、保1以外追再試結果発表		
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土				
12	日				
13	月				
14	火				
15	水				
16	木				
17	金	卒業パーティー			
18	土	卒業証書・学位記授与式			
19	日				
20	月				
21	火	春分の日			
22	水				
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木				
31	金				

学生の皆さんへ

オフィスアワーについて

◆本学では学生の皆さんの質問や相談などに先生方が対応するため、“オフィスアワー”を設けています。

先生方に質問や相談があれば“オフィスアワー”を利用してください。

・専任教員についての“オフィスアワー”の対応時間は各先生方の研究室入口に掲示してあります。
・非常勤教員についての“オフィスアワー”については、授業前・後の休み時間等を利用して教室等で相談してください。

（本学のホームページでも案内しています。：ホームページのトップページ⇒“在学生の方へ”⇒ “オフィスアワー”を参考にしてください。）

総　合　演　習

必　修　科　目

1　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
総合演習Ⅰ	LP10101	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

香蘭女子短期大学での勉学を開始するために必要となる初年次教育(レポート等の書き方、学生生活における時間管理、プレゼンテーション等の技法、図書館の効果的な利用法、その他学問修得に向けた動機付け等の取組)を行う。
本学科において、各学生が学ぶ学問分野を真に生かして、これからの人生を過ごすための基本的な力を身につけることを目的とする総合的な科目である。
これから始まる2年間のために基本的なことを学び、短大や地域社会で必要とされる力(コミュニケーション力)を身につける。

Ⅲ. 学習成果

1自分が通う短大につて知り、これからの2年間の学びについて考える
2.クラスメートとの交流を図り、コミュニケーションスキルを身につける
3.行事への参加を通して企画力や協調性を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:1期の学びについて(個人時間割確認)係について/履修指導	役割を知り、自分にできる係を見つけ、係の内容を考える。
2:入学時調査・1期ポートフォリオ作成 チャレンジについて	1期の学びについてまとめる。
3:香蘭について知ろう(建学の精神・学訓・歴史、LP学科3つのポリシー)	香蘭について学んだことをまとめる、やってみたいチャレンジを調べる
4:キャンパス生活 社会的スキル	現在の自分の社会的スキルについて振り返りまとめる
5:歓迎会	上級生や同級生との交流を図るために必要なスキルを考える
6:体育大会準備(参加種目決め他)2期登録準備(地域創生について) グループワーク	体育祭参加の準備を行う。応援の案を考える。
7:体育大会	コロナ禍での様々なイベントについて調べる
8:体育大会振り返り/メジャー仮登録	現在の興味や将来の夢についてまとめ、メジャーを考える。
9:防災について学ぶ	自分の住んでいるまちに想定されている災害を調べ、避難について計画する
10:人権学習	女性が社会で直面する困難についてまとめる
11:マネーマネジメント	自分の家計簿をつけて将来計画を立てる
12:香蘭祭へむけて(メジャー単位のグループで企画を立てる) グループワーク	非接触型のイベントについて調べる
13:1期学びの振り返り(ポートフォリオ)	1期の成績を確認し自身の学びについて振り返る
14:DV講座	紹介された動画を見て自分の考えをまとめる
15:3・4期履修登録準備(時間割の確認・注意事項の確認)	自分が学びたいメジャーについて理由をまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60% 課題の提出30% 行事への関わり方10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語やスマートホンの使用は禁じる。
一部の授業順序の入れ替えや変更になる場合には事前に連絡を行う。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
総合演習Ⅱ	LP10102	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学生が学ぶ学問分野を真に生かして、これからの人生を過ごすための基本的な力を身につけることを目的とする総合的な科目である。
ここではクラス単位での行事や研修を通して社会人基礎力の獲得を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

1.短大や学科の行事への参加を通して社会で役立つ力(協調性、働きかけ力、柔軟性)を養う
2.プレゼンテーションスキルを身につけ、効果的なプレゼンテーションを行うことができる
3.短大での1年間の学びを振り返り、将来のための準備を行う

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:香蘭祭準備①(内容確認・役割分担)/登録変更について グループワーク	メジャーの特徴についてまとめる
2:香蘭祭準備②(展示作品作成)	自分が学んだ授業についてまとめる
3:後期行事予定・2期ポートフォリオまとめ	2期の試験結果を踏まえて自分の学びを振り返る
4:キャリア・アンカー	自分が働く上で大切にしたい事柄についてまとめる
5:香蘭祭準備③(展示準備) グループでメジャーの展示を行う	見やすい展示の方法について調べる
6:就職活動について(情報共有・個別指導ほか)	就活の状況をまとめ、報告する 就職対策の問題を解く
7:就職活動について(情報共有・個別指導ほか)	就活の状況をまとめ、報告する 就職対策の問題を解く
8:就職活動について(情報共有・個別指導ほか)	就活の状況をまとめ、報告する 就職対策の問題を解く
9:就職活動について(情報共有・個別指導ほか)	就活の状況をまとめ、報告する 就職対策の問題を解く
10:就職活動について(情報共有・個別指導ほか)	他の人の発表についてまとめ、自分の発表を振り返る
11:クラスミーティング(マナー調査・2年生を送る会について)	半年間の短大生活について振り返りまとめる
12:クラスミーティング(2年生を送る会準備)	接触を避ける形の送る会にはどのようなものがあるか調べる
13:2年生を送る会	接触を避けたコミュニケーションスキルを学ぶ
14:履修指導	1年次の学びをまとめ、2年次の予定を立てる
15:2年生へ向けて	春休みの生活や就活についてスケジュールを立てる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する
参考書:プレゼンテーション入門ー学生のためのプレゼン上達術ー(アカデミックスキルズ) 直江健介著 慶応義塾大学出版会
よくわかる自信がつくプレゼンテーション 富士通エフオーエム著 富士通エフオーエム

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60% 課題の提出30% 行事への関わり方10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語やスマートホンの使用は禁じる。
一部の授業順序の入れ替わりや変更になる場合には事前に連絡を行う。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

必修科目

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅰ	LP20101	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅰでは、大学での学びに必要な知識や技術の獲得、人間関係の早期形成のための基本的なコミュニケーション・スキルの獲得、青年期の適切な食生活に関する知識を中心に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 キャンパスにおいて自分の居場所を確保できる
2 授業を受講するための知識と技能を身につけ、能動的に利用できる
3 教員や仲間と良好な関係を構築できる
4 食に関する正しい知識を身につけ、実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:学びの基本 大学の授業と学びの特徴を知る	大学の学びの特徴について整理してまとめる
2:キャンパス生活 キャンパスマナーを知る/Google Clasroomの使い方	キャンパスマナーの重点項目についてまとめる
3:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 Eメールの書き方	自己紹介のための自分の情報を整理しまとめる
4:コミュニケーション・スキル 仲間を知る クラス懇親会 グループワークあり	クラス懇親会での自分の役割・行動について振り返りまとめる
5:自己分析 プログテスト①	プログテストの内容について振り返りまとめる
6:自己分析 プログテスト②	プログテストの内容について振り返りまとめる
7:キャンパス生活 キャンパスの中での人間関係づくり(面談)	教員および他のメンバーとの交流内容をまとめる
8:キャンパス生活 心理検査を通して自分のタイプを知る	自分のキャンパスにおける人間関係マップを作成する
9:キャンパス生活 図書館さんぽ(おすすめの本を紹介する)	実際に図書館から図書を借りて図書館の利用方法についてまとめる
10:キャンパス生活 文化の違いを知る(北欧の文化 トランスパレント製作)	北欧の気候について調べる
11:自己管理 1週間の食の記録をとる	自分の1週間分の食生活を記録しまとめる
12:自己管理 食の記録で食生活を振り返る	自分の食の傾向をまとめ、何が足りないか把握する
13:コミュニケーション・スキル 葉書・封書を出す① 葉書・封書の書き方	コミュニケーションスキルとしての葉書・封書の書き方をまとめる
14:コミュニケーション・スキル 葉書を出す② 保護者への感謝の気持ちを表す	保護者あるいは自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを表明する
15:社会・文化 博多座研修	コロナ禍での観劇のルールについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:プレステップ キャリアデザイン〈第5版〉弘文堂 その他教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業への意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅱ	LP20102	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅱでは、大学での学びに必要なさらなる知識や技術の獲得、自己管理(青年期の女性のからだの特徴を知り健康管理ができる、マネーマネジメントができる、ストレスへの対処方法)を学ぶ。さらに防災や文化といった視点からの地域理解とプレゼンテーション等を中心に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自己管理(体調管理、マネーマネジメント)を行うことができる。
2 目的に従った適切な情報収集を行うことができる
3 プレゼンテーション能力を身につけ、人前で堂々と話すことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 オリエンテーション 1期の振り返りと今後	ポートフォリオをもとに、今後の学びの計画を立てる
2:自己分析 PROGテスト解説 留学生 外国人防災サポーター講座	PROGテストの結果を把握し、今後の生活に活かすことができる。
3:自己管理 食と心理 摂食障害について考える	自分の生活習慣や食生活について振り返りまとめる
4:キャリア形成 キャリアとは	自分自身について振り返りを行う
5:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 情報収集の方法	実際に図書館の電子書籍を使ってみる
6:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 自分の考えをまとめる	自分の考えをKJ法を使ってまとめてみる
7:自己管理 抗ストレス講座	ストレスについて理解し、自分自身の対処方法をまとめる
8:自己分析 自分と他者の意見を比較する(グループワーク)	メジャーの希望理由をまとめる
9:自己管理 女性のからだ	自分のからだのリズムについて記録を取り、知る
10:キャリア形成 自己分析の意味を学ぶ(自己分析100本ノック)	自分の行動や考え方の特徴についてまとめる
11:自己分析 リフレーミング 自分の長所・短所	自分の性格について違った見方ができるか考え、「わたしのポートフォリオ」にまとめる
12:自己分析 人生で重要な価値観(グループワーク)	自分と他の人の価値観の違いをまとめる
13:コミュニケーションスキル 社会的スキル	自分の現在の社会的スキルについてまとめ、分析する
14:コミュニケーションスキル アサーション	コミュニケーションのスキルについてまとめる
15:キャリア形成 ワークライフバランス	自分のライフプランニングを行う

＊準備学習についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:プレステップ キャリアデザイン〈第5版〉弘文堂 その他教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。3密を避けるために遠隔授業を組み合わせて行う場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅲ	LP20103	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

必修科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎科目では高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。
基礎科目Ⅲでは、進路探索を含むキャリア形成に関する内容を中心に、課題解決型学習(PBL)として地域の課題発見とその解決策の提案、さらにDVについて学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1.自らの進路について現実的・具体的に考え、説明することができる
2.自分のからだについて理解し、体調管理ができる
3.就活のためのプレゼンテーション技術を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション 3・4ポートフォリオ記入	これからの学びについてまとめる
2:キャリア形成 職業適性検査の見方	自分の職業適性の結果と希望の職種とを比べ将来について考える
3:キャリア形成 就職ガイダンス①(心構えと行動スケジュール)	就活のスケジュールを知り、自分の行動スケジュールを立てる
4:プレゼンテーションスキル ①プレゼンテーション作成の手順	自分が思い描く未来について人に話せるように準備する
5:キャリア形成 キャリア面談	卒業後の生活についてできるだけ具体的に考えをまとめる
6:キャリア形成 就職ガイダンス②(就職サイトの見方・情報収集の仕方)	興味のある企業について情報収集を行う
7:社会・文化 博物館美術館について	自分が見学した企画展・常設展について調べる
8:社会・文化 美術館・博物館見学	実際に見学した内容と感想をまとめる
9:プレゼンテーションスキル ②テーマ・問いを立て、考えをまとめる	テーマを選ぶためにニュースや気になる話題をまとめておく
10:プレゼンテーションスキル ③発表原稿・スライドの作成	他の人の発表についてまとめ、自分の発表について振り返る
11:キャリア形成 インターンシップについて	現在参加できるインターンシップについて調べ、エントリーする
12:キャリア形成 就職ガイダンス③(進路登録カード・履歴書記入方法、学校システム)	履歴書やエントリーシートの書き方についてまとめる
13:キャリア形成 就職面接準備①強味と弱みを分析する	就職面接の種類とだされるテーマについて調べ、まとめる
14:キャリア形成 就活メイク講座	普段のメイクとの違いをまとめる
15:キャリア形成 就職面接準備②(相手の意見と比較する)	企業が重視しているポイントについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。3密をさけるために遠隔授業の場合もある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅳ	LP20104	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅳでは、基礎科目Ⅲに引き続きキャリア形成に関する内容を中心に、グループ・ワークを通したチーム・ワーク形成につても学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自らのキャリアプランを実現するための情報収集ができる
2 グループ・ワークへの自らの関わり方の特徴を理解し、チームワーク力を高めることができる
3 ストレスとメンタルヘルスに関する正しい知識を身につけ活用できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:キャリア形成 就職面接準備③(相手の意見を評価する)	相手に聞き入れてもらえるような反論についてまとめる
2:キャリア形成 就職提言	先輩の就活状況をまとめる
3:キャリア形成 キャリアアンカー	自分が大切にしたいことについてまとめる
4:キャリア形成 就職ガイダンス④(求人票の見方・就職マナー)	興味のある企業の求人票をみて必要な情報をまとめる
5:キャリア形成 3期振り返り(ポートフォリオ)	現在の修得単位を確認し、2年次の予定をたてる
6:自己管理 ストレスとメンタルヘルス	就職活動の際によい印象を与えるリクルートスーツの選び方についてまとめる
7:キャリア形成 問い合わせ文書を書く・送り状を書く	履歴書送付時に必要な知識についてまとめる
8:キャリア形成 SPI試験対策①	言語・非言語問題を解き、自分の弱い分野の問題を多く解く
9:キャリア形成 SPI試験対策②	言語・非言語問題を解き、自分の弱い分野の問題を多く解く
10:キャリア形成 SPI試験対策③	言語・非言語問題を解き、自分の弱い分野の問題を多く解く
11:キャリア形成 履歴書・エントリーシートの書き方	興味のある企業をみつけエントリーする
12:キャリア形成 就活キックオフ	就活のスケジュールについてまとめ、自分のスケジュールを立てる
13:キャリア形成 就活状況報告	現在の自分の活動をまとめ、報告する
14:キャリア形成 履歴書指導	志望企業を決め、実際に志望動機を書いてみる
15:キャンパス生活 2年生へ向けて	一年間の学びを振り返り成果をまとめる

＊準備学習についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

受講態度(授業貢献度を含む)60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。3密対策のため遠隔授業となる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
情報リテラシー	LP20105	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
須藤　信					
伊藤　るり/松田かお梨		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

必修科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネスソフトや電子メール、インターネットを使いこなすスキルは、短大生・社会人が身に付けるべき基礎スキルです。これらを使いこなせると、短大生活において、授業課題への取り組みや自主学習、就職・進学活動での情報収集や連絡手段、書類作成など、様々な活動を効率化してくれます。また、就職活動で求められる応募資格として、自動車免許の次に多いのはWord・Excelのスキルであり、社会人になってからの業務とその効率化に不可欠です。この科目では、これらのスキルを対面授業で基礎から学び、授業内容の復習と出題される課題に各自が取り組むことで、実用的なレベルに高めることを目標とします。

Ⅲ. 学習成果

・データの作成・管理が責任を持ってできるようになる。
・タッチタイピング(ブラインドタッチ)で文字入力ができるようになる。
・電子メールや検索サイト等のwebサービスが日常的に使いこなせるようになる。
・Word、Excel、PowerPointの初歩的な機能を用いて、資料作成や表計算処理ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Windowsの基本操作、キーボード・マウス・電源操作 文字入力(半角英数字、記号)、ファイル、フォルダ、USBフラッシュメモリの利用	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること 記号の読みを覚える
2:文字入力(ローマ日本語字入力)、タイピングアプリでのタイピング練習 メールアドレス(アカウントの貸与、送受信、アドレス帳)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
3:長文タイピング(ファンクションキーの利用)、Wordの基礎、グーグルドライブ	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　長文タイピング
4:Word(各書式の利用)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
5:Word(デザイン機能の利用)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　文書作成編練習問題1・2・3
6:Word(罫線の利用、履歴書作成)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　履歴書作成
7:Word(スクリーンショット、図形描画)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　キーボードの図作成
8:Excel(何ができるのか？、各種名称、四則計算、座標、罫線)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
9:Excel(関数:SUM、AVERAGE、MAX、MIN)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
10:Excel(オートフィル、絶対参照、相対参照、複合参照)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
11:Excel(関数:COUNT、RANK、関数とオートフィルの利用)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　関数機能についての提出課題
12:Excel(グラフ機能)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　表計算編練習問題1
13:Excel(データベース機能)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習　データベース機能についての提出課題
14:PowerPoint(各種名称、スライド作成、プレゼンテーション)	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること タイピング練習
15:PowerPoint(アニメーション機能、メール機能の理解) インターネットでの情報検索(画像、動画、地図、他)、まとめ	授業中に学んだ各操作・機能が確実に利用できるように復習すること プレゼンテーション編練習問題　メール機能についての提出課題

＊準備学習についての補足説明

授業に欠席した場合には授業内容や課題を、各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。授業の学習した内容の理解不足を解消するためや、タイピング練習を30分以上の必要な時間をかけて準備学習を行うこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

情報リテラシー　入門編　FOM出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出:50%　筆記試験:50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを最も重要視しています。課題提出が期限に遅れた場合は、2 回目の提出期限を定めますので、そこで提出できれば減点扱いで提出を受け付けます。2回目の提出期限に遅れた場合には提出を認めませんので十分注意してください。以上のことは授業の欠席者も同様です。制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
メディアリテラシー	LP20106	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、多様なメディアを読解・解釈し、適切に活用する能力を身につけることを目的とする。はじめに、多様なメディアの歴史やその特性についての理解を深める。その後、メディア特性・批判的思考・情報発信をテーマとしてグループ課題に取り組むことで、多様なメディアを受信者・発信者双方の視点で読解・解釈し、適切なメディアを選択して情報を発信する能力を涵養する。

Ⅲ. 学習成果

・各種メディアの位置づけやメディア史を説明できる
・メディアを読解・解釈する能力を身につける
・メディアを批判的に分析する能力を身につける
・メディア特性を理解し、適切なメディアを選択して情報を発信する能力を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:メディアの分類と映像の文法	映像の文法について理解を深めるために、テレビや映画、インターネット動画等の映像を自分なりに解釈する練習をすること。
2:映画、ラジオ、テレビ、コンピュータ史	各メディアの歴史を授業外でも調査して理解を深めること。
3:インターネットとソーシャルメディア	SNSやインターネット動画の歴史を授業外でも調査して理解を深めること。
4:メディア特性(メディア分類とその特性)	グループ学習にて検討できなかった箇所がある場合は、授業外時間を用いて実施すること。
5:メディア特性(各メディアの特性)	グループ学習にて検討できなかった箇所がある場合は、授業外時間を用いて実施すること。
6:メディア特性(発信者と受信者の関係)	グループ学習にて検討できなかった箇所がある場合は、授業外時間を用いて実施すること。
7:メディア特性(メディアの読解)	グループ学習にて検討できなかった箇所がある場合は、授業外時間を用いて実施すること。
8:メディアと批判的思考(情報の批判的な解釈)	授業外時間において情報を批判的に解釈する練習を行っておくこと。
9:メディアと批判的思考(情報検索)	図書館にてOPAC検索を行い、指定の書籍を探しておくこと。
10:メディアと批判的思考(情報を解釈する方法のまとめ)	グループでのレポート課題を作成するために、授業外時間を利用して執筆を進めること。
11:メディアによる情報発信(SNS)	SNSによる情報発信の利便性や危険性について、授業資料を読み込み理解を深めておくこと。
12:メディアによる情報発信(印刷物)	印刷物による情報発信の特性について、授業資料を読み込み理解を深めておくこと。
13:メディアによる情報発信(プレゼンテーションの検討)	テーマに応じたプレゼンテーションができるように、発表内容を各グループで検討しておくこと。
14:メディアによる情報発信(プレゼンテーションの作成)	テーマに応じたプレゼンテーションができるように、発表内容を各グループでまとめておくこと。
15:発表と講評	各受講生の発表に対する評価や感想をまとめること。

＊準備学習についての補足説明

・出題した課題には十分時間をかけて取り組むこと。 課題の提出期限は厳守(欠席者も同様)。期限後の提出は減点します。・授業内容については、60分以上の時間を設けて各自で予習・復習すると共に、関連する社会問題について調べることで理解を深めること。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、配布資料にて授業を進める。
「メディア・リテラシーの教育論、中橋　雄編著」については授業内容理解の参考になるため、この欄にて紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

最終レポート:40%(メディアを読解・解釈する能力、メディアを批判的に分析する能力、メディアを扱う能力を総合的に評価)
授業姿勢・態度:30%(第4回～第14回における作業量・発言量・努力量を総合的に評価)
各回における課題:30%(最終レポート以外の提出物や発表の評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業中に出題する課題について、授業担当者から適宜フィードバックを行う

教　養　科　目

１　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
文学	LP30101	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山本　崇代		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「フランス文学におけるヒロイン」をテーマにし、様々な作品を日本語の翻訳で読みます。ヒロインたちの描写を通して、作品が生まれた時代背景や社会、文化などにも目を向けます。

Ⅲ. 学習成果

1. 歴史や文化などの作品の背景的知識を得る。
2. 文章を分析する論理的思考が身につく。
3. 自分の考えや意見をまとめる文章力や言葉の運用能力を高める。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション＋文学作品を読むとは	授業の内容について、自分が興味をもったこと、疑問に思ったことをまとめておくこと。
2: ボーモン夫人『美女と野獣』(1) :ボーモン夫人と時代背景について ＊グループディスカッションで「美女」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
3: ボーモン夫人『美女と野獣』(2) :ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
4: メリメ『カルメン』(1):メリメと時代背景について ＊グループディスカッションで「ファム・ファタル」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
5: メリメ『カルメン』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
6: デュマ・フィス『椿姫』(1):デュマ・フィスと時代背景について ＊グループディスカッションで「椿姫の恋愛観」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
7: デュマ・フィス『椿姫』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
8: ユゴー『レ・ミゼラブル』(1):ユゴーと時代背景について ＊グループディスカッションで「ファンティーヌの人物像」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
9: ユゴー『レ・ミゼラブル』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
10: モーパッサン『女の一生』(1):モーパッサンと時代背景について ＊グループディスカッションで「女性にとっての幸せ」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
11: モーパッサン『女の一生』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
12: コレット『シェリ』(1):コレットと時代背景について ＊グループディスカッションで「女性の生き方」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
13: コレット『シェリ』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
14: サガン『悲しみよこんにちは』(1):サガンと時代背景について ＊ヒロインのセシルになりきって文章を書く。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
15: サガン『悲しみよこんにちは』(2):ヒロインの描写について ＊自分の「セシル」をプレゼンテーションする。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。

＊準備学習についての補足説明
テキストを読んで分析し、自分の言葉でコメントできるように準備しておくこと。準備学習として45分を毎回必要とします。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(40%)、グループディスカッションや毎回のレスポンスシートの提出など授業への積極的参加(60%)
遅刻、居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

グループでの発表やレスポンスシートにコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
歴史	LP30103	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
田中　由利子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

現代は、過去の積み重ねでできている。現代の「日本」に最も大きな影響を与えたのが江戸時代である。
江戸時代は幕藩制という体制概念で表現され、国や社会が成り立っていた。授業では、江戸時代の福岡藩や佐賀藩で
起こったいくつかの出来事を取り上げ、現代がいかに江戸時代の影響を受けているかを探っていく。

Ⅲ. 学習成果

1　江戸時代の制度の特徴について説明できる
2　江戸時代の身分について説明できる
3　江戸時代の暮らしと暦について説明できる
4　江戸時代の宗教や思想について説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 日本の近世という時代	日本の近世という概念の最新の捉え方についてまとめる
2: 江戸時代の幕藩体制と身分	江戸時代の政治体制における身分についてまとめる
3: 江戸時代の女性と化粧	身分による女性の衣服や化粧や髪型の違いについてまとめる
4: 江戸時代の村人の暮らし	江戸時代の村人の一年の過ごし方についてまとめる
5: 江戸時代の暦と度量衡	江戸時代の人々が使用した暦や尺度や重さについてまとめる
6: 江戸時代の文字と言葉	江戸時代の文字(くずし字)や、言い回しについてまとめる
7: 江戸時代の教育(藩校について)	主に支配者階級の藩校についてまとめる
8: 江戸時代の教育(私塾と寺子屋について)	私塾や子供が学ぶ寺子屋についてまとめる
9: 江戸時代の思想としての儒学	江戸時代の「武士道と倫理観」などの思想をまとめる
10: 近世における佐賀藩と福岡藩	佐賀藩と福岡藩の特異性などをまとめる
11: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(1) 近世武家「家訓」と鍋島直茂について	「直茂様御教訓ヶ条覚書」について新見解をまとめる
12: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(2) 山本常朝「葉隠」と鍋島直茂・勝茂との関係	「直茂様御教訓ヶ条覚書」と「葉隠」の関連性についてまとめる
13: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(1) 黒田長政の神格化と春日神社について	福岡藩初代藩主黒田長政を祀った神社についてまとめる
14: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(2) 春日神社の由緒書についての検証	長政を祀った神社の由緒書を読み解き新しい解釈をみつける
15: ディスカッション　江戸時代の特徴及び現代への影響について	江戸時代の特徴及び現代への影響をまとめる

＊準備学習についての補足説明

準備学習は、各回45分以上行うこと。毎回感想文を提出してもらいます。内容については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。レジュメやプリントを毎回配布します。
参考文献や論文等は授業中に紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%　　学習の意欲　50%(毎回の感想、授業態度)で評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回授業の最後に、質問や感想を書いて提出してもらいます。質問の回答は次回の授業時にします。
素晴らしい質問や新しい視点での感想を書いた人には加点します。
他人の受講を妨げる行為(私語、スマートフォンの使用、理由のない中途退室)は厳禁とし、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
心理学	LP30104	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
脇浜　幸則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，日常生活に関連した心理学についてさまざまなトピックを広く取り扱う。また，多くの学生は青年期にあたり，アイデンティティの確立が重要な発達課題である。心理学的視点を持つことは自己や他者に対する理解を深めることに役立つと考えられる。そのため，本講義では日常生活に役立ち，自己のアイデンティティを確立するのに生かせるような学びを得ることを目的とする。本講義ではこの目的を達成するために，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における現象や発達について，心理学的用語を用いて説明ができる
・発達障害の障害特性と二次障害について，自身の言葉で説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 授業の進め方の説明や自己紹介を用いたワーク	心理学について学んでみたいことを考える
2: 心とは ～脳と心～	生活の中での「心」に関する体験を探す
3: 日常に潜む心理学 ～錯視を中心に～	生活の中での錯視を探す
4: より良い勉強方法 ～記憶について～	生活の中での記憶に関する体験について整理する
5: 性格について ～パーソナリティ理論と性格検査～	性格の考え方や検査を通して考えたことをまとめる
6: 働くことについて ～産業心理学との関連から～	職業や働くということについて自分の考えを整理する
7: 発達段階とアイデンティティ	発達段階に関するワークシートの作成
8: ストレス理論について	日常生活でのストレス体験について，自身の体験と対処法略について考える
9: 集団における自己	授業を通して気になったことについて調べる
10: 発達障害について ～ASDを中心に～	発達障害のある人が日常や他者との関係の中で困りそうなことをまとめる
11: 発達障害について ～ADHD，LDを中心に～	発達障害のある人が日常や他者との関係の中で困りそうなことをまとめる
12: 障害と合理的配慮について	事例から考えられる合理的配慮について考えをまとめる
13: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについて調べる～	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる
14: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについてまとめる～	これまでの授業を通して考えたことをまとめ，グループ内で意見を共有する。
15: 日常における心理学 ～まとめた日常にある心理学について発表する～	他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習についての補足説明
各授業の終わりに説明を加える。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データを共有します。
授業中には適宜プリントもしくはパワーポイントの資料を共有する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
経済学	LP30105	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの暮らしは、「市場経済」の働きと「財政」による支援によって成立している。本講座では、後者の「財政」の仕組みに焦点を当て、「市場経済」との違いを理解することを当面の目標とする。また、指定したテキストを使いながら、私たちが住んでいる「地域」の経済について理解を深め、「財政」と「市場経済」のどちらの仕組みも私たちの暮らしにとって欠かせないものであることを理論的に把握することが本講座の最終目標である。同時に、私たちが住んでいる地域の経済についても関心を高め、生活実感を伴う講義を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①財政の仕組みと市場経済の働きの違いを理解し、経済学的な考えで世の事象を説明できる。
②税制や社会保障問題と私たちの暮らしのつながりを理解することで、一社会人としての生活に困らない程度の準備を行える。
③グローバルとローカルという横の広がりと、過去と現在と未来という時間軸に沿った縦のつながりを意識することで、地域の経済について深く理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:テキストの「はじめに」を再読しておくこと。
2: 第1章　社会保障の系譜	予習:テキストの第1章読んでおくこと。 復習:テキストの第1章を復習しておくこと。
3: 第2章　社会保障の基本哲学を知る	予習:テキストの第2章読んでおくこと。 復習:テキストの第2章を復習しておくこと。
4: 第3章　日本の社会保障の特徴	予習:テキストの第3章読んでおくこと。 復習:テキストの第3章を復習しておくこと。
5: 第4章　人口減少社会　※課題1の説明	予習:テキストの第4章読んでおくこと。 復習:テキストの第4章を復習しておくこと。
6: 第5章　産業としての社会保障	予習:テキストの第5章読んでおくこと。 復習:テキストの第5章を復習しておくこと。
7: 第6章　財政赤字	予習:テキストの第6章読んでおくこと。 復習:テキストの第6章を復習しておくこと。
8: 第7章　日本社会が抱える課題 課題1の回収	予習:テキストの第7章読んでおくこと。 復習:テキストの第7章を復習しておくこと。
9: 第8章　北欧との比較 ※グループワークの実施	予習:テキストの第8章読んでおくこと。 復習:テキストの第8章を復習しておくこと。
10: 第9章　持続可能な社会をつくる ※グループワークの実施	予習:テキストの第9章読んでおくこと。 復習:テキストの第9章を復習しておくこと。
11: 社会保険の仕組み①　※課題2の説明 公的年金保険について	予習:年金制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに年金制度をまとめておくこと。
12: 社会保険の仕組み② 公的医療保険について	予習:医療保険制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに医療保険制度をまとめておくこと。
13: 社会保険の仕組み③ 公的介護保険について	予習:介護制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに介護保険制度をまとめておくこと。
14: ビデオ学習 ※　社会保障制度の行き詰まりをテーマとした映像を見せる予定。	予習:第11～13回の内容の復習を行っておくこと。 復習:ビデオの内容を思いだし、
15: 総括 課題2の回収	予習:課題2の完成 復習:テキストを中心に、自分の考えをまとめておくこと。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書「教養としての社会保障」 東洋経済新報社　香取照幸著
参考書「新しい地方財政論」 有斐閣　中井英雄他著
「マクロ経済学入門　第2版」 日経文庫　中谷巌著
「ミクロ経済学」 東京大学出版会　奥野正寛編著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験(上記1～14回の内容から出題)50%、レポート(2回)20%、学習の意欲　30%。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収する資料およびレポートは必要に応じてコメントをつけて返却する。
・授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象(受講態度の評価の対象)とする。
・シラバスの内容を変更する際は、事前に授業中にお知らせする。
・Google Classroomについては、授業外の学習を促進するために使用するので、各自登録をお願いします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
金融論	LP30106	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
渡辺　明治		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの生活は、お金という形でしっかりと金融と結びついています。
金融は命の次に大切なお金を扱う活動で、経済の血液でもあり経済活動と密接な関係があります。
経済の基本を理解するとともに、銀行をはじめとする各金融機関等の働きや、金融商品の内容を学習して、
金融機関を上手に利用できるノウハウを学びます。

Ⅲ. 学習成果

銀行、証券会社、保険会社、ノンバンク他の金融機関等の働きを理解し、それぞれの違いや取扱商品等を説明できるようになることを目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 金融論を学ぶ理由	授業の進め方、教育目標について説明します。
2. お金と経済の動き(預金通貨、銀行や市場は日本経済の心臓、金利はお金の値段)	預金通貨、銀行や市場、金利についてまとめる。(20分の予習・復習)
3: お金と経済の動き(金利は景気・物価の体温計、名目金利・実質金利、マイナス金利)	景気・物価、名目・実質金利、マイナス金利のまとめ(20分の予・復習)
4: 金融の担い手(間接金融と直接金融、信用創造機能、預金保険制度とペイオフ)	直接・間接金融、信用創造機能、ペイオフのまとめ(20分の予・復習)
5: 金融の担い手(都市銀行・地方銀行・第二地方銀行・信託銀行)	都銀、地銀、第二地銀、信託銀行のまとめ(20分の予・復習)
6: 金融の担い手(信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・政府系金融機関)	信金・信組・ゆうちょ銀行・政府系金融機関のまとめ(20分の予・復習)
7: 金融の担い手(証券会社・保険会社・ノンバンクその他)	※アクティブ・ラーニング➡グループワーク＆プレゼンテーション 証券会社、保険会社、ノンバンクについてまとめる(20分の予・復習)
8: 金融市場の働き(お金の値段を決める、短期金融市場、債券市場)	短期金融市場、債券市場のまとめ7(20分の予・復習)
9: 金融市場の働き(株式市場、外国為替市場、新しい金融市場)	株式市場、外為市場、新しい金融市場のまとめ(20分の予・復習)
10: 金融をつかさどる当局(中央銀行)(日銀の3つの役割、金融政策)	日銀の3つの役割、金融政策のまとめ(20分の予・復習)
11: 金融をつかさどる当局(世界の中央銀行、金融庁の役割)	世界の主な中央銀行、金融庁の役割のまとめ(20分の予・復習)
12: 金融危機と国際金融の挑戦(サブプライムローン、リーマンショック)	サブプライムローン、リーマンショックのまとめ(20分の予・復習)
13: 金融危機と国際金融の挑戦(固定相場から変動相場制へ、、単一通貨ユーロ)	固定相場と変動相場、単一通貨ユーロのまとめ(20分の予・復習)
14: 金融の進む道(グラミン銀行、フインテック)	グラミン銀行、フインテックのまとめ(20分の予・復習)
15: まとめ	第1回から第14回までの中で重要ポイントをこちらで選び第14回の 講義中に指示する。選ばれた項目についてまとめる。(同上60分)

＊準備学習についての補足説明

※アクティブ・ラーニングのテーマ・・・「証券会社の仕事内容について」を数名に分けてグループワークを行いその後グループ別に発表。(40分間)準備学習は、各回の教科書関連部分を読んでおくこと。
内容については詳しく毎回の授業時に説明します。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

図解即戦力　金融のしくみがこれ1冊でわかる教科書　伊藤亮太著　技術評論社　定価1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学位認定試験60%　課題レポート提出30%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題については、授業内でコメントを提示します。
授業中の私語、スマートフォン等の使用は減点の対象とします。
「実務経験教員科目」特記事項:銀行員として勤務ー国内業務、国際業務　本部、支店、海外の経験などを活かし各回で現場での実例を紹介し実学を教育。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
流通論	LP30107	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達の暮らしの中で存在している商品は、世界中の生産現場から集められたモノ・サービスです。それらは、時間・場所・人の隔たりを越えて、私達のもとへたどり着いたと言えます。この授業では、生産と消費を結びつける役割を担っている流通業界について学びます。前半は流通の基礎知識を学び、後半はスーパーマーケット(GMS)、コンビニエンスストア(CVS)、百貨店、ドラックストア、ホームセンター(HC)などの、具体的な業態について学びます。

Ⅲ. 学習成果

・基本的な流通のしくみが理解できる。
・基本的な流通用語が説明できる。
・スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの業態を理解し、説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 流通のいま 流通の主役・小売業	セブン・イレブン・ジャパンとイオンの企業の業種について調べる。 オムニチャネルについて、調べ、100字程度にまとめる。
2: 小売業界の二強　セブン＆アイとイオン オムニチャネル	買い物弱者とはどのような現象が起こっているのかについてしらべ、流通企業はどのような対策を考えたらよいかを考える。
3: 流通業の海外進出 買い物弱者	インバウンドの意味と、コロナ禍で現在のインバウンドの状況について考え、100字程度にまとめる。
4: インバウンド これからの流通	流通の川上と川下について調べ、70字程度にまとめる。
5: 流通とは 流通の役割	流通チャネルとは何かについて調べ、200字程度にまとめる。
6: 流通チャネル 流通系列化(日本の流通経路)	改正まちづくり三法について調べ、100字程度にまとめる。
7: 流通政策 改正まちづくり三法	規制緩和について調べる。 特定保健用食品(トクホ)について調べ、200字程度にまとめる。
8: 規制緩和 機能性表示食品制度	利用したことのあるスーパーマーケットの名前と、販売されている商品について調べ、100字程度にまとめる。
9: 岐路に立つ総合スーパー(GMS)，　スーパーマーケット(食品スーパー) グループワーク	セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの中の一つを調べ、コンビニエンスストアにはどのような商品やサービスを提供しているのかについて調べ200字程度にまとめる。
10: コンビニエンスストア(CVS)　百貨店 グループワーク	自分の利用したことのある百貨店を1つ挙げ、昨年度の売上高について調べる。
11: DVD鑑賞ー日本の流通の歴史ー中内功と鈴木敏文ー ディスカッション(DVDの感想を話してみよう)	自分の利用したことのあるドラッグストアの企業名とそこで実際に販売されている商品について調べる。
12: ドラックストア、 ホームセンター(HC) グループワーク	アウトレットの意味を調べ、50字程度にまとめる。
13: ショッピングモール、アウトレットモール グループワーク	生協と農協の共通点と違いについて調べ、70字程度にまとめる。
14: 生活協同組合、農協協同組合 グループワーク	近年の流通業態の変化を200字程度にまとめる。
15: まとめ	試験範囲を確認し、これまでの学習の内容をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:教員作成の資料を配布予定。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・流通業界の発展の鍵を握るのは、女性の視点が重要であるといわれています。私達の身近に存在する流通業態について、自分自身の目線や女性の目線を大切にしながら授業を進めたいと思います。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
社会福祉概論	LP30108	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
郡嶋　かおる		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人口減少時代に生きる私たちにとって社会福祉を学ぶことは必須であることについて考える。
社会福祉の基本理念および人権について、歴史的発展の経緯などから学ぶ。
社会保障制度、社会福祉制度、福祉行政制度についての概要を学び、地域社会のなかで生じているさまざまな課題について考える。

Ⅲ. 学習成果

社会福祉の多種多様な取り組みを理解するため、基本的な知識を身につけることができる。
地域社会の一員として、社会福祉の活動について具体的なイメージをもつことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 現代社会の動向と社会福祉	現代社会にどのような福祉的課題があるかまとめます。 毎回授業の終わりにアウトプットノートを記入します。
2: 社会福祉の基本理念 ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン	ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンについて調べまとめます。
3: 社会福祉の歴史(イギリス、アメリカ、日本)	社会福祉の歴史を学ぶ意義についてまとめます。
4: 福祉分野の法律(日本国憲法と福祉分野の法体系)	あなたの街の条例について2～3をあげて整理しましょう。
5: 社会福祉基礎構造改革と福祉サービスの利用のしくみ	措置制度と利用契約制度についてまとめます。
6: 社会福祉の実施体系(社会福祉の実施体制国・地方公共団体の行政機関)	
7: 社会福祉の民間専門機関・団体および福祉財源	
8: 社会福祉の施設と専門職	あなたの住む地域にどのような福祉施設があるか調べてみましょう 略図を描いて書き込む、調べての感想を提出します。
9: 社会保障制度(5つの社会保険)	自分の医療保険を手掛かりとして
10: 公的扶助(生活保護の原理・原則)と低所得者支援	生活保護を受けている人へのイメージを考えてきましょう。
11: 子どもと家庭福祉の法制度(日本の理念)	子ども子育て支援の必要性についてまとめます。 どうして子ども虐待は起きるのか考えてまとめます。
12: 高齢者福祉	高齢者のイメージを自分の祖父母から考えます。
13: 障がい者福祉	障がい者のイメージについて考えましょう。
14: 利用者の権利擁護	教科書178頁を挑戦してみましょう。
15: 地域共生社会の実現に向けて まとめ	ボランティアについて整理してみましょう。

＊準備学習についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回20～25分は教科書を読むこと。課題はプリントまたはGoogle Classroomから提出。詳しい内容・学習方法は毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

みらい×子どもの福祉ブックス　社会福祉　志濃原亜美・編集　みらい2020年　2100円(税別)
必要に応じて、新聞記事等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前学習で調べたことは、授業中に発表し、学びを共有できるようにします。課題については、講義内で解説します。
復習として、理解度を確認するために小テスト(2回程度)を行います。小テストについての詳細は事前にお知らせします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語	LP30113	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
谷岡　敏博		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・基礎英語、英文法のやり直しをします。英会話をするにも基本文法は、自分の考えを正確に伝えるにも、相手の発言を理解するにも必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法が身につくことが期待できる。更にそれらを活用し平易な英語で自由記述、表現ができることが期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・エッセイをグループワークで作成し協調性、独創性を培うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語の学習の仕方について。現在の英語力診断クイズと答え合わせをして 現在の自身の英語力を知り、要改善箇所への認識を新たにする。	シラバスをしっかり読んでおく。
2: 時制①(一般動詞の現在形)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の学習	前週の英語診断クイズを想起し自身の弱点の整理をする。
3: 時制②(一般動詞の過去形＆未来形)&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
4: 時制①②の復習　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
5: 進行形　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
6: 受身(受動態)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
7: 進行形と受身の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
8: 助動詞	前週配布したプリントのポイントの復習
9: 完了形	前週配布したプリントのポイントの復習
10: 助動詞と完了形の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
11: 不定詞	前週配布したプリントのポイントの復習
12: 比較	前週配布したプリントのポイントの復習
13: 不定詞と比較の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
14: 形容詞と副詞 エッセイ作成についてグループディスカッション(Active Learning)	前週配布したプリントのポイントの復習
15: 分詞と動名詞＆試験解説 グループワークで作成したエッセイの提出	前週配布したプリントのポイントの復習

＊準備学習についての補足説明

・各週の準備学習(予習と復習等)の要する時間は、授業で配布された教材プリントを中心に1時間程度(以上)が望ましい。・学習内容(完了形や不定詞等)を踏まえ、200～300語程度の英語エッセイをグループワークで作成し期末に提出する。テーマ等詳細は授業で解説します。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当教員がプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①期末の単位認定試験(1回)　　90%
②期末に提出するエッセイ　　10%
③学習意欲（英作などの自発的に発表等）　10%
授業中の怠け(居眠り、スマホ扱い、私語、内職等)が過ぎる場合は学習意欲評価はゼロとなる。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・英語の基礎文法力を身に着けたい、復習したい者、真面目に努力を継続する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
韓国語	LP30114	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話により自信と意欲を養います

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)として 登録されていることを事前検索をすること。
2: 第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3: 発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4: 濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5: 合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6: 終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7: 発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8: 会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9: 初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10: 自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11: 数詞　漢数詞　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12: 固有数詞　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13: 曜日　存在詞　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14: 代名詞(事物・場所)	代名詞を理解する。
15: DVD観賞・感想文　まとめ	DVD鑑賞後の感想文をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元の単語やフレーズをノートに書きフリ仮名をふり提出します。各自読んでもらい正しい読みの指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
予習、復習を必ず行い、習得の意志が強くガッツのある学生の受講を望みます。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。
提出課題がある場合は採点して返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
企業論	LP30116	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では社会人となって必要となる経済・経営・ビジネスに関する基本的な知識を学びます。ビジネスの現場で役に立つ知識や働き方も学びます。
また、様々な企業の実例(ケース)を学び、理論と実務の両方の観点から物事を見ます。

Ⅲ. 学習成果

幅広い分野で役に立つ社会人基礎力を向上させることを目標とします。特に事務系の能力の確認・育成のために授業の最後に毎回事務能力検査の問題を解きます。ビジネスは答えがないので、物事を一方的な見方だけでなく様々な視点から考える能力を向上し、社会人として物事を柔軟に考えることができることを目標とします。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 会社とは	予習:シラバスを読むこと 復習:プリントの課題に沿って、ビジネスにおける理解度を深めること
2:会社とは 株式会社の概要	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、株式会社の理解度を深めること
3:日本的経営と成果主義 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、日本的経営の理解度を深めること
4:戦略論から学ぶケーススタディ アパレル業界を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、アパレル業界の理解度を深めること
5:競争の方法① 外食産業を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、規模の経済の理解度を深めること
6:競争の方法② 商店街の成り立ちと今後の展開	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、商店街の現状の理解度を深めること
7:様々な商売の形態 フランチャイズを例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、FCの理解度を深めること
8:サービスを考える サービス業を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、サービス業の理解度を深めること
9:損益分岐点計算① 基本的な考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、損益分岐点の理解度を深めること
10:損益分岐点計算② 応用・さまざまな業種での考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、費用構造の理解度を深めること
11:業界の収益構造 儲けを出す仕組み	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、収益構造の理解度を深めること
12:ニーズとブランド	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、NB・PBの理解度を深めること
13:様々な業界の収益構造	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、業界ごとの特徴の理解度を深めること
14:低価格と0円ビジネス ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、低価格戦略の理解度を深めること
15:まとめ	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題として、これまでの内容をまとめること

＊準備学習についての補足説明
基本的には予習は必要ないが、毎日のニュースを見て課題シートを提出すること。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、授業ごとにプリントを配布する
なお、多岐にわたる内容であるため、参考図書に関しては授業内で別途案内する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成される。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目での課題は主に毎日のニュースを見る習慣をつけることです。興味のあるニュースをピックアップし、感想を書きます。それに対して担当者よりコメントを付けて返却します。また、重要なニュースや珍しいニュースなどが書かれていた場合、内容を他の学生にも話をし、意見等を共有します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎【中級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力試験N2レベルの文法を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N2レベルの文法の意味・用法を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 力試し	時や場の領域を表す表現について調べる
2: 時や場の領域を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 進行状態を示す表現について調べる
3: 進行状態を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方について調べる
4: 対応関係や比較を表す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 仮定や観点を示す表現について調べる
5: 仮定や観点を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 限定して示す表現について調べる
6: 限定して示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現について調べる
7: 傾向や様子を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 列挙する言い方について調べる
8: 列挙する言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方について調べる
9: 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す言い方について調べる
10: 可能・不可能を示す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで勉強した文法を見直す
11: 模擬試験 グループワークにて答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す 時や場の領域を表す表現を確認する
12: 総合問題① 時や場の領域を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方を確認する
13: 総合問題① 対応関係や比較を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現を確認する
14: 総合問題② 傾向や様子を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す表現を確認する
15: 総合問題③ 可能・不可能を示す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
次の時間に学習する文法については目を通しておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎 【上級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて日本語文法をマスターしましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解できる。
2)多様なテーマの文章を通じて文法構造や用法などを覚えて日本語能力試験N1を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード(lrcxkys) シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 健康法①～体重 (文法・語彙・クイズ) 一人ランチ (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート①課題
3:Lesson2 健康法②～ウォーキング (文法・語彙・クイズ) 日本文化を生んだ道具 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3 お礼の手紙 (文法・語彙・クイズ) アレルギーの危険性 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4 おわびのメール (文法・語彙・クイズ) 苦しいときほど笑え (文法・語彙・クイズ)	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話 (文法・語彙・クイズ) お風呂入ってもいいですか。 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦 (文法・語彙・クイズ) 学び直し休暇 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト
9:Lesson7 自然の世界①～天気 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない① (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8 今日の出来事③～番号 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない② (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き (文法・語彙・クイズ) 花 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故 (文法・語彙・クイズ) 河童 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12 大衆文化	ワークシート⑪ フィードバック
15:Lesson13 復習 (Lesson7～Lesson10)のワークシート及び小テスト 日本語文法の基礎まとめ	小テスト

＊準備学習についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N2 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト20%、単位認定レポート60%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートは学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合はコメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎 【中級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の語彙を理解し、適切な場面で使用できる。
・JLPT N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 自分の興味、関心とその理由を日本語で表現し、共有することができる。	JLPTN2対策問題を解く
2: 自分の3つの強みのエピソードを日本語で表現し、共有することができる。	JLPTN2対策問題を解く
3: JLPT模擬試験	JLPTN2対策問題を解く
4: 説明を読んで、日本の地理や町の様子、気候について知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
5: 説明を聞いて、気候に合わせた建物の特徴を知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
6: 説明を読んで、町の特徴や歴史などについて知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
7: JLPT N2模擬試験	JLPT模擬試験問題を復習する
8: 地震や台風などの速報を聞いたとき、必要な情報を得ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
9: 約束の時間に間に合わないとき、状況を説明して指示を受けることができる。	ことば、文法復習問題を解く
10: けがをしたときの状況と今の状態を説明することができる。	ことば、文法復習問題を解く
11: 避難の際の注意事項を読んで情報を得ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
12: 緊急事態が起こって経験したことを周りの人と共有することができる。	ことば、文法復習問題を解く
13: 防災についてグループで調べる。	原稿を作成、提出する
14: これまでのことば、文法の復習①	ことば、文法復習問題を解く
15: これまでのことば、文法の復習②	ことば、文法復習問題を解く

＊準備学習についての補足説明
その日習ったことの復習としてほぼ毎回課題を出します。まずはその日に学習したことばをQuizletで復習してください。準備学習は毎回約15分行ってください。授業開始時に確認するので、必ず自分でやってから授業に来てください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』、『新完全マスターN2語彙』、『新完全マスターN2漢字』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

Quizlet, Google classroomでの課題の提出の仕方については初回の授業で説明します。
提出課題のフィードバックは毎回授業の冒頭で行います。その際、他の学生の参考になるものは、スクリーンでシェアします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎 【上級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの語彙を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N1レベルの語彙の意味を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	様子・感情などに関する語彙の意味を調べる
2: 様子・感情などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙の意味を調べる
3: 文化・社会などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙の意味を調べる
4: ビジネス・教育などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 副詞・形容詞などの意味を調べる
5: 副詞・形容詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 動詞・名詞などの意味を調べる
6: 動詞・名詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などの意味を調べる
7: 類義語・対義語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などの意味を調べる
8: 擬音語・擬態語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 慣用句・漢字などの意味を調べる
9: 慣用句・漢字など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 様子・感情などに関する語彙を確認する
10: 実践練習① 様子・感情などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙を確認する
11: 実践練習② 文化・社会などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで学習した語彙を見直す
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙を確認する
13: 実践練習③ ビジネス・教育などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などを確認する
14: 実践練習④ 類義語・対義語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などを確認する
15: 実践練習⑤ 擬音語・擬態語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

次の時間に学習する語彙については意味を調べておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験問題集N1語彙スピードマスター」中島智子他(Jリサーチ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語読解・作文の基礎 【中級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を読む
・書き言葉としての日本語の文章の書き方を学ぶ
・日本社会についての文章を読み、社会的なテーマについて自ら考える

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を正しく読むことができる
・日本語での表現と作文の力を身に付ける
・日本語の文章を十分に理解することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	読解のポイントについてのプリントを読む
2: 内容理解(短文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
3: 内容理解(中文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
4: 統合理解① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
5: 主張理解(長文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
6: 情報検索① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
7: 内容理解(短文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
8: 内容理解(中文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
9: 統合理解② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
10: 主張理解(長文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
11: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す「言葉の役割」の語彙を調べる
12: 読解「言葉の役割」① 作文「アポイントをとる」	本文を音読する 作文「アポイントをとる」を完成させる
13: 読解「言葉の役割」② 作文「アドバイスを求める」	「イルカと超音波」の語彙を調べる 作文「アドバイスを求める」を完成させる
14: 読解「イルカと超音波」① 作文「伝言する」	本文を音読する 作文「伝言する」を完成させる
15: 読解「イルカと超音波」② 作文「謝る」	本文を音読する 作文「謝る」を完成させる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター」小林ひとみ他(Jリサーチ出版)
「日本語プロフィシェンシーライティング」由井紀久子他(凡人社)
「大学・大学院留学生の日本語1読解」アカデミック・ジャパニーズ研究会(アルク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験40%、課題・小テスト35%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語読解・作文の基礎 【上級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川　藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて苦手で読解・作文のコツをつかみ克服してみましょう。

Ⅲ. 学習成果

1) 日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。
2) 多様なテーマの文章を通じて語彙力アップにつなげ、自由自在に作文ができる。
日本語能力試験N1をめざすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内　→PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード(lrcxkys) シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1　旅行先からの絵はがき(読解・語彙・作文・クイズ) 一人ランチ(読解・語彙・作文・クイズ)	 ワークシート①課題
3:Lesson2　今日の出来事①～おもてなし (読解・語彙・作文・クイズ) 日本文化を生んだ道具(読解・語彙・作文・クイズ)	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3　お礼の手紙 棚田	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4　おわびのメール 絵の楽しみ方(語彙単語と読解予習)	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5　日々の生活①～携帯電話 航空券を安く買う方法	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6　今日の出来事②～スポーツ観戦 日々の生活～予約	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)
9:Lesson7　自然の世界①～天気 カプセルホテル	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8　今日の出来事③～番号 子供とケータイ	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9　今日の出来事④～失敗続き ペットと飼い主の名前	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10　今日の出来事⑤～交通事故 自転車の車道通行	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11　大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12　大衆文化	ワークシート⑪フィードバック
15:Lesson13 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)

＊準備学習についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子　著 「日本語N1　文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版　2018
朝日新聞論説委員室　著 「天声人語　2019年7月―12月」 朝日新聞出版　2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト20%、単位認定レポート60%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートについて―学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合は、コメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日常日本語会話の基礎 【中級】	LP30121	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 覚えてもらえるように印象的に発音に注意して自己紹介することができる。	ことば、文法復習問題を解く
2: 自分の価値観を伝えるため、あると幸せだと思うものについて優先順位を考えながら話すことができる。	ことば、文法復習問題を解く
3: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
4: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
5: 気候が合わなくて体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスすることができる。	ことば、文法復習問題を解く
6: 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩を紹介することができる。	ことば、文法復習問題を解く
7: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
8: 知ってもらいたい自分のふるさとについてグループで調べる	原稿を作成する
9: 知ってもらいたい自分のふるさとについてグループでまとめる	原稿を提出する
10: 発表練習	発表原稿を覚えてくる
11: 発表	発表原稿を覚えてくる
12: 防災についてグループでまとめる	原稿を提出する
13: 発表練習	発表原稿を覚えてくる
14: 発表	発表原稿を覚えてくる
15: まとめと振り返り	振り返りシートを提出する

＊準備学習についての補足説明
発表用の原稿はGoogle classroomに提出してください。そちらで添削を行います。準備学習は毎回約15分行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

発表50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の原稿のフィードバックはGoogle classroom内で個別に添削を行い、他の学生の参考になるものは、スクリーンでシェアします。
その原稿をもとにグループで発表を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日常日本語会話の基礎 【上級】	LP30121	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題を聞く
・論理的で説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題の内容を正しく聞き取ることができる
・発表の流れを理解し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 自己紹介・力試し	必要に応じて指示する。
2: 課題理解① メモをとる練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
3: 課題理解② 発表の構成	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
4: ポイント理解① 発表全体の流れ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
5: ポイント理解② 発表のための基本的な表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
6: 概要理解① 背景説明、問題提起	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
7: 概要理解② 分類の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
8: 即時応答 データの提示	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
9: 統合理解① 定義、割合の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
10: 統合理解② データの説明、解釈	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
11: 模擬試験1回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
12: 模擬試験2回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
13: 変化・経緯を表す表現 発表準備①	未習得の言葉を覚える 発表準備
14: 比較を表す表現 発表準備②	未習得の言葉を覚える 発表準備
15: プレゼン発表	発表の振り返り

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター」青木幸子他(Jリサーチ出版)
「聴解・発表ワークブック」犬飼康弘(スリーエーネットワーク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験30%、課題・発表40%、学習の意欲30%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や発表に関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
文化人類学	LP30102	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山口　正博		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生の皆さんがこれまで身につけた「当たり前」の価値観は日本の文化と社会が色濃く反映されたものである。しかし、その「当たり前」は世界中のどこにでも通用するものではない。本講義では各回のテーマに沿って世界の諸文化を紹介しながら日本文化と比較して相対化させることで、異文化を理解するとともに自文化としての日本を深く知る視線を獲得することを目指す。ただし、近年日本社会における「常識」的価値観を共有できない学生も見られるので、「常識」の確認も行う。

Ⅲ. 学習成果

人類文化の豊かさや深さを知ることで、文化的背景の異なる人々と相互理解を深める姿勢を身につける土台を形成できる。
自分たちの常識を相対視し、日常生活において自らの立ち位置を客観視する力を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 文化人類学とは何か 文化人類学という学問の成立前史から初期学説の展開を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
2: 進化論と伝播主義 文化人類学の初期学説の問題点を把握する	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
3: 機能主義 現代の文化人類学がいかにして成立したのかを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
4: 贈与交換1 贈り物によって人間や集団同士の関係が構築されることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
5: 贈与交換2 贈り物へのお返しがなぜ必要なのか、そのメカニズムを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
6: アニミズムとシャーマニズム 神霊という存在をめぐる多様な文化を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
7: 儀礼と祭り1 儀礼によって日常や人生が区切られていることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
8: 儀礼と祭り2 集団的な昂揚が日常に活力を与えることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
9: 呪術と宗教 一見縁遠い「呪術」が我々の日常に浸透していることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
10: 神話1 自分たちが何者かを知る思想の原初形態としての神話の機能を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
11: 神話2 無意識の作用によって神話が多用に変化することを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
12: ジェンダーと親族 「男らしさ、女らしさ」や結婚できる範囲の文化的多様性を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
13: アクティブラーニング グループ毎に生まれ育った地域の文化について議論し、小レポートを作成する。	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
14: 観光 文化をめぐる「本物」とは何か。観光が文化をどのように扱っているのかを知る。	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
15: 季節的な話題を文化人類学で読み解く 季節的な行事を文化人類学的視点で考察する	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。

＊準備学習についての補足説明
予習に関しては、講義終了時に次のテーマのキーワードを挙げるので、それについて調べて考えておくこと。復習に関しては、各回1時間程度使ってまとめておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書なし。講義時にプリント・資料を配布する。
参考書(購入義務なし):綾部恒雄編『文化人類学最新述語100』弘文堂、2002年／関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004年／
綾部恒雄・桑山敬己編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年／内堀基光・奥野克己編『改定新版 文化人類学』放送大学教育振興会、2014年
※関心あれば大学・公共図書館で探してください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(80%)、授業態度・リアクションペーパーによる学習の意欲(20%)
試験は記述式で正解か不正解かで客観的に点数が出るものに加えて論述問題を出題します。論述問題に関しては事前に告知する。
教室で講義が行えない場合は別途指示する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

私語や居眠りは論外ですが、講義を妨害するほどの態度の者は退室を命じることがあります。そうした人は学びたい学生の権利を侵害していることを自覚してください。また、講義を漫然と聞き、ノートをとるだけでも不十分です。紹介された参考図書を読むなど積極的に学ぶことを望みます。学生の本分として全ての講義に出席することが当然ですので、「何回まで休める」といった態度で臨んだとしても学習効果は期待できないでしょう。講義の理解を深める質問は翌週配布するプリントにも記載し補足説明を行う。試験で不合格の者には成績の講評を伝え、追再試験の指示も行う。
提出物を課した場合はコメントを付して返却する。
※履修を希望する留学生へ:講義内容は能力試験N2でも難解だと思いますが、外国人だからといって特別扱いはできないことを念頭において履修して下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
数学	LP30110	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
本井　碧		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は多くの企業の採用選考で利用されている適性検査SPIの非言語分野対策を目的とします。
計算問題、割合、図形、順列組合せなど出題頻度の高い様々な問題に繰り返しチャレンジすることで、問題形式に慣れ
SPIで要求される出題された問題を「速く」「正確に」処理する実力を身につけることをねらいとします。

Ⅲ. 学習成果

1. SPI非言語分野の問題を自分の力である程度解くことができる。
2. SPI非言語分野の頻出・重要問題の解き方について十分に理解し、他者に説明ができる。
◎アクティブラーニング: 毎回、担当学生が例題の解き方・考え方をまとめてクラス全体にプレゼンテーションし、その他解法の可能性についてディスカッションする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス・実力チェックテスト	予習:シラバスの確認 復習:実力チェックで不正解の問題・その類題を復習
2: 計算問題の基本	予習:教科書pp. 14-27の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 14-27の授業内で正答出来なかった問題を解く
3: 料金の分割払い・仕事算	予習:教科書pp. 28-41の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 28-41の授業内で正答出来なかった問題を解く
4: 速さ・距離・時間	予習:教科書pp. 42-53の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 42-53の授業内で正答出来なかった問題を解く
5: 通過算・濃度算	予習:教科書pp. 54-63の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 54-63の授業内で正答出来なかった問題を解く
6: n進法	予習:教科書pp. 64-71の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 64-71の授業内で正答出来なかった問題を解く
7: 順列・組み合わせ	予習:教科書pp. 72-83の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 72-83の授業内で正答出来なかった問題を解く
8: 資料解釈・表の読み取り	予習:教科書pp. 84-97の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 84-97の授業内で正答出来なかった問題を解く
9: 推論・命題と論証	予習:教科書pp. 100-113の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 100-113の授業内で正答出来なかった問題を解く
10: 集合	予習:教科書pp. 114-127の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 114-127の授業内で正答出来なかった問題を解く
11: 図形の展開図・空間図形	予習:教科書pp. 128-139の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 128-139の授業内で正答出来なかった問題を解く
12: 軌道と回転	予習:教科書pp. 140-147の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 140-147の授業内で正答出来なかった問題を解く
13: 一次関数・二次関数	予習:教科書pp. 148-159の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 148-159の授業内で正答出来なかった問題を解く
14: モノの流れと比率	予習:教科書pp. 160-167の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 160-167の授業内で正答出来なかった問題を解く
15: まとめ・演習問題	予習:これまでの授業での苦手分野を再確認 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習

＊準備学習についての補足説明
特に復習を重要視します。毎回の予復習に必要な時間は1時間程度です。講義でよく理解できなかった時は担当者に直接質問をしてください。
授業内で紹介する参考資料・教材も活用してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「最新! SPI3 完全版 (「就活も高橋」高橋の就職シリーズ)」 柳本 新二著 (高橋書店)

参考図書・教育リソースは適宜授業で紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(35%)、毎回の提出課題(45%)、演習問題(20%)
私語は減点対象です。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題はGoogleClassroomで点数をフィードバックし、翌週解説を加えますので、 講義時間内に必ず提出すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ビジネス統計	LP30111	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法を学ぶ。はじめに、統計学の利活用について理解を深めるためにグループワークを行う。その後、データの種類や要約方法について課題をこなしながら理解を深める。授業後半では、データ分析の実践的な手法とデータサイエンスに用いられる用語を学習する。

Ⅲ. 学習成果

・基礎的なデータの扱い方を理解し、その解釈方法を説明できる
・平均値、中央値、標準偏差、相関係数などを計算・説明できる
・データサイエンスに関連する基礎的な用語を理解し、説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション、ランダム化比較実験(グループワーク)	数Ⅰの内容、特に順列と組み合わせ、確率の計算について事前に復習しておくこと
2:量的変数と質的変数	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
3:グラフの種類	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
4:ヒストグラム、度数分布	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
5:平均値、中央値、最頻値	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
6:標準偏差と分散	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
7:散布図と相関	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
8:相関係数	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
9:回帰分析と予測	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
10:確率と独立性	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
11:確率分布	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
12:全数調査と標本調査	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
13:ランダム化比較	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
14:区間推定、統計的仮説	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
15:データサイエンス	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。

＊準備学習についての補足説明
・授業中に学んだことを着実に復習し、分からないことは次回の授業で積極的に質問すること。・授業1回に対して、60分以上の予習・復習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、配布資料にて授業を進める。
日本統計学会公式認定書籍である「データの分析、日本統計学会編」については授業内容理解の参考になるため、この欄にて紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験:50%(全授業内容をテスト範囲としてテスト結果に基づき評価する)
課題提出:30%(各回に課す小課題への取り組み状況を評価する)
受講姿勢:20%(グループワークでの発言量、授業中の態度から総合的に評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・出題した練習問題等について、授業中もしくは課題返却時に適宜フィードバックを行います。
・本科目は主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法の入門科目です。数学が苦手な方でも興味をもってもらえるように授業内容を工夫して運用しますので、コンピュータサイエンスやデータサイエンスに興味がある方は是非受講してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
天文学	LP30112	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
平井　正則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

自然科学の分野のひとつ天文学の身近な事柄である暦、日、天体(惑星など)の動きから季節の星座までを紹介する。
また、学生の年間行事や日常生活など身近な学生生活での暦の原理、地球公転、自転などの天文学の理論を学ぶ
季節の星座を歴史的話題や神話を通して学習し、季節の星座の見つけ方を体得する。
星座案内の要領を学習し、関係する天文学史の事柄や、文化とその変遷を知り、子供、老人たちへの宇宙の案内役になれる基礎を修得する。

Ⅲ. 学習成果

子供たちと星座探しのできる正しい知識が備えられる
夜空に現れる天文現象や日々の天体や天体現象について正確な知識を習得できる
必要な天文学の基礎資料(天象暦、太陽、月、惑星、星座など)をどう調べ、日常に役立てるかの方法を学習し、習得できる。
天文学ボランテイアとして社会的活動が可能となる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:北斗の水くみ(おおくま座、こぐま座)	身近な九州北部海岸の夜空を観察を試みる
2:夜空の観察法	自分の誕生星座を知る、黄道十二宮を順序に注意して覚える
3:暦(カレンダー)の規則としくみ	大学や自分の年間予定表を調べる
4:夏の大三角とはくちょう座	プラネタリウムの活用 以降、毎回、星座の神話、特徴的な星などの天文知識の紹介
5:こと座	星座絵、星座線、神話の学習
6:わし座	星座絵、星座線、神話の学習
7:秋の四辺形とペルセウス座	プラネタリウムソフトの活用
8:ペガスス座	星座絵、星座線、神話の学習
9:アンドロメダ座	星座絵、星座線、神話の学習
10:冬の大三角とオリオン座	プラネタリウムソフトの活用
11:おおいぬ座	星座絵、星座線、神話の学習
12:おうし座	星座絵、星座線、神話の学習
13:春の大三角、大曲線とおとめ座	プラネタリウムソフトの活用
14:ふたご座	星座絵、星座線、神話の学習
15:しし座とまとめ 最後の星座学習まとめとして模擬プラネタリウム会(相互議論)	星座解説者グループ、観客者グループ分けてプラネタリウムを再現。 季節の主な星座の配布プリントの整理、観望用器具の使用実践

＊準備学習についての補足説明
各回講義で配布する「星座学習」プリントを机上とか見やすい場所に置いて、日常的に目にして星座絵、星座パターンを覚える(毎回60分)特に、15回目模擬プラネタリウム会のための自作星物語、図制作などの資料を保存しておく。(10分)　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回自作の「星座学習」のプリントを配布、教科書は使わない。
書店で見る多種の暦、星座案内書、天文グッズ(天文スマホアプリ)を紹介するので参考にする

Ⅵ. 評価方法と評価基準

季節の星座学習の中間点(後期後半、冬休み)で近在のプラネタリウム館訪問によるレポートや毎回の学習プラントを自分なりに綴じて
小冊子を製作、感想を書いて最終レポートとし、学習効果(80%)を判定。テーマへの関心度、熱心さを重く評価する
日常的な講義での関心度、熱心さを出欠数を踏まえて評価し、最終評価に加える(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

日常的に簡単なアンケートを行ったり、それまでの星座学習の記憶検査、レポートの感想を講義の合間や講義前後に時間をみつけて学生にアドバイスする
講義取得後は”星のソムリエ”など資格取得講座の基礎が得られ社会的活動が可能になる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語	LP30113	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
谷岡　敏博		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎英語・英文法のやり直しをします。英会話をするにも基本文法は、自分の考えを正確に伝えるにも、相手の発言を理解するのにも必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法が身につくことが期待できる。更にそれらを活用し平易な英語で自由記述、表現ができることが期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・エッセイをグループワークで作成し協調性、独創性を培うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語の学習の仕方について。現在の英語力診断クイズと答え合わせをして 現在の自身の英語力を知り、要改善箇所への認識を新たにする。	シラバスをしっかり読んでおく。
2: 時制①(一般動詞の現在形)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の学習	前週の英語診断クイズを想起し自身の弱点の整理をする。
3: 時制②(一般動詞の過去形＆未来形)＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
4: 時制①②の復習　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
5: 進行形　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
6: 受身(受動態)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
7: 進行形と受身の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
8: 助動詞	前週配布したプリントのポイントの復習
9: 完了形	前週配布したプリントのポイントの復習
10: 助動詞と完了形の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
11: 不定詞	前週配布したプリントのポイントの復習
12: 比較	前週配布したプリントのポイントの復習
13: 不定詞と比較の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
14: 形容詞と副詞 エッセイ作成についてグループディスカッション(Active Learning)	前週配布したプリントのポイントの復習
15: 分詞と動名詞＆試験解説 グループワークで作成したエッセイの提出	前週配布したプリントのポイントの復習

＊準備学習についての補足説明

・各週の準備学習(予習と復習等)の要する時間は、授業で配布された教材プリントを中心に1時間程度(以上)が望ましい。・学習内容(完了形や不定詞等)を踏まえ、200～300語程度の英語エッセイをグループワークで作成し期末に提出する。テーマ等詳細は授業で解説します。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当教員がプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①期末の単位認定試験(1回)　　80%
②期末に提出するエッセイ　　10%
②学習意欲 (英作などの自発的に発表等)　10%
授業中の怠け(居眠り、スマホ扱い、私語、内職等)が過ぎる場合は学習意欲評価はゼロとなる。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・英語の基礎文法力を身に着けたい、復習したい者、真面目に努力を継続する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
韓国語	LP30114	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話により自信と意欲を養います

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)として 登録されていることを事前検索をすること。
2: 第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3: 発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4: 濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5: 合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6: 終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7: 発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8: 会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9: 初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10: 自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11: 数詞　漢数詞　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12: 固有数詞　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13: 曜日　存在詞　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14: 代名詞(事物・場所)	代名詞を理解する。
15: DVD観賞・感想文　まとめ	DVD鑑賞後の感想文をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元の単語やフレーズをノートに書きフリ仮名をふり提出します。各自読んでもらい正しい読みの指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
予習、復習を必ず行い、習得の意志が強くガッツのある学生の受講を望みます。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。
提出課題がある場合は採点して返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
フランス語	LP30115	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山本　崇代		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

フランス語を初めて学ぶ学生を対象に、基礎を学びます。
自分や身の回りのことをフランス語で言えるようになることを目標に、ペアやグループでの学習も行います。

Ⅲ. 学習成果

1 フランス語の簡単な会話ができる
2 フランスの文化や社会についての知識を得る
3 ペアやグループ学習を通して、学びを共有し深めることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション＋アルファベ ＊ペア、あるいはグループで簡単な自己紹介をフランス語で行う。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
2: 挨拶する ＊ペア、あるいはグループで挨拶の表現を練習する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
3: 人を描写する ＊ペア、あるいはグループで形容詞を練習する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
4: 国籍と話せる言語をいう ＊ペア、あるいはグループで国籍の言い方を練習する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
5: 持ち物や年齢をいう ＊ペア、あるいはグループで持ち物の言い方を練習する	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
6: 場所を示す ＊ペア、あるいはグループで会話文を作って発表する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
7: 前半のまとめの練習問題	練習問題で間違っていた箇所の文法事項をもう一度確認する
8: 好みをいう ＊ペア、あるいはグループで好きなものを尋ねる。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
9: 所有をあらわす ＊ペア、あるいはグループで会話文を作って発表する。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
10: アクティヴィティをいう ＊ペア、あるいはグループでお誘いの会話文を作って発表する。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
11: 食習慣をいう ＊ペア、あるいはグループで食習慣をインタビューする。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
12: 時刻の表現 ＊ペア、あるいはグループで起床時間などを質問する。	練習問題のおさらいをして、間違えていた箇所の文法事項をもう一度確認する
13: 行き場所をいう ＊ペア、あるいはグループで住んでいるところなどを質問する。	練習問題のおさらいをして、間違えていた箇所の文法事項をもう一度確認する
14: 過去のことを話す ＊ペア、あるいはグループで週末にしたことなどを話す。	複合過去の用法を整理すること
15: 後半のまとめの練習問題	練習問題で間違っていた箇所の文法事項をもう一度確認する

＊準備学習についての補足説明
テキストのわからない単語は調べておくこと。毎回の授業に関して45分の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

高橋 信良、星埜守之、原 雅久著、『フランス語 ルージュ1 －トリコロール　会話編 －』、朝日出版社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(40%)＋授業への積極的参加と課題の提出(60%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ペア、あるいはグループでの発表について、授業内でコメントします。
遅刻、居眠り、授業に関係ないスマートフォンの使用などは減点になるので注意してください。
教科書を必ず購入し、毎回の授業に持ってくること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
経営分析	LP30117	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

就職活動で一番重要なのは、「企業分析・経営分析」です。なぜなら、企業の側に選ぶ権利があり、その企業に雇われる能力が皆さんに備わっていることを示すことが就活では求められるので、その企業のことを知らなければ、どこをアピールしたらよいのか、どこを評価してくれているのかがわかりません。この講座では、間もなく始まる就職活動への支援を念頭に、主に「企業分析・経営分析」の方法をお伝えし、スムーズに就活に迎えることができるようになることを当面の目標としています。

Ⅲ. 学習成果

①基本的な企業分析・経営分析の方法を理解し、ネット上で手に入る会社データの分析に応用できるようになる。
②就職活動の際の履歴書の書き方を理解し、本番用の志望動機などを書けるようになる。
③面接練習等のより実践的な就活支援(例. 業界研修を踏まえた自己アピールの仕方など)を通して、各学生の就活スキルが向上する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 就職活動において求められる能力について	予習:シラバスをよく読む。 復習:就活時をイメージし、用意するものを考える。
2: 企業分析・経営分析とは何か①	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:企業分析・経営分析とは何かについて、再度まとめる。
3: 企業分析・経営分析とは何か②	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:企業分析・経営分析を行う理由について、再度まとめる。
4: 貸借対照表・損益計算書について①	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:B/Sとは何かについて、自分で説明できるようにまとめる。
5: 貸借対照表・損益計算書について②	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:P/Lとは何かについて、自分で説明できるようにまとめる。
6: 財務諸表の見方①	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:比率分析の計算の仕方を再度確認する。
7: 財務諸表の見方②	予習:テキスト内の該当する個所を読んでくること。 復習:比率分析の計算の仕方を再度確認する。
8: EDINETの活用方法①　※課題1	予習:これまでの復習 復習:EDINETの情報をダウンロードしてみる。
9: EDINETの活用方法②	予習:前回の復習 復習:EDINETの情報をダウンロードしてみる。
10: 練習問題①	予習:これまでの復習 復習:業界研究・企業分析・経営分析を行ってみる。
11: 練習問題②	予習:前回の復習 復習:業界研究・企業分析・経営分析を行ってみる。
12: グループワーク①　※課題2	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:本日の復習
13: グループワーク②	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:本日の復習
14: グループワーク③	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:本日の復習
15: まとめ	予習:これまでの復習 復習:全体のまとめ

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「財務諸表の見方　第13版」 日本経済新聞社編集　日経文庫
参考書:「アナリストのための財務諸表分析とバリュエーション 原書第5版」 S.H.ペンマン著　有斐閣
「新・現代会計入門 第3版」伊藤邦雄著　日本経済新聞出版社
「採用学」 服部 泰宏著　新潮新書

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回の授業、期中に回収する課題2回と単位認定試験の結果によって総合的に評価します。
割合は、授業30%、課題20%、試験50%、となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・就活での応用を念頭にこの授業を展開しますが、一般的な経営分析の話ももちろん行いますので、中小企業診断士等の試験の際にも役立つ口座になっています。
・毎回の授業ではその日の授業ノートを回収し、次回返却し、課題も同様に返却します。
・希望者が多く、パソコン室に入りきれない場合は、抽選にて受講者を決定することもありますので、予め了承ください。
・Google Classroomについては、授業外学習を促進するために使用します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本事情	LP30122	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
北里　晋		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本はどのような国なのかを幅広く理解する。①歴史と文化②言語と習慣③社会の成り立ちーの視点から、さまざまな情報、知識を会得するよう講義する。
伝統文化についての解説に重きを置くが、アニメなど現代日本を特徴づける文化、現代の日本社会が過去からどう変化したかついても理解も目指す。

Ⅲ. 学習成果

日本での日常生活の中で遭遇する独特の習慣やマナー、日本人特有の言語表現の意味を正しく把握できるようにする。
日本のおおまかなな歴史や文化、感性について、自国と比較しながら説明できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 博多の歴史と文化を知ろう。地理的特徴と対外交流	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
2: 日本人はどこから来たか。天皇制、武士とは何か	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
3: 日本の産業はどう変化してきたか。経済発展をどう成し遂げたか	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
4: 日本の自然環境は日本人にどんな影響をもたらしたか。災害と信仰	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
5: 四季の変化がもたらした多彩な年中行事、花鳥風月の世界	日本に来て印象的だった年中行事について問うので準備すること
6: 少子高齢化の中で変わる日本の家族のあり方	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
7: 日本の伝統的な食文化　和食の世界	各自の和食体験について問うので準備すること
8: 日本人の住まいと衣類の変遷	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
9: 日本の工芸の発展と現在　焼き物と漆器を中心に	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
10: 城と寺社の建築美　仏像に見る日本的美意識とは	日本に来て訪ねた観光地について問うので準備すること
11: 日本画と洋画の違い　漫画やアニメに至る歴史	好きな日本の漫画やアニメについて問うので準備すること
12: 日本を特徴づける芸「道」の世界　茶道を中心に	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
13: 能、歌舞伎、文楽。伝統芸能はいかに伝わったか	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
14: アクティブラーニング：自国と比較した日本人の特徴についての発表	事前に自身の見解をまとめ、各自簡単なプレゼンテーションを行う
15: 日本人はぜ短詩形を好むのか日本の文芸の特徴	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること

＊準備学習についての補足説明
レジュメはPowerPointで作成。極力簡単な日本語を用いる。復習の所要時間は概ね1時間
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

講義の各項目ごとにレジュメをプリントしてテキストとする。
理解を深めるため、画像や動画を多用する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

講義への理解度をみる文章表現力　60%　自分の意見を発表・表現する力20%　学習の意欲・授業態度20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アクティブ・ラーニングの内容については適宜講評する

専　門　科　目

１　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
メジャーガイド	LP40101	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択　指定科目		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
中濵　雄一郎					
坂根　潤樹/加来　裕子　/井野　智一郎/青柳　薫子/河野　洋子/田中　健吾		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

指定科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・メジャーガイドでは、3期からはじまる「メジャー(専攻)」の選択をよりスムーズに行うため、各メジャーの責任者(教員)から、各メジャーの授業内容や関連する資格・検定試験、卒業後の進路について説明を行うことが主な役割である。各「メジャー(専攻)」で1～2コマ解説を行う。

Ⅲ. 学習成果

①各「メジャー(専攻)」の特徴を理解し、3期以降の「メジャー(専攻)」の選択に役立てられる。
②2期から始まる専門科目の選択のための情報を収集し、本学科での勉強の方向性を決める。
③自分自身のライフプラン(人生設計)をよく考え、進路決定に役立てられる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 合同での説明会	・各担当者の指示に従い準備を行うこと。
2: 一般事務/ファッション	・以下同様
3: 一般事務/ファッション	
4: ファッション/CG	
5: ファッション/CG	
6: CG/医療事務	
7: CG/医療事務	
8: 医療事務/観光	
9: 医療事務/観光	
10: 観光/インテリア	
11: 観光/インテリア	
12: インテリア/ブライダル	
13: インテリア/ブライダル	
14: ブライダル/一般事務	
15: ブライダル/一般事務	

＊準備学習についての補足説明
・各授業担当者の指示に従い、受講すること。なお、筆記用具は必ず持参すること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・各担当者より指示があるので、配布物はきちんと保管しておくこと。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・各担当者が評価を行い、すべての評価を合計して最終評価とする。
・各メジャー(10%×7)、学習の意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・各担当者でフィードバックの方法が異なるため、詳細は授業中に各担当者から説明を行う。
・この授業は、学科の指定科目となっているため1年生は全員受講しなければならない。
・なお、上記の内容に変更がある場合は、授業の中で再度お伝えする。
・Google Classroomの使用については、授業開始後伝達する。
・グループワークの実施については、各担当者の判断となる。少なくとも1回以上は実施する予定である。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ベーシック簿記	LP41201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学びます。複式簿記は、日常の経営活動によって生じる現金や商品売買、貸借関係などを、貨幣額としてとらえて計算を行うところに特徴があります。簿記は企業の財産管理に役立てたり、簿記で計算した数値を企業外部の人たちに情報を開示する役割もあります。
このような背景も考えて、基礎的な商業簿記の内容を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる
・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる修正記入前の貸借対照表・損益計算書が作成できる
・日商簿記3級の前半の内容が理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:企業の簿記 簿記の目的	予習:シラバスを読むこと 復習:指定の問題集の問題を解くこと(p4-6)
2:簿記の要素 貸借対照表、損益計算書	予習:教科書の範囲を確認すること(P7) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P8-10)
3:取引と勘定	予習:教科書の範囲を確認すること(P11) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P12-13)
4:仕訳と転記	予習:教科書の範囲を確認すること(P14) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P14-16)
5:仕訳帳と元帳	予習:教科書の範囲を確認すること(P17) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P17-21)
6:復習問題 グループワークあり	予習:これまでの内容を確認すること 復習:間違っている部分の理解をすること
7:試算表	予習:教科書の範囲を確認すること(P22) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P23-25)
8:決算手続きと意味 決算の意味と考え方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P27-29)
9:決算手続き 損益勘定を用いた締め切り方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P28-29)
10:損益計算書・貸借対照表	予習:教科書の範囲を確認すること(P30) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P30-32)
11:元帳の締め切り 演習問題(グループワーク)	予習:教科書の範囲を確認すること(P26-30) 復習:収益と費用の締め切りの手順のプリント課題
12:現金・現金過不足	予習:教科書の範囲を確認すること(P33) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P34-37)
13:当座預金・当座借越	予習:教科書の範囲を確認すること(P38) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P39-42)
14:総合問題① 仕訳をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること
15:総合問題② 試算表をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること

＊準備学習についての補足説明
基本的に予習は必要ないが、授業内で行ったことは復習として問題を解くこと。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　授業の参加態度や発言等により構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内で問題を解く時間を作るため、その際に質問を受け付ける。また、その際に課題のチェックも行う。
高等学校で簿記会計を学んで、3級以上の以上の内容を学び、仕訳ができる人は、ベーシック簿記(青柳先生)を受講すること。
毎時間電卓を持ってくること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ベーシック簿記	LP41202	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記の科目を学んだ学生や1年次に簿記を学んだ学生を対象に授業を進めます。仕訳ができることを前提に進めます。
毎回の授業では、仕訳を中心に帳簿の作成の基本を学びますが、場合によっては、個人の進度に応じて、問題を解く時間を取り、在学中に
日商簿記検定2級・3級の受験を視野に入れた基礎固めを行います。 尚、毎回の授業では、問題の答えを発表して頂きます。

Ⅲ. 学習成果

・簿記の計算構造が理解できる。
・日商簿記検定が受験できるように、2級、3級の基礎固めを行う。
・仕訳を理解し、財務諸表が作成できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業のガイダンス 簿記の基本概念	高校時代に取得した簿記の検定試験があれば、調べてくる。
2: 簿記の要素、仕訳のおさらい。 貸借対照表(資産・負債・純資産)と損益計算書(収益・費用)について	基本の仕訳のプリント課題に取り組む。
3: 仕訳 現金預金	練習用の仕訳のプリント課題に取り組む。
4: 現金預金 貸倒引当金	現金出納帳・当座預金・当座借越の問題を解く。
5: 当座預金 当座借越	現金過不足の問題をを解く。
6: 現金過不足 グループワーク(問題を教えあう)	通貨代用証券について調べる。
7: 商品販売 クレジット売掛金	商品売買の問題を解く。
8: 債権・債務 手形	電子記録債権・電子記録債務の仕訳の問題を解く。
9: 有価証券について(取得と売却) 固定資産	固定資産の取得と売却の仕訳の問題を解く。
10: 租税公課と引出金、差入保証金 グループワーク(問題を解き、答え合わせをしよう)	差入保証金の仕訳の問題を解いてくる。
11: 決算　一連の流れ 減価償却	減価償却の間接法による減価償却費の計算の問題を解く。
12: 貸倒引当金　収益費用の見越しについて グループワーク(問題を解いて答え合わせをしよう)	金銭債権から貸倒引当金を計算してくる。 決算時に行う、見越しの簿記処理を練習する。
13: 収益・費用の繰延べ グループワーク(解らないところを確認しよう)	収益・費用の繰延の仕訳を解く。
14: 精算表(8桁) 貸借対照表と損益計算書	精算表の解き方を確認する。答え合わせをする。 貸借対照表と損益計算書を作成する。
15: まとめ	試験範囲の確認し、精算表、貸借対照表と損益計算書の問題を解く。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は資料しない。毎回プリントを配付する。
(すでに日商簿記3級を取得している学生には、日商簿記2級の教材を使用します。)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業時には毎回電卓を持参してください。
・高等学校である程度学んでいると思います。これまで学んだ知識を生かしながら、自分の進度を確認し、学習を深めてください。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ビジネス実務演習 Ⅰ	LP41203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
岩本　久美子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

顧客満足(CS)を高める要素の一つに、人によるサービスがある。これは、顧客との円滑なコミュニケーションを図り良好な人間関係を築くことで、企業に対する良い印象を形成し、顧客に満足してもらうことである。ビジネスマナーはコミュニケーション力ともいえる。この科目では、ビジネスでの基本的なマナーを学び、身につける。

Ⅲ. 学習成果

・CSにおける、ビジネスマナーの重要性を説明できる。
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:CSとマナー	テキスト第Ⅱ部　第5章「ホスピタリティとサービス」を読んでおく
2:人間関係と印象(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(5)動作」までを読んでおく
3:人間関係と話し方、聞き方① ペアで聞き方の実習をする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(6)話し方(7)聞き方」を読んでおく 身だしなみ・基本姿勢等のチェックリストと聞き方実習のコメント表を完成させる
4:人間関係と話し方、聞き方② 自分の声を録音し、チェックする	発音に関するプリントを使用して、練習をする。
5:ことば遣い①(敬語) 敬語の種類・作り方・陥りやすい間違いなど	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」55ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.1に取り組む
6:ことば遣い②(敬語、接遇用語) 場面による敬語の使い分けなど	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」65ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.2に取り組む。敬語演習問題(2)のテスト準備をする
7:指示の受け方と報告の仕方①(基本的な指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 敬語・接遇用語演習問題のテスト準備をする
8:指示の受け方と報告の仕方②(複数の指示の受け方・報告の仕方など) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	指示を受ける、報告をする際の基本的な用語を覚えてくる
9:電話応対①(基本的な取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの基本的流れを覚えてくる 基本事例を口頭練習し覚えてくる
10:電話応対②(名指し人が不在の場合など) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる 応用事例を口頭練習する
11:来客応対①(基本的な受付・取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる
12:来客応対②(案内・見送り) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題に取り組む
13:訪問のマナー	テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問に関する89～94、96ページを読んでおく
14:交際の業務(贈答など)	テキスト第Ⅲ部　第6章「慶弔・贈答」第2項「贈答の知識」を読んでおく 贈答の金品の包み方のポイントを覚えてくる
15:まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと　・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. ビジネス実務　藤村やよい編著　㈱樹村房　￥2，000＋税
2. プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物、小テスト(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:【則松】銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日商簿記Ⅰ	LP41204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目は「ベーシック簿記」で学んだ簿記の知識に基づき、日商簿記3級程度の知識と処理能力を身に付ける。11月および2月に開催(予定)される日商簿記3級に向けて焦点を当て、解説と問題を解くことを中心に行う。

Ⅲ. 学習成果

日商簿記3級程度の知識を身に付け、検定試験に合格する水準まで簿記を理解できる。
ビジネスの場面においても日商簿記3級の範囲内の用語の理解と簡単な説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:小口現金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P43-47)
2:商品売買(3分法)	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P48-56)
3:商品有高帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P62-68)
4:売掛金・買掛金、貸倒引当金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P69-75)
5:受取手形・支払手形	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P76-81)
6:クレジット売掛金・その他債権・債務	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P82-88)
7:固定資産の減価償却・売買	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P89-92)
8:営業費・税金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P93-98)
9:決算整理①費用の前払い・収益の前受け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P100-102)
10:決算整理②費用の未払い・収益の未収	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P103-107)
11:試算表の作成①合計残高試算表の作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P108-111)
12:試算表の作成②仕訳から試算表の作成手続き	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P112-119)
13:精算表の作成①修正記入と作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P120-125)
14:精算表の作成②損益計算書と貸借対照表の振り分け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P126-129)
15:帳簿の締め切り	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P130-133)
16:損益計算書・貸借対照表	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P134-140)
17:伝票会計①3伝票制・5伝票制の処理	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P141-146)
18:伝票会計②仕訳から伝票へ	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P147-149)
19:総合問題1	復習:間違った問題の理解をすること
20:総合問題2	復習:間違った問題の理解をすること
21:総合問題3	復習:間違った問題の理解をすること
22:総合問題4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
23:精算表問題1	復習:間違った問題の理解をすること
24:精算表問題2	復習:間違った問題の理解をすること
25:精算表問題3　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
26:過去問題演習1	復習:間違った問題の理解をすること
27:過去問題演習2	復習:間違った問題の理解をすること
28:過去問題演習3	復習:間違った問題の理解をすること
29:過去問題演習4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
30:過去問題演習5　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること

＊準備学習についての補足説明
基本的に予習は不要である。復習として毎時間、問題集の問題を指示する。復習にかかる時間は毎時間1時間程度の分量である。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ベーシック簿記で使用した教科書及び問題集を使用する(持っている場合は追加で購入する必要なし)
『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言などにより構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内での質問に答える形とする。その時間は毎時間設ける。
積み重ねの授業のため、原則欠席はしないこと。
原則として2期の「ベーシック簿記」を受講したもの、簿記の経験があるものが対象となる。
22回、25回、29回、30回の問題演習では、グループワークの形式をとり、学生間での教えあいをすることによって学習効果の向上を図る。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日商簿記Ⅰ	LP41205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記会計の科目を学んだ学生を対象に、2期のベーシック簿記(経験者クラス)に引き続き授業を行う。よって、仕訳ができることを前提に授業を進めます。この授業では、主に日商簿記検定の2月の検定受験へ向けて準備を進めます。
また、分からない箇所や出題頻度の高い箇所は、重点的に説明することがありますが、基本、授業では問題を解きます。
2級の受験者に対しては、商業簿記を中心に行います。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級・3級の基礎的な問題が解けるようになる。
・問題を解くスピードを身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス	シラバスを確認する。自分の受験する時期を決定する。
2: 日商簿記第144回の問題を解く。	第144回の問題の中で、間違った問題を解く。
3: 第144回の解説を行う。	144回に関する復習問題を解いて提出する。
4:　日商簿記検定第145回の問題を解く。	第145回の問題の中で、間違った問題を解く。
5: 第 145回の解説を行う	145回に関する復習問題を解いて提出する。
6: 日商簿記第146回の問題を解く	第146回の問題で、間違った問題を解く。
7: 第146回の解説を行う。	146回に関する問題を解いて提出する。
8: 第147回の問題を解く	第147回の問題の中で、間違った問題を解く。
9: 第147回の解説を行う。	147回に関する復習問題を解いて提出する。
10: 第148回の問題を解く	第148回の問題の中で、間違った問題を解く。
11: 第148回の解説を行う	148回に関する復習問題を解いて提出する。
12: 第149回の問題を解く	第１４９回の問題の中で、間違った問題を解く。
13: 第149回の解説を行う。	149回に関する復習問題を解いて提出する。
14: 第150回の問題を解く。	第150回の問題の中で、間違った問題を解く。
15: 第150回の解説を行う。	150回に関する復習問題を解いて提出する。
16: 第151回の問題を解く。	第151回の中で、間違った問題を解く。
17: 第151 回の解説を行う。	151回に関する復習問題を解いて提出する。
18: 第152回の問題を解く。	第152回で間違った問題を解く。
19: 第152回の解説を行う。	152回に関する復習問題を解いて提出する。
20: 第153回の問題を解く。	第153回で間違った問題を解く。
21: 第153回の解説を行う。	153回に関する復習問題を解いて提出する。
22: 第154回の問題を解く。	第154回で間違った問題を解く。
23: 第154回の解説を行う。	154回に関する復習問題を解いて提出する。
24: 仕訳日計表　／棚卸減耗損と商品評価損	チャレンジ問題を解く。
25: 合計残高試算表	チャレンジ問題を解く。
26: 精算表／売上原価対立法	チャレンジ問題を解く。
27: 3級:費用収益の見越し・繰り延べ	費用収益の見越しと繰延べの仕訳を確認する。
28: 2級　連結会計の仕訳	連結会計の仕訳をまとめる。
29: まとめ	これまで解いた問題をチェックし仕訳を行う。
30: 振り返り　グループワーク	これまでに解いた問題を見直す。

＊準備学習についての補足説明
・毎回の授業の時間で解けなかった問題は、準備学習の時間の中で解いてください。準備学習は、各回30分以上行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回、プリントを配付します。教科書は使用しません。
必要に応じて、問題集を購入する場合があります。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習への意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・日商簿記検定の受験を前提に授業を進めていきます。分からないところは、どんな些細なことでも質問してください。
・授業では、予習をしてのぞむこと。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
人的資源論	LP41206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では会社での働き方や様々な制度などを学びます。
また自分にとって働くことはどのようなことか、また会社(業界)と組織の両方を知ることで、自分がどのような仕事に向いているかを確認します。
そのために様々な業界についても学習します。

Ⅲ. 学習成果

会社(業界)、人事・報酬制度や人材マネジメントを理解し、どのような会社に就職したいかということに自分の意見を持って選択できるようになることを目標とします。また、会社での働き方やトラブルについて学ぶことで社会人になって苦境に陥った時に自分で対処できる知識を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 自分の現状と社会の現状を知る	予習:シラバスを読むこと 復習:テーマに沿った課題の完成
2:ブラック企業とは 劣悪な労働条件を考える	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
3:ブラック企業・ホワイト企業・グレー企業 自分にとっての良い会社、悪い会社	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
4:正規雇用と非正規雇用	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
5:労働問題に関する政府の対応 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
6:アパレル業界の働き方 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
7:会社でやってはいけないこと 会社の懲罰	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
8:小売業界の働き方①	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
9:多様化する働き方 限定社員(地域職)の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
10:ブライダル業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
11:金融業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
12:福利厚生	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
13:旅行業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
14:セカンドキャリア	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
15:Eコマース BtoBからCtoCへ	予習: 復習:

＊準備学習についての補足説明
テーマに沿った課題を課します。ほとんどが事後課題となります。課題にかける時間は30分から1時間程度を予定しています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、毎時間プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート課題(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、点数や評価を付けて返却します。また、良い課題は全員で共有するため演習内で報告します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
パーソナルファイナンス	LP41207	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

パーソナルファイナンスとは、個人のお金周りの管理に関する知識や技能を指す。人は企業とは異なり、ライフサイクルを持ち、人生における各ステージで考えるべき内容は当然異なる。将来の老齢年金の受取額が現在の高齢者より少なくなることが確実な中、自らのライフスタイルを考え、世の中にある金融商品をうまく活用し、豊かなライフプランを描く能力が必要とされている。本講座では、ファイナンシャルプランナー技能検定のテキストを使い、自分自身のライフプランを考えることから始め、自分自身の将来のお金周りについて考える機会を提供する予定である。

Ⅲ. 学習成果

①自分自身のライフプランを描き、自らのお金周りと合わせて検討できるようになる。具体的には、キャッシュフロー表を自ら作成できるようになる。
②人生の「貯め時」、「耐え時」を理解し、世の中の金融商品をうまく使うことで、自分の人生をより豊かにできることを理解する。
③人生の三大支出への備えを若い時に済ませることの重要性を理解することで、日々の細かな無駄な支出を抑制することができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション パーソナルファイナンスとは何か？	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:配布資料の要点をまとめておくこと。
2: 黒字人生・赤字人生 ライフプランとライフデザイン/グループワークの実施	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:「貯め時」と「耐え時」を理解し、自分の人生のお金周りを考えてみる。
3: 複利計算と現在価値①　※課題1の解説	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:複利計算の特徴を理解すること。
4: 複利計算と現在価値②	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:第3回と同じ。
5: キャッシュフロー表の作成①　※課題1の回収　パソコン室を利用	予習:課題1の完成。 復習:Excelシートを用いたキャッシュフロー表を作成する。
6: キャッシュフロー表の作成②　パソコン室を利用	予習:前回の講義の続きを行う。 復習:作成したキャッシュフロー表の特徴をまとめておくこと。
7: ライフプランニング①　※課題2の回収 教育資金設計	予習:課題2の完成。教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:教育資金の重要性を理解し、教科書を再読すること。
8: ライフプランニング② 住宅資金設計	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:住宅ローンの特徴を理解し、教科書を再読すること。
9: 社会保険の基礎知識① 社会保険・医療保険	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:社会保険・医療保険の特徴をまとめておくこと。
10: 社会保険の基礎知識② 労働災害保険・雇用保険	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:労災と雇用保険の特徴をまとめておくこと。
11: 社会保険の基礎知識③ リタイアメントプランニング(年金・介護)	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:公的年金・介護保険の特徴をまとめておくこと。
12: 有価証券の活用①　※課題3の解説 株式・債券投資	予習:社会保険(第9～11回)の振り返りを行う。 復習:配布資料を元に、株式と債券の違いを理解すること。
13: 有価証券の活用② 投資信託の活用	予習:有価証券とは何かを調べておくこと。 復習:配布資料を元に、投資信託の特徴をまとめておくこと。
14: 有価証券の活用③ キャッシュフロー表を活用したライフプランの再設計/グループワークの実施	予習:課題3に取り組み、キャッシュフロー表の見直しをすること。 復習:ライフプランの再設計の注意点を理解すること。
15: まとめ　※　課題3の回収	予習:課題3の完成。 復習:5期からの学びに向けて、再度全体を振り返ること。

＊準備学習についての補足説明
・求める準備学習は各回異なるので、担当者の指示に従い、予復習及び課題の作成を行うこと。　・為替レート、金利、株価なども定期的に尋ねる。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「ファイナンシャル・プランニング入門 – for Students – 第5版」日本FP協会　日本FP協会監修
参考書 「ファイナンス論」 有斐閣　大村敬一著
「'20–'21年版みんなが欲しかった！　FPの教科書　3級」 TAC出版　滝澤ななみ著
「これでわかった！ファイナンス」 PHP新書　永野良佑著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　50%、課題3回　30%、学習の意欲　20%
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指定されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・定期的に、為替レート、金利、株価について尋ねるので、新聞やネットで日々確認する習慣を身につけて欲しい。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収するプリントは、次回の講義の際に返却を行う。
・毎回回収するプリントおよび課題は、必要に応じてコメントをつけて返却する。
・私語・スマートフォンの私的利用は禁止しており、減点の対象とする。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・Google Classroomの利用については、主として授業外学習の促進のために活用する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療保障制度	LP42201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療保障制度の基本的なしくみや診療報酬の請求、支払いの流れなどの知識の習得を目標とする。
医療事務職にとって必要な医療制度にかかわる関係法規について学び、医療事務職としての業務を遂行するために必要な基礎づくりを行う。
3・4期に学習する「医療事務」や2年次1・2期に学習する「調剤報酬請求事務」の授業に必要な基本知識が定着し、活用できるようになる。

Ⅲ. 学習成果

・医療保障制度や診療報酬のしくみ、医療事務の流れを理解できるようになる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の授業への導入となる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション・医療保障制度の概要 医療機関の概要、医療機関と薬局との関係	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP12の練習問題と応用問題を解く。
2:医療保障制度の基礎知識1 (医療保険のしくみ／医療保険の種類)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP25.P26の練習問題を解く。
3:医療保障制度の基礎知識2 (保険給付／給付割合と患者負担／高額療養費／保険外併用療養費)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP38の練習問題と応用問題を解く。
4:公費負担医療制度の概要 (制度の種類／制度のしくみ)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
5:医療関係制度 (労災保険／介護保険)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
6:医科・歯科での医療事務の業務内容 (日常業務／請求事務)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
7:受付事務の基礎知識 (被保険者証の見方、窓口徴収について)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。自分の保険証を調べてみよう。
8:診療録(カルテ)の上書き 診療報酬請求・審査・支払の流れ(レセプトオンライン化)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。診療録(カルテ)の上書きを書いてみよう。
9:保険医療機関及び保険医療養担当規則(医科・歯科)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP49～P58の保険医療養担当規則の要約を作成する。
10:調剤薬局での医療事務の業務内容 (日常業務／請求事務)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
11:保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則(調剤薬局)	テキストP60～P63の保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則を 読んで、問題を解く。
12:医療事務スタッフとしての心構え グループワーク:「医療事務スタッフの心構」をグループで考え、まとめる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
13:診療報酬の算定方法1(点数表の見方・読み方)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
14:診療報酬の算定方法2(カルテの見方・読み方)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 カルテを読んでみよう。
15:まとめ	医療保障制度のしくみを理解し、診療報酬の算定をしよう。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1. 医療事務講座　テキスト1「医療保障制度」(ソラスト)
　　2. 配布プリント
参考書:「最新　医療関連法の完全知識　2022年版」(医学通信社)
　　「公衆衛生がみえる 2020-2021」(メディックメディア)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物(25%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
3.授業中の私語・居眠り・携帯などの使用、テキスト忘れは減点の対象とします。
4.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療の基礎知識	LP42202	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
加来　裕子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、医療事務従事者に求められる知識として、人体の基本的な構造と機能、代表的な疾患および、その検査・治療法について解説します。
各器官系の役割と正常な状態から、それぞれの病状を説明します。また、医療倫理をはじめ、多職種と連携が取れるよう理解を深めます。

Ⅲ. 学習成果

基本的な医学の専門用語について説明できる。
代表的な疾患の概要、検査・治療方法について理解し、医療事務検定試験に取り組むことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 人体の基本的構造について	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。
2: 全身の骨格	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。
3: 人体の機能と疾病の成り立ちについて	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。
4: 運動器(全身の筋) グループワーク・発表:身体の動きについての課題	問題プリント1(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
5: 頭部(脳疾患)	問題プリント2(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
6: 頭部(神経疾患)	問題プリント3(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
7: 胸部(循環器疾患)	問題プリント4(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
8: 胸部(呼吸器疾患)	問題プリント5(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
9: 感染症について グループワーク・発表:感染症予防についての課題	問題プリント6(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
10: 腹部(上部消化器疾患)	問題プリント7(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
11: 腹部(肝臓・膵臓疾患)	問題プリント8(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
12: 腹部(下部消化器疾患)	問題プリント9(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
13: 背部(腎・泌尿器疾患)	問題プリント10(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
14: 血液疾患	問題プリント11(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
15: 免疫系/まとめ	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。

＊準備学習についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回45分以上行うこと。課題はプリントまたは Google Classroomから提出。詳しい内容・学習方法は毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『しくみと病気がわかる　からだの事典』田沼久美子ほか (監修)　成美堂出版　1,760円
常日頃から、現在の医療を取り巻く問題について、新聞やテレビ、インターネット等の情報に関心を持つよう心がけてください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　課題レポート・小テスト(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

配布資料等は、ファイルにまとめ保存してください。
課題については、講義内および Google Classroomで説明します。
「実務経験教員科目」特記事項:医療従事者(看護師資格)としての勤務経験を活かし、医療現場の状況を踏まえ解説を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療事務	LP42203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	医療事務指定科目		
岩本　久美子		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は、医療事務職として業務に従事できるよう基本的な知識と技能を修得することを目的としています。医療機関において重要な業務に、診療報酬請求業務があります。そのために必要となる診療報酬の点数計算について、診療行為別の算定方法とルール、レセプトと会計欄の書き方を学びます。
日本医療事務協会主催の医療事務検定試験の受験をすることができます。

Ⅲ. 学習成果

1.診療報酬請求の事務のしくみを理解することができる。
2.診療行為別の点数算定方法とそのルールを理解し、点数計算ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　オリエンテーション　(授業の進め方・評価方法)/医療事務の仕事	シラバスの内容を事前に確認しておく/テキストの指定ページを復習する。
2:　保険請求事務と窓口会計のしくみと流れ	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
3:　基本診療料　初診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
4:　基本診療料　初診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
5:　基本診療料　再診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
6:　基本診療料　再診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
7:　特掲診療料　医学管理料①　算定のルール　確認テスト①(初診料・再診料)	確認テストに向けて、初診料・再診料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
8:　特掲診療料　医学管理料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
9:　特掲診療料　在宅管理料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
10:　特掲診療料　医学管理料、在宅管理料　まとめ	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
11:　投薬料1　薬剤の区分とカルテ上の見分け方	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
12:　投薬料2　薬剤料の計算単位と薬価計算	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
13:　投薬料3　処方料、調剤料等の技術料	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
14:　投薬料4　まとめ　確認テスト②(投薬料)　グループワーク	確認テストに向けて、投薬料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
15:　注射料1　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
16:　注射料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
17:　処置料1　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
18:　処置料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
19:　リハビリ料　算定のルール・算定演習　確認テスト③(注射料、処置料)	確認テストに向けて、注射料・処置料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
20:　手術・麻酔料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
21:　手術・麻酔料　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
22:　検査料1　検査料全般	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
23:　検査料2　検体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
24:　検査料3　生体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
25:　病理検査・画像診断1(単純撮影)	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
26:　画像診断2　特殊撮影、造影剤使用撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
27:　画像診断3　コンピュータ断層撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
28:　入院料1　入院の費用、入院時食事療養費	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
29:　入院料2　外来と入院との算定方法の違い	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
30:　入院料3　まとめ　単位認定試験範囲について　グループワーク	苦手分野をピックアップしておく／単位認定試験に向けて準備する。

＊準備学習についての補足説明

・目安として予習30分、復習時間は60分程度です。授業だけでは算定練習の時間が限られます。復習をして、理解を深めるようにしてください。・確認テスト で間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて 、確実に算定できるようにしましょう。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.医療事務講座(医科)テキスト1.2.3.5 ソラスト　2.診療点数早見表2022年4月増補版 医学通信社
3.医療事務講座 カルテ問題集　4.医療事務講座 カルテ問題集解答
参考図書:レセプト作成テキストブック(医科) 令和4年4月版　社会保険研究所
初心者のための診療報酬完全マスタードリル2021-2022年版 内芝修子　医学通信社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(50%)　2.確認テスト(30%)　3.授業への取組み姿勢(20%)(課題作成状況・積極性、予習・復習)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
2.ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出していただくので、配布プリントや課題、自己学習したものなどをファイリングするようにしてください。
3.受講するにあたり、電卓・マーカー・インデックスが必要です。電卓は毎回持参してください。メモリ機能「M＋」「M−」「MRC」がついたものが望ましいです。
4.確認テストについては実施授業回の2回前の授業で範囲等を伝えます。5.提出物は期限を守って提出してください。次回授業時に添削して返却します。
6.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療概論	LP42204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本の医療機関の機能と現状を把握し、実際に医療事務職が行う業務や取組、医療倫理などについて学ぶ。
また、医療事務職にとって必要な「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の知識を深めることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

・医療機関や医療事務職の特性を理解できる。
・医療機関での基本的な事務職の業務の心得を身につけることができる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」に必要となる薬の知識を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:医療概論の授業の進め方と評価方法 患者(家族)は医療機関に何を望んでいるのか	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者の心理を理解する。
2:医療機関とは 医療機関の定義、組織とチーム医療、医の倫理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の種類とその特徴やさまざま職種を調べる。
3:医療機関の経営と管理 診療情報管理、医療関係法規	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療関係法規の内容を理解する。
4:医療機関の環境整備	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の環境整備について考える。
5:医療の基礎知識 患者の移動、体位、診察介助、緊急時の対応、車いすの対応実習	医療事務職として行わなければならない緊急時の対応を考える。
6:医療機関の医療・患者サービス	医療機関で実際に行われているサービスについて調べ、まとめる。
7:健康管理とストレスコントロール	貴女自身のストレスコントロール方法を考える。
8:医療事故の実例と防止対策	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関で実際に起こる事故について考える。
9:情報管理 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	医療に関する情報を収集して、要点をまとめる。
10:医療情報の理解	医療情報にはどのような物があるか考える。
11:医療文書の知識	診療情報提供書を作成する。
12:医薬品の基礎知識① 医薬品の定義、医薬品の種類、医薬品の名称	身近な医薬品からその名称や種類を調べ、まとめる。
13:医薬品の基礎知識② 薬価基準表の見方、薬の剤形、薬の投与方法	身近な医薬品から剤形、投与方法を調べ、まとめる。
14:薬物治療の概要 薬の作用と適用	身近な医薬品から効能などを調べ、まとめる。 今までの配布資料などを見て、まとめる。
15:まとめ、医療機関の現状と今後の課題	医療機関で働くうえで必要とされる心得をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 現代医療秘書　役割と実務　　中村健壽監修　西文社　￥2，000＋税
2. 医療機器安全実践必携ガイド　医療概論編　一般社団法人　日本医療機器学会
3. 配布プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定に係わるレポート提出(40%)　2. 通常授業の提出物(45%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. 授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療秘書実務	LP42205	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療秘書して社会で貢献するために、医療秘書の役割や使命を理解し、常に新しい知識や技能を取得に意欲を持ち、医療現場で一人一人に応じた援助する力が力が必要となります。患者への感じの良い接遇を見につけ、院内で時・場所・機会に応じた医療秘書の業務が行えるようになることを目的とします。本講義では、医療機関における医療秘書の仕事内容や役割、求められる資質・能力についてまず学びます。次に医療機関での身だしなみ、接遇や電話応対、受付・会計業務、環境整備などについて学びます。グループワークやペアワークなどを行い、自分の理解度を明確にすることができます。

Ⅲ. 学習成果

1.医療秘書の役割・業務内容を理解し、説明することができる。
2.医療秘書に関する基本知識や技能を修得し、実践できる。
3.医療機関での接遇(身だしなみ、マナー、適切な言葉遣いなど)を理解し、患者や医師、職員の方に相応しい対応ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション:(授業の進め方・評価方法) 医療秘書の定義、仕事内容と役割、求められる資質・能力について	シラバスの内容を事前に確認しておく。該当ページを読んでおく。 医療秘書の仕事内容、求められる資質・能力について、整理する。
2:医療現場での基本的マナー① 挨拶の重要性と職場の人間関係／患者、スタッフ間のコミュニケーション	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者・スタッフ間のコミュニケーションに必要なことを考える。
3:医療現場での基本的マナー② 就業中のマナー、身だしなみ、挨拶、立ち居振る舞い	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 医療秘書として適切な言葉遣いを考える。
4:敬語、指示と報告	仕事の指示の受け方と報告の仕方を考える。 敬語の問題プリントに解答する。
5:接遇①:医師のサポート　来客応対 接遇の基本と実際　　案内・茶菓接待	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 来客応対について授業内容を復習し、練習する。
6:接遇②:患者応対の心構えと窓口業務	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者応対の流れについてポイントを整理する。
7:接遇③:患者応対会計業務　　◆小テスト実施 ロールプレイングとケーススタディ	小テストに向けて、準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
8:接遇④:様々な患者への対応 グループワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 様々な患者への対応のポイントを整理する。
9:電話応対①　電話の基本・患者応対 ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 基本的な電話応対についての流れを確認する。
10:電話応対②患者の家族、院内での電話応対 ペアワーク・ロールブレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者の家族・院内の電話応対のポイントを整理し、練習する。
11:接遇・電話応対:クレーム対応 クレーム対応の基本と実習　　◆小テスト実施	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者役をするためのクレーム内容を考えておく。
12:文書処理 医療機関における文書、文書作成、文書の受発信	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 文書作成の課題を行う。
13:情報の管理　　◆実技テスト 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	実技テストに向けて、練習する。 実技テストを振り返り、良かった点、改善点を整理する。
14:医師のスケジュール管理と出張業務 スケジュール表の作成と管理、出張に伴う業務	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 医局のスケジュール表を作成する。
15:慶弔・贈答	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 15回の授業を復習し、単位認定試験に向けて学習する。

＊準備学習についての補足説明

予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してきてください。テキストの該当ページは授業時に指定します。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。

小テストで間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて確実に理解するようにしてください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「現代医療秘書　役割と実務」 中村健壽 監修(西文社) 2,000円(税別)
　　2.「現代医療秘書　ワークブック」 中村健壽　監修(西文社) 1,700円(税別)

参考図書:医療事務職員のためのコミュニケーション・スキル　中村健壽　監修1, 800円(税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(筆記試験)　50%　2.実技試験(窓口応対)20%
3.授業への取り組み(積極性、挨拶・返事、発表、小テスト)20%　　4.レポート　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
2.実技テスト(第13回実施)については、第10回の授業時に内容等について説明します。3.レポートについては第10回授業時に内容等について説明します。
4.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。
5.講義、ワーク問題確認後、ペア・グループワークのロールプレイを行い、医療秘書・医療事務として感じがよく、適切な対応について実践できる力を積上げていきます。授業で身につけたことを学校生活や就職後に活かしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Excel演習	LP50201	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般(表作成、関数の理解と使用、テーブルの作成とデータの検索、種々の書式設定、種々のグラフ作成)をマスターし、見た目にもわかりやすい数表やグラフを作成できるようにする。

Ⅲ. 学習成果

Excelの基本オプションの設定や印刷の為の諸設定ができるようにする。
表計算ソフトの基本機能--データの入力、集計、検索、グラフ作成などが、完全にできるようにする。
Excelで使う数式の作成や、主要な関数の意味を理解し、適切に使用できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ワークシートとブックの作成	教科書1-1、1-2の内容の復習
2: ワークシートとブックの書式設定と入力規則の設定	教科書1-3の内容の復習
3: ワークシートやブックのオプション設定とカスタマイズ	教科書1-4の内容(～P69まで)の復習
4: マクロの記録と保存	教科書1-4(P70～P76)マクロの復習
5: 印刷設定と印刷のためのワークシートとブックの設定	教科書1-5の内容の復習
6: データの挿入と書式設定	教科書2-1、2-2の内容の復習
7: 条件付き書式、スパークライン、データの並び替え、アウトライン設定、テーブルの作成と設定、抽出・並び替え	教科書2-3、3-1、3-2、3-3の内容の復習
8: 数式の作成(四則演算、基本関数、絶対参照)	教科書4-1、4-2の内容の復習
9: 論理関数(IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF)	教科書4-3の内容の復習
10: 文字列関数(UPPER、LOWER、LEFT、RIGHT、MID、TRIM、CONCATENATE)	教科書4-4の内容の復習
11: VLOOKUP関数	VLOOKUP関数の復習
12: 関数ネスト(IF、VLOOKUP)、RANK.EQ	IF、VLOOKUP、RANK.EQ関数の復習
13: グラフ作成	教科書5-1の内容の復習
14: オブジェクト(画像、図形、SmartArt等)の作成	教科書5-2の内容の復習
15: 【プレゼンテーション】ポスター又はカレンダーを作成し、どのようなテクニックを使ったかクラスで披露し解説する。	作成するポスターやカレンダーについて、教科書を参照し、事前にある程度考えておく。

＊準備学習についての補足説明
授業中で理解が不十分な内容があれば、居残り、又は、空き時間に、同じPC室で練習する事。 長くても、1時間程度で完了できると思われる。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.FOM出版　Microsoft Excel 2013 対策テキスト& 問題集〈改訂版〉 ¥2,200(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出50%　 実技試験 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
授業で演習をした後、次回の授業の前に、復習をしておく。また、教科書に載せられている各機能の解説を、予習としてよく読んでおく(授業時は、演習が中心なので、機能説明を授業時だけで完全に理解するのは、難しいことがある)。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word演習	LP50202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

課題の作成を通してWordの基礎から応用までを学びます。授業では4期開講のWord検定対策講座に繋ぐことができるようワープロ検定の内容も重視して授業を行います。また、Wordの文書作成機能以外の色々な便利な機能についても指導を行います。毎回、タイピング・入力練習を行う予定です。

Ⅲ. 学習成果

wordを使いこなせるようになります。Wordで正確なビジネス文書の作成ができるようになります。地図や組織図、表、チラシなど身の回りで役に立つ文書の作成ができるようになります。正確で速いタイピングのスキルが身につきます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容の説明・USBフラッシュメモリの使い方・便利なファイル操作の方法 タイピング練習①	授業終了時に課題について指示をする タイピング課題①(タイピング練習を行い結果を記録する)
2:Wordの基本操作①(文字入力・印刷) タイピング練習②	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題①印刷して提出
3:Wordの基本操作②(編集機能) タイピング練習③	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題②印刷して提出
4:色々な形式の文書の作成① タイピング練習④	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題③印刷して提出
5:ビジネス文書の作成方法 入力練習①	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題④印刷して提出
6:表作成の基礎 タイピング練習⑤	表作成の課題を完成して提出する
7:表作成に関する色々な機能と練習問題(検定問題・見積書) 入力練習②	表作成の課題(検定問題・見積書・)を完成して提出する
8:図形機能の基礎と図形を使った地図の作成(検定地図・色々な地図) タイピング練習⑥	地図の課題を完成して提出する
9:テキストボックスの利用方法(しりとりの作成) 入力練習③	しりとりの課題を完成して提出する
10:コピー機能の利用方法(領収書・連絡網) タイピング練習⑦	領収書・連絡網の課題を完成して提出する
11:授業11回目までのまとめ(復習問題②)・差し込み印刷・段組み 入力練習④	段組みの課題を完成して提出する
12:wordで図と絵を描く(SmartArt・シェイプアート) タイピング練習⑧	SmartArt・シェイプアートの課題を完成して提出する
13:wordとExcelを組み合わせて使う方法(カレンダーの作成) 入力練習⑤	カレンダーの課題を完成して提出する
14:試験内容の説明	試験問題をもう一度作成し提出する
15:課題集の作成	課題集は決められた期日までに必ず提出する

＊準備学習についての補足説明

課題は提出日の授業開始前までに提出してください。

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成の資料を毎回配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　50%　課題提出　50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題はチェック後、返却します。(返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。)

日本語ワープロ検定・MOSのword検定の受験を希望する学生はこの科目を履修しWordの基礎を身につけて欲しいと思います。

課題の提出・未提出は個人情報に配慮しつつ毎回表示しますので確認してください。(Google　classroomで提示する場合もあります)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファイナンシャルプランナーⅠ	LP50203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、ファイナンシャルプランニング技能士3級(日本FP協会主催)を取得することを目標とします。ライフプランニングから資産設計やリスクマネジメントまで幅広い知識を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

ファイナンシャルプランニング技能士3級程度の知識を身に付ける。また、お金に関する基本的な知識を身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ライフプランニングと資産形成① キャッシュフロー表(CHAPTER01)	予習:シラバスを読むこと 復習:指定された問題を解くこと
2:ライフプランニングと資産形成② 社会保険(CHAPTER01)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC8) 復習:指定された過去問題を解くこと
3:リスクマネジメント① 保険の基本、生命保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
4:リスクマネジメント② 損害保険、その他保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
5:金融資産運用① 金融・経済の基本(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
6:金融資産運用② 債権、投資信託(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
7:金融資産運用③ 金融商品(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC6～SEC9) 復習:指定された過去問題を解くこと
8:タックスプランニング① 所得税(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
9:タックスプランニング② その他税金(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC7) 復習:指定された過去問題を解くこと
10:不動産① 不動産の基本と取引(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
11:不動産② 不動産の税金(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
12:相続・事業承継① 相続(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
13:相続・事業承継② 贈与(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
14:総合問題① 学科問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること
15:総合問題② 実技問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること

＊準備学習についての補足説明

基本的には決められた範囲の教科書を読むこと。また、復習も重要なため、問題を解くこと。復習に関しては、日本FP協会の試験問題(過去問題)とする。準備学習の時間は60分程度を目安としています。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「みんなが欲しかった！FP3級の教科書2021-22年版」 滝澤ななみ　TAC出版　1,500円＋税

※毎年改定されるため、予習の範囲は授業内容のCHAPTERのセクション(SEC)で表記している

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)

学習の意欲(30%)　授業の参加態度による加点と私語などによる減点

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

問題の答えを配布するとともに、授業内で問題を解く時間を設ける。その際に、間違えた箇所などの質問に応じる。

受講者は、原則として1月の日本FP協会主催のFP3級を受検すること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ブライダル業務Ⅰ	LP43201	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

婚礼は人生の通過儀礼の中でも最も重要なものの一つであり、その儀礼には伝統、文化や“衣”“食”も深く関わっています。
更に近年では結婚式・披露宴が個性化、多様化し、結婚準備が非常に煩雑になっている事実を鑑みて正しくきちんとした基礎知識を学びます。

Ⅲ. 学習成果

1. 婚礼の歴史や成り立ち、業務を総合的に理解する。
2. 2018年度より国家資格となった《ブライダルコーディネート技能検定》の取得を目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Lesson1 結婚とは 第1章 結婚の定義～第2章 日本の結婚式:歴史と文化	テキストを読みノートをまとめる
2:Lesson1 結婚とは 第3章 欧米の結婚式:歴史と文化	テキストを読みノートをまとめる
3:Lesson2 ブライダルビジネス 第1章 ブライダルビジネス～第3章 ブライダル業種	テキストを読みノートをまとめる
4:Lesson2 ブライダルビジネス 第4章 ブライダル関連業種～第6章 ブライダル業界の1年と集客システム	テキストを読みノートをまとめる
5:Lessno3 ブライダルの基礎 第1章 見合いと婚約～第2章 結納・婚約式	テキストを読みノートをまとめる
6:Lesson3 ブライダルの基礎 第3章 ブライダル準備	テキストを読みノートをまとめる
7:Lesson3 ブライダルの基礎 第4章 キリスト教式	テキストを読みノートをまとめる
8:Lesson3 ブライダルの基礎 第5章 神前式	テキストを読みノートをまとめる
9:Lesson3 ブライダルの基礎 第6章 仏前式～第8章 シビルマリッジ	テキストを読みノートをまとめる
10:Lesson3 ブライダルの基礎 第9章 披露宴	テキストを読みノートをまとめる
11:Lesson3 ブライダルの基礎 第10章 海外ウェディングと新婚旅行～第12章 二次会	テキストを読みノートをまとめる
12:Lesson4 コーディネーター業務(新規～成約まで) 第1章 コーディネーター業務とは	テキストを読みノートをまとめる
13:Lesson4 コーディネーター業務(新規～成約まで) 第2章 新規業務	テキストを読みノートをまとめる
14:Lesson4 コーディネーター業務(新規～成約まで) 第3章 ブライダルセールスの特徴～第4章 ホスピタリティ営業	テキストを読みノートをまとめる
15:Lesson4 コーディネーター業務(新規～成約まで) 第5章 プランニング～第6章 プレゼンテーションの手法	テキストを読みノートをまとめる

＊準備学習についての補足説明
テキストには日頃あまり使わない漢字が多くあるので、読みや意味は事前に調べておきましょう。(毎回30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

BIA(公社)日本ブライダル文化振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード》

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%
レポート　30%
学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:レポートについては、基本的には個別に応答します。内容によっては全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:始礼終礼、自己紹介、テキストの音読があります。
「実務経験教員科目特記事項」:現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ブライダル業務Ⅱ	LP43202	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

婚礼は人生の通過儀礼の中でも最も重要なものの一つであり、その儀礼には伝統、文化や“衣”“食”も深く関わっています。
更に近年では結婚式・披露宴が個性化、多様化し、結婚準備が非常に煩雑になっている事実を鑑みて正しくきちんとした基礎知識を学びます。

Ⅲ. 学習成果

1. 婚礼の歴史や成り立ち、業務を総合的に理解する。
2. 2018年度より国家資格となった《ブライダルコーディネート技能検定》の取得を目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Lesson4　コーディネーター業務(新規～成約) 第7章　新規アフターフォロー～第9章　ペーパーワーク	テキストを読みノートをまとめる
2:Lesson5　打合せ業務 第1章　成約時から初回打合せまで～第2章　成約後の第1回打合せ	テキストを読みノートをまとめる
3:Lesson5　打合せ業務 第3章　成約後の第2回打合せ～第4章　成約後の第3回打合せ～当日まで	テキストを読みノートをまとめる
4:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章　コーディネート～第2章　衣装選定	テキストを読みノートをまとめる
5:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第2章　衣装選定～第4章　ヘアメイク、ネイルアート	テキストを読みノートをまとめる
6:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第5章　会場コーディネート～第7章　ペーパーアイテム	テキストを読みノートをまとめる
7:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第8章　料理・飲物	テキストを読みノートをまとめる
8:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第9章　披露宴の基本演出～第10章　披露宴の演出プラン	テキストを読みノートをまとめる
9:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第11章　引出物・引菓子～第12章　記録・記念アイテム	テキストを読みノートをまとめる
10:Lesson7　手配業務 第1章　ペーパーアイテムの手配	テキストを読みノートをまとめる
11:Lesson7　手配業務 第2章　衣装、ヘアメイク、着付けの手配～第3章　挙式・披露宴の演出手配	テキストを読みノートをまとめる
12:Lesson7　手配業務 第4章　引出物・引菓子の手配～第6章　装花の手配	テキストを読みノートをまとめる
13:Lesson8　当日業務 第1章　結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割～第3章　当日のアテンド(介添え)業務	テキストを読みノートをまとめる
14:Lesson8　当日業務 第4章　テーブルセッティング～第6章　花の管理と出回り時期	テキストを読みノートをまとめる
15:まとめ 過去問題でのABC検定模擬試験	テキストを読みノートをまとめる

＊準備学習についての補足説明
テキストには日頃あまり使わない漢字が多くあるので、読みや意味は事前に調べておきましょう。(毎回30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

BIA(公社)日本ブライダル文化振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード》

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%
レポート　30%
学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:レポートについては、基本的には個別に応答します。内容によっては全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:始礼終礼、自己紹介、テキストの音読があります。
「実務経験教員科目特記事項」:現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ホテルビジネス概論	LP44201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光産業の市場概況を理解し、宿泊産業の歴史、国内外のホテル業界の動向、ホテル経営の課題等、最新の情報をもとに幅広く学んでいきます。
また、ホテル産業における宿泊・料飲・宴会(ブライダル含む)・調理部門の業務内容についても学びます。
ホテルビジネス実務検定試験(H検)のベーシックレベル2級の取得を目指した授業内容でもあります。

Ⅲ. 学習成果

・宿泊産業の歴史、ホテル業界についての基礎知識を修得し、説明ができる
・ホテルの各部門の業務内容を理解し、説明ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス	観光・ホテル専門誌やニュースで情報を収集し、まとめる
2: 世界と日本の観光動向 グループワーク　Withコロナ時代の「観光」について	観光・ホテル専門誌やニュースで情報を収集し、まとめる
3: 世界と日本の宿泊産業の歴史	宿泊産業の発達史に関する課題
4: 身近なホテル業界(福岡) グループワーク　福岡市内のホテルについて	自分が泊まってみたい福岡のホテルについて調べる
5: ホテル産業の概要(定義、分類、組織)	ホテル組織の特徴に関する課題
6: ホテルで働く者として必要な基本知識(国際的な慣習) グループワーク　異文化理解について	国際的なルールであるプロトコールについて調べる
7: ホテル英語	テキストにある「ホテル基本会話」「セクション専門会話」の表現を覚えてくる
8: 宿泊部門の概要 宿泊商品の特性、組織と業務役割	宿泊部門の組織や仕事に関する課題
9: 宿泊部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	宿泊部門の組織や仕事に関する課題
10: 料飲部門の概要 料飲商品の特性、組織と業務役割	料飲部門の組織や仕事に関する課題
11: 料飲部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	料飲部門の組織や仕事に関する課題
12: 宴会部門の概要 宴会商品の特性、組織と業務役割	宴会部門の組織や仕事に関する課題
13: 宴会部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	宴会部門の組織や仕事に関する課題
14: 調理部門の概要 調理商品の特性、組織と業務役割	調理部門の組織や仕事に関する課題
15: 調理部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	調理部門の組織や仕事に関する課題

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%(指定教科書の宿泊・料飲・宴会・調理部門から出題)
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
観光ビジネス論	LP44202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光は、現代人の生活になくてはならないものである。また、地域の活性化や雇用をもたらす産業としても注目されている。
本講義では、21世紀のリーディング産業のひとつである「観光」の基本的な概念について学び、現代社会におけるより良い観光のあり方について考える。

Ⅲ. 学習成果

観光の現代的意味を説明できる。
観光の現状、観光対象と観光資源、観光振興について学び、観光が内包する課題に対して、自分の考えを表現できる。
インバウンドについて学び、観光と国際経済の関わり、観光と国際社会・文化の関わりについて説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:観光の意味と現代的意義 観光と言う社会現象について研究する	「観光」に関して、解決すべき問題があるか、考える。 テキストP38セルフチェックの問題を解く。
2:観光が人間にもたらす効果 観光の経済効果	観光消費の地域波及効果の具体例を考える。 テキストP12-P18を読んでP21の問題を解く。
3:観光を構成する要素 観光者・観光対象・観光者と観光対象を結ぶモノやコト	観光者と観光対象を結ぶもので、特に重要なものは何か考える。テキストP40-P48を読んでP51①⑤の問題を解く。
4:観光資源と観光対象 観光対象の特徴	自分の身の回りの「観光資源」を考える。 テキストP54-P62を読んでP66の問題を解く。
5:観光資源と保護 エコツーリズム	エコ・ツーリズムについての情報を調べる。 テキストP64-P65,P264-P265を読んでP273⑦の問題を解く。
6:様々なツーリズム マスツーリズムからサスティナブル・ツーリズムへ	「サスティナブル・ツーリズム」の考え方が出てきた背景について考える。テキストP259-P272を読んでP273⑥⑧の問題を解く。
7:観光振興 開発と保護	「観光まちづくり」とはどのようなことをいうのか考える。 テキストP45-P48を読んでP51⑦の問題を解く。
8:観光と旅行業 旅行業の役割	消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える。 テキストP92-P109を読んでP114の問題を解く。
9.観光地を調べる 調べた観光地を発表する(プレゼンテーション)	旅行会社のパンフレットを詳しく読む。 観光地の見どころについて整理する。
10:調べた観光地を発表する(プレゼンテーション) 他の発表者の内容について評価する	発表準備のために地図や写真を準備する。 プレゼンテーションのリハーサルをする。
11:観光と宿泊業 観光と運輸業	交通の発達が旅行者にもたらす影響、観光地にもたらす影響について考える。テキストP116-P169を読んでP172の問題を解く。
12:観光と情報 観光情報の媒体	観光客が求める観光情報をを考える。 テキストP194-P210を読んでP211の問題を解く。
13:観光の歴史 観光の発展の条件、阻害要因を考える	旅行が大衆化した要因について考える。 テキストP250-P254を読んでP273①④の問題を解く。
14:インバウンド(訪日外国人旅行) インバウンドと異文化理解	外国人旅行者への対応について考える。 テキストP276-P290を読んでP290の問題を解く。
15:観光業界の人材 ミニレポート	ホスピタリティとは何かを考え、自分がホスピタリティに接した経験をレポートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明
日頃から、新聞・テレビなどの観光関連の情報を収集する。
事前学習は毎回45分以上行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

使用教科書　観光学基礎(第8版)　JTB総合研究所　2300円(税込価格)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　プレゼンテーション(10%)　小テスト(毎回)(10%)　ミニレポート(10%)　学習の意欲(10%)
いねむり、私語、スマートフォン等の使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回実施する小テストでは、授業の内容を自分の言葉でまとめ、具体例などを自分で考えてもらいます。
小テストは翌週、返却・講評をします。
「実務経験教員科目」特記事項:旅行会社勤務経験あり　授業第1回より第15回まで、旅行業の実務経験から得た事例を紹介している。
第8回では、旅行会社の業務内容を詳細に学び、観光業界に必要な資質や知識について考えさせる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ホテルビジネス実務	LP44203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業ではホテルの各部門(特に宿泊・料飲・宴会)で必要とされるマインドとスキルについて学び、ロールプレイなど演習的な要素を取り入れながら理解を深めていきます。また、福岡市内のホテルや九州県内の温泉旅館にパートナー企業として協力を仰ぎ、各ホテル・旅館の施設・設備、商品プランを把握することで、今後ホテルに求められる商品を学生目線で企画・提案してまいります。

Ⅲ. 学習成果

・サービス業のやりがいと厳しさを学び、ホスピタリティ・マインドをもって行動ができる
・将来ホテルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 授業の進め方の説明、ホテルビジネス実務検定試験の案内	ホテル業界の企業について調べる
2: ホテル業界の企業研究 ホームページ、就職支援サイトなどを活用して企業研究を行う	企業研究シートを作成する
3: パートナー企業(ホテル・旅館)の紹介と選択	パートナー企業として希望するホテル・旅館について調べる
4: Withコロナ時代のホテルサービス グループワーク ホテルサービスの在り方を考える	ホテルにおけるコロナ対策の動画を参考にホテルサービスの在り方について自分の意見をまとめる
5: パートナー企業の客室・宿泊商品 客室の構造・眺望、客室の設備・備品	客室を紹介する資料を作成する
6: 宿泊部門の実務 心のこもった来客応対(お客様のお迎えからお見送りまで)	接客トレーニングに関する課題
7: パートナー企業のレストラン 料飲施設の種類・プラン・メニュー	レストランについて紹介する資料を作成する
8: 料飲部門の実務 レストラン＆バンケットサービス	接客トレーニングに関する課題
9: パートナー企業のウェディング・宴会・会議 挙式会場・披露宴会場、プラン	ウェディングについて紹介する資料を作成する
10: ブライダル実務 接客、打ち合わせ(スケジュール・招待状・商品案内・席次表・引き出物等)	ペーパーアイテムを作成する
11: 冠婚葬祭の基礎知識 知っておきたい伝統文化、年中行事・暦、慶事・弔事	冠婚葬祭に関する課題
12: 宴会部門の実務 グループワーク MICEのプランを考える	MICEプランを作成する
13: 和食のサービス 会席料理、箸の持ち方・お銚子の扱い方、日本の器	和食に関する課題
14: 九州の郷土料理	郷土料理のレシピから一つメニューを決め、料理を作る
15 温泉施設 ホテル・旅館での温泉マナー、入浴の心得、日本の温泉文化	温泉に関する課題

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありません。プリントなどの資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(企画書作成)50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
観光デザイン入門	LP44204	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

地域の特色を活かせる「観光」で地場産業や地域コミュニティを活性化していこうとする試みが全国各地で行われています。
本授業では、地域の新しい魅力を創造するための手法、「観光デザイン」についてまず学びます。
そして、地域の課題を解決するプロジェクトの企画・提案を行います。

Ⅲ. 学習成果

・観光を軸に地域社会の課題を発掘し、解決に向けた独創的なプロジェクトを創出することができる
・自ら地域の観光素材を発掘し、独自の観光デザインを描くことができる
・地域貢献につながる活動を計画・実行できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 観光デザインとは	福岡市の観光PR動画を視聴し、感想をまとめる
2: 日本の各地域が直面している社会課題と地域活性化の必要性 ディスカッション 「身近な社会課題」について	自分の住んでいる地域の社会課題をまとめる
3: 地域を変えるデザイン コミュニティが元気になるアイデアを紹介	地方創生政策アイデアの動画を視聴し、感想をまとめる
4: 地域の魅力を活かした観光デザインの事例	観光デザインの事例に関する課題
5: 地域データの収集① 地域経済分析システム(RESAS)、GoogleEarthの活用	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
6: 地域データの収集② 福岡市魅力紹介(福岡市のサイト)、福岡市観光統計	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
7: 地域の魅力と課題を見つける グループワーク 福岡市の観光SWOT分析	地域の魅力と課題をまとめる
8: 課題解決のフレームワーク① グループワーク ピラミッドチャートの作成	ピラミッドチャートを活用して、魅力と課題をまとめる
9: 課題解決のフレームワーク② グループワーク イメージマップの作成	イメージマップを活用して、アイデアをまとめてくる
10: 課題解決のフレームワーク③ グループワーク アイデアを整理し、検証する	ワークシートに企画をまとめる
11: フィールドワーク	フィールドワークで現地調査を行う
12: 企画書の作成 グループワーク タイトル、地域の魅力・課題、問題提起	担当する役割における作成の準備を進める
13: 企画書の作成 グループワーク アイデアの説明・実現方法と効果、結論	担当する役割における作成の準備を進める
14: 発表(プレゼンテーション)の準備 グループワーク 企画書の仕上げと発表練習	担当する役割における発表の準備を進める
15: 発表(プレゼンテーション)とまとめ	各グループの評価をまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成したプリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーション)50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・「観光デザイン演習」では、本授業で企画したプロジェクトを実行していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
観光英語	LP44205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
リチャード・カタラーノ		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

The students will learn a variety of different expressions in English related to travelling. 学生は旅行に関連する英語でさまざまな異なる表現を学びます。
They will be expected to come to every class, memorize conversations with intonation, and be active in class.
Active participation is required!

Ⅲ. 学習成果

Practice and remember vocabulary and conversational phrases. 語彙や会話のフレーズを練習して覚えてください。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Shopping English & Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
2: Shopping English 2	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
3: Restaurant and Food English & Shopping Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
4: Restaurant and Food English 2	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
5: Talking about the Past: Places & Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
6: Talking about the Past 2: Places	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
7: Practical English: At a Hotel & Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
8: Practical English: Making Plans	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
9: Practical English: Renting Things	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
10: Practical English: Visiting the Doctor	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
11: Practical English: Internet Café	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
12: Practical English: Asking for Help	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
13: Practical English: At the Tourist Information Desk	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
14: Practical English: At the Airport	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
15: Practical English: On an Airplane & Final vocabulary review	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

None

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Every lesson will have a Conversation Review Quiz and a Vocabulary Review Quiz. These will be 100% of the grade.
すべてのレッスンには、会話レビュークイズと語彙レビュークイズがあります。これらはグレードの100%になります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

We will review the previous lessons' quizzes in order to give feedback to each student. Students can reach me any time through Google Classroom.
各生徒にフィードバックを提供するために、前のレッスンのクイズを確認します。学生は、GoogleClassroomを通じていつでもインストラクターに連絡できます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
カラーコーディネート演習Ⅰ	LP45201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
亀井　哲治		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

身の回りに溢れている「色」というものが何か、様々な視点から捉えながら紐解いていく。その中で、色の持つ特性や組み合わせを理解し、ファッションやインテリアなど、生活の中にある色の効果的な色彩、配色の基礎を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色の性質や効果などの基礎知識を理解し、目的に合わせて配色できる。　AFT文科省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色とはなにか	色がなぜみえるのかについて
2: 光の性質と色	光の成分と可視光について
3: 眼のしくみ	反射など、光の特性について
4: 混色とは	色の見え方とその分類
5: 色の三属性	混色のしくみについて
6: 加法混色と減法混色	光の三原色と色料の三原色について
7: PCCSの色相環	色相と表記方法について
8: PCCSのトーン　色調のまとまりと分類	PCCSトーンの仕組みと表記ついて
9: 色調と色彩心理　色から受ける心理的効果	色の心理的効果について
10: 色の効果と錯覚　同化と混色	色の錯覚と同化と対比の違いについて
11: 色と視覚効果　様々な視覚効果と錯覚	具体的な色の錯覚や視覚効果例について
12: 色彩の調和　配色の手がかりとPCCSのカラーダイヤル	色相環を利用した配色方法の種類と分類について
13: 色調の調和　カラーダイヤルとトーン概念図	トーン概念図を用いた配色について
14: 配色の基本と色彩構成　配色の基本技法	配色の基本的な技法とその効果について
15: ファッションとインテリア	ファッションやインテリアにおける色の使われ方について

＊準備学習についての補足説明

準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。　参考図書:AFT文科省後援　色彩検定3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～15について出題) 45%、授業の課題、授業内で行う小テスト　45%、学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199b」を使用。ハサミ、のり、定規を準備すること。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルを持参。
授業中の私語、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点対象とする。
授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求める。また、理解度を確認するための小テストを行う。
授業で制作・提出された課題には、個別に色彩に対する理解度の確認とコメントを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファッションビジネス論	LP45202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
手嶋　康則		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・ファッションの歴史の変化からこれからのアパレル業界のあり方について理解する。
・洋服が出来上がるまでの企画・製造・販売の流れを学ぶ。
・アパレルショップに行き、ショップでは何が重要なのかを理解する。
・お客様に適した具体的な接客販売のスキルを習得する。

Ⅲ. 学習成果

1. アパレル業界のビジネスに関する知識を習得している。
2. アパレル企業の特徴を専門用語(ファッション用語)を使い説明することができる。
3. アパレルショップの接客販売に必要な知識と技術を習得している。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションビジネスについて **グループワーク: ファッションビジネスとは何か考える**	自分にとってファッションとは何かを考えてまとめておく
2: ファッションビジネスの歴史 **DVD鑑賞: 「ファッションビジネスの歴史」**	いろいろなファッションデザイナーについて調べる
3: アパレル業界の構造 **DVD鑑賞: 「アパレル業界の役割」**	いろいろなアパレル企業について調べる
4: アパレル業界の基礎知識Ⅰ 国内・海外のテキスタイル	テキスタイルに関する課題
5: アパレル業界の基礎知識Ⅱ **グループワーク: ネット資料の活用方法**	ファッションアイテムに関する課題
6: アパレル・マーチャンダイジングⅡ **DVD鑑賞: 「アパレル業界の役割」**	ファッションブランド関する課題
7: アパレル業界の課題 **DVD鑑賞: 「ファストファッションの裏側」**	DVDを観た感想文を書く
8: ファッション・マーケティング② **グループワーク: 「MY SHOP 自慢コンテスト」のプレゼンテーション**	プレゼンボードを作成する
9: ファッション・マーチャンダイジングについて **グループワーク: ショップの映像から問題点を考える**	ファッション・マーチャンダイジングの課題
10: 接客販売の基本 **DVD鑑賞: 「購買心理①」**	購買心理の特徴をまとめる
11: 接客販売の法則 **DVD鑑賞: 「購買心理②」**	購買心理の特徴をまとめる
12: 接客販売の実践 **グループワーク: ロールプレイング審査**	ロールプレイング審査の課題
13: 接客販売の応用 **DVD鑑賞: 「ロールプレイングのポイント」**	ファッションビジネスの10年後を考える
14: ファッションビジネスの今後について リアルとネットの融合	ファッションビジネスの10年後についてまとめる
15: ファッションビジネスの仕事　※アンケート実施 まとめ	試験範囲の復習

＊準備学習についての補足説明
教室外で予習と復習を合わせて毎回4時間程度の準備または学習をすること。
毎回課題を出します。課題は、ノートにまとめ最後の授業で提出することになります。

Ⅴ. 教科書・参考図書

オリエンテーションでテキスト(有料500円)を配布します。
参考図書:「ファッション販売」(発行所　アール・アイ・シー)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　50%
小テストの総合点　25%
プレゼンボードの作成　25%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

◇小テストのフィードバックは、授業の中で解答と解説を行います。また、提出されたレポートは採点評価後に返却します。
◈メンズ、レディス、服飾雑貨、アクセサリーのバイイングおよびショップ運営の経験を活かした実務・実践的指導をします。
※この授業計画は対面授業を前提としおり、遠隔授業に変更された場合はWeb授業に適した授業運営を考えています。
「実務経験教員科目」特記事項:メンズ、レディス、服飾雑貨・アクセサリーの企画およびショップ運営。国内外でのバイヤーを経験。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファッションコーディネート演習	LP45203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
金子　恭子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションはその人の生き方やライフスタイルの多様化で、様々な流行が見られる。自分らし装いの表現はT・P・Oを意識し、シルエット・色・素材などをバランスよく組み合わせ、統一したイメージを創り出すプレゼンテーション力が大切である。最近では、東京福岡ファッション業界のコレクションが地元でも開催され、トレンドをいち早く楽しむ事ができる。本授業では、日常着を通しての素材やシルエット、様々なファッションアイテムを理解し、コーディネートの楽しさを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

今季のファッショントレンドを意識しながら、コーディネートテクニックや基本素材などを詳しく理解させる。日常の服装で失敗しないための着回しの法則なども学ぶ。また、自分の好きなブランドや今季のカラー・シルエット・素材などを理解させる。
また、販売士3級に対応した問題にもトライする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションとコーディネーション	コーディネートの定義についてまとめる。
2: ファッションイメージの分類 (8大感性)	作製した8大感性表を次回提出
3: コーディネートテクニック (シルエット・ライン)	新しいファッションの様々なシルエットを見ておく。
4: 2021年ファッショントレンドについて	新しいシルエット・カラー・素材についてまとめる。
5: 素材について	素材の種類と繊維になるまでの過程をまとめる。
6: 基本素材について (天然繊維・化学繊維・その他)	基本素材のサンプルを添付し、実物に触れてみる。
7: 新素材と柄について	サンプルを添付し、実物に触れてみる。
8: ニットについて	織物とニットとの違いを考える。
9: サイズ表示の知識と品質表示の必要性	自分の服に添付されているサイズ表示や品質表示を調べておく。
10: 繊維製品の取扱い表示記号	自分の服の取扱い表示から、取扱い方を学ぶ。
11: トータルコーディネート (装身具・アクセサリー等)	トータルコーディネートをオケージョン別に組み立ててみる。
12: ネックウェア・ハンカチーフテクニック	コーディネートにスカーフを取り入れてみる。
13: 各自のコーディネートを発表、学生同士で批評会	他の学生のコーディネートから気付いた事やステキな部分等をまとめる。
14: 様々な服種の中から一点を選び詳しく調べる	ブランド製品とデザイナー製品の特徴や価格等の違いについてまとめる。
15: まとめ　　レポート内容について	課題のレポートを作成する。

＊準備学習についての補足説明
準備学習(50分)は次週提出。詳しくは授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　。 教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:コーディネートテクニック(文化出版局) ・販売士3級問題
スタイリングブック(グラフィック社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験はしない。 授業での試験問題(販売士3級問題)・課題(70%)・レポート(20%)・学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題はコメントをつけて返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファッション情報分析	LP45204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
曽根　ゆかり		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションビジネスにおいては、次シーズンのトレンドを予測し、お客様が期待している商品やサービスを提供し続けなければなりません。その為に、マーケットに発信されている数多くの情報収集・分析を行い、トレンドの変化や特徴を見定めることが重要です。本科目では、ファッショントレンドを分析する上でファッション情報の取り方やマーケット変化の読み方など、様々な手法を学んでいきます。そして、次シーズンのファッショントレンドを予測し、自ら施策立案が出来るようになります。

Ⅲ. 学習成果

・ファッションの情報収集や分析方法をつかって、ショップやブランドのトレンドが説明できる
・情報分析を根拠に、次シーズンのトレンド予測を自ら立案することができる
・ファッションビジネスにおいて、トレンドの重要性を理解し、施策に盛り込むことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション シラバスの確認・目標の設定・成績評価・課題取組などの説明	(予習)ファッション業界で希望する仕事、本講義で調査するファッションブランドを2つ(アパレル・ビューティー)選択しておく
2: 日本人のライフスタイルとファッショントレンドの変遷 時代ごとのファッションと私たちの生活との関わり	(復習)日本と海外の生活様式とファッショントレンド変化の年表をまとめる
3: ファッション要素とは カラー・アイテム・素材・シルエット・デザイン・テイストの基本	(復習)ファッション要素を整理し、学んだ専門用語を理解し暗記する
4: ファッション業界のトレンド情報発信 ファッション業界におけるトレンドの流れ	(復習)ファッション情報発信している企業・団体・発表時期を表にまとめる
5: 2022年　秋冬ファッショントレンド分析 ファッション業界・企業研究　：　トレンドキーワードと比較・検証	(予習)ファッション業界の情報源から2022年秋冬ファッショントレンドを調べる (復習)調査した内容を業界別・ブランド別にまとめ、傾向を理解する
6: 2022年　秋冬リアルファッショントレンド分析(市場調査) 市場調査　：　トレンドキーワードと対象者のリアルファッションを比較・検証	(予習)各自選択ブランドの対象顧客を市場で観察、ファションの実態を調査する (復習)市場調査でわかったことや気付いたことを整理し、ポイントをまとめる
7: 中間プレゼンテーション・ディスカッション 今秋ファッショントレンドの分析・まとめをグループで共有	(予習)2022年業界発信情報と市場調査の結果をビジュアルを活用して、パワーポイントで資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする
8: 情報をビジネスにする事例研究(学外授業・企業訪問) 市場の見方・生活へのに影響度　：　事例の共有	(予習)訪問する企業を事前リサーチを行い、担当者への質問を考えておく (復習)学習後の感想をまとめる
9: 未来を予測するマーケティングリサーチ 市場における消費者のニーズや意見・要望などの認識の重要性	(予習)2021年のヒット商品を3つ挙げ、何故ヒットしたか理由をまとめる
10: デジタルによるトレンド情報収集 デジタルマーケティングの基本を学ぶ	(復習)今のファッショントレンドをSNSを使って、情報収集し、今を予測する
11: 2022年ファッショントレンド分析ディスカッション チーム活動:ファッショントレンドの情報交換し、リアルファッショントレンドを発表	(予習)2022年春夏ファッショントレンドを分析し、予測をする
12: 2023年ファッショントレンドの予測(市場分析) チーム活動:これまで学んだ情報分析を行い、2023年ファッショントレンド予測	(復習)各自担当を決めて、調査・まとめを行う
13: 2023年ファッショントレンド情報ツール・発信方法の策定 チーム活動:情報発信ツールと発信方法のディスカッションとプレゼンテーション準備	(復習)配布する情報発信ツールと発信方法をまとめ、パワーポイントで資料を作成・レゼンテーションの準備をする
14: プレゼンテーション・ディスカッション 2020年春夏トレンド予測・販売計画のプレゼンテーションの実施	(復習)受講生のプレゼンテーションを聴き、評価・感想をまとめる
15: 未来を予測するということ・マーケティングの重要性 広い視点から未来のファッションを考える	(復習)ファッション情報分析まとめのA4レポート1枚以上で作成・提出する

＊準備学習についての補足説明
市場調査や課題作成に要する時間は週に3～4時間は必要です。 課題は、期限までに出来上がってなければ評価の対象になりません。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しません。適時資料を配布します。各自、ファイリングをしてください。
・参考図書:ファッションビジネス能力検定試験テキスト

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・調査・レポート(40%)、プレゼンテーション(30%)、修了試験(20%)、学習の意欲(10%)
・学習意欲として、提出物内容や受講態度も評価に反映します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・ノートと筆記具が持参してください。・座席指定をします。・学外授業を予定しています。
・プレゼンテーションのためのパワーポイントでの資料作成・USBメモリーが必要です。
・情報収集において、各種ファッション雑誌、業界レポート等の準備が必要となります。
・予習、復習の配布シートは提出して頂きます。質問については、コメントを添えて返却します。
「実務経験教員科目」特記事項:百貨店でのバイヤー、MD,店舗プランニング経験あり。実務経験に基づき各回の授業を行っています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
カラーコーディネート演習Ⅱ	LP45205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
亀井　哲治		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

様々な場面でそれぞれに合う色を選択しようとする場合、色の持つ性質を理解していれば、より効果的に配色することができる。
本演習では、配色カードを用いた実演とともに、色の特性や調和理論といった色彩学を応用、実践的なカラーコーディネートを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色彩学を応用し、様々なシーンにおいてカラーコーディネート出来る。
AFT文科省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色相環とトーン概念図	2期授業内容を振り返る
2: 色相をもとにした配色	色相環と配色方法について
3: トーンをもとにした配色	トーン概念図と配色方法について
4: 色彩調和と配色技法	論理的調和と様々な配色
5: 配色と分割	色相環の分割方法について
6: 配色とイメージ	配色によるイメージの違いについて
7: パーソナルカラーと色彩調和	パーソナルカラーのしくみについて
8: パーソナルカラーとフォーシーズン	フォーシーズンカラーの成り立ちについて
9: パーソナルアイデンティティ	肌・髪・瞳の色について
10: 似合う色の客観性	色の様々な対比と反射の影響について
11: 似合う色、似合わない色の影響	色の見え方による効果について
12: フォーシーズンカラー(春・秋)	イエローベースの色素傾向について
13: フォーシーズンカラー(夏・冬)	ブルーベースの色素傾向について
14: フォーディレクション	フォーシーズンカラーのまとめ方について
15: パーソナルカラーの実践	グループに分かれ、お互いにパーソナルカラー診断し 診断結果についてディスカッションを行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文科省後援　色彩検定3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～14について出題)45%、授業の課題、授業内での小テスト　45%、学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、コメントをつけて返却します。
「新配色カード199b」を使用。ハサミ、のり、定規を準備すること。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルを持参。
授業中の私語、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点対象とする。
授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求める。授業で制作・提出された課題には、個別に色彩に対する理解度の確認とコメントを行う。
※2期にカラーコーディネート演習Ⅰを受講していること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
美容芸術演習A	LP45206	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
寺﨑　可那子		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

メイクアップとは顔に単純に色をのせるものではなく、又、表面的な特徴だけを見て色付けするものではありません 。
顔の骨格や筋肉を考え、印象をつかさどるカテゴリー(形・サイズ・色・質感等)を理解しそれぞれの顔に合ったメイクについて考える。

Ⅲ. 学習成果

メイクの基本的な知識、さらに目的やテーマに合ったメイクバリエーションの修得

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 肌について(皮膚の構造、仕組みなど)	肌について(皮膚の構造、仕組みなど)授業で学んだ事をまとめる
2: スキンケア (クレンジング・化粧水・クリームの種類、選び方、使い方)	スキンケアの注意点をまとめる
3: ベースメイク (ファンデーションの種類、選び方、使い方)	ベースメイクについてまとめる
4: アイメイク (色の入れ方、ブラシの使い方)	アイメイクについてまとめる
5: アイブロウ(眉) (眉の形、描き方)	アイブロウについてまとめる
6: チーク (色の入れ方、ブラシの使い方)	チークの入れ方についてまとめる
7: リップ (ブラシの使い方)	リップブラシの使い方についてまとめる
8: フルメイク	フルメイク復習
9: ソフトメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	ソフトメイク基礎についてまとめる
10: シャープメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	シャープメイク基礎についてまとめる
11: ソフトメイク応用 (色味による印象操作)	ソフトメイク応用についてまとめる
12: シャープメイク応用 (色味による印象操作)	シャープメイク応用についてまとめる
13: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
14: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
15: 実技チェック	総合メイクについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

TonyTanaka's Make-up　TEXT

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実技チェック(50%)、学習意欲(50%)【上手い下手ではなく、積極的な姿勢で授業に取り組んでいるかという点】

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内でコメントを提示する

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
マーケティング論	LP51201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

マーケティング論は応用範囲の広い学問で、企業のみならず、自治体や病院等でも活用されている。本講座では営利会社に注目しつつ、「売れる仕組み」について幅広く学習する予定である。また従来型の講義形式を中心とした授業ではなく、グループワークを主体とした授業展開を考えており、マーケティング論の基礎的考え方を押さえつつ、日常生活で行われている企業活動に着目し、各企業はどのように皆さんたちに「後一つ」商品やサービスを購入してもらうために努力しているのかについて多くの具体例を提供する予定である。自分の頭で考え、アウトプットを行い、全体で情報をシェアしながら講義を進める。

Ⅲ. 学習成果

①マーケティングの基礎的な考え(差別化、ポジショニング等)を理解する。
②企業が行っている様々な努力を浮き彫りにし、自分であればそれをどう活用するのかについてグループワークを通して理解を深められる。
③サービス業全盛の時代におけるマーケティングの在り方について理解し、3期から始まる各メジャーの学びに備える。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:教科書のはじめにを読むこと
2: マーケティングとは ブランディングの重要性	予習:教科書第1章を読むこと 復習:身近なブランディングの事例を考えておく。
3: 自分たちの強みを見つける	予習:教科書第2章を読むこと 復習:自分が好きなブランドの強みを考えておく
4: 顧客の本音を探す① マーケティング・リサーチ	予習:教科書第3章を読むこと 復習:顧客の本音を知るためにすべきことを考えておく
5: 顧客の本音を探す② ビデオ学習	予習:ペルソナについて調べてみる 復習:ターゲッティングについて調べてみる
6: 競合との最大の違いはなにか① 課題1の提示	予習:教科書第4章を読むこと 復習:差別化の事例を集めておくこと
7: 競合との最大の違いはなにか② グループワークの実施	予習:ポジショニングの事例を集めておくこと 復習:課題1に取り組む
8: 価値あるブランドについて①	予習:教科書第5章を読むこと 復習:自分が好きなブランドについて調べてみる
9: 価値あるブランドについて② ビデオ学習	予習:自分が好きなブランドの「らしさ」を検討してみる 復習:自分がなぜそのブランドが好きなのか、もう一度考えてみる
10: ブランディングの要素について① 課題2の提示	予習:教科書第6章を読むこと 復習:課題2に取り組む
11: ブランディングの要素について② グループワークの実施	予習:課題2を完成させる 復習:グループワークの仕方を再度調べる
12: 成功が続くブランドの育て方① 課題3の提示	予習:教科書第7章を読む 復習:課題3に取り組む
13: 成功が続くブランドの育て方② ビデオ学習	予習:課題3に取り組む 復習:課題3に取り組む
14: 成功が続くブランドの育て方③ グループワーク	予習:課題3に取り組む 復習:課題3を仕上げる
15: まとめ	予習:課題3について再度検討する 復習:第1～14回を振り返り、3期以降の学びに備えること。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　ブランディングが9割　青春出版社　乙幡　満男著
参考書「マーケティング入門」 日本経済新聞社　小川孔輔著
「企業を高めるブランド戦略」 講談社　田中洋著
「現代広告論」 有斐閣　岸志津江他著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出3回　30%(10%、10%、10%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験を実施する。上記の課題等を含めて総合的に評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Google Classroomについては、主として授業外学習の促進のために使用する。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科：	ライフプランニング総合学科	学年：	1年
英会話	LP51202	開講時期：	3期		
		形態：	演習	単位：	1単位
		履修方法：	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
マーク・トンプソン		履修要件他：			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目：	○	実務経験教員科目：	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している ○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English as it relates to situations where English is used.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will b
2:7.1 Breakfast, lunch, dinner and "I like Chinese food!"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
3:7.2 Meals and Favorite food	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
4:8.1 Around town and "How do I get to...?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
5:8.2 Fun in the city and A great place to visit	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
6:9.1 "I'm looking for you." and "I can't talk right now."	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
7:9.2 These days and "What's new?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
8:10.1 Lost weekend and "You're kidding!"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
9:10.2 "Did you make dinner?" and "I saw a great movie."	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
10:11.1 "Where were you?" and "That's great!"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
11:11.2 My vacation and Travel experiences	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
12:12.1 I'm going to get married." and "Sure. I'd love to."	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
13:12.2 Planning a party and Birthdays	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
14: Special activities.	The special activities will be explained in class.
15: Review	Review lesson content.

＊準備学習についての補足説明
Always remember to bring a pencil case, your textbook, and, if possible, an English/Japanese dictionary or an electronic dictionary.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2nd Ed. 1B Student Book with Online Self-Study (Cambridje U.P.)　ISBN: 9781108649360

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
人間環境心理学	LP51203	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
脇浜　幸則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，人を取り巻く環境と人の行動，発達や心理との関連について幅広く学習することを目的としている。心理学的な観点から自身の行動や他者との関係性について理解を深めることは，これまでの対人関係が大きく変化する短大生にとって役立つと考えられる。そのため，本講義においては，日常生活の場面を取り上げつつ，環境と自身の行動の関係を理解するのに役立つ学びを得ることを目指す。本講義ではこの目的を達成するため，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における自身の行動について，環境との関連という観点から，心理学的な用語を用いて説明ができる。
・日常に潜む「障害」や社会的障壁に気付き，行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学についての説明，自己紹介ワーク	心理学について学んでみたいことを考える。 環境や社会とのあり方から「自己」について考える。
2: 「自己」と「発達」について	自己に関するワークシートの作成，振り返り
3: 対人魅力について	これまでの経験と対人魅力の関係について振り返る。 必要に応じてワークシートの作成。
4: 二者関係の親密化過程について	他者との関係とのあり方や，二者関係が親密化する過程について考える。
5: 原因帰属について	自身の中の原因帰属の傾向を知る。 原因帰属に関するワークシートの作成。
6: バイアスについて	自身の中にあるバイアスや自動思考に気づく。
7: 認知スタイルについて	自身の認知スタイルを振り返り，考えたことをまとめる。
8: 判断と意思決定	自身の判断や意思決定と，他者の存在の関係についてまとめる。
9: 他者の存在や行動が自身の行動に及ぼす影響	授業を通して考えたことについて振り返り，まとめる。 中間ワークシートの作成。
10: 集団意思決定について	集団の決定と，集団の中での自己の意思決定についてまとめる。
11: 集団内における個人のパフォーマンスについて	集団内にいる自身のパフォーマンスが変化したと思われる例についてまとめる。
12: リーダーシップ理論	リーダーシップに関する論文の抄読。
13: 「障害」と「合理的配慮」について	身の回りにある「障害」について考える。 実際の事例から考えられる合理的配慮についての考えをまとめる。
14: 心理学に関する論文抄読 グループごとに，論文を一つ選択し，その内容について理解を深める。	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる。 論文を選択し，その内容を理解する。
15: 心理学に関する論文抄読　発表，ディスカッション 選択した論文の内容をまとめ，グループごとに発表する。	論文の内容をまとめ，グループとして発表する。 他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習についての補足説明
14回目，および15回目はディスカッションやプレゼンテーションを行うことを想定している。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
グループ・プロセス	LP51204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義では、まず、対人的コミュニケーションの基本的な特性を押さえた上でノンバーバルコミュニケーションの役割について学ぶ。
次に、私たちが誰でも陥りやすい対人関係の躓きや不適応について、ケース研究を通して学び、より効果的な支援のあり方について学習し身につける。
さらに、グループ・ワークを経験することによって様々な態度の多様性に気づき、お互いの立場の相違を意識しつつも受容しながら、グループとしての
コンセンサスを得る方法について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1　対人的コミュニケーションにおいてノンバーバル・コミュニケーションが話す役割について説明できる
2　対人関係の躓きや不適応を、これまでとは違った視点から捉え、効果的に支援する方法を学び身につける
3　グループ・ワークにおけるコンセンサスの学習内容を活かして、自分も相手も尊重する話し合いのスキルを身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:コミュニケーションのチャネルと危険なコミュニケーションについて	コミュニケーションのチャネルについてまとめる
2:お互いを知るエクササイズ(構成的グループ・エンカウンター)	構成的グループ・エンカウンターのエクササイズについて振り返り表に記入する
3:不適応に対する支援　ケース研究①　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
4:不適応に対する支援　ケース研究②　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
5:不適応に対する支援　ケース研究③　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
6:コンセンサス実習①　正解のあるグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
7:コンセンサス実習②　正解のあるグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
8:様々な心の特徴を知る①　質問紙法	心理テスト結果について振り返り表に記入する
9:様々な心の特徴を知る②　交流分析	交流分析について学んだ内容をまとめる
10:コンセンサス実習③　正解のないグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
11:様々な心の特徴を知る③　描画法	心理テスト結果について振り返り表に記入する
12:様々な心の特徴を知る④　得意分野を探る	心理テスト結果について振り返り表に記入する
13:共感的理解について考える①　グループ・ワーク	共感的理解について自らの経験を振り返りまとめる
14:共感的理解について考える②	共感、同情、同意の違いについてまとめる
15:まとめ	本講義内容について総復習し、試験に向けた学習を行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 60%　各授業後の振り返り表 20%　学習の意欲 20%
グループ・ワークおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本講義は「ピアヘルパー」認定資格取得に役立つ内容である。
多様なグループ・ワークや意見交換の場が準備されているため、積極的参加が求められる。
各時間の学習内容について振り返り表に記入した内容に関しては、教員が授業中にフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ピアサポート	LP51205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本演習は、『ピアヘルパー』認定資格取得のために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。『ピアヘルパー』は、直訳すれば「仲間を助ける人」であり、自分と自分の身近な人々の日常的なサポートに活かせる資格である。本演習では、心理学の理論と方法に基づいて適切な自己表現の仕方や友人の悩みに聞き方についてきちんと学習することで、自らのスキルアップをはかるとともに身近な人々をサポートする力を養う。

Ⅲ. 学習成果

1　カウンセリングの諸理論について基礎的な内容を説明できる
2　ヘルピングに必要な言語的技法および非言語的技法を説明できる
3　学んだ知識と技法を日常生活で適切に応用できる
4　ピアヘルパー認定試験に合格する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:構成的グループエンカウンターについて学ぶ	ピアヘルパーハンドブックのPp.10-15を読んで要点をまとめる
2:構成的グループエンカウンター・エクササイズ	実習後に振り返りレポートを作成する
3:カウンセリングの定義と略史	ピアヘルパーハンドブックのPp.16-21を読んで要点をまとめる
4:カウンセリングの種類	ピアヘルパーハンドブックのPp.22-26を読んで要点をまとめる
5:自己理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.24を読んで要点をまとめる
6:精神分析について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.25を読んで要点をまとめる
7:行動理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.26を読んで要点をまとめる
8:論理療法について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.27を読んで要点をまとめる
9:ピアヘルピングの関連領域とプロセス	ピアヘルパーハンドブックのPp.27-39を読んで要点をまとめる
10:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向	ピアヘルパーハンドブックのPp.40-50を読んで要点をまとめる
11:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向の確認	ピアヘルパーワークブックのPp.8-9に記入し復習する
12:ピアヘルピングの言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.52-60を読んで要点をまとめる
13:ピアヘルピングの言語的技法②	ピアヘルパーハンドブックのPp.60-64を読んで要点をまとめる
14:ピアヘルピングの非言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.65-70を読んで要点をまとめる
15:ピアヘルピングの非言語的技法②	ピアヘルパーワークブックのPp.41-42に記入し復習する
16:対話上の諸問題への対処法	ピアヘルパーハンドブックのPp.71-77を読んで要点をまとめる
17:問題への対処法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.78-84を読んで要点をまとめる
18:問題への対処法②	ピアヘルパーワークブックP.34を読んでそれぞれの違いを復習する
19:ピアヘルパーの心がまえとヘルピングスキルの上達法	ピアヘルパーハンドブックのPp.85-94を読んで要点をまとめる
20:ピアヘルパーの活動許容範囲と留意点	ピアヘルパーハンドブックのPp.98-103を読んで要点をまとめる
21:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　学業領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.104-109を読んで要点をまとめる
22:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅰ(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
23:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　進路領域　友人領域　グループ領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.110-127を読んで要点をまとめる
24:カウンセリングスキルのまとめ	ピアヘルパーワークドブックのPp.32-33に記入し復習する
25:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　関係修復領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.129-134を読んで要点をまとめる
26:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　心理領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.135-141を読んで要点をまとめる
27:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅱ(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
28:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅲ(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
29:ピアヘルパー認定試験直前総復習①	資格認定試験に向けてテキスト前半の復習を行う
30:ピアヘルパー認定試験直前総復習②	資格認定試験に向けてテキスト後半の復習を行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ピアヘルパーハンドブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税
ピアヘルパーワークブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

グループ実習後の振り返りレポート 10%　模擬試験結果 40%　ピアヘルパー認定試験受験 30%　学習の意欲 20%
テキストの読み合わせおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

複数回実施するピアヘルパー認定試験対策模擬試験では、全体の正答・誤答傾向のフィードバックを行った上で個人の誤答の確認と修正を行う。
さらに、個人の成績の変化もフィードバックする。
ピアヘルパー資格認定試験を必ず受験すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
フラワーアレンジメント	LP51207	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
石井　康子		履修要件他:	クリエイティブデザイン系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

花と暮らすことは心が和み、その空間はパッと華やぎます。授業では花を素敵に活けるための基礎知識を学び、季節、行事に合わせた作品を作ります。
テーマに合った植物での表現方法を学習します。植物と触れ合うことの楽しさ、そして想像力が培われます。

Ⅲ. 学習成果

「花を活ける」ことにより、日常の暮らしに笑顔と感謝の気持ちが培われます。 花を通して表現力を磨き、プレゼンテーション力を学習することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 必要な道具。水あげの基本。	(予習)テキストを読んで、確認する。
2: 花の扱いに慣れよう。 実習:スプレーバラを4通りにアレンジします。	(復習)4通りのうち気に入ったスタイルのアレンジを自宅でも再現する。
3: 大切な人に想いを伝えるフラワーギフトの贈り方の学習をする。 確認ワークをする。	(予習)テキストを読んで、花を贈る時のルールやマナーを確認する。
4: アレンジメントの基本の形について。花留めについて。 実習:花留めテクニックを習得する。	(復習)いろんな花留め方法を試す。
5: 吸水性スポンジの使い方。花材の挿し方。アレンジメント用語について。	(予習)アレンジメント用語を読む。
6: 実習:ハロウィーンの作品を作る。 ★作品について、プレゼンテーションをする。	(復習)作品の飾り方を検討する。
7: プリザーブドフラワーとはどのようなものかを学習する。 実習:プリザーブドフラワーのハーバリウムを作る。	(予習)作品テーマを考えてくる。
8: 実習:　吸水性スポンジを使い小さなアレンジメントを作る。 ★作品について、プレゼンテーションをする。	(復習)飾り方を検討する。
9: 季節の行事を花と緑で演出する方法について。 実習:秋色アジサイで作るクリスマスツリー。	(復習)クリスマスの演出方法を考える。
10: お正月について 実習:しめ縄を作る。	(復習)しめ縄の飾り方を確認する。
11: アレンジメントの基本三方見ファンスタイルについて。	(予習)テキストで飾る場所を学習する。
12: 実習:吸水性スポンジのカット。三方見ファンスタイルの作品を作る。	(復習)作品の飾り方を確認する。
13: アレンジメントの基本四方見ラウンドスタイルについて。	(予習)テキストで飾る場所を学習する。
14: 実習:吸水性スポンジのカット。四方見ラウンドスタイルの作品を作る。	(復習)作品の飾り方を確認する。
15: 実習:作品のテーマを決めて吸水性スポンジを使いアレンジメントを作る。 ★作品について、プレゼンテーションをする。	(予習)作品のテーマを考えてくる。

＊準備学習についての補足説明
予習については、事前にお知らせします。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

基本のフラワーアレンジ　森　美保　成美堂出版　¥1300＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

作品(60%)、学習意欲(20%)、確認ワーク(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・花の入荷状況により授業内容や順番が変更になる場合があります。
・授業で作った作品は、自宅に持ち帰りその後の管理を学習できます。

関 サービス系連系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
臨床心理学	LP51206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
脇浜　幸則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では，臨床心理学という観点から精神障害，発達障害を中心に理解を深める。また，授業では関連する諸理論も紹介するとともに，心理学的視点から障害のある人の気持ちや出会う社会的障壁に気づくことを目的とする。その中で，障害に関する理解を深め，共生社会実現のために，社会を構成する一員として自身にどのようなことができるか，考えることとする。なお，この授業では障害に関する基礎的知識の教授だけでなく，体験的動画の視聴に加え，それらに対して抱いた思いや感情などを，グループディスカッションを行う。

Ⅲ. 学習成果

・いくつかの精神障害や発達障害に関する基礎的な知識を習得しており，障害に関する正しい理解をすることができる。
・それぞれの精神障害や発達障害に関して，社会的障壁という視点から物事を捉え，その障壁の除去のために考えて行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学について，ワークを通じた心理学的現象の紹介	臨床心理学という視点から学んでみたいことを考える。
2: バーチャルハルシネーション 統合失調症の世界の体験的理解	統合失調症体験に関するミニレポートの作成。
3: 統合失調症に関する基礎的知識，治療	統合失調症に関するTEDトークの視聴。 統合失調症者が日常で出会う社会的障壁について考える。
4: 双極性障害に関する基礎知識，治療	双極性障害に関するTEDトークの視聴。 双極性障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
5: うつ病性障害に関する基礎的知識，治療	うつ病に関するTEDトークの視聴。 自身の落ち込みの状態と「うつ」の状態の違いについて考える。
6: 不安障害群に関する基礎的知識	不安障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
7: 強迫性障害に関する基礎的知識	強迫的行動の背景について考える。 強迫性障害者が日常生活でどのように困るかを考える。
8: 神経性拒食症，過食症に関する基礎的知識	自身のこれまでの「食」に関する体験を振り返る。
9: 心理療法に関する諸理論	心理療法に関する諸理論を自身でまとめ， どのような考え方があるかを理解する。
10: 心理査定，傾聴法に関する諸理論 ～傾聴法の体験とグループディスカッション～	自身の話の聞き方の癖を振りかえり，自身の考えをまとめる。
11: 発達障害に関する基礎的知識 ～ASDを中心に～	ASDに関するTEDトークの視聴。 ASDに対する自身の偏見や無意識的思いに気づく。
12: 発達障害に関する基礎的知識 ～ADHD・SLDを中心に～	ADHDに関するTEDトークの視聴。 ADHD者が修学場面・就労場面で出会う困りについて考える。
13: 「障害」の社会モデルについて ～「障害」に関するディスカッション～	自身の中での障害の捉え方を整理する。 社会モデルという視点からこれまでの授業を振り返る。
14: 日常に潜む社会的障壁について	これまで取り上げた障害のうち1つを選び，その障害がある人が どのような社会的障壁に出会うか，考える。
15: 合理的配慮について ～事例をもとに，考えられる合理的配慮についてのディスカッション～	精神障害，発達障害のある人に対する合理的配慮として，何が考えられるか， 自分の考えを整理する。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での特別な配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリア入門	LP46201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートを行う際に必要な基礎知識(人間工学・動線・心理特性・色彩計画)について学ぶ。
住宅各室に求められている機能を理解し、適切な家具のレイアウトについて学び、考えていく。

Ⅲ. 学習成果

1.人体寸法とインテリアや建物の関係を正しく理解する。
2.動線と部屋の使いやすさの関係を理解し、家具のレイアウトが行えるようになる。
3.カラースキームの基本を理解し、応用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(西洋と日本の違い)	気候や文化がインテリアに与える影響についてまとめる
2:インテリアの歴史(家具の歴史～素材と技術の進歩～)	現在使っている家具の素材について調べる
3:カラースキーム①(色の基本)	色の3要素についてまとめる
4:カラースキーム②(色の組み合わせ) イメージに合わせたカラースキームを行い、発表をする。	色の組み合わせの基本に従ってカラースキームを行い発表の準備をす
5:人間工学①(人体寸法と動作領域)	自分の人体寸法の概算値を計算する
6:人間工学②(家具への応用)	使いやすい家具のチェック項目に従って家具を調べる
7:人間工学③(家具の使用空間、単位空間)	家具の種類と人間の関わりについてまとめる
8:動作領域と動線	人の動きと住宅内での動きを調べる
9:心理特性と家具のレイアウト	様々な場所での家具のレイアウトをまとめる
10:感覚と知覚	錯覚(錯視)についてまとめる
11:室内環境(採光と照明、温熱環境)	体感温度について調べる
12:室内(通風と換気、音)	効率のいい換気を実験してみる　騒音の基準について調べる
13:居室の機能(公的空間) 公的空間(LDK)の家具のレイアウトを行い発表する	パブリック空間に求められる機能についてまとめる
14:居室の機能(私的空間) 私的空間(個室)の家具のレイアウトを行い発表する	プライベート空間に必要な家具のリストを作りレイアウトする
15:まとめ	マンションの間取り図に家具のレイアウトを行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うことが望ましい。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を授業中に配布する
参考図書:「インテリアの計画と設計」(彰国社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記の内容について、学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は、全体に対して講評を行い、個別にはコメントを渡す。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリア販売	LP46202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリア商品(家具・照明・インテリアファブリック・インテリアアクセサリ等)は多く私たちの周りにあふれており、容易に手に入れることが可能になってきました。
インテリア商品の基礎知識を学び、お客様に対して適切なアドバイスや提案ができることを目指して学びます。

Ⅲ. 学習成果

1.インテリア商品の種類を知る
2.インテリア商品の基礎知識を持つ
3コミュニケーションをとるための表現方法を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(インテリア商品とその流通について)	流通について身の回りの例を取り上げまとめる
2:商品知識　家具①(脚物家具)	自分の部屋にある家具リストを作成する
3:商品知識　家具②(箱物家具)	脚物家具・箱物家具の種類と特徴をまとめる
4:商品知識　窓装飾①(カーテン、シェード)	カーテンの部材の名称と役割についてまとめる
5:商品知識　窓装飾②(ブラインド　スクリーン)	ブラインドの特徴について調べる
6:商品知識　照明	光源の種類とその特徴についてまとめる
7:住宅設備①(キッチン)	キッチンのレイアウト例と住宅の広さについてまとめる
8:住宅設備②(バス、トイレ)	トイレ・洗面・浴室が求められる機能についてまとめる
9:インテリアアクセサリー①(インテリアグリーン、テーブルウェア・テーブルリネン)	テーブルコーディネートの例を挙げリネンの使い方をまとめる
10:インテリアアクセサリー②(スリーピングリネン、バスリネン)	自分の持っているスリーピングリネンについてまとめる
11:情報	情報の種類と販売の際に必要な情報についてまとめる
12:接客販売　グループワークにより接客の基本動作の確認を行う	接客の際に必要なマインドについてまとめる
13:ビジネスマナー	言葉使い(敬語)についてよく使う語句と場面についてまとめる
14:購買心理　自分の購買のパターンについて発表する	自分の購買行動について振り返る
15:まとめ	インテリア商品の販売時に必要な知識と技術についてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する
参考書:「リビングスタイリスト資格試験　公式テキスト」(社)日本ライフスタイル協会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の講評は全体に対して行う。個別にはコメントを渡す

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリア製図	LP46203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
大坂　志保子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

見本の住宅インテリア図面や模型を使って、製図の基礎を学びます。
また、家具の配置や住宅各所の寸法などインテリアプランニングの基礎を学び、自分で考えたプランを製図で表現します。

Ⅲ. 学習成果

1. 基本の住宅インテリア図面を理解し、描けるようになる。
2. 自分が置かれているインテリア環境を見直し、より住みやすくなるよう工夫することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:製図の基礎1 製図道具の使い方と線の引き方	広告・雑誌・PCなどを利用して、いろいろなタイプの住宅インテリアプランを比較する
2:製図の基礎2 基本となる寸法値・和室の観察	身近な住まい(自宅や友人・親戚宅など)を再確認する
3:平面図1 模型の平面図	自室の平面図(フリーハンド)を作成する
4:平面図2 模型の平面図に家具を配置	自室の平面図(フリーハンド)に家具を配置する
5:展開図1 模型の展開図(北・東面)	自室の展開図(フリーハンド)北・東面を作成する
6:展開図2 模型の展開図(南・西面)	自室の展開図(フリーハンド)南・西面を作成する
7:家具図1 家具図の描き方	いろいろな家具の寸法を測って表にまとめる
8:家具図2 家具のスケッチを家具図におこす	家具がどのように造られているか細部を観察しスケッチする
9:家具図3 オリジナル家具の作成　プレゼンテーション	日本や海外の家具デザインの事例を調べる
10:電気設備図・その他の図面　プレゼンテーション	自宅におけるスイッチやコンセントの位置・数などを調べる
11:自分の部屋をプランしてみよう1 設計条件とプランの検討	インテリアデザインの事例を調べて、作品づくりに取り入れる
12:自分の部屋をプランしてみよう2　プレゼンテーション 平面図	平面図の描き方を確認する
13:自分の部屋をプランしてみよう3　プレゼンテーション 展開図	展開図の描き方を確認する
14:自分の部屋をプランしてみよう4　プレゼンテーション 家具図	家具図の描き方を確認する
15:レポート(住宅のリフォーム案) 全体のまとめと作品集のプレゼンテーション	作品集の表紙のデザインを検討する

＊準備学習についての補足説明
身の回りのインテリアデザインを観察し、演習で学んだ事が実際にはどうなっているのか照らし合わせてみる(毎回1時間程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成の資料配付

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出80%・学習の意欲(作品づくりへの意欲・工夫など)20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回、製図作品を提出します。作品は、次回に全体講評し、個別に対応しながら演習を進めます。
配付資料は整理して、毎回忘れずに持参すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリアプレゼンテーション	LP46204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
入江　明美		履修要件他:			
中川路　美和		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネーターはどこで活躍しているのか、どのような仕事をしているのか、現役インテリアコーディネーターのリアルを学ぶ。
インテリアエレメント＝「室内」を構成するための「要素」として、家具やカーテン・建具・壁、床、天井・照明器具・CGパースなどの基礎を学び
ロールプレイングでヒアリングし、プレゼンテーションへの流れを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

インテリアコーディネーターが活躍する職場は多く、その職種・必要スキルを学び、インテリアプレゼンテーションの基礎を学び知ることで
自らの可能性を広げ、自信への一歩とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 自己PR　人間工学の基礎	自己紹介を考える スケールで体の部位を測り寸法を知る
2: インテリアコーディネーターの仕事	インテリアコーディネーターとその周辺の仕事で、どのような職種があるか、調べてみる
3: 家具・カーテンの基礎	家具・カーテンの種類と効果について
4: 床・壁・天井の基礎	床・壁・天井の種類と効果について
5: 照明器具の基礎	照明器具の種類と効果について
6:間取り図と建具の基礎	間取り図の読み取りと建具の種類
7: 3DCGパース作成①	6帖と4.5帖の続き間のインテリアイメージを考える 3DCGパース作成技術
8: 3DCGパース作成②	3DCGパース作成技術
9: 3DCGパース作成③	3DCGパース作成技術
10: ヒアリング	プレゼンするために、クライアント(仮定)から必要な情報を聴きとる(ロールプレイング)
11: プレゼンテーション①	クライアント(仮定)に提案するプレゼンテーションシート作成
12: プレゼンテーション②	クライアント(仮定)に提案するプレゼンテーションシート作成
13: プレゼンテーション③	クライアント(仮定)に提案するプレゼンテーションシート作成
14: プレゼンテーション　発表	クライアント(仮定)にプレゼンテーションする
15: 講評会-まとめ	講義を通して各自が興味を持ったことや自分の就きたい職種について考える

＊準備学習についての補足説明
事前・事後学習については30分～1時間必要。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(70%)　学習への意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

最終のプレゼンテーションにむかって1回目から学び重ねていくため毎回の出席を評価する。提出課題は、最後の日に各人にコメントをつけて返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:
技能の基礎を学びながら、現役インテリアコーディネーターとしてリアルな活きた情報と体験談とその職種の魅力を伝えたい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
CG演習A	LP47201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
岡崎　富美		履修要件他:	インテリア関連科目		
新田　依子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	◎
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

ベクトル画像処理ソフトAdobe　Illustratorを使用し、コンピュータグラフィックスの基本的な技術を学ぶ。
ベクトル画像の特徴であるベジエ曲線による作画と加工、多様な効果について段階的に学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1.ベクトル画像の特徴を理解する。
2.ベクトル画像の作画と加工をIllustratorを使ってできる。
3.印刷や適切なファイル形式への保存ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Illustratorの基本操作を学びます。 起動・終了方法、各ツールの説明	授業中に学んだ基本操作を覚える。
2: 図形・線・色の変更のツールを使用して、イラストを描きます。	学んだ操作方法をテキスト等で復習する。
3:　オブジェクトの作成を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(1)	ロゴマーク・アイコン等どのような物があるか調べる。
4: オブジェクトの編集方法を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(2)	ロゴマークやアイコン等の役割を考えまとめておく。
5: 文字の入力方法を学びます。 名刺の作成(1)	名刺に記入すべき内容を調べる。
6:　様々な文字の入力方法(エリア内入力・パス上入力)を学びます。 名刺の作成(2)	名刺を作成する。
7: オブジェクトの作成に関する操作方法を学びます。 地図の作成(1)	分かりやすいアクセスマップの例を見つける。
8: オブジェクト作成の操作方法を使用して地図を作成します。 地図の作成(2)	アクセスマップを作ってみる。
9: Illustratorに搭載されている効果・機能を学びます。 ポストカード・グリーティングカードの作成(1)	季節感のあるカード・絵葉書等を確認しておく。
10: 効果・機能を使用してカードを作成します。 ポストカード・グリーティングカードの作成(2)	カードに使用するパーツを作成する。
11: 図形の効果・一括編集の方法を学ぶ ロゴマーク・アイコンの作成(1)	テーマに合ったロゴマーク・アイコンについて調べる。
12: スウォッチの作成・登録、グラデーションツールの操作方法 ロゴマーク・アイコンの作成(2)	環境問題をテーマにしたロゴマークを考える。
13: 3D効果を使う ロゴマーク・アイコンの作成(3)	出力を考えたデザインを考える。
14: 各自作成したロゴマーク・アイコンに関するプレゼンテーション ※アクティブラーニング	発表がスムーズに出来るよう内容(皆に見せれるように作品や資料等)をまとめて用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと。
15: Illustratorの出力データの管理・まとめ 環境設定の操作方法	復習

＊準備学習についての補足説明
毎回学んだことをもとに課題を作成し提出すること(課題の作成には1時間程度必要)課題の提出や授業で必要な資料配布等をGoogleclassroomにて実施するため、Googleclassroomの授業登録をしておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を使用
参考図書:「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」(技術評論社)
参考図書:「Illustratorしっかり入門」(SBクリエイティブ株式会社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(60%)、授業への意欲(40%)を総合的な評価をします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出物のうち他の学生の参考になるものは、授業内で紹介します。Googleclassroomにて提出された課題は、個別にコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
CG演習B	LP47202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:	インテリア関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

スマートフォンのアプリなどで簡単に画像加工できる時代になりましたが、そのアプリの元になっているプロが使用する
画像編集ソフト「Photoshop」の基本操作を習得し、写真の合成加工、文字データ編集、WEB用画像、グラフィックデザインへの応用など
ビジュアルコミュニケーションにおける基礎的な表現能力を伸ばす授業です。

Ⅲ. 学習成果

1　Photoshopの基本的な操作
2　画像編集の基礎学習
3　グラフィックデザイン、ブランディングの考え方を知る
4　プレゼンテーション(課題発表)で伝達力を高める

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 フォトショップの基本的な機能と使用法について	【復習】プリントに沿って基本操作を復習する。(30分程度)
2:【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 画像合成の仕方、色の塗り方、保存の仕方等	【復習】プリントに沿って基本操作を復習する。(30分程度)
3::【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 レイヤー作成、各種選択ツール等について	【復習】プリントに沿って、パスの作成/レイヤースタイル/エフェクトなどを復習する。
4::【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 文字ツールを使用したロゴデザイン制作	【復習】プリントに沿って、パスの作成/レイヤースタイル/エフェクトなどを復習する。
5:【課題2:gifアニメーション】 講義:WEB用の画像について、拡張子の比較、画像形式の歴史	【復習】プリントに沿ってドット絵のアニメーションを制作する(30分程度)
6:【課題2:gifアニメーション】 スキャニングと画像補正、素材をアニメーションにする方法	【復習】キャラクターのフレームアニメーションを自主制作する (1時間程度)
7:【課題3:WEBバナー広告デザイン】 支給された素材でバナー広告をデザインする、WEB用画像の書き出し法	【予習】WEBサイトのバナー広告を収集しUSBに保存してくる(30分程度)
8:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 講義:商品開発とマーケティングについて	【予習】実店舗で売場調査(価格調査やカタログ収集)をし、 配布するプリントにまとめてレポート提出すること(1～2時間程度)
9:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 文字の編集及び加工等について	【復習】授業内で制作したデザインから数パターン展開して より良いデザインを選別する(1時間程度)
10:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 イラストレーターとの互換性、画像の解像度、画像の保存形式等について	【予習】WEBデザインカンプ(WEBサイトデザイン)の構想を練る
11:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 講義:レイアウトデザインの法則と用語について	【予習】WEBデザインカンプで使用する背景画像などをWEBのフリー素材 などから収集しUSBに保存してくること(1時間程度)
12:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
14:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:最終日プレゼンテーション(作品発表)**※アクティブラーニング要素** 1人5分程度の発表・質疑応答あり。プレゼンテーション後、講師が講評します。	【予習】発表がスムーズにできるよう台本(テキスト)を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(10～30分程度)

＊準備学習についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内で伝達しプリントを配布します。課題の遅れを解消する為の復習については作業時間を指定しませんが、個々人の学習意欲により復習時間を確保してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と指定の教科書(下記参照)を併用
「グラフィックデザイン Illustrator & Photoshop (デジタルハリウッドの本) 」
出版社 : 技術評論社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況 (80%) 、学習の意欲(20%)等で総合的に評価します。
デザインに必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

画像加工の基本操作を習得しながら、課題の後半では各学生が普段興味を持っていることをどのようにデザインとして表現するかを個別に指導していきます。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
・各課題は課題最終日にプレゼンテーション(課題発表)を行い、その場で講評し採点します。
「実務経験教員科目」特記事項:教員はイラストレーター、ジュエリーデザイナー、生活雑貨の企画開発、スマホアプリ開発などマルチに活動する現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Webデザイン論	LP47203	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
おの　れいこ		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Webサイトの受注から納品までの一連の流れについて学ぶと共に、実際にWebページのデザインと素材作成を行うことを目的としています。
はじめに、クライアントの要望に沿ったデザインを起こすために必要な実務内容や、デザインするために必要なPhotoshopやIllsutratorの基礎スキルを学びます。その後、実際にWebページのデザインを行い、素材の作成を行っています。
授業の終盤では、Webデザイナーとして、今後必要な勉強の仕方や就職活動の仕方についても触れます。

Ⅲ. 学習成果

Webデザイン制作時に必須となるPhotoshop・Illustratorの基礎的な操作の習得。
Webサイトが完成するまでの一連の流れ(クライアントとの関係や案件を通しての他職種との関わり)の理解。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Webデザイナーの魅力とやりがい、Webデザイナーを目指すために必要なスキル 受注からの納品までの工程、この授業で学習する内容、受講上の注意点	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
2:ヒアリング・情報設計～デザインをおこすまで サイトマップとワイヤーフレーム	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
3:グループワーク「業種別webサイトデザインの調査・発表」	業種・ジャンルごとにどのような色、フォント、レイアウトが使われているか調査。
4:ロゴマーク・アイコン制作(1) Illustratorを使いアイコンを作成する	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
5:ロゴマーク・アイコン制作(1) Illustratorを使いロゴマークを作成する	【中間課題】オリジナルロゴ制作
6:トップページデザイン(1)ヘッダー／フッターの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
7:トップページデザイン(2)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
8:トップページデザイン(3)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
9:トップページデザイン(4)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
10:レスポンシブデザインについて Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
11:下層ページデザイン(1) Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
12:下層ページデザイン(2) Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
13:単位認定試験課題について 概要・テーマ決め	【単位認定試験課題】
14:テーマ発表・就職活動の準備や方法(ポートフォリオの作成、他)	【単位認定試験課題】
15:今後の学習の仕方、スキル・キャリア形成について	【単位認定試験課題】

＊準備学習についての補足説明
各自の理解不足を解消するため、教科書や授業中に配布する資料を利用して、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

後日アナウンスします。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:80%(締め切り厳守)　発表:20%(意欲や姿勢を考慮します)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebクリエート演習と一緒に受講すること。パソコンの基礎的な操作(キーボード入力・マウス操作)ができること。
・各受講者の作業状況や提出課題の内容に応じて、授業担当者から適宜フィードバックします
「実務経験教員科目」特記事項:フリーランスwebデザイナー。Webデザイナーとしての実務7年以上。大学や社会人スクールでの指導実績も多数。著書「初心者からちゃんとしたプロになるWebデザイン基礎入門」、「〃　HTML+CSS標準入門」、「〃　Photoshop基礎入門」。制作業や講師業のみならず、デザイン業界を盛り上げるべくイベント「デザイン読書日和」を企画・主催、またスクール＆コミュニティ「Beans College」主催。

指定 CG・デザイン・WEB

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Webクリエート演習	LP47204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Web(World Wide Web)ページ構築に広く利用されているHTML・CSSの基礎的な知識と技術習得を目的とする。はじめに、Webとインターネットの概要を説明して、スクリプトをWebブラウザに表示する方法を学ぶ。その後、HTMLとCSSを用いたコーディング手法を学ぶことで、Webページを作成する方法を学び、自身の作業を発表する。授業後半では、Webデザイン論で作成したwebページの素材をインタラクティヴなWebページに加工する方法を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

・Webとインターネットの仕組みを説明できる
・HTML、CSSを用いた基礎的なコーディング技術を習得する
・WebデザインをインタラクティヴなWebページに加工する技術を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション、Webとインターネット	受講上の注意事項を理解するために、該当資料を確認しておくこと。
2:Webページの制作について	資料を復習して、Webページ制作のワークフローを理解しておくこと。
3:HTML(要素とタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
4:HTML(主要な要素)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
5:HTML(!DOCTYPE、head、body等の記述)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
6:HTML(テキスト関連のタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
7:HTML(リスト関連のタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
8:HTML(リンクやその他のタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
9:CSSの基本	CSSの資料を復習し、CSSの利用方法を理解しておくこと。
10:HTML+CSS(スタイル指定)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
11:HTML+CSS(文字装飾)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
12:HTML+CSS(余白)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
13:HTML+CSS(Class、属性)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
14:HTML+CSS(メニューの制作)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
15:HTML+CSS(メニューの調整)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
16:HTML+CSS(最終調整)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
17:Webページのアップロード(サーバーへのアップロード)	授業資料を復習して、アップロード方法を理解しておくこと。
18:Webページのアップロード(最終調整)	授業資料を復習して、アップロード方法を理解しておくこと。
19:中間発表と講評	自身のWebページを閲覧可能な状態に仕上げておくこと。
20:デザインのスライス方法	スライス方法について資料を復習して理解しておくこと。
21:トップページのコーディング(ヘッダーエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
22:トップページのコーディング(キービジュアル、ナビゲーション)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
23:トップページのコーディング(メインコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
24:トップページのコーディング(メインコンテンツの共通レイアウト)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
25:トップページのコーディング(サイドコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
26:トップページのコーディング(フッターエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
27:下層ページの作成(ヘッダーエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
28:下層ページの作成(メインコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
29:下層ページの作成(サイドコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
30:下層ページの作成(フッターエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。

＊準備学習についての補足説明
・授業課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること ・授業内容の理解を深めるために、60分以上の予習・復習を行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しない。授業中に資料を配付するので、各自でファイリングするなどして資料を整理し、いつでも参照できるようにすること
・授業中に作成したデータも重要な資料となるので、各自でデータの管理を行い、いつでも参照できるようにすること

Ⅵ. 評価方法と評価基準

最終課題:40%(ユーザビリティ、デザイン性、理解度を総合的に評価)
小課題と中間発表:40%(授業内容の理解度、努力量、課題の完成度を総合的に評価)
受講姿勢・授業態度:20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebデザイン論と一緒に受講すること
・各課題に対しては、直接もしくは課題にコメントする等してフィードバックを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
CGデザイン演習Ⅰ	LP47205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2種類の画像処理ソフト（Adobe Illustrator, Adobe Photoshop）の基本的な操作に基づいて、
写真やテクスト等、様々な素材による構成技術を学びます。
商品開発の基礎やデザインの現場に関する内容を講義に取り入れ、知識を深めていきます。
※「CG演習A」「CG演習B」を履修していることが履修条件です※

Ⅲ. 学習成果

1　PhotoshopとIllustratorを組み合わせてより実践的な作品制作をする
2　企画会議をグループディスカッションとして取り入れ、コミュニケーション能力を高める
3　企画書から商品展開へとデザインの展開力を高める
4　プレゼンテーション（課題発表）で伝達力を高める

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:【課題1：雑誌の表紙デザイン】 PhotoshopとIllustratorの連動　画像リンクについての実習	【復習】プリントに沿ってイラストレーターでの画像の取り扱いを 復習する（30分程度）
2:【課題1：雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** ラフ画、イメージスケッチ、グループでの企画会議	【予習】既存の雑誌を観察しどのような雑誌をデザインするか グループ内でディスカッションしておく（30分程度）
3:【課題1：雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション	【予習】発表がスムーズにできるようテキストを用意し 発表の流れを練習しておくこと（15～30分程度）
4:【課題2：キャラクターデザイン】 講義：世界の文化背景から見るキャラクターデザインの考察	【予習】身近にあるキャラクターを良く観察して分類分けをし、 配布されたプリントにキャラクターの分布図をまとめる（1時間程度）
5:【課題2：キャラクターデザイン】 イラストからノベルティグッズをつくる方法をレクチャ	【復習】授業内で紹介したオンライングッズ制作サービスを利用し オリジナル画像やキャラクターで雑貨をデザインしてみる（30分）
6:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 手描きのイラストから Illustratorを使ってイラストデザインを仕上げる	【予習】お菓子のパッケージに使用する為のオリジナルキャラクターの 手描きスケッチを準備してくること（10～30分程度）
7:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 絵が描けない人でも Illustratorを使って画像からイラストを作成する方法	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
8:【課題3：お菓子パッケージデザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション（作品発表）	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
9:【課題4：マイショップデザイン】飲食店、美容院、雑貨、アパレル、など、 各自が思い描くショップを企画書としてデザインし、パッケージまでデザイン展開する	【予習】冬季休暇中にデザインに使用する画像収集をすること （USBに保存推奨）
10:【課題4：マイショップデザイン】※アクティブラーニング要素　売場調査レポート デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ショップカードデザイン	【予習】実店舗で売場調査（価格調査やカタログ収集）をし、 配布するプリントにまとめてレポート提出すること（1～2時間程度）
11:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ショップバッグデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ハガキ、その他パッケージデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:講義：就活に役立つポートフォリオ（作品集）の作り方 課題で制作した作品のまとめ方をレクチャします	【復習】授業内で制作した課題作品を就活などに使用できる ポートフォリオとしてまとめる（2時間程度）
14:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:【課題4：マイショップデザイン】※アクティブラーニング要素 最終日プレゼンテーション（作品発表）	【予習】発表がスムーズにできるよう内容（作品とテキスト）を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと（15～30分程度）

＊準備学習についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内で伝達しプリントを配布します。課題の遅れを解消する為の復習については作業時間を指定しませんが、個々人の学習意欲により
復習時間を確保してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と教科書を併用。
教科書はCG演習Bで使用するものと同一です。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況（80%）、学習の意欲（20%）等で総合的に評価します。
デザインに必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

アイデアを形にする経験を通して世の中を観察する力や様々な業種に活かせる応用力が身につきます。受講生の個性を発揮できるよう後半はデザインを個別指導します。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。　・「CG演習A」「CG演習B」を履修していること。
・各課題は課題最終日にプレゼンテーション（課題発表）を行い、その場で講評し採点します。
「実務経験教員科目」特記事項：教員はイラストレーター、ジュエリーデザイナー、生活雑貨の企画開発、スマホアプリ開発などマルチに活動する現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
データベース入門演習	LP52201	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
中野　豊		履修要件他:	事務系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネス現場でのデータベースの使用方法を理解し，データベースの設計および操作(データの入力，検索，並び替え，出力)の基礎を学ぶ.「情報関連科目」を修得済みの学生を対象にした講義および演習であるので，特に1年生は注意されたい.

Ⅲ. 学習成果

Microsoft社のAccessを使ってデータベースの基礎を理解し，運用のための知識の習得を目指す.
また Access に限らない，一般的なデータベースの概念を理解できることを目指す

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: データベースの概要とその応用例	データベースの概念の理解し，どのような場面で活用されているのかを理解する
2: Accessの基礎知識	Accessの構造と基本的な操作方法を理解する
3: データベースの設計と作成	データベースの基本的な構造と設計方法を学び理解する
4: テーブルの作成	データベースにおけるテーブルの役割と作成について理解する
5: テーブルとリレーションシップの作成	データベースにおけるテーブルとリレーションシップの役割と作成について理解する
6: クエリの作成1	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
7: クエリの作成2	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
8: フォームの作成	データベースにおけるフォームの役割と作成について理解する
9: レポートの作成1	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
10: レポートの作成2	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
11: ピボットテーブルとピボットグラフの作成	Accessを使ったピボットテーブルとピボットグラフについて理解する
12: データシートビューの操作	Accessにおけるデータシートビューについて理解する
13: データベースの作成演習1	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う. 不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，場合によっては次の授業で質問する.
14: データベースの作成演習2	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う. 不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，場合によっては次の授業で質問する.
15: まとめ	データベース及びAccessに関して，最終的な理解の取りまとめを行う.

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「よくわかる Microsoft Access 2013 基礎」FOM出版　￥2,000円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(15%)，課題提出状況(15%)および終了時の実技試験(70%，テキスト持込可)で総合的に判断

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題を元に学生が理解できていない点を把握し，次回以降の授業で重点的に解説する.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語検定対策講座A	LP60201	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　茂徳		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

英語検定試験に合格するための英語力を身につける。4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく勉強します。
単語・熟語数の増加，長文読解の思考力の強化，作文の表現力の向上，リスニングの音感の改善，スピーチの論理力の構築を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・英語の4技能に関する基本的な能力を身につけます。
・英語学習の方法を習得します。
・英語検定資格を有し，就職活動および社会で活用します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語学習方法の指導(1):①単語・熟語の学習方法 ②読解力と表現力の学習方法	英文法、英語長文の復習が必要です。
2: 英語学習方法の指導(2):①リスニングの指導　②スピーチの指導	英文法、英語長文の復習が必要です。
3: 名詞の大切な働き(1):情報の中心 ・コミュニケーションのための表現(1)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(1)の復習が必要です。
4: 名詞の大切な働き(2):カタマリとしてみる ・コミュニケーションのための表現(2)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(2)の復習が必要です。
5: 名詞の大切な働き(3):文の流れを追う ・コミュニケーションのための表現(3)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(3)の復習が必要です。
6: 動詞の大切な働き(1): 他の語との組み合わせ ・コミュニケーションのための表現 (4)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(4)の復習が必要です。
7: 動詞の大切な働き(2): 日常でよく使う表現 ・コミュニケーションのための表現(5)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(5)の復習が必要です。
8: 動詞の大切な働き(3): 効果的表現 ・コミュニケーションのための表現(6)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(6)の復習が必要です。
9: 歴史・文化・社会に関するテーマ(1):テーマとあらすじを推測する ・コミュニケーションのための表現(7)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(7)の復習が必要です。
10: 歴史・文化・社会に関するテーマ(2):あらすじの中のキーワードを発見する ・コミュニケーションのための表現(8)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(8)の復習が必要です。
11: 歴史・文化・社会に関するテーマ(3):各段落のトピックスを探す。 ・コミュニケーションのための表現(9)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(9)の復習が必要です。
12: Eメールの表現(1):決まり文句 ・コミュニケーションのための表現 (10)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(10)の復習が必要です。
13: Eメールの表現(2):人間関係・仕事の手順などの理解 ・コミュニケーションのための表現 (11)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(11)の復習が必要です。
14: ライティングの技術向上(1):書き方のポイント ・コミュニケーションのための表現(12)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(12)の復習が必要です。
15: ライティングの技術向上(2):具体的例の大事さ ・コミュニケーションのための表現(13)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(13)の復習が必要です。

＊準備学習についての補足説明
英文法や英語長文の復習が必要です。(毎日30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 毎回資料配布。
2. 個別的に必要があれば適宜指示します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%
授業参加度　50%(積極的な授業参加が求められる)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英作文・読解問題における答案に関しては、添削を通して各自の問題点を指摘し、改善策を指導する。

検資定支格援・

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
サービス接遇検定2級対策講座	LP60202	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　則子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

サービス接遇とは、お客様(利用者)に満足を与えるための行動である。この授業では、サービス業に限らず、どのビジネスの場でも必要となる「ものの具体的な考え方・行動の仕方・口の利き方」などが理解できるようになることを目標とする。

サービス接遇検定の試験範囲「サービススタッフの資質」「専門知識」「一般知識」「対人技能」「実務技能」の5つの領域について、2級レベルの知識を習得し、サービス接遇検定2級合格を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・サービス接遇検定2級に合格する知識を身につけることができる。
・サービス接遇実務について理解でき、一般的なサービス業やビジネスの場で必要な知識、技能を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:サービスとは何か、サービス接遇検定について サービス接遇検定の問題を解いてみよう	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービス接遇検定の問題を解き、次回提出する。
2:サービススタッフの資質① 必要とされる要件、身だしなみ	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフとしての身だしなみを整える。
3:サービススタッフの資質② 良識ある素直な態度、協調性と忍耐力	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフの資質に関する問題を解く。
4:専門知識① サービスの意義、機能、種類の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフから受けた対応(良い点・悪い点)を書きだす。
5:専門知識② 商業・経済活動と用語の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 専門知識に関する問題を解く。
6:一般知識① 社会常識を身につける	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 ことわざや慣用句を調べる。
7:一般知識② 時事問題に敏感になる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 一般知識に関する問題を解く。
8:対人技能① 話し方、服装	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 敬語に関する問題を解く。
9:対人技能② 人間関係、接遇の知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 対人技能に関する問題を解く。
10:実務技能① 環境整備、グループワーク:問題に対処する力についての考えをまとめる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな現場の環境整備を考える。
11:実務技能② 金品管理、金品搬送	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな現場の金品の扱い方を観察して、対応をまとめる。
12:実務技能③ 社交業務、慶弔の知識	実務技能に関する問題を解く。
13:検定実問題① 過去に出題された問題を解く	実問題集を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
14:検定実問題② 過去問題から出題傾向を見極める	実問題集を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
15:まとめ 過去の問題研究より検定受験の対策を立てる	演習問題から不得意な項目を抽出し、検定試験対策を作る。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページと演習問題は、その都度確認する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 1回で受かる　サービス接遇検定2級・3級テキスト＆問題集　　￥1，200＋税
2. サービス接遇検定実問題集　1．2級　早稲田教育出版　　￥1，500＋税
3. 配布プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験結果(50%)　2. 提出物(35%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 6月のサービス接遇検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指す。 2. すでにサービス接遇検定2級を取得した人は、履修できない。
3. 検定日程・授業方法等を説明するので、秘書検定に関する資格・検定説明会に必ず出席すること。
4. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
5. 人数を制限することがある。　6. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
社会人ホスピタリティ検定対策講座	LP60203	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

社会人ホスピタリティ検定試験は、社会の一員として、日常生活やビジネスの現場で発揮できる"あなたのホスピタリティ度"を測る試験です。
いま、多くの企業や組織で、相手の立場に立ち、心から相手のことを考えて行動するホスピタリティ・マインドをCS(顧客満足)・ES(従業員満足)の向上に役立てようとする取り組みがなされ、注目されています。本授業では、自己分析により自分を見つめ直し、人や組織を発展させるためのコミュニケーションスキルを学ぶことで、自己成長のみならず、あらゆる人財の育成や組織の発展に結びつける考え方を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・社会人ホスピタリティ検定【実践】に合格する知識を修得し、ホスピタリティを実践できる
・相手が求めていることを感じ取り、表現できる
・日常生活においてホスピタリティマインドを発揮できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 社会人ホスピタリティ検定について グループワーク　心に残る「おもてなし」	これまでに心に残った「おもてなし」について自分なりにまとめる
2: ホスピタリティとは ホスピタリティの基本、成り立ち、効果	テキスト第1章の確認問題を解く
3: これからの社会とホスピタリティ グループワーク　さまざまな相手に対するホスピタリティ	テキスト第2章の確認問題を解く
4: 自分自身の感情を知る	EQ自己チェックテシートに解答する
5: 自分と相手を知るための交流分析	エゴグラム自己チェックシートに解答する
6: ホスピタリティ・マインドの育て方 心に余裕をもつ、観察力・想像力を鍛える	テキスト第3章の確認問題を解く
7: ホスピタリティ・マナーの基本(第一印象、身だしなみ、表情、声、言葉づかい) ロールプレイを通じてホスピタリティ・マナーを実体験	テキスト第4章の確認問題を解く
8: コミュニケーション(積極的な聴き方、効果的な話し方、言葉づかい) ロールプレイを通じてコミュニケーション力を高める	テキスト第5章の確認問題を解く
9: 働き方とホスピタリティ 働き方改革、タイム・マネジメント、職場のメンタルヘルス	「働き方改革」の事例を調べてくる
10: チーム活動とホスピタリティ ワークを通じてファシリテーション・スキルを身につける	ワークの課題について調べてくる
11: 育成・指導とホスピタリティ、報告・連絡・相談	自分の興味のある企業のホームページを見て、 研修制度を調べてくる
12: お客様対応、クレーム対応、環境づくり	テキスト第6章の確認問題を解く
13: テキスト第1・2章のまとめ(試験対策)	第1章・2章の講義内容でわからないこと、不得意なことを書き出す
14: テキスト第3・4章のまとめ(試験対策)	第3章・4章の講義内容でわからないこと、不得意なことを書き出す
15: テキスト第5・6章のまとめ(試験対策)	第5章・6章の講義内容でわからないこと、不得意なことを書き出す そして自分なりに検定試験の対策を練る

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『社会人ホスピタリティ　要点チェック＆確認問題』 日本ホスピタリティ検定協会　経済法令研究会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%(指定教科書から出題)
課題(提出物)35%
学習の意欲15%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word検定対策講座	LP60204	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本情報処理検定協会主催のワープロ検定(準2級～初段)の合格のために級別の指導を行います。
・実技のみの検定ですので上級に合格することも可能です。
・授業は検定指導が主な内容になりますが、余裕がある場合は実務で役に立つ色々な形式のword文書の作成を行います。

Ⅲ. 学習成果

・ワープロ検定に合格することができます。
・毎回、タイピング／入力練習を行いますので正確で速いキーボード入力のスキルを身につけることができます。
・より高度なWordの機能を学ぶことができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:タイピング練習・検定内容の説明	タイピング練習を行い(2回以上)　記録表に記録する
2:タイピング練習・検定問題(レイアウト練習) 入力練習①	入力課題①→印刷して提出
3:タイピング練習・検定問題(表作成の方法) 入力練習②	入力課題②→印刷して提出
4:タイピング練習・検定問題(きりとり線と申込書) 入力練習③	入力課題③→印刷して提出
5:タイピング練習・検定問題(地図の作成) 入力練習④	入力課題④→印刷して提出
6:タイピング練習・受験希望の級の問題を完成する 入力練習⑤	入力課題⑤→印刷して提出
7:タイピング練習・受験級の決定 入力練習⑥	入力課題⑥→印刷して提出
8:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑦→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
9:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑧→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
10:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑨→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
11:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑩→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
12:模擬試験:検定当日と同じ流れで練習する	作成課題①→級別　(自分で20分計時)印刷して提出
13:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	作成課題②→級別　(自分で20分計時)印刷して提出
14:期末試験内容の説明	説明を受けた期末試験内容の復習
15:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)→不得意科目を集中練習 課題集の作成	課題集は提出期限までに提出する

＊準備学習についての補足説明
課題は提出日の授業開始前までに提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日本情報処理検定協会　級別ワープロ検定問題集　準2級・2級(￥770)　準1級・1級(￥880)　初段(￥1，331)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)50%　課題提出　50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

検定合格のためには授業中の練習だけではなく授業時間以外の個人練習が必要となります。
提出した課題はチェック・採点後、返却します。(返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。)
課題の提出・未提出は個人情報に配慮しつつ毎回表示しますので確認してください。(Google　classroomで提示する場合もあります。)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word検定対策講座	LP60204	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本情報処理検定協会主催のワープロ検定(準2級～初段)の合格のために級別の指導を行います。
・Microsoft office Specialist試験の合格のための指導を行います。
・受講者は必ずどちらかの検定を受験してください。
・授業は検定指導が主な内容になりますが、余裕がある場合は実務で役に立つ色々な形式のword文書作成を行います。

Ⅲ. 学習成果

・ワープロ検定・MOS検定に合格することができます。
・毎回、入力練習を行いますので正確で速いキーボード入力のスキルを身につけることができます。
・より高度なWordの機能を学ぶことができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:検定内容の説明 過去の問題にチャレンジしどちらの検定を受験するか決定する	タイピング練習を行い(2回以上) 記録表に記録する
2:タイピング練習・検定問題(レイアウトの確認)・入力練習①(ワープロ検定) タイピング練習・模擬練習問題①(MOS検定)	入力課題①→(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
3:タイピング練習・検定問題(表作成の方法)・入力練習②(ワープロ検定) 入力練習①・模擬練習問題②(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題②→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
4:タイピング練習・検定問題(きりとり線と申込書)・入力練習③(ワープロ検定) 入力練習②・模擬練習問題③(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題③→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
5:タイピング練習・検定問題(地図の作成)・入力練習④(ワープロ検定) 入力練習③・模擬練習問題④(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題④→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
6:タイピング練習・受験希望級の問題を完成する・入力練習⑤(ワープロ検定) 入力練習④・模擬練習問題⑤(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑤→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
7:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑤・模擬テスト①②(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑥→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
8:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑥・模擬テスト③④(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑦→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
9:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習・模擬テスト⑤⑥(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑧→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
10:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑦・模擬テスト⑦(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑨→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
11:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑧・ 過去問に挑戦(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑩→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 過去問・模擬問題に取り組む(MOS検定)
12:模擬試験:検定当日と同じ流れで練習する(ワープロ検定) 模擬試験(MOS検定)→不得意の分野を確認する	作成課題①→級別(自分で20分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 過去問・模擬問題に取り組む(MOS検定)
13:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)→不得意科目を集中練習(ワープロ検定) 模擬試験(MOS検定)→不得意の分野を確認する	作成課題②→級別(自分で20分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 過去問・模擬問題に取り組む(MOS検定)
14:期末試験内容の説明	説明を受けた期末試験の内容の復習
15:ワープロ検定・MOS検定→不得意科目を集中練習 課題集の作成	課題集は提出期限までに提出する

＊準備学習についての補足説明
課題は提出日の授業開始前までに提出してください。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日本情報処理検定協会 級別ワープロ検定問題集 準2級・2級(￥770) 準1級・1級(￥880) 初段(￥1，331)
日経BP社 MOS攻略問題集第2版 ￥1，980＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技) 50% 課題提出 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

検定合格のためには授業中の練習だけではなく授業時間以外の個人練習が必要となります。
提出した課題はチェック・採点後、返却します。(返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。)
課題の提出・未提出は個人情報に配慮しつつ毎回表示しますので確認してください。(Google classroomで提示する場合もあります)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
秘書検定2級対策講座	LP60205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は秘書検定2級に合格するための検定対策講座です。秘書としての心構えや役割、要求される資質・能力について学びます。その後、秘書に必要な知識や社会常識について授業を進めていきます。学習することで、社会人として必要なマナー、常識を身につけ、適切な人間関係を保つ能力の育成を目的としています。
秘書検定2級の内容を学習し、受験、合格することで自信をもち、自己研鑽する意欲をもつことができます。

Ⅲ. 学習成果

1.秘書の役割や必要とされる資質について説明することができる。
2.社会人として必要なマナーや一般知識を身につけることができる。
3.秘書検定2級合格に求められている知識や技能を修得することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション 授業の進め方・評価方法説明／秘書とは、秘書検定について	シラバスの内容を事前に確認しておく。 秘書検定の過去問題①を解き、次回提出する。
2:秘書に必要とされる資質 秘書の心構え、秘書に必要な能力	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
3:秘書としての職務知識 秘書の機能と役割、秘書の職務、仕事の進め方	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
4:秘書に必要な知識　一般知識① ビジネス用語の知識	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
5:秘書に必要な知識 一般知識②　◆小テスト実施 カタカナ用語・略語	小テスト(一般知識①)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
6:マナー接遇①　人間関係と話し方・聞き方 職場での人間関係、話し方と聞き方、報告の仕方	秘書検定の過去問題②を解き、提出する。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
7:マナー接遇②　敬語・接遇用語　〈記述問題対策〉 尊敬語・謙譲語・丁寧語、接遇用語	敬語の問題を解いて、不明な点を整理しておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
8:マナー接遇③　電話応対・来客応対 電話応対・来客応対の基本と取り次ぎ　／　ペアワークで課題に取り組む	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 応対について流れとポイントを復習する。
9:マナー接遇④　交際業務〈記述問題対策〉 慶事・弔事、贈答のマナー　／　グループワークで課題に取り組み、発表する	慶事・弔事についてわからない用語を書きだしておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
10:技能①　会議、スケジュール管理　◆小テスト実施 会議の知識、スケジュール管理、出張の手配	小テスト(交際業務について)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
11:技能②　ビジネス文書の作成1　〈記述問題対策〉 社内文書、社外文書の種類と形式／社外文書の慣用語句	ビジネス文書を作成する。 秘書検定の過去問題③を解き、間違った問題を復習する。
12:技能③　ビジネス文書の作成2　〈記述問題対策〉 電子メール、伝言メモ、グラフの種類と作成	グラフの課題問題を解いておく。 秘書検定の過去問題④を解き、間違った問題を復習する。
13:技能④ 文書の取り扱い　◆小テスト実施　〈記述問題対策〉 文書の受発信、秘文書の取り扱い、郵便の知識	小テスト(伝言メモ・グラフ問題)に向けて準備する。 秘書検定の過去問題⑤を解き、間違った問題を復習する。
14:技能⑤ 文書・資料管理、環境整備 ファイリング、名刺の整理、カタログ整理	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 秘書検定の過去問題⑥を解き、間違った問題を復習する。
15:まとめ　模擬試験	第1回から第14回授業までのポイントを確認し、模擬試験に向け準備する。 模擬試験の結果を確認し、間違った問題を復習する。

＊準備学習についての補足説明
・予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してくること。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。 ・小テストを実施する際には、授業の終了時に範囲を伝えるので、復習をして小テストで満点を取るように学習してください。 単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.改訂2版　出る順問題集　秘書検定2級に面白いほど受かる本 佐藤一明　著 株式会社KADOKAWA　1,400 円(税別)
　　2.秘書検定2級実問題集2021年度版　公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版　1,400円(税別)
参考書:秘書検定2級集中講義 改訂版 公益財団法人実務技能検定協会　早稲田教育出版 1,300円(税別)
　　秘書検定2級パーフェクトマスター 公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版　1,300円(税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　50%　　・小テスト30%　　・授業への取り組み(積極性、挨拶・返事、発表、提出物)　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1 .2月の秘書検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指します。　2.秘書検定に関する説明会に出席してください。
3..秘書検定取得済みの人は、履修できません。　3,テキスト以外に補足・過去問題プリントを配布しますので、ファイリングしてください。
4.テキスト以外に補足・過去問題プリントを配布しますので、ファイリングしてください。　5.小テストや提出物は、次回の授業で返却します。
6..検定問題は何度も繰り返し解くことで、知識を定着させることができます。間違った問題は繰り返し解いて、不得意分野をなくすよう取り組んでください。
7.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語検定対策講座B	LP60206	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　茂徳		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

英語検定試験に合格するための実践的な英語力を身につける。4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく勉強します。
単語・熟語数の増加，長文読解の思考力の強化，作文の表現力の向上，リスニングの音感の改善，スピーチの論理力の構築を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・英語の4技能に関する実践的能力を身につけます。
・英語学習の方法を習得します。
・英語検定資格を有し，就職活動および社会で活用します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 社会情報に関する表現(1):経済活動(1) ・コミュニケーションのための表現(1)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(1)の復習が必要です。
2: 社会情報に関する表現(2):経済活動(2) ・コミュニケーションのための表現(2)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(2)の復習が必要です。
3: 社会情報に関する表現(3):経済活動(3) ・コミュニケーションのための表現(3)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(3)の復習が必要です。
4: 社会情報に関する表現(4):社会参画活動(1) ・コミュニケーションのための表現(4)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(4)の復習が必要です。
5: 社会情報に関する表現(5):社会参画活動(2) ・コミュニケーションのための表現(5)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(5)の復習が必要です。
6: 社会情報に関する表現(6):社会環境問題(1) ・コミュニケーションのための表現(6)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(6)の復習が必要です。
7: 社会情報に関する表現(7):社会環境問題(2) ・コミュニケーションのための表現(7)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(7)の復習が必要です。
8: 社会情報に関する表現(8):社会環境問題(3) ・コミュニケーションのための表現(8)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(8)の復習が必要です。
9: 医療に関する表現(1):病気 ・コミュニケーションのための表現(9)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(9)の復習が必要です。
10: 医療に関する表現(2):栄養 ・コミュニケーションのための表現(10)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(10)の復習が必要です。
11: 医療に関する表現(3):運動 ・コミュニケーションのための表現(11)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(11)の復習が必要です。
12: 調査研究に関する表現(1):心理的問題 ・コミュニケーションのための表現(12)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(12)の復習が必要です。
13: 調査研究に関する表現(2):ジェンダー問題 ・コミュニケーションのための表現(13)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(13)の復習が必要です。
14: インターネットに関する表現(1):グローバル化 ・コミュニケーションのための表現(14)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(14)の復習が必要です。
15: インターネットに関する表現(2):生活に関する影響 ・コミュニケーションのための表現(15)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(15)の復習が必要です。

＊準備学習についての補足説明
英文法、英語長文の復習が必要です。(毎日30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 毎回資料配布。
2. 個別的に必要があれば適宜指示します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%
授業参加度　50%(積極的な授業参加が求められる)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英作文・読解問題における答案に関しては、添削を通して各自の問題点を指摘し、改善策を指導する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Excel検定対策講座	LP60207	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。
この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般をマスターし、種々の検定試験にも対応できる実力を身につける。

Ⅲ. 学習成果

MOS(Microsoft Excel Specialist)取得レベルは完全にマスターする。
また、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級のレベルは完全マスターし、2級レベルの技能も、一通り、学ぶ。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　MOS対策:基本関数と絶対参照、文字列関数	MOS試験に出題される関数の復習
2:　MOS対策:論理関数、出題範囲1	MOS試験に出題される関数の復習 出題範囲1の問題を再確認して復習
3:　MOS対策:出題範囲2～5	出題範囲2～5の問題の復習
4:　MOS対策:模擬問題1(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
5:　MOS対策:模擬問題2(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
6:　MOS対策:模擬問題3(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
7:　MOS対策:模擬問題4(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
8:　MOS対策:模擬問題5(本番モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
9:　マクロ(MOS2013、Excel検定2級対策)	マクロの復習
10:　Excel検定3級・2級対策(ROUND、IF、VLOOKUP、RANK等)	Excel検定で出題される関数の復習
11:　Excel検定2級対策(ピボットテーブル、ゴールシーク、データの統合等)	ピボットテーブル、ゴールシークなど、発展的問題の復習
12:　Excel検定3級練習問題	3級練習問題の復習
13:　Excel検定2級練習問題	2級練習問題の復習
14:　Excel検定2級練習問題	2級練習問題の復習
15:　【プレゼンテーション】グループ内で、問題の解説をする	プレゼンテーションの準備と反省

＊準備学習についての補足説明
十分できなかった問題は、自分で、再度復習する。1時間前後で、復習できると思われる。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.FOM出版　Microsoft Excel 2013 対策テキスト& 問題集〈改訂版〉 ¥2,200(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出50%　　試験 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
MOS(Microsoft Excel Specialist)、または、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級または2級を受験することを、単位取得の条件とする。
検定合格には、授業中の練習だけではなく、授業時間以外での個人練習も必要となります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生入門	LP61201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2018年度にライフプランニング総合学科内で活動する学生組織として「Koran Girls」を立ち上げた。設立の主な目的は、学内外で企画されたプログラムへ参加し、それぞれの課題をクリアすることにあるが、真の目的は、社会で通用する学生の育成にある。本学科は、地域総合学科として短大基準協会より正式に認められている学科であり、地域で活躍する人材の育成が重要であると考えている。そこで、この授業を通して、地域で活躍する人材の基礎スキルを高め、夏休み以降本格的に始まる各プログラムへと参加するための橋渡しを行う予定である。

Ⅲ. 学習成果

①マインドセット（「Koran Girls」のクレドの理解等）の重要性を理解し、自らの行動指針となるように訓練を行う。
②PDCAサイクルを回した経験値を増やし、様々なプロジェクトへ参加する。
③ビジネスマナー（名刺の作成、アポ入れ、メール文の書き方等）について実践を通して学ぶ。
④各地域で活躍するために必要な情報収集の仕方を学び、リーダー及びフォロワーの役割について理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: Koran Girlsのクレドの説明と今後の予定の確認	予習:　説明会資料を読み返しておくこと。 復習:　行動日誌の記入
2: ファシリテーションについて①	予習:　事前配布資料を読んでおくこと。 復習:　行動日誌の記入
3: ファシリテーションについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
4: チーム分け並びに今後のスケジュールの確認	予習:　希望するプログラムをある程度絞っておくこと。 復習:　行動日誌の記入
5: 各グループ内での活動内容の検討①	予習:　名刺の作成とビジネスマナー関連資料を読んでおくこと 復習:　行動日誌の記入
6: 各グループ内での活動内容の検討②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
7: プレゼンテーションについて①	予習:　グループ内での検討内容をまとめておく。 復習:　行動日誌の記入
8: プレゼンテーションについて②	予習:　プレゼンの再チャレンジ/レポートの書き方の解説 復習:　振り返りレポートの作成・提出
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習についての補足説明
①授業開始後、「行動日誌」を毎日つけ、授業の前日に担当者へ提出する。翌日の授業の際に「行動日誌」を返却する。②「行動日誌」を元に、「振り返りレポート」を書き、提出する。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:ファシリテーション入門　第2版　堀　公俊著　日経文庫
参考書:スーパー公務員直伝! 糸島発! 公務員のマーケティング力　岡　祐輔著　学陽書房
KP法 シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション　川嶋 直著　みくに出版
ニュータイプの時代　山口　周著　ダイヤモンド社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

①本講座を受講できるのは、「Koran Girls」へ入りたい学生のみである。
②2021年度は、20名を上限として募集する。定員を超えた場合は後日選抜を行う。選抜方法については後日お知らせする。
③3期からはじまる「地域創生演習」並びに5期からはじまる「地域創生論」は、本講座の受講生のみ受講できる。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、参加が可能な学生に受講してもらいたい。
⑤自分の人生を変えたい、新しい考え方を身に着けたい、一生の友人を見つけたい、と思われる方、ぜひ一緒に活動しましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生演習	LP61202	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2期よりはじまった「地域創生入門」の内容を踏まえて、各グループで実施するプログラムの確認や、全体で行うプログラムについて検討する。
本講座では、チームビルディング、リーダーシップ、フォロワーシップの育成を主眼とし、学内外の方々と共に各プログラムを実施し、再度「行動日誌」及び「振り返りレポート」を作成しながら、成長実感できる内容を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①チームビルディングについて学び、スケジュール管理の手法や予算管理などについて学習する。
②リーダーシップについて全体で検討し、全体とグループで動く際の違いや同じ部分を理解する。
③フォロワーシップの重要性を共有し、一人一人が自らの特徴を活かした活動を行う。
④地域創生入門で学んだ内容を復習し、体得する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション(夏季休暇中の報告・発表等)	予習:　夏季休暇中の活動をまとめておく 復習:　今後の計画を作成する
2: チームビルディングについて①	予習:　事前配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
3: チームビルディングについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
4: 各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
5: 各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
6: 各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
7: 発表	予習:　発表資料の準備 復習:　「振り返りレポート」の作成
8: リーダーシップとフォロワーシップについて①	予習:　事前配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
9: リーダーシップとフォロワーシップについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
10: 各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
11: 各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
12: 各グループ内での活動内容の検討	予習:　各プログラムのスケジュール管理の実施 復習:　行動日誌の記入
13: 振り返りレポートの作成①	予習:　これまでの内容の確認、情報整理 復習:　行動日誌の記入
14: 振り返りレポートの作成②	予習:　これまでの内容の確認、情報整理 復習:　行動日誌の記入
15: まとめ　プレゼンテーション(各グループ)	予習:　プレゼンテーション資料の作成 復習:　「振り返りレポート」の作成

＊準備学習についての補足説明
①授業開始後、「行動日誌」を毎日つけ、授業の前日に担当者へ提出する。翌日の授業の際に「行動日誌」を返却する。②「行動日誌」を元に、「振り返りレポート」を書き、提出する。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:ファシリテーション入門　第2版　堀　公俊著　日経文庫
参考書:スーパー公務員直伝! 糸島発! 公務員のマーケティング力　岡　祐輔著　　学陽書房
KP法 シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション　川嶋 直著　みくに出版
ニュータイプの時代　山口　周著　ダイヤモンド社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「地域創生入門」を受講した学生のみである。
②2021年度は、20名を上限として募集する。欠員が出たときのみ追加募集を行う。
③5期からはじまる「地域創生論」は、本講座の受講生のみ受講できる。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、参加が可能な学生に受講してもらいたい。
⑤グループワークを重視し、積極的にチームへの貢献を行うことを期待している。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インターンシップ	LP62101	開講時期:	4期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して、社会や組織の仕組みについての知識を得る。
2 就職への意識が高まる。
3 社会人としてのマナーや言葉遣いが学べる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55%　報告書 30%　学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
海外研修	LP62102	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学科で定めた国で研修を行う。そのための事前オリエンテーション、研修後のレポートなどもこの科目に含まれる研修項目である。

Ⅲ. 学習成果

1 異文化への理解が深まる。
2 外国語を含むコミュニケーションの能力が上がる。
3 比較文化の視点が得られる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
①訪問国 学科で協議し、決定する。 ②研修期間 別途通知。11月または12月に3泊4日程度を予定。 ③費用 別途通知。 ④事前オリエンテーションおよび研修先研究 a. 訪問国紹介 b. 研修内容紹介 c.パスポート取得指導 d. 研修組織編成 e. 訪問国研究 f. 海外旅行諸注意	訪問国についての情報を本、新聞、雑誌、インターネット等で積極的に収集することは研修の充実につながるので、可能な限り実践すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

海外研修に関するプリント配布。
必要に応じて研修先の国に関する図書および資料等を紹介。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

研修50% 事前オリエンテーションの参加と必要書類提出期限の厳守20% 研修後のレポート20% 学習の意欲10%を目安として、総合的に評価。
研修先における行事への積極的な参加、訪問先での積極的なコミュニケーション等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研修後の提出レポートは担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

総　合　演　習

必　修　科　目

２　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
総合演習Ⅲ	LP10103	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学年で学ぶ学問分野を真に生かして、こらからの人生を過ごすための基本的な力を身に付けることを目的とする。具体的には、次の3項目に学生が主体的に取り組むことを目指す。
1. 就職・進学活動に資する支援の提供や情報共有・交換を行い、活動の活性化を図る。 2. 学科・クラスでの諸行事や就職・進学活動を通して学生間の信頼関係を深める。 3. 一般常識・教養と社会性・マナーを身に付ける。

Ⅲ. 学習成果

・就職・進学活動に関する教職員への相談や学内の各種支援を自発的に活用し、積極的に活動を進めることができる。
・就職・進学活動に関する情報交換・共有を周囲の学生や教職員と積極的にすることで、活発に活動する雰囲気や扶助を相互に享受することができる。
・一般常識・教養に関する学習と社会性・マナーなどを就職・進学活動の実践と交えることで、社会人に必要な責任感・倫理観の向上に努めることができる。
・学科やクラスでの諸行事に積極的に関与することで、学生間の信頼関係を深め、信頼される人物へと成長することを目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 履修登録内容の確認 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	進路全般に関する準備・活動 履修登録間違いがある場合には修正の事務処理を行う
2: 新入生歓迎会計画 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	新入生歓迎会準備 進路全般に関する準備・活動
3: 新入生歓迎会	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
4: 就職試験対策、体育大会の参加計画 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
5: OG懇談会	OG懇談会で得られた情報等を振り返り、活用できるようにする 進路全般に関する準備・活動
6: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
7: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
8: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
9: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
10: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
11: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
12: 就職試験対策 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	就職試験対策に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
13: 香蘭祭準備 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	進路全般に関する準備・活動 香蘭祭準備に必要なことに対応する
14: 香蘭祭準備 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	進路全般に関する準備・活動 香蘭祭準備に必要なことに対応する
15: 履修指導 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	後期の履修計画 進路全般に関する準備・活動

＊準備学習についての補足説明
就職試験対策の予復習には30分以上かけて取り組むこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

最新!SPI3 完全版 2023年度 (高橋の就職シリーズ) 柳本新二 高橋書店(1年次配付済み)
Career Design Book(1年次配付済み)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

就職試験対策に関する小テストおよび行事のレポート:40% 学習の意欲:60%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・就職試験対策に関する解答・解説、進路活動状況全般に関する助言などでフィードバックを行います。
・授業内容の詳細は別途、学期始めに配付する予定表を参照してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
総合演習Ⅳ	LP10104	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学年で学ぶ学問分野を真に生かして、こらからの人生を過ごすための基本的な力を身に付けることを目的とする。具体的には、次の4項目に学生が主体的に取り組むことを目指す。
1. 就職・進学活動を行い、進路決定に取り組む。 2. 学科・クラスでの諸行事や就職・進学活動を通して学生間の信頼関係を深める。
3. 一般常識・教養と社会性・マナー(挨拶、服装、言葉遣い)を身に付ける。 4. 卒業後のキャリア形成や人生形成について考える。

Ⅲ. 学習成果

・就職・進学活動に関する教職員への相談や学内の各種支援を自発的に活用し、進路決定を目指すことができる。
・一般常識・教養に関する学習と社会性・マナーなどを就職・進学活動の実践と交えることで、社会人に必要な責任感・倫理感の向上に努めることができる。
・卒業後のキャリア形成や人生形成の必要性を実感し、継続的に熟慮することができる。
・学科やクラスでの諸行事に積極的に関与することで、学生間の信頼関係を深め、卒業後に資する友人関係の確立に努めることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 履修登録確認 連絡事項 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	進路全般に関する準備・活動
2: 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談、他)	進路全般に関する準備・活動
3: 進路決定支援全般(求人情報提供、活動状況の共有・交換、個別相談) 連絡事項	進路全般に関する準備・活動
4: 香蘭祭参加計画 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	香蘭祭準備 進路全般に関する準備・活動
5: 香蘭祭参加計画 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	香蘭祭準備 進路全般に関する準備・活動
6: 香蘭祭参加計画 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	香蘭祭準備 進路全般に関する準備・活動
7: 一般常識養成 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	一般常識養成に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
8: 一般常識養成 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	一般常識養成に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
9: 一般常識養成 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	一般常識養成に関する予復習 進路全般に関する準備・活動
10: キャリア・人生形成 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	キャリア・人生形成に関する課題 進路全般に関する準備・活動
11: 外部講師講演会「社会人としての心構え」 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	講演会で得られた情報をまとめる 進路全般に関する準備・活動
12: キャリア・人生形成 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	キャリア・人生形成に関する課題 進路全般に関する準備・活動
13: キャリア・人生形成 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	キャリア・人生形成に関する課題 進路全般に関する準備・活動
14: 2年生を送る会	進路全般に関する準備・活動
15: 年度末の確認事項 進路決定支援全般(求人情報提供、個別相談、他)、連絡事項	進路全般に関する準備・活動

＊準備学習についての補足説明
就職試験対策の予復習には30分以上かけて取り組むこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

一般常識養成やキャリア・人生形成に関する配付教材を用いる
Career Design Book(1年次配付)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

就職試験対策に関する小テストおよび行事のレポート:40% 学習の意欲:60%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・一般常識養成の小テストに関する解答・解説、進路活動状況全般に関する助言などでフィードバックを行います。
・授業内容の詳細は別途、学期始めに配付する予定表を参照してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
卒業研究	LP20201	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

必修科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

全ての学生は、この授業の最初の期間にそれまでの1年半の学びを振り返りレポートにまとめる。
その後、それぞれの担当教員の指導に従い専門領域についての学びを深め、それらのまとめとして自らの学びに関するレポートや課題を提出する。
さらに、これらのレポートや課題をもとにプレゼンテーションを行う。
なお、各卒業研究にはそれぞれの特色に応じたグループ・ワークやディスカッションが含まれる。

Ⅲ. 学習成果

1 それぞれの領域における知識を深め、技能を高めることができる。
2 資料の収集や研究方法を学ぶことができる。
3 論文のまとめ方や発表について学ぶことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
事前に配布される卒業研究概要一覧を参照。 それぞれの研究テーマに従って、30回の授業を実施。	担当者ごとに指示する。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1年半の学びのまとめ 30%　各卒業研究におけるレポートや課題(プレゼンテーションを含む) 50%　学習の意欲 20%
グループ・ワークやディスカッションへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

担当者ごとに指示する。

教　養　科　目

２　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
文学	LP30101	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山本　崇代		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「フランス文学におけるヒロイン」をテーマにし、様々な作品を日本語の翻訳で読みます。ヒロインたちの描写を通して、作品が生まれた時代背景や社会、文化などにも目を向けます。

Ⅲ. 学習成果

1. 歴史や文化などの作品の背景的知識を得る。
2. 文章を分析する論理的思考が身につく。
3. 自分の考えや意見をまとめる文章力や言葉の運用能力を高める。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション＋文学作品を読むとは	授業の内容について、自分が興味をもったこと、疑問に思ったことをまとめておくこと。
2: ボーモン夫人『美女と野獣』(1) :ボーモン夫人と時代背景について ＊グループディスカッションで「美女」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
3: ボーモン夫人『美女と野獣』(2) :ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
4: メリメ『カルメン』(1):メリメと時代背景について ＊グループディスカッションで「ファム・ファタル」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
5: メリメ『カルメン』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
6: デュマ・フィス『椿姫』(1):デュマ・フィスと時代背景について ＊グループディスカッションで「椿姫の恋愛観」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
7: デュマ・フィス『椿姫』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
8: ユゴー『レ・ミゼラブル』(1):ユゴーと時代背景について ＊グループディスカッションで「ファンティーヌの人物像」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
9: ユゴー『レ・ミゼラブル』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
10: モーパッサン『女の一生』(1):モーパッサンと時代背景について ＊グループディスカッションで「女性にとっての幸せ」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
11: モーパッサン『女の一生』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
12: コレット『シェリ』(1):コレットと時代背景について ＊グループディスカッションで「女性の生き方」について考える。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
13: コレット『シェリ』(2):ヒロインの描写について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
14: サガン『悲しみよこんにちは』(1):サガンと時代背景について ＊ヒロインのセシルになりきって文章を書く。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
15: サガン『悲しみよこんにちは』(2):ヒロインの描写について ＊自分の「セシル」をプレゼンテーションする。	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。

＊準備学習についての補足説明
テキストを読んで分析し、自分の言葉でコメントできるように準備しておくこと。準備学習として45分を毎回必要とします。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(40%)、グループディスカッションや毎回のレスポンスシートの提出など授業への積極的参加(60%)
遅刻、居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

グループでの発表やレスポンスシートにコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
歴史	LP30103	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
田中　由利子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

現代は、過去の積み重ねでできている。現代の「日本」に最も大きな影響を与えたのが江戸時代である。
江戸時代は幕藩制という体制概念で表現され、国や社会が成り立っていた。授業では、江戸時代の福岡藩や佐賀藩で
起こったいくつかの出来事を取り上げ、現代がいかに江戸時代の影響を受けているかを探っていく。

Ⅲ. 学習成果

1　江戸時代の制度の特徴について説明できる
2　江戸時代の身分について説明できる
3　江戸時代の暮らしと暦について説明できる
4　江戸時代の宗教や思想について説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 日本の近世という時代	日本の近世という概念の最新の捉え方についてまとめる
2: 江戸時代の幕藩体制と身分	江戸時代の政治体制における身分についてまとめる
3: 江戸時代の女性と化粧	身分による女性の衣服や化粧や髪型の違いについてまとめる
4: 江戸時代の村人の暮らし	江戸時代の村人の一年の過ごし方についてまとめる
5: 江戸時代の暦と度量衡	江戸時代の人々が使用した暦や尺度や重さについてまとめる
6: 江戸時代の文字と言葉	江戸時代の文字(くずし字)や、言い回しについてまとめる
7: 江戸時代の教育(藩校について)	主に支配者階級の藩校についてまとめる
8: 江戸時代の教育(私塾と寺子屋について)	私塾や子供が学ぶ寺子屋についてまとめる
9: 江戸時代の思想としての儒学	江戸時代の「武士道と倫理観」などの思想をまとめる
10: 近世における佐賀藩と福岡藩	佐賀藩と福岡藩の特異性などをまとめる
11: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(1) 近世武家「家訓」と鍋島直茂について	「直茂様御教訓ヶ条覚書」について新見解をまとめる
12: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(2) 山本常朝「葉隠」と鍋島直茂・勝茂との関係	「直茂様御教訓ヶ条覚書」と「葉隠」の関連性についてまとめる
13: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(1) 黒田長政の神格化と春日神社について	福岡藩初代藩主黒田長政を祀った神社についてまとめる
14: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(2) 春日神社の由緒書についての検証	長政を祀った神社の由緒書を読み解き新しい解釈をみつける
15:: ディスカッション　江戸時代の特徴及び現代への影響について	江戸時代の特徴及び現代への影響をまとめる

＊準備学習についての補足説明

準備学習は、各回45分以上行うこと。毎回感想文を提出してもらいます。内容については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。レジュメやプリントを毎回配布します。
参考文献や論文等は授業中に紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%　　学習の意欲　50%(毎回の感想、授業態度)で評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回授業の最後に、質問や感想を書いて提出してもらいます。質問の回答は次回の授業時にします。
素晴らしい質問や新しい視点での感想を書いた人には加点します。
他人の受講を妨げる行為(私語、スマートフォンの使用、理由のない中途退室)は厳禁とし、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
心理学	LP30104	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
脇浜　幸則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，日常生活に関連した心理学についてさまざまなトピックを広く取り扱う。また，多くの学生は青年期にあたり，アイデンティティの確立が重要な発達課題である。心理学的視点を持つことは自己や他者に対する理解を深めることに役立つと考えられる。そのため，本講義では日常生活に役立ち，自己のアイデンティティを確立するのに生かせるような学びを得ることを目的とする。本講義ではこの目的を達成するために，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における現象や発達について，心理学的用語を用いて説明ができる
・発達障害の障害特性と二次障害について，自身の言葉で説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 授業の進め方の説明や自己紹介を用いたワーク	心理学について学んでみたいことを考える
2: 心とは ～脳と心～	生活の中での「心」に関する体験を探す
3: 日常に潜む心理学 ～錯視を中心に～	生活の中での錯視を探す
4: より良い勉強方法 ～記憶について～	生活の中での記憶に関する体験について整理する
5: 性格について ～パーソナリティ理論と性格検査～	性格の考え方や検査を通して考えたことをまとめる
6: 働くことについて ～産業心理学との関連から～	職業や働くということについて自分の考えを整理する
7: 発達段階とアイデンティティ	発達段階に関するワークシートの作成
8: ストレス理論について	日常生活でのストレス体験について，自身の体験と対処法略について考える
9: 集団における自己	授業を通して気になったことについて調べる
10: 発達障害について ～ASDを中心に～	発達障害のある人が日常や他者との関係の中で困りそうなことをまとめる
11: 発達障害について ～ADHD，LDを中心に～	発達障害のある人が日常や他者との関係の中で困りそうなことをまとめる
12: 障害と合理的配慮について	事例から考えられる合理的配慮について考えをまとめる
13: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについて調べる～	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる
14: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについてまとめる～	これまでの授業を通して考えたことをまとめ，グループ内で意見を共有する。
15: 日常における心理学 ～まとめた日常にある心理学について発表する～	他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習についての補足説明
各授業の終わりに説明を加える。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データを共有します。
授業中には適宜プリントもしくはパワーポイントの資料を共有する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
経済学	LP30105	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの暮らしは、「市場経済」の働きと「財政」による支援によって成立している。本講座では、後者の「財政」の仕組みに焦点を当て、「市場経済」との違いを理解することを当面の目標とする。また、指定したテキストを使いながら、私たちが住んでいる「地域」の経済について理解を深め、「財政」と「市場経済」のどちらの仕組みも私たちの暮らしにとって欠かせないものであることを理論的に把握することが本講座の最終目標である。同時に、私たちが住んでいる地域の経済についても関心を高め、生活実感を伴う講義を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①財政の仕組みと市場経済の働きの違いを理解し、経済学的な考えで世の事象を説明できる。
②税制や社会保障問題と私たちの暮らしのつながりを理解することで、一社会人としての生活に困らない程度の準備を行える。
③グローバルとローカルという横の広がりと、過去と現在と未来という時間軸に沿った縦のつながりを意識することで、地域の経済について深く理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:テキストの「はじめに」を再読しておくこと。
2: 第1章　社会保障の系譜	予習:テキストの第1章読んでおくこと。 復習:テキストの第1章を復習しておくこと。
3: 第2章　社会保障の基本哲学を知る	予習:テキストの第2章読んでおくこと。 復習:テキストの第2章を復習しておくこと。
4: 第3章　日本の社会保障の特徴	予習:テキストの第3章読んでおくこと。 復習:テキストの第3章を復習しておくこと。
5: 第4章　人口減少社会　※課題1の説明	予習:テキストの第4章読んでおくこと。 復習:テキストの第4章を復習しておくこと。
6: 第5章　産業としての社会保障	予習:テキストの第5章読んでおくこと。 復習:テキストの第5章を復習しておくこと。
7: 第6章　財政赤字	予習:テキストの第6章読んでおくこと。 復習:テキストの第6章を復習しておくこと。
8: 第7章　日本社会が抱える課題 課題1の回収	予習:テキストの第7章読んでおくこと。 復習:テキストの第7章を復習しておくこと。
9: 第8章　北欧との比較 ※グループワークの実施	予習:テキストの第8章読んでおくこと。 復習:テキストの第8章を復習しておくこと。
10: 第9章　持続可能な社会をつくる ※グループワークの実施	予習:テキストの第9章読んでおくこと。 復習:テキストの第9章を復習しておくこと。
11: 社会保険の仕組み①　※課題2の説明 公的年金保険について	予習:年金制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに年金制度をまとめておくこと。
12: 社会保険の仕組み② 公的医療保険について	予習:医療保険制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに医療保険制度をまとめておくこと。
13: 社会保険の仕組み③ 公的介護保険について	予習:介護制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに介護保険制度をまとめておくこと。
14: ビデオ学習 ※　社会保障制度の行き詰まりをテーマとした映像を見せる予定。	予習:第11～13回の内容の復習を行っておくこと。 復習:ビデオの内容を思いだし、
15: 総括 課題2の回収	予習:課題2の完成 復習:テキストを中心に、自分の考えをまとめておくこと。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書「教養としての社会保障」 東洋経済新報社　香取照幸著
参考書「新しい地方財政論」 有斐閣　中井英雄他著
「マクロ経済学入門　第2版」 日経文庫　中谷巌著
「ミクロ経済学」 東京大学出版会　奥野正寛編著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験(上記1～14回の内容から出題)50%、レポート(2回)20%、学習の意欲　30%。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収する資料およびレポートは必要に応じてコメントをつけて返却する。
・授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象(受講態度の評価の対象)とする。
・シラバスの内容を変更する際は、事前に授業中にお知らせする。
・Google Classroomについては、授業外の学習を促進するために使用するので、各自登録をお願いします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
金融論	LP30106	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
渡辺　明治		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの生活は、お金という形でしっかりと金融と結びついています。
金融は命の次に大切なお金を扱う活動で、経済の血液でもあり経済活動と密接な関係があります。
経済の基本を理解するとともに、銀行をはじめとする各金融機関等の働きや、金融商品の内容を学習して、
金融機関を上手に利用できるノウハウを学びます。

Ⅲ. 学習成果

銀行、証券会社、保険会社、ノンバンク他の金融機関等の働きを理解し、それぞれの違いや取扱商品等を説明できるようになることを目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 金融論を学ぶ理由	授業の進め方、教育目標について説明します。
2. お金と経済の動き(預金通貨、銀行や市場は日本経済の心臓、金利はお金の値段)	預金通貨、銀行や市場、金利についてまとめる。(20分の予習・復習)
3: お金と経済の動き(金利は景気・物価の体温計、名目金利・実質金利、マイナス金利)	景気・物価、名目・実質金利、マイナス金利のまとめ(20分の予・復習)
4: 金融の担い手(間接金融と直接金融、信用創造機能、預金保険制度とペイオフ)	直接・間接金融、信用創造機能、ペイオフのまとめ(20分の予・復習)
5: 金融の担い手(都市銀行・地方銀行・第二地方銀行・信託銀行)	都銀、地銀、第二地銀、信託銀行のまとめ(20分の予・復習)
6: 金融の担い手(信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・政府系金融機関)	信金・信組・ゆうちょ銀行・政府系金融機関のまとめ(20分の予・復習)
7: 金融の担い手(証券会社・保険会社・ノンバンクその他)	※アクティブ・ラーニング➡グループワーク＆プレゼンテーション 証券会社、保険会社、ノンバンクについてまとめる(20分の予・復習)
8: 金融市場の働き(お金の値段を決める、短期金融市場、債券市場)	短期金融市場、債券市場のまとめ7(20分の予・復習)
9: 金融市場の働き(株式市場、外国為替市場、新しい金融市場)	株式市場、外為市場、新しい金融市場のまとめ(20分の予・復習)
10: 金融をつかさどる当局(中央銀行)(日銀の3つの役割、金融政策)	日銀の3つの役割、金融政策のまとめ(20分の予・復習)
11: 金融をつかさどる当局(世界の中央銀行、金融庁の役割)	世界の主な中央銀行、金融庁の役割のまとめ(20分の予・復習)
12: 金融危機と国際金融の挑戦(サブプライムローン、リーマンショック)	サブプライムローン、リーマンショックのまとめ(20分の予・復習)
13: 金融危機と国際金融の挑戦(固定相場から変動相場制へ、、単一通貨ユーロ)	固定相場と変動相場、単一通貨ユーロのまとめ(20分の予・復習)
14: 金融の進む道(グラミン銀行、フインテック)	グラミン銀行、フインテックのまとめ(20分の予・復習)
15: まとめ	第1回から第14回までの中で重要ポイントをこちらで選び第14回の 講義中に指示する。選ばれた項目についてまとめる。(同上60分)

＊準備学習についての補足説明

※アクティブ・ラーニングのテーマ・・・「証券会社の仕事内容について」を数名に分けてグループワークを行いその後グループ別に発表。(40分間)準備学習は、各回の教科書関連部分を読んでおくこと。
内容については詳しく毎回の授業時に説明します。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

図解即戦力　金融のしくみがこれ1冊でわかる教科書　伊藤亮太著　技術評論社　定価1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学位認定試験60%　課題レポート提出30%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題については、授業内でコメントを提示します。
授業中の私語、スマートフォン等の使用は減点の対象とします。
「実務経験教員科目」特記事項:銀行員として勤務ー国内業務、国際業務　本部、支店、海外の経験などを活かし各回で現場での実例を紹介し実学を教育。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
流通論	LP30107	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達の暮らしの中で存在している商品は、世界中の生産現場から集められたモノ・サービスです。それらは、時間・場所・人の隔たりを越えて、私達のもとへたどり着いたと言えます。この授業では、生産と消費を結びつける役割を担っている流通業界について学びます。前半は流通の基礎知識を学び、後半はスーパーマーケット(GMS)、コンビニエンスストア(CVS)、百貨店、ドラックストア、ホームセンター(HC)などの、具体的な業態について学びます。

Ⅲ. 学習成果

・基本的な流通のしくみが理解できる。
・基本的な流通用語が説明できる。
・スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの業態を理解し、説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 流通のいま 流通の主役・小売業	セブン・イレブン・ジャパンとイオンの企業の業種について調べる。 オムニチャネルについて、調べ、100字程度にまとめる。
2: 小売業界の二強　セブン＆アイとイオン オムニチャネル	買い物弱者とはどのような現象が起こっているのかについてしらべ、流通企業はどのような対策を考えたらよいかを考える。
3: 流通業の海外進出 買い物弱者	インバウンドの意味と、コロナ禍で現在のインバウンドの状況について考え、100字程度にまとめる。
4: インバウンド これからの流通	流通の川上と川下について調べ、70字程度にまとめる。
5: 流通とは 流通の役割	流通チャネルとは何かについて調べ、200字程度にまとめる。
6: 流通チャネル 流通系列化(日本の流通経路)	改正まちづくり三法について調べ、100字程度にまとめる。
7: 流通政策 改正まちづくり三法	規制緩和について調べる。 特定保健用食品(トクホ)について調べ、200字程度にまとめる。
8: 規制緩和 機能性表示食品制度	利用したことのあるスーパーマーケットの名前と、販売されている商品について調べ、100字程度にまとめる。
9: 岐路に立つ総合スーパー(GMS)，　スーパーマーケット(食品スーパー) グループワーク	セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートの中の一つを調べ、コンビニエンスストアにはどのような商品やサービスを提供しているのかについて調べ200字程度にまとめる。
10: コンビニエンスストア(CVS)　百貨店 グループワーク	自分の利用したことのある百貨店を1つ挙げ、昨年度の売上高について調べる。
11: DVD鑑賞ー日本の流通の歴史ー中内功と鈴木敏文ー ディスカッション(DVDの感想を話してみよう)	自分の利用したことのあるドラッグストアの企業名とそこで実際に販売されている商品について調べる。
12: ドラックストア，　ホームセンター(HC) グループワーク	アウトレットの意味を調べ、50字程度にまとめる。
13: ショッピングモール、アウトレットモール グループワーク	生協と農協の共通点と違いについて調べ、70字程度にまとめる。
14: 生活協同組合、農協協同組合 グループワーク	近年の流通業態の変化を200字程度にまとめる。
15: まとめ	試験範囲を確認し、これまでの学習の内容をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:教員作成の資料を配布予定。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・流通業界の発展の鍵を握るのは、女性の視点が重要であるといわれています。私達の身近に存在する流通業態について、自分自身の目線や女性の目線を大切にしながら授業を進めたいと思います。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
社会福祉概論	LP30108	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
郡嶋　かおる		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人口減少時代に生きる私たちにとって社会福祉を学ぶことは必須であることについて考える。
社会福祉の基本理念および人権について、歴史的発展の経緯などから学ぶ。
社会保障制度、社会福祉制度、福祉行政制度についての概要を学び、地域社会のなかで生じているさまざまな課題について考える。

Ⅲ. 学習成果

社会福祉の多種多様な取り組みを理解するため、基本的な知識を身につけることができる。
地域社会の一員として、社会福祉の活動について具体的なイメージをもつことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 現代社会の動向と社会福祉	現代社会にどのような福祉的課題があるかまとめます。 毎回授業の終わりにアウトプットノートを記入します。
2: 社会福祉の基本理念 ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン	ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンについて調べまとめます。
3: 社会福祉の歴史(イギリス、アメリカ、日本)	社会福祉の歴史を学ぶ意義についてまとめます。
4: 福祉分野の法律(日本国憲法と福祉分野の法体系)	あなたの街の条例について2～3をあげて整理しましょう。
5: 社会福祉基礎構造改革と福祉サービスの利用のしくみ	措置制度と利用契約制度についてまとめます。
6: 社会福祉の実施体系(社会福祉の実施体制国・地方公共団体の行政機関)	
7: 社会福祉の民間専門機関・団体および福祉財源	
8: 社会福祉の施設と専門職	あなたの住む地域にどのような福祉施設があるか調べてみましょう 略図を描いて書き込む、調べての感想を提出します。
9: 社会保障制度(5つの社会保険)	自分の医療保険を手掛かりとして
10: 公的扶助(生活保護の原理・原則)と低所得者支援	生活保護を受けている人へのイメージを考えてきましょう。
11: 子どもと家庭福祉の法制度(日本の理念)	子ども子育て支援の必要性についてまとめます。 どうして子ども虐待は起きるのか考えてまとめます。
12: 高齢者福祉	高齢者のイメージを自分の祖父母から考えます。
13: 障がい者福祉	障がい者のイメージについて考えましょう。
14: 利用者の権利擁護	教科書178頁を挑戦してみましょう。
15: 地域共生社会の実現に向けて まとめ	ボランティアについて整理してみましょう。

＊準備学習についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回20～25分は教科書を読むこと。課題はプリントまたはGoogle Classroomから提出。詳しい内容・学習方法は毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

みらい×子どもの福祉ブックス　社会福祉　志濃原亜美・編集　みらい2020年　2100円(税別)
必要に応じて、新聞記事等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前学習で調べたことは、授業中に発表し、学びを共有できるようにします。課題については、講義内で解説します。
復習として、理解度を確認するために小テスト(2回程度)を行います。小テストについての詳細は事前にお知らせします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語	LP30113	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
谷岡　敏博		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎英語・英文法のやり直しをします。英会話をするにも基本文法は、自分の考えを正確に伝えるにも、相手の発言を理解するのにも必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法が身につくことが期待できる。更にそれらを活用し平易な英語で自由記述、表現ができることが期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・エッセイをグループワークで作成し協調性、独創性を培うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語の学習の仕方について。現在の英語力診断クイズと答え合わせをして 現在の自身の英語力を知り、要改善箇所への認識を新たにする。	シラバスをしっかり読んでおく。
2: 時制①(一般動詞の現在形)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の学習	前週の英語診断クイズを想起し自身の弱点の整理をする。
3: 時制②(一般動詞の過去形＆未来形)＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
4: 時制①②の復習　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
5: 進行形　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
6: 受身(受動態)　&　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
7: 進行形と受身の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
8: 助動詞	前週配布したプリントのポイントの復習
9: 完了形	前週配布したプリントのポイントの復習
10: 助動詞と完了形の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
11: 不定詞	前週配布したプリントのポイントの復習
12: 比較	前週配布したプリントのポイントの復習
13: 不定詞と比較の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
14: 形容詞と副詞 エッセイ作成についてグループディスカッション(Active Learning)	前週配布したプリントのポイントの復習
15: 分詞と動名詞＆試験解説 グループワークで作成したエッセイの提出	前週配布したプリントのポイントの復習

＊準備学習についての補足説明

・各週の準備学習(予習と復習等)の要する時間は、授業で配布された教材プリントを中心に1時間程度(以上)が望ましい。・学習内容(完了形や不定詞等)を踏まえ、200～300語程度の英語エッセイをグループワークで作成し期末に提出する。テーマ等詳細は授業で解説します。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当教員がプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①期末の単位認定試験(1回)　80%
②期末に提出するエッセイ　10%
③学習意欲 (英作などの自発的に発表等)　10%
授業中の怠け(居眠り、スマホ扱い、私語、内職等)が過ぎる場合は学習意欲評価はゼロとなる。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・英語の基礎文法力を身に着けたい、復習したい者、真面目に努力を継続する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
韓国語	LP30114	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話により自信と意欲を養います

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)として 登録されていることを事前検索をすること。
2: 第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3: 発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4: 濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5: 合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6: 終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7: 発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8: 会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9: 初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10: 自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11: 数詞　漢数詞　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12: 固有数詞　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13: 曜日　存在詞　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14: 代名詞(事物・場所)	代名詞を理解する。
15: DVD観賞・感想文　まとめ	DVD鑑賞後の感想文をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元の単語やフレーズをノートに書きフリ仮名をふり提出します。各自読んでもらい正しい読みの指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
予習、復習を必ず行い、習得の意志が強くガッツのある学生の受講を望みます。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。
提出課題がある場合は採点して返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
企業論	LP30116	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では社会人となって必要となる経済・経営・ビジネスに関する基本的な知識を学びます。ビジネスの現場で役に立つ知識や働き方も学びます。
また、様々な企業の実例(ケース)を学び、理論と実務の両方の観点から物事を見ます。

Ⅲ. 学習成果

幅広い分野で役に立つ社会人基礎力を向上させることを目標とします。特に事務系の能力の確認・育成のために授業の最後に毎回事務能力検査の問題を解きます。ビジネスは答えがないので、物事を一方的な見方だけでなく様々な視点から考える能力を向上し、社会人として物事を柔軟に考えることができることを目標とします。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 会社とは	予習:シラバスを読むこと 復習:プリントの課題に沿って、ビジネスにおける理解度を深めること
2:会社とは 株式会社の概要	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、株式会社の理解度を深めること
3:日本的経営と成果主義 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、日本的経営の理解度を深めること
4:戦略論から学ぶケーススタディ アパレル業界を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、アパレル業界の理解度を深めること
5:競争の方法① 外食産業を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、規模の経済の理解度を深めること
6:競争の方法② 商店街の成り立ちと今後の展開	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、商店街の現状の理解度を深めること
7:様々な商売の形態 フランチャイズを例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、FCの理解度を深めること
8:サービスを考える サービス業を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、サービス業の理解度を深めること
9:損益分岐点計算① 基本的な考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、損益分岐点の理解度を深めること
10:損益分岐点計算② 応用・さまざまな業種での考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、費用構造の理解度を深めること
11:業界の収益構造 儲けを出す仕組み	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、収益構造の理解度を深めること
12:ニーズとブランド	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、NB・PBの理解度を深めること
13:様々な業界の収益構造	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、業界ごとの特徴の理解度を深めること
14:低価格と0円ビジネス ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、低価格戦略の理解度を深めること
15:まとめ	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題として、これまでの内容をまとめること

＊準備学習についての補足説明
基本的には予習は必要ないが、毎日のニュースを見て課題シートを提出すること。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、授業ごとにプリントを配布する
なお、多岐にわたる内容であるため、参考図書に関しては授業内で別途案内する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成される。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目での課題は主に毎日のニュースを見る習慣をつけることです。興味のあるニュースをピックアップし、感想を書きます。それに対して担当者よりコメントを付けて返却します。また、重要なニュースや珍しいニュースなどが書かれていた場合、内容を他の学生にも話をし、意見等を共有します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	2年
日本語文法の基礎【中級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力試験N2レベルの文法を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N2レベルの文法の意味・用法を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 力試し	時や場の領域を表す表現について調べる
2: 時や場の領域を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 進行状態を示す表現について調べる
3: 進行状態を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方について調べる
4: 対応関係や比較を表す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 仮定や観点を示す表現について調べる
5: 仮定や観点を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 限定して示す表現について調べる
6: 限定して示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現について調べる
7: 傾向や様子を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 列挙する言い方について調べる
8: 列挙する言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方について調べる
9: 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す言い方について調べる
10: 可能・不可能を示す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで勉強した文法を見直す
11: 模擬試験 グループワークにて答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す 時や場の領域を表す表現を確認する
12: 総合問題① 時や場の領域を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方を確認する
13: 総合問題① 対応関係や比較を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現を確認する
14: 総合問題② 傾向や様子を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す表現を確認する
15: 総合問題③ 可能・不可能を示す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
次の時間に学習する文法については目を通しておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	2年
日本語文法の基礎 【上級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて日本語文法をマスターしましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。
2)多様なテーマの文章を通じて文法構造や用法などを覚えて日本語能力試験N1を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード(lrcxkys) シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 健康法①～体重 (文法・語彙・クイズ) 一人ランチ (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート①課題
3:Lesson2 健康法②～ウォーキング (文法・語彙・クイズ) 日本文化を生んだ道具 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3 お礼の手紙 (文法・語彙・クイズ) アレルギーの危険性 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4 おわびのメール (文法・語彙・クイズ) 苦しいときほど笑え (文法・語彙・クイズ)	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話 (文法・語彙・クイズ) お風呂入ってもいいですか。 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦 (文法・語彙・クイズ) 学び直し休暇 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト
9:Lesson7 自然の世界①～天気 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない① (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8 今日の出来事③～番号 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない② (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き (文法・語彙・クイズ) 花 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故 (文法・語彙・クイズ) 河童 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12 大衆文化	ワークシート⑪ フィードバック
15:Lesson13 復習 (Lesson7～Lesson10)のワークシート及び小テスト 日本語文法の基礎まとめ	小テスト

＊準備学習についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N2 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト20%、単位認定レポート60%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートは学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合はコメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語語彙の基礎 【中級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の語彙を理解し、適切な場面で使用できる。
・JLPT N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 自分の興味、関心とその理由を日本語で表現し、共有することができる。	JLPTN2対策問題を解く
2: 自分の3つの強みのエピソードを日本語で表現し、共有することができる。	JLPTN2対策問題を解く
3: JLPT模擬試験	JLPTN2対策問題を解く
4: 説明を読んで、日本の地理や町の様子、気候について知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
5: 説明を聞いて、気候に合わせた建物の特徴を知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
6: 説明を読んで、町の特徴や歴史などについて知ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
7: JLPT N2模擬試験	JLPT模擬試験問題を復習する
8: 地震や台風などの速報を聞いたとき、必要な情報を得ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
9: 約束の時間に間に合わないとき、状況を説明して指示を受けることができる。	ことば、文法復習問題を解く
10: けがをしたときの状況と今の状態を説明することができる。	ことば、文法復習問題を解く
11: 避難の際の注意事項を読んで情報を得ることができる。	ことば、文法復習問題を解く
12: 緊急事態が起こって経験したことを周りの人と共有することができる。	ことば、文法復習問題を解く
13: 防災についてグループで調べる。	原稿を作成、提出する
14: これまでのことば、文法の復習①	ことば、文法復習問題を解く
15: これまでのことば、文法の復習②	ことば、文法復習問題を解く

＊準備学習についての補足説明
その日習ったことの復習としてほぼ毎回課題を出します。まずはその日に学習したことばをQuizletで復習してください。準備学習は毎回約15分行ってください。
授業開始時に確認するので、必ず自分でやってから授業に来てください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』、『新完全マスターN2語彙』、『新完全マスターN2漢字』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

Quizlet, Google classroomでの課題の提出の仕方については初回の授業で説明します。
提出課題のフィードバックは毎回授業の冒頭で行います。その際、他の学生の参考になるものは、スクリーンでシェアします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語語彙の基礎【上級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの語彙を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N1レベルの語彙の意味を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	様子・感情などに関する語彙の意味を調べる
2: 様子・感情などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙の意味を調べる
3: 文化・社会などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙の意味を調べる
4: ビジネス・教育などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 副詞・形容詞などの意味を調べる
5: 副詞・形容詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 動詞・名詞などの意味を調べる
6: 動詞・名詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などの意味を調べる
7: 類義語・対義語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などの意味を調べる
8: 擬音語・擬態語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 慣用句・漢字などの意味を調べる
9: 慣用句・漢字など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 様子・感情などに関する語彙を確認する
10: 実践練習① 様子・感情などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙を確認する
11: 実践練習② 文化・社会などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで学習した語彙を見直す
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙を確認する
13: 実践練習③ ビジネス・教育などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などを確認する
14: 実践練習④ 類義語・対義語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などを確認する
15: 実践練習⑤ 擬音語・擬態語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

次の時間に学習する語彙については意味を調べておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験問題集N1語彙スピードマスター」中島智子他(Jリサーチ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語読解・作文の基礎 【中級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を読む
・書き言葉としての日本語の文章の書き方を学ぶ
・日本社会についての文章を読み、社会的なテーマについて自ら考える

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を正しく読むことができる
・日本語での表現と作文の力を身に付ける
・日本語の文章を十分に理解することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	読解のポイントについてのプリントを読む
2: 内容理解(短文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
3: 内容理解(中文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
4: 統合理解① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
5: 主張理解(長文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
6: 情報検索① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
7: 内容理解(短文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
8: 内容理解(中文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
9: 統合理解② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
10: 主張理解(長文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
11: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す「言葉の役割」の語彙を調べる
12: 読解「言葉の役割」① 作文「アポイントをとる」	本文を音読する 作文「アポイントをとる」を完成させる
13: 読解「言葉の役割」② 作文「アドバイスを求める」	「イルカと超音波」の語彙を調べる 作文「アドバイスを求める」を完成さ
14: 読解「イルカと超音波」① 作文「伝言する」	本文を音読する 作文「伝言する」を完成させる
15: 読解「イルカと超音波」② 作文「謝る」	本文を音読する 作文「謝る」を完成させる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター」小林ひとみ他(Jリサーチ出版)
「日本語プロフィシェンシーライティング」由井紀久子他(凡人社)
「大学・大学院留学生の日本語1読解」アカデミック・ジャパニーズ研究会(アルク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験40%、課題・小テスト35%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語読解・作文の基礎 【上級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川　藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて苦手で読解・作文のコツをつかみ克服してみましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。。
2)多様なテーマの文章を通じて語彙力アップにつなげ、自由自在に作文ができる。
日本語能力試験N1をめざすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード(lrcxkys) シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 旅行先からの絵はがき(読解・語彙・作文・クイズ) 一人ランチ(読解・語彙・作文・クイズ)	 ワークシート①課題
3:Lesson2 今日の出来事①～おもてなし (読解・語彙・作文・クイズ) 日本文化を生んだ道具(読解・語彙・作文・クイズ)	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3 お礼の手紙 棚田	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4 おわびのメール 絵の楽しみ方(語彙単語と読解予習)	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話 航空券を安く買う方法	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦 日々の生活～予約	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)
9:Lesson7 自然の世界①～天気 カプセルホテル	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8 今日の出来事③～番号 子供とケータイ	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き ペットと飼い主の名前	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故 自転車の車道通行	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12 大衆文化	ワークシート⑪フィードバック
15:Lesson13 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)

＊準備学習についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N1 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

小テスト20%、単位認定レポート60%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートについて―学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合は、コメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日常日本語会話の基礎 【中級】	LP30121	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅲ. 学習成果

「自分のこと、自分の考えを伝える力」「伝え合う力、語り合う日本語力」を身につけることを目的に
JLPTのN2レベルの日本語能力の獲得を目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 覚えてもらえるように印象的に発音に注意して自己紹介することができる。	ことば、文法復習問題を解く
2: 自分の価値観を伝えるため、あると幸せだと思うものについて優先順位を考えながら話すことができる。	ことば、文法復習問題を解く
3: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
4: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
5: 気候が合わなくて体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスすることができる。	ことば、文法復習問題を解く
6: 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩を紹介することができる。	ことば、文法復習問題を解く
7: JLPT模擬試験の解説	模擬試験の復習をする
8: 知ってもらいたい自分のふるさとについてグループで調べる	原稿を作成する
9: 知ってもらいたい自分のふるさとについてグループでまとめる	原稿を提出する
10: 発表練習	発表原稿を覚えてくる
11: 発表	発表原稿を覚えてくる
12: 防災についてグループでまとめる	原稿を提出する
13: 発表練習	発表原稿を覚えてくる
14: 発表	発表原稿を覚えてくる
15: まとめと振り返り	振り返りシートを提出する

＊準備学習についての補足説明
発表用の原稿はGoogle classroomに提出してください。そちらで添削を行います。準備学習は毎回約15分行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『できる日本語中級』

Ⅵ. 評価方法と評価基準

発表50% 課題25% 学習意欲25%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の原稿のフィードバックはGoogle classroom内で個別に添削を行い、他の学生の参考になるものは、スクリーンでシェアします。
その原稿をもとにグループで発表を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日常日本語会話の基礎 【上級】LP30121		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題を聞く
・論理的で説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題の内容を正しく聞き取ることができる
・発表の流れを理解し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 自己紹介・力試し	必要に応じて指示する。
2: 課題理解① メモをとる練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
3: 課題理解② 発表の構成	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
4: ポイント理解① 発表全体の流れ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
5: ポイント理解② 発表のための基本的な表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
6: 概要理解① 背景説明、問題提起	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
7: 概要理解② 分類の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
8: 即時応答 データの提示	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
9: 統合理解① 定義、割合の表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
10: 統合理解② データの説明、解釈	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
11: 模擬試験1回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
12: 模擬試験2回目 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
13: 変化・経緯を表す表現 発表準備①	未習得の言葉を覚える 発表準備
14: 比較を表す表現 発表準備②	未習得の言葉を覚える 発表準備
15: プレゼン発表	発表の振り返り

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター」青木幸子他(Jリサーチ出版)
「聴解・発表ワークブック」犬飼康弘(スリーエーネットワーク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験30%、課題・発表40%、学習の意欲30%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や発表に関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
文化人類学	LP30102	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山口　正博		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生の皆さんがこれまで身につけた「当たり前」の価値観は日本の文化と社会が色濃く反映されたものである。しかし、その「当たり前」は世界中のどこにでも通用するものではない。本講義では各回のテーマに沿って世界の諸文化を紹介しながら日本文化と比較して相対化させることで、異文化を理解するとともに自文化としての日本を深く知る視線を獲得することを目指す。ただし、近年日本社会における「常識」的価値観を共有できない学生も見られるので、「常識」の確認も行う。

Ⅲ. 学習成果

人類文化の豊かさや深さを知ることで、文化的背景の異なる人々と相互理解を深める姿勢を身につける土台を形成できる。
自分たちの常識を相対視し、日常生活において自らの立ち位置を客観視する力を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 文化人類学とは何か 文化人類学という学問の成立前史から初期学説の展開を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
2: 進化論と伝播主義 文化人類学の初期学説の問題点を把握する	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
3: 機能主義 現代の文化人類学がいかにして成立したのかを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
4: 贈与交換1 贈り物によって人間や集団同士の関係が構築されることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
5: 贈与交換2 贈り物へのお返しがなぜ必要なのか、そのメカニズムを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
6: アニミズムとシャーマニズム 神霊という存在をめぐる多様な文化を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
7: 儀礼と祭り1 儀礼によって日常や人生が区切られていることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
8: 儀礼と祭り2 集団的な昂揚が日常に活力を与えることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
9: 呪術と宗教 一見縁遠い「呪術」が我々の日常に浸透していることを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
10: 神話1 自分たちが何者かを知る思想の原初形態としての神話の機能を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
11: 神話2 無意識の作用によって神話が多用に変化することを知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
12: ジェンダーと親族 「男らしさ、女らしさ」や結婚できる範囲の文化的多様性を知る	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
13: アクティブラーニング グループ毎に生まれ育った地域の文化について議論し、小レポートを作成する。	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
14: 観光 文化をめぐる「本物」とは何か。観光が文化をどのように扱っているのかを知る。	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。
15: 季節的な話題を文化人類学で読み解く 季節的な行事を文化人類学的視点で考察する	プリント・ノートを見なおして分からないところは参考図書で確認し、当日のノートに書き加え、自分自身のノートを完成させる。

＊準備学習についての補足説明
予習に関しては、講義終了時に次のテーマのキーワードを挙げるので、それについて調べて考えておくこと。復習に関しては、各回1時間程度使ってまとめておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書なし。講義時にプリント・資料を配布する。
参考書(購入義務なし):綾部恒雄編『文化人類学最新述語100』弘文堂、2002年／関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004年／
綾部恒雄・桑山敬己編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年／内堀基光・奥野克己編『改定新版 文化人類学』放送大学教育振興会、2014年
※関心あれば大学・公共図書館で探してください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(80%)、授業態度・リアクションペーパーによる学習の意欲(20%)
試験は記述式で正解か不正解かで客観的に点数が出るものに加えて論述問題を出題します。論述問題に関しては事前に告知する。
教室で講義が行えない場合は別途指示する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

私語や居眠りは論外ですが、講義を妨害するほどの態度の者は退室を命じることがあります。そうした人は学びたい学生の権利を侵害していることを自覚してください。
また、講義を漫然と聞き、ノートをとるだけでも不十分です。紹介された参考図書を読むなど積極的に学ぶことを望みます。学生の本分として全ての講義に出席することが当然ですので、「何回まで休める」といった態度で臨んだとしても学習効果は期待できないでしょう。講義の理解を深める質問は翌週配布するプリントにも記載し補足説明を行う。試験で不合格の者には成績の講評を伝え、追再試験の指示も行う。 提出物を課した場合はコメントを付して返却する。
※履修を希望する留学生へ:講義内容は能力試験N2でも難解だと思いますが、外国人だからといって特別扱いはできないことを念頭において履修して下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
数学	LP30110	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
本井　碧		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は多くの企業の採用選考で利用されている適性検査SPIの非言語分野対策を目的とします。
計算問題、割合、図形、順列組合せなど出題頻度の高い様々な問題に繰り返しチャレンジすることで、問題形式に慣れ
SPIで要求される出題された問題を「速く」「正確に」処理する実力を身につけることをねらいとします。

Ⅲ. 学習成果

1. SPI非言語分野の問題を自分の力である程度解くことができる。
2. SPI非言語分野の頻出・重要問題の解き方について十分に理解し、他者に説明ができる。
◎アクティブラーニング: 毎回、担当学生が例題の解き方・考え方をまとめてクラス全体にプレゼンテーションし、その他解法の可能性についてディスカッションする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス・実力チェックテスト	予習:シラバスの確認 復習:実力チェックで不正解の問題・その類題を復習
2: 計算問題の基本	予習:教科書pp. 14-27の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 14-27の授業内で正答出来なかった問題を解く
3: 料金の分割払い・仕事算	予習:教科書pp. 28-41の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 28-41の授業内で正答出来なかった問題を解く
4: 速さ・距離・時間	予習:教科書pp. 42-53の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 42-53の授業内で正答出来なかった問題を解く
5: 通過算・濃度算	予習:教科書pp. 54-63の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 54-63の授業内で正答出来なかった問題を解く
6: n進法	予習:教科書pp. 64-71の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 64-71の授業内で正答出来なかった問題を解く
7: 順列・組み合わせ	予習:教科書pp. 72-83の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 72-83の授業内で正答出来なかった問題を解く
8: 資料解釈・表の読み取り	予習:教科書pp. 84-97の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 84-97の授業内で正答出来なかった問題を解く
9: 推論・命題と論証	予習:教科書pp. 100-113の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 100-113の授業内で正答出来なかった問題を解く
10: 集合	予習:教科書pp. 114-127の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 114-127の授業内で正答出来なかった問題を解く
11: 図形の展開図・空間図形	予習:教科書pp. 128-139の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 128-139の授業内で正答出来なかった問題を解く
12: 軌道と回転	予習:教科書pp. 140-147の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 140-147の授業内で正答出来なかった問題を解く
13: 一次関数・二次関数	予習:教科書pp. 148-159の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 148-159の授業内で正答出来なかった問題を解く
14: モノの流れと比率	予習:教科書pp. 160-167の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 160-167の授業内で正答出来なかった問題を解く
15: まとめ・演習問題	予習:これまでの授業での苦手分野を再確認 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習

＊準備学習についての補足説明
特に復習を重要視します。毎回の予復習に必要な時間は1時間程度です。講義でよく理解できなかった時は担当者に直接質問をしてください。
授業内で紹介する参考資料・教材も活用してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「最新! SPI3 完全版 (「就活も高橋」高橋の就職シリーズ)」 柳本 新二著 (高橋書店)

参考図書・教育リソースは適宜授業で紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(35%)、毎回の提出課題(45%)、演習問題(20%)
私語は減点対象です。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題はGoogleClassroomで点数をフィードバックし、翌週解説を加えますので、講義時間内に必ず提出すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス統計	LP30111	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法を学ぶ。はじめに、統計学の利活用について理解を深めるためにグループワークを行う。その後、データの種類や要約方法について課題をこなしながら理解を深める。授業後半では、データ分析の実践的な手法とデータサイエンスに用いられる用語を学習する。

Ⅲ. 学習成果

・基礎的なデータの扱い方を理解し、その解釈方法を説明できる
・平均値、中央値、標準偏差、相関係数などを計算・説明できる
・データサイエンスに関連する基礎的な用語を理解し、説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション、ランダム化比較実験(グループワーク)	数Ⅰの内容、特に順列と組み合わせ、確率の計算について事前に復習しておくこと
2:量的変数と質的変数	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
3:グラフの種類	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
4:ヒストグラム、度数分布	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
5:平均値、中央値、最頻値	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
6:標準偏差と分散	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
7:散布図と相関	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
8:相関係数	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
9:回帰分析と予測	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
10:確率と独立性	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
11:確率分布	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
12:全数調査と標本調査	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
13:ランダム化比較	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
14:区間推定、統計的仮説	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。
15:データサイエンス	与えられた小課題に取り組み、次回提出すること。

＊準備学習についての補足説明
・授業中に学んだことを着実に復習し、分からないことは次回の授業で積極的に質問すること。・授業1回に対して、60分以上の予習・復習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、配布資料にて授業を進める。
日本統計学会公式認定書籍である「データの分析、日本統計学会編」については授業内容理解の参考になるため、この欄にて紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験:50%(全授業内容をテスト範囲としてテスト結果に基づき評価する)
課題提出:30%(各回に課す小課題への取り組み状況を評価する)
受講姿勢:20%(グループワークでの発言量、授業中の態度から総合的に評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・出題した練習問題等について、授業中もしくは課題返却時に適宜フィードバックを行います。
・本科目は主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法の入門科目です。数学が苦手な方でも興味をもってもらえるように授業内容を工夫して運用しますので、コンピュータサイエンスやデータサイエンスに興味がある方は是非受講してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
天文学	LP30112	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
平井　正則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

自然科学の分野のひとつ天文学の身近な事柄である暦、日、天体(惑星など)の動きから季節の星座までを紹介する。
また、学生の年間行事や日常生活など身近な学生生活での暦の原理、地球公転、自転などの天文学の理論を学ぶ
季節の星座を歴史的話題や神話を通して学習し、季節の星座の見つけ方を体得する。
星座案内の要領を学習し、関係する天文学史の事柄や、文化とその変遷を知り、子供、老人たちへの宇宙の案内役になれる基礎を修得する。

Ⅲ. 学習成果

子供たちと星座探しのできる正しい知識が備えられる
夜空に現れる天文現象や日々の天体や天体現象について正確な知識を習得できる
必要な天文学の基礎資料(天象暦、太陽、月、惑星、星座など)をどう調べ、日常に役立てるかの方法を学習し、習得できる。
天文学ボランテイアとして社会的活動が可能となる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:北斗の水くみ(おおくま座、こぐま座)	身近な九州北部海岸の夜空を観察を試みる
2:夜空の観察法	自分の誕生星座を知る、黄道十二宮を順序に注意して覚える
3:暦(カレンダー)の規則としくみ	大学や自分の年間予定表を調べる
4:夏の大三角とはくちょう座	プラネタリウムの活用 以降、毎回、星座の神話、特徴的な星などの天文知識の紹介
5:こと座	星座絵、星座線、神話の学習
6:わし座	星座絵、星座線、神話の学習
7:秋の四辺形とペルセウス座	プラネタリウムソフトの活用
8:ペガスス座	星座絵、星座線、神話の学習
9:アンドロメダ座	星座絵、星座線、神話の学習
10:冬の大三角とオリオン座	プラネタリウムソフトの活用
11:おおいぬ座	星座絵、星座線、神話の学習
12:おうし座	星座絵、星座線、神話の学習
13:春の大三角、大曲線とおとめ座	プラネタリウムソフトの活用
14:ふたご座	星座絵、星座線、神話の学習
15:しし座とまとめ 最後の星座学習まとめとして模擬プラネタリウム会(相互議論)	星座解説者グループ、観客者グループ分けてプラネタリウムを再現。 季節の主な星座の配布プリントの整理、観望用器具の使用実践

＊準備学習についての補足説明
各回講義で配布する「星座学習」プリントを机上とか見やすい場所に置いて、日常的に目にして星座絵、星座パターンを覚える(毎回60分)特に、15回目模擬プラネタリウム会のための
自作星物語、図制作などの資料を保存しておく。(10分)　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回自作の「星座学習」のプリントを配布、教科書は使わない。
書店で見る多種の暦、星座案内書、天文グッズ(天文スマホアプリ)を紹介するので参考にする

Ⅵ. 評価方法と評価基準

季節の星座学習の中間点(後期後半、冬休み)で近在のプラネタリウム館訪問によるレポートや毎回の学習プラントを自分なりに綴じて
小冊子を製作、感想を書いて最終レポートとし、学習効果(80%)を判定。テーマへの関心度、熱心さを重く評価する
日常的な講義での関心度、熱心さを出欠数を踏まえて評価し、最終評価に加える(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

日常的に簡単なアンケートを行ったり、それまでの星座学習の記憶検査、レポートの感想を講義の合間や講義前後に時間をみつけて学生にアドバイスする
講義取得後は”星のソムリエ”など資格取得講座の基礎が得られ社会的活動が可能になる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語	LP30113	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
谷岡　敏博		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎英語・英文法のやり直しをします。英会話をするにも基本文法は、自分の考えを正確に伝えるにも、相手の発言を理解するのにも必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法が身につくことが期待できる。更にそれらを活用し平易な英語で自由記述、表現ができることが期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・エッセイをグループワークで作成し協調性、独創性を培うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　英語の学習の仕方について。現在の英語力診断クイズと答え合わせをして 現在の自身の英語力を知り、要改善箇所への認識を新たにする。	シラバスをしっかり読んでおく。
2:　時制①(一般動詞の現在形)　＆　基本文法用語(動詞、主語等)の学習	前週の英語診断クイズを想起し自身の弱点の整理をする。
3:　時制②(一般動詞の過去形＆未来形)＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
4:　時制①②の復習　＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
5:　進行形　＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
6:　受身(受動態)　＆　基本文法用語(動詞、主語等)の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
7:　進行形と受身の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
8:　助動詞	前週配布したプリントのポイントの復習
9:　完了形	前週配布したプリントのポイントの復習
10:　助動詞と完了形の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
11:　不定詞	前週配布したプリントのポイントの復習
12:　比較	前週配布したプリントのポイントの復習
13:　不定詞と比較の復習	前週配布したプリントのポイントの復習
14:　形容詞と副詞 エッセイ作成についてグループディスカッション(Active Learning)	前週配布したプリントのポイントの復習
15:　分詞と動名詞＆試験解説 グループワークで作成したエッセイの提出	前週配布したプリントのポイントの復習

＊準備学習についての補足説明

・各週の準備学習(予習と復習等)の要する時間は、授業で配布された教材プリントを中心に1時間程度(以上)が望ましい。・学習内容(完了形や不定詞等)を踏まえ、200～300語程度の英語エッセイをグループワークで作成し期末に提出する。テーマ等詳細は授業で解説します。 単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当教員がプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①期末の単位認定試験(1回)　　80%
②期末に提出するエッセイ　　10%
③学習意欲 (英作などの自発的に発表等)　10%
授業中の怠け(居眠り、スマホ扱い、私語、内職等)が過ぎる場合は学習意欲評価はゼロとなる。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英語の基礎文法力を身に着けたい、復習したい者、真面目に努力を継続する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
韓国語	LP30114	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

韓国語の文字であるハングルの起源や文字の構成を学びます。
文字の読み書きと初歩的な会話ができるよう反復学習を行います。
また、日韓言語の共通性や文化、歴史、ことわざなども学びます。

Ⅲ. 学習成果

1　ハングル文字を読むことの楽しさを覚えます。
2　点呼時の会話で発音のコツをつかみます。
3　単語や語彙のまめテストにより語彙力を上げます。
4　簡単な会話により自信と意欲を養います

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)として 登録されていることを事前検索をすること。
2: 第2課　基本子音字	単語をノートに書き、ふり仮名をふり正しく読む練習をする。 単語の暗記
3: 発音のルール　有声音化	例題をノートに書き、繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4: 濃音	例題をノートに書き、音の違いを理解しながら練習する。
5: 合成母音	例題をノートに書き、口の形を確認しながら発音の練習をする。
6: 終声子音字(パッチム)	テキストの学習内容をしっかり読み理解する。
7: 発音のルール　連音化(リエゾン)	発音ルールを理解して読む練習をする。
8: 会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストのフレーズを繰り返し練習する。
9: 初対面の挨拶	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
10: 自己紹介 (数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して挨拶の練習をする。
11: 数詞　漢数詞　日にち	漢数詞を数えて、日にちが言えるよう練習する。
12: 固有数詞　時間	固有数詞を数えて、時間を言う。
13: 曜日　存在詞　助数詞	漢数詞と固有数詞に助数詞を組み合わせを理解する。
14: 代名詞(事物・場所)	代名詞を理解する。
15: DVD観賞・感想文　まとめ	DVD鑑賞後の感想文をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
次回学習単元の単語やフレーズをノートに書きフリ仮名をふり提出します。各自読んでもらい正しい読みの指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

改定版　韓国語レッスン　初級Ⅰ　スリーエーネットワーク発行
ハングル表①②配布
日常挨拶語録・慣用語のプリント配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)学習の意欲(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

韓国の文化や風土などがわかるDVDを鑑賞します。
予習、復習を必ず行い、習得の意志が強くガッツのある学生の受講を望みます。
授業中の私語、居眠り、スマートフォンの使用は禁止です。
提出課題がある場合は採点して返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
フランス語	LP30115	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
山本　崇代		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

フランス語を初めて学ぶ学生を対象に、基礎を学びます。
自分や身の回りのことをフランス語で言えるようになることを目標に、ペアやグループでの学習も行います。

Ⅲ. 学習成果

1 フランス語の簡単な会話ができる
2 フランスの文化や社会についての知識を得る
3 ペアやグループ学習を通して、学びを共有し深めることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション＋アルファベ ＊ペア、あるいはグループで簡単な自己紹介をフランス語で行う。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
2: 挨拶する ＊ペア、あるいはグループで挨拶の表現を練習する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
3: 人を描写する ＊ペア、あるいはグループで形容詞を練習する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
4: 国籍と話せる言語をいう ＊ペア、あるいはグループで国籍の言い方を練習する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
5: 持ち物や年齢をいう ＊ペア、あるいはグループで持ち物の言い方を練習する	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
6: 場所を示す ＊ペア、あるいはグループで会話文を作って発表する。	テキストの音声を聞き、何回もリピート練習する
7: 前半のまとめの練習問題	練習問題で間違っていた箇所の文法事項をもう一度確認する
8: 好みをいう ＊ペア、あるいはグループで好きなものを尋ねる。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
9: 所有をあらわす ＊ペア、あるいはグループで会話文を作って発表する。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
10: アクティヴィティをいう ＊ペア、あるいはグループでお誘いの会話文を作って発表する。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
11: 食習慣をいう ＊ペア、あるいはグループで食習慣をインタビューする。	テキストの音声を聞き、リピート練習とシャドーイングをする
12: 時刻の表現 ＊ペア、あるいはグループで起床時間などを質問する。	練習問題のおさらいをして、間違えていた箇所の文法事項をもう一度確認する
13: 行き場所をいう ＊ペア、あるいはグループで住んでいるところなどを質問する。	練習問題のおさらいをして、間違えていた箇所の文法事項をもう一度確認する
14: 過去のことを話す ＊ペア、あるいはグループで週末にしたことなどを話す。	複合過去の用法を整理すること
15: 後半のまとめの練習問題	練習問題で間違っていた箇所の文法事項をもう一度確認する

＊準備学習についての補足説明
テキストのわからない単語は調べておくこと。 毎回の授業に関して45分の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

高橋 信良、星埜守之、原 雅久著、『フランス語 ルージュ1 －トリコロール　会話編 －』、朝日出版社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(40%)＋授業への積極的参加と課題の提出(60%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ペア、あるいはグループでの発表について、授業内でコメントします。
遅刻、居眠り、授業に関係ないスマートフォンの使用などは減点になるので注意してください。
教科書を必ず購入し、毎回の授業に持ってくること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本事情	LP30122	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
北里　晋		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本はどのような国なのかを幅広く理解する。①歴史と文化②言語と習慣③社会の成り立ち一の視点から、さまざまな情報、知識を会得するよう講義する。
伝統文化についての解説に重きを置くが、アニメなど現代日本を特徴づける文化、現代の日本社会が過去からどう変化したかついても理解も目指す。

Ⅲ. 学習成果

日本での日常生活の中で遭遇する独特の習慣やマナー、日本人特有の言語表現の意味を正しく把握できるようにする。
日本のおおまかなな歴史や文化、感性について、自国と比較しながら説明できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 博多の歴史と文化を知ろう。地理的特徴と対外交流	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
2: 日本人はどこから来たか。天皇制、武士とは何か	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
3: 日本の産業はどう変化してきたか。経済発展をどう成し遂げたか	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
4: 日本の自然環境は日本人にどんな影響をもたらしたか。災害と信仰	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
5: 四季の変化がもたらした多彩な年中行事、花鳥風月の世界	日本に来て印象的だった年中行事について問うので準備すること
6: 少子高齢化の中で変わる日本の家族のあり方	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
7: 日本の伝統的な食文化　和食の世界	各自の和食体験について問うので準備すること
8: 日本人の住まいと衣類の変遷	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
9: 日本の工芸の発展と現在　焼き物と漆器を中心に	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
10: 城と寺社の建築美　仏像に見る日本的美意識とは	日本に来て訪ねた観光地について問うので準備すること
11: 日本画と洋画の違い　漫画やアニメに至る歴史	好きな日本の漫画やアニメについて問うので準備すること
12: 日本を特徴づける芸「道」の世界　茶道を中心に	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
13: 能、歌舞伎、文楽。伝統芸能はいかに伝わったか	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
14: アクティブラーニング：自国と比較した日本人の特徴についての発表	事前に自身の見解をまとめ、各自簡単なプレゼンテーションを行う
15: 日本人はぜ短詩形を好むのか日本の文芸の特徴	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること

＊準備学習についての補足説明
レジュメはPowerPointで作成。極力簡単な日本語を用いる。復習の所要時間は概ね1時間
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

講義の各項目ごとにレジュメをプリントしてテキストとする。
理解を深めるため、画像や動画を多用する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

講義への理解度をみる文章表現力　60%　自分の意見を発表・表現する力20%　学習の意欲・授業態度20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アクティブ・ラーニングの内容については適宜講評する

専　門　科　目

２　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
経営概論	LP41208	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「マネジメント(経営)」という学問は、営利組織である会社を主な研究対象として理論を発展させてきた。しかしながら今日では「マネジメント」を必要とする組織は、営利組織だけではなく、非営利組織である病院や図書館、NPO団体など広くその研究対象を広げ、各組織の目的に応じて利用されている。

2021年度より、本講座は開講期を変更している。各種ビジネス関連の科目の総括的位置づけとしつつ、従来提供してきた導入的情報も提供する予定である。また、就活に役立つ情報を提供することで、現実社会との接点を実感し、グループワークを通して自分自身の考えをまとめてもらう。

Ⅲ. 学習成果

①経営学で培ってきた理論を実際生活の中に結びつけて考えることができるようになる。
②課題の提示→理論の解説→具体例の収集→グループワーク→課題の提出、という流れを3回経験するので、体系的に経営学を理解できる。
③アルバイトでの経験やテレビ・新聞で話題となったニュースを扱うので、実生活への応用がしやすくなる。
④就活の話題を多く盛り込む予定なので、就活中の学生が最新の情報を得つつ、自分の進路について深く考えることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:配布資料を読みなおし、次回の講義に備えること。
2: マネジメントとは何か？ 組織、管理、成果について	予習:働く職場に関する新聞記事を1つ集めておくこと。 復習:マネジメントの基礎を再度復習しておくこと。
3: ビデオ学習 「7つの会議」	予習:働く職場に関する新聞記事を一つ追加しておくこと。 復習:「7つの会議」 集英社文庫　池井戸潤著、を読むことを推薦する。
4: 働く現場の諸問題①　※課題1の提示 ギスギス職場について	予習:「ギスギス職場」という言葉から連想される職場の特徴を3つ考える。 復習:「ギスギス職場」を改善する方法を1つ考えてみる。
5: 働く現場の諸問題② 働き方改革とは何か？	予習:安倍内閣が掲げる「働き方改革」を調べる。 復習:「働き方改革」の要点をまとめる。
6: 働く現場の諸問題③ アルバイトを例とした現場の声の集積　※グループワーク	予習:働く職場に関する記事を一つ追加しておくこと。 復習:第6回のグループワークをまとめておく。
7: ワークモティベーション① インセンティブ構造について　※　課題1の回収	予習:課題1の完成。 復習:インセンティブ構造とは何かについてまとめておくこと。
8: ワークモティベーション②	予習:なぜ人は働くのかについて考えをまとめておくこと。 復習:将来の働く姿を想像し、金銭以外に何が働く動機に必要かをまとめる。
9: リーダーシップ①　※課題2の提示 フォロワーシップの重要性	予習:リーダーに必要な要素を3つ考えておくこと。 復習:フォロワーシップについてまとめておくこと。
10: リーダーシップ② 非営利組織マネジメントと2つのリーダーシップ	予習:これまで自分がリーダーシップを発揮した場面をまとめておくこと。 復習:自分自身がリーダーになった時のタイプを再度考えておくこと。
11: リーダーシップ③ ※グループワーク	予習:これまでに出会った優れたリーダーとの出会いをまとめておくこと。 復習:第11回のグループワークをまとめておくこと。
12: 企業の社会的責任論①　※　課題3の提示 コンプライアンスについて　※　課題2の回収	予習:課題2の完成。 復習:コンプライアンスについてまとめておくこと。
13: 企業の社会的責任論② 企業不祥事が起きる理由について	予習:企業不祥事の事例を1つ用意しておくこと。 復習:日本企業の企業不祥事の特徴をまとめておくこと。
14: 企業の社会的責任論③ ※グループワーク	予習:企業不祥事の事例を2つ追加で用意しておくこと。 復習:第14回のグループワークをまとめておくこと。
15: まとめ ※　課題3の回収	予習:課題3の完成 復習:第1～15回を振り返り、第3期以降に備えておくこと。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

指定テキストは無し。毎回プリントを配布する。
(参考図書)「ワーク・モティベーション」 ゲイリー・レイサム著　NTT出版、「不機嫌な職場」 高橋克徳他著　講談社
「リーダーシップ論　第2版」 ジョン・P・コッター著　ダイヤモンド社、「会社コンプライアンス」 伊藤真著　講談社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出3回　50%(15%、15%、20%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　50%
・単位認定試験は実施しない。上記の課題等で判定する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・主に一般事務メジャーの学生を対象としているが、他のメジャーからの参加者も対応できるプログラムとなっている。
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指示されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・Google Classroomについて、主として授業外学習の促進のために使用する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス実務演習Ⅱ	LP41209	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネス実務演習Ⅰで習得したビジネス実務・ビジネスマナーの基本を踏まえ、グループワーク・ロールプレイング(役割演技)・演習等により応用を試みる。
また、ビジネス実務演習Ⅰで触れていない文書等の分野について、実習等を通して知識・技能を身につける。

Ⅲ. 学習成果

・事例を通して、様々な場面におけるビジネス実務・マナーの考え方・知識を深め、振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:働くということ	視聴覚教材を視聴したレポートを作成する
2:来客応対①(接待)	GoogleClassroomに提示された、お茶入れ道具に関する動画を視聴しておく。 接待演習問題①の課題に取り組む
3:来客応対②(接待実習) 4名1グループで協力して、お茶入れ・お茶出しの実習を行う	接待演習問題②の課題に取り組む
4:報告の仕方① 事例についてグループでディスカッションし、まとめた意見を発表する　ロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 今回の事例のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
5:報告の仕方② 事例についてグループでディスカッションし、まとめた意見を発表する　ロールプレイングを行う	今回の事例のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
6:電話応対①(応用事例実習とメモの取り方) ロールプレイングを行う	テキスト第Ⅱ部　第3章「電話応対」の名指し人不在に関するページを読んでおく 今回の事例およびメモのポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
7:電話応対②(応用事例実習とメモの取り方) ロールプレイングを行う	今回の事例およびメモのポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
8:文書のマナー①(社外文書)	テキスト第Ⅲ部　第4章「ビジネス文書」の社外文書に関するページを読んでおく 今回の演習問題のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
9:文書のマナー②(社内文書、一般文書)	テキスト第Ⅲ部　第4章「ビジネス文書」の社内文書・一般文書に関するページを読んでおく 今回の演習問題のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
10:文書の取り扱い	テキスト第Ⅲ部　第4章「ビジネス文書」の文書の取り扱いに関するページを読んでおく
10:訪問のマナーと紹介の仕方 4名1グループで、紹介・名刺交換のロールプレイングを行う	テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問・名刺交換・紹介に関するページを読んでおく
11:和室、和食のマナー	和室・和食マナーの課題に取り組む
13:交際の業務①(弔事)	テキスト第Ⅲ部　第6章「慶弔・贈答」の弔事・贈答に関するページを読んでおく。
14:交際の業務②(慶事)	電報に関する課題に取り組む 今回の演習問題のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
15:事務機器使用のマナー まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと　・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.　ビジネス実務　藤村やよい編著　㈱樹村房　¥2，000＋税
2.　プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。
「実務経験教員科目」特記事項:銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ベーシック簿記	LP41201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学びます。複式簿記は、日常の経営活動によって生じる現金や商品売買、貸借関係などを、貨幣額としてとらえて計算を行うところに特徴があります。簿記は企業の財産管理に役立てたり、簿記で計算した数値を企業外部の人たちに情報を開示する役割もあります。
このような背景も考えて、基礎的な商業簿記の内容を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる
・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる修正記入前の貸借対照表・損益計算書が作成できる
・日商簿記3級の前半の内容が理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:企業の簿記 簿記の目的	予習:シラバスを読むこと 復習:指定の問題集の問題を解くこと(p4-6)
2:簿記の要素 貸借対照表、損益計算書	予習:教科書の範囲を確認すること(P7) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P8-10)
3:取引と勘定	予習:教科書の範囲を確認すること(P11) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P12-13)
4:仕訳と転記	予習:教科書の範囲を確認すること(P14) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P14-16)
5:仕訳帳と元帳	予習:教科書の範囲を確認すること(P17) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P17-21)
6:復習問題 グループワークあり	予習:これまでの内容を確認すること 復習:間違っている部分の理解をすること
7:試算表	予習:教科書の範囲を確認すること(P22) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P23-25)
8:決算手続きと意味 決算の意味と考え方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P27-29)
9:決算手続き 損益勘定を用いた締め切り方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P28-29)
10:損益計算書・貸借対照表	予習:教科書の範囲を確認すること(P30) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P30-32)
11:元帳の締め切り 演習問題(グループワーク)	予習:教科書の範囲を確認すること(P26-30) 復習:収益と費用の締め切りの手順のプリント課題
12:現金・現金過不足	予習:教科書の範囲を確認すること(P33) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P34-37)
13:当座預金・当座借越	予習:教科書の範囲を確認すること(P38) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P39-42)
14:総合問題① 仕訳をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること
15:総合問題② 試算表をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること

＊準備学習についての補足説明
基本的に予習は必要ないが、授業内で行ったことは復習として問題を解くこと。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言により構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内で問題を解く時間を作るため、その際に質問を受け付ける。また、その際に課題のチェックも行う。
高等学校で簿記会計を学んで、3級以上の以上の内容を学び、仕訳ができる人は、ベーシック簿記(青柳先生)を受講すること。
毎時間電卓を持ってくること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ベーシック簿記	LP41202	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記の科目を学んだ学生や1年次に簿記を学習した学生を対象に授業を進めます。仕訳ができることを前提に授業を進めます。
毎回の授業では、仕訳を中心に帳簿の作成の基本を学びますが、場合によっては、個人の進度に応じて、問題を解く時間を取り、在学中に
日商簿記検定2級・3級の受験を視野に入れた基礎固めを行います。尚、毎回の授業では、問題の答えを発表して頂きます。

Ⅲ. 学習成果

・簿記の計算構造が理解できる。
・日商簿記検定が受験できるように、2級、3級の基礎固めを行う。
・仕訳を理解し、財務諸表が作成できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業のガイダンス 簿記の基本概念	高校時代に取得した簿記の検定試験があれば、調べてくる。
2: 簿記の要素、仕訳のおさらい。 貸借対照表(資産・負債・純資産)と損益計算書(収益・費用)について	基本の仕訳のプリント課題に取り組む。
3: 仕訳 現金預金	練習用の仕訳のプリント課題に取り組む。
4: 現金預金 貸倒引当金	現金出納帳・当座預金・当座借越の問題を解く。
5: 当座預金 当座借越	現金過不足の問題をを解く。
6: 現金過不足 グループワーク(問題を教えあう)	通貨代用証券について調べる。
7: 商品販売 クレジット売掛金	商品売買の問題を解く。
8: 債権・債務 手形	電子記録債権・電子記録債務の仕訳の問題を解く。
9: 有価証券について(取得と売却) 固定資産	固定資産の取得と売却の仕訳の問題を解く。
10: 租税公課と引出金、差入保証金 グループワーク(問題を解き、答え合わせをしよう)	差入保証金の仕訳の問題を解いてくる。
11: 決算　一連の流れ 減価償却	減価償却の間接法による減価償却費の計算の問題を解く。
12: 貸倒引当金　収益費用の見越しについて グループワーク(問題を解いて答え合わせをしよう)	金銭債権から貸倒引当金を計算してくる。 決算時に行う、見越しの簿記処理を練習する。
13: 収益・費用の繰延べ グループワーク(解らないところを確認しよう)	収益・費用の繰延の仕訳を解く。
14: 精算表(8桁) 貸借対照表と損益計算書	精算表の解き方を確認する。答え合わせをする。 貸借対照表と損益計算書を作成する。
15: まとめ	試験範囲の確認し、精算表、貸借対照表と損益計算書の問題を解く。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。毎回プリントを配付して授業を進めます。
(すでに日商簿記3級を取得している学生には、日商簿記2級の教材を使用します。)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業時には毎回電卓を持参してください。
・高等学校である程度学んでいると思います。これまで学んだ知識を生かしながら、自分の進度を確認し、学習を深めてください。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
原価計算論	LP41210	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では、日商簿記検定試験2級の工業簿記・原価計算のテキストに沿って、原価計算の基礎知識を学びます。原価計算では、製品の製造工程の中で材料費、労務費、経費などの費用(コスト)が発生します。このような費用が、どの部門にいくらかかったかを知ることが主な目的になります。
まずは、お菓子の工場などの事例を挙げて、考えて見ましょう。コストを配分して、製品を造るのにかかる原価を計算します。
授業時では、毎回、答えを発表してもらいます。

Ⅲ. 学習成果

・基礎的な工業簿記と原価計算について理解し、問題が解ける。
・工業簿記と商業簿記の違いを理解する。
・原価計算方法の違いが理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 工業簿記とは 工業簿記の種類、直接費と間接費、グループワーク	シラバスで授業の内容を確認する。 教科書1－04 原価の分類を解く。
2: 工業簿記のアウトライン 材料費・労務費・経費、グループワーク	教科書2－04の製造原価の分類の表を、自分のノートに記入し、 製造直接費と製造間接費について確認する。
3: 工業簿記の仕訳 仕掛品・製品・売上原価と損益、グループワーク	仕掛品勘定と製品勘定の違いを70字程度にまとめる。
4: 材料・賃金・経費 製造間接費の配賦、グループワーク	材料、賃金、経費の購入と支出についての仕訳をノートに記入して 確認する。製造間接費の部分を仕掛品に配賦する仕訳を確認する。
5: 材料費会計 副費の予定配賦、消費価格による材料費の計算	教科書p3－07を読んで、継続記録法と棚卸法についてまとめる。 教科書3－13 予定消費価格による材料費の処理の問題を解く。
6: 労務費会計 予定消費賃率による消費賃金の計算	教科書3－19～3－20の予定消費賃率による消費賃金の計算を 読み、 TRY ITの問題を解く。
7: 経費会計 営業費会計	教科書3－8の費目別計算のTRY ITの問題を解く。
8: 総合原価計算の基礎 大量生産形態、始点・終点・加工進捗度について	食品工場で大量生産されている商品を調べる。教科書4－07の 月末仕掛品がない場合の完成品単位原価を計算する。
9: 月末仕掛品がある場合の計算方法 加工進捗度について	教科書4－13 TRY IT 総合原価計算を解き、総合原価計算表 を完成させる。
10: 月初仕掛品がある場合の原価配分 平均法と先入先出法	教科書p4－15の平均法の問題を解く。 教科書p4－18の先入先出法の問題を解く。
11: 総合原価計算の応用 組別総合原価計算と等級別総合原価計算、材料の追加投入、仕損	教科書p4－31 GOALの組別総合原価計算と原価配分方法を解く。 教科書p4－30 TRY IT 等級別総合原価計算の問題を解く。
12: 標準原価計算、標準原価計算の一連の手続き 標準原価カード	教科書p7－6の完成品原価と月末仕掛品原価の計算を解く。
13: 差異分析 直接材料費、直接労務費の差異分析	教科書p7－13、p7－17のTRY ITの問題を解く。
14: 製造間接費の差異分析 公式法変動予算の場合、固定予算の場合	教科書p7－27～p7－31を読んで、各差異を計算する。
15: まとめ	授業時に解いた問題を振り返る。 シラバスを読み、でこれまで学んだ内容を振り返る。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、各回1時間程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『とおるテキストシリーズ　日商簿記2級　工業簿記 』 ネットスクール株式会社著　　ネットスクール出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回の授業には、電卓を持参してください。
・質問があったところは、次の授業時に再度説明することがあります。少しずつ、理解を深めていきましょう。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス実務演習Ⅰ	LP41203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
岩本　久美子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

顧客満足(CS)を高める要素の一つに、人によるサービスがある。これは、顧客との円滑なコミュニケーションを図り良好な人間関係を築くことで、企業に対する良い印象を形成し、顧客に満足してもらうことである。ビジネスマナーはコミュニケーション力ともいえる。この科目では、ビジネスでの基本的なマナーを学び、身につける。

Ⅲ. 学習成果

・CSにおける、ビジネスマナーの重要性を説明できる。
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:CSとマナー	テキスト第Ⅱ部　第5章「ホスピタリティとサービス」を読んでおく
2:人間関係と印象(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(5)動作」までを読んでおく
3:人間関係と話し方、聞き方① ペアで聞き方の実習をする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(6)話し方(7)聞き方」を読んでおく 身だしなみ・基本姿勢等のチェックリストと聞き方実習のコメント表を完成させる
4:人間関係と話し方、聞き方② 自分の声を録音し、チェックする	発音に関するプリントを使用して、練習をする。
5:ことば遣い①(敬語) 敬語の種類・作り方・陥りやすい間違いなど	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」55ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.1に取り組む
6:ことば遣い②(敬語、接遇用語) 場面による敬語の使い分けなど	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」65ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.2に取り組む。敬語演習問題(2)のテスト準備をする
7:指示の受け方と報告の仕方①(基本的な指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 敬語・接遇用語演習問題のテスト準備をする
8:指示の受け方と報告の仕方②(複数の指示の受け方・報告の仕方など) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	指示を受ける、報告をする際の基本的な用語を覚えてくる
9:電話応対①(基本的な取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの基本的流れを覚えてくる 基本事例を口頭練習し覚えてくる
10:電話応対②(名指し人が不在の場合など) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる 応用事例を口頭練習する
11:来客応対①(基本的な受付・取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる
12:来客応対②(案内・見送り) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題に取り組む
13:訪問のマナー	テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問に関する89～94、96ページを読んでおく
14:交際の業務(贈答など)	テキスト第Ⅲ部　第6章「慶弔・贈答」第2項「贈答の知識」を読んでおく 贈答の金品の包み方のポイントを覚えてくる
15:まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと　・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. ビジネス実務　藤村やよい編著　㈱樹村房　￥2，000＋税
2. プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物、小テスト(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:【則松】銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日商簿記Ⅰ	LP41204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目は「ベーシック簿記」で学んだ簿記の知識に基づき、日商簿記3級程度の知識と処理能力を身に付ける。11月および2月に開催(予定)される日商簿記3級に向けて焦点を当て、解説と問題を解くことを中心に行う。

Ⅲ. 学習成果

日商簿記3級程度の知識を身に付け、検定試験に合格する水準まで簿記を理解できる。
ビジネスの場面においても日商簿記3級の範囲内の用語の理解と簡単な説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:小口現金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P43-47)
2:商品売買(3分法)	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P48-56)
3:商品有高帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P62-68)
4:売掛金・買掛金、貸倒引当金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P69-75)
5:受取手形・支払手形	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P76-81)
6:クレジット売掛金・その他債権・債務	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P82-88)
7:固定資産の減価償却・売買	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P89-92)
8:営業費・税金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P93-98)
9:決算整理①費用の前払い・収益の前受け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P100-102)
10:決算整理②費用の未払い・収益の未収	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P103-107)
11:試算表の作成①合計残高試算表の作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P108-111)
12:試算表の作成②仕訳から試算表の作成手続き	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P112-119)
13:精算表の作成①修正記入と作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P120-125)
14:精算表の作成②損益計算書と貸借対照表の振り分け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P126-129)
15:帳簿の締め切り	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P130-133)
16:損益計算書・貸借対照表	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P134-140)
17:伝票会計①3伝票制・5伝票制の処理	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P141-146)
18:伝票会計②仕訳から伝票へ	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P147-149)
19:総合問題1	復習:間違った問題の理解をすること
20:総合問題2	復習:間違った問題の理解をすること
21:総合問題3	復習:間違った問題の理解をすること
22:総合問題4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
23:精算表問題1	復習:間違った問題の理解をすること
24:精算表問題2	復習:間違った問題の理解をすること
25:精算表問題3　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
26:過去問題演習1	復習:間違った問題の理解をすること
27:過去問題演習2	復習:間違った問題の理解をすること
28:過去問題演習3	復習:間違った問題の理解をすること
29:過去問題演習4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
30:過去問題演習5　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること

＊準備学習についての補足説明
基本的に予習は不要である。復習として毎時間、問題集の問題を指示する。復習にかかる時間は毎時間1時間程度の分量である。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ベーシック簿記で使用した教科書及び問題集を使用する(持っている場合は追加で購入する必要なし)
『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言によって構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内での質問に答える形とする。その時間は毎時間設ける。
積み重ねの授業のため、原則欠席はしないこと。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日商簿記Ⅰ	LP41205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記会計の科目を学んだ学生を対象に、2期のベーシック簿記(経験者クラス)に引き続き授業を行う。よって、仕訳ができることを前提に授業を進めます。この授業では、主に日商簿記検定の2月の検定受験へ向けて準備を進めます。
また、分からない箇所や出題頻度の高い箇所は、重点的に説明することがありますが、基本、授業では問題を解きます。
2級の受験者に対しては、商業簿記を中心に行います。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級・3級の基礎的な問題が解けるようになる。
・問題を解くスピードを身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 2: 日商簿記第144回の問題を解く。	シラバスを確認する。自分の受験する時期を決定する。 第144回の問題の中で、間違った問題を解く。
3: 第144回の解説を行う。 4:　日商簿記検定第145回の問題を解く。	144回に関する復習問題を解いて提出する。 第145回の問題の中で、間違った問題を解く。
5: 第 145回の解説を行う 6: 日商簿記第146回の問題を解く	145回に関する復習問題を解いて提出する。 第146回の問題で、間違った問題を解く。
7: 第146回の解説を行う。 8: 第147回の問題を解く	146回に関する問題を解いて提出する。 第147回の問題の中で、間違った問題を解く。
9: 第147回の解説を行う。 10: 第148回の問題を解く	147回に関する復習問題を解いて提出する。 第148回の問題の中で、間違った問題を解く。
11: 第148回の解説を行う 12: 第149回の問題を解く	148回に関する復習問題を解いて提出する。 第１４９回の問題の中で、間違った問題を解く。
13: 第149回の解説を行う。 14: 第150回の問題を解く。	149回に関する復習問題を解いて提出する。 第150回の問題の中で、間違った問題を解く。
15: 第150回の解説を行う。 16: 第151回の問題を解く。	150回に関する復習問題を解いて提出する。 第151回の中で、間違った問題を解く。
17: 第151 回の解説を行う。 18: 第152回の問題を解く。	151回に関する復習問題を解いて提出する。 第152回で間違った問題を解く。
19: 第152回の解説を行う。 20: 第153回の問題を解く。	152回に関する復習問題を解いて提出する。 第153回で間違った問題を解く。
21: 第153回の解説を行う。 22: 第154回の問題を解く。	153回に関する復習問題を解いて提出する。 第154回で間違った問題を解く。
23: 第154回の解説を行う。 24: 仕訳日計表　／棚卸減耗損と商品評価損	154回に関する復習問題を解いて提出する。 チャレンジ問題を解く。
25: 合計残高試算表 26: 精算表／売上原価対立法	チャレンジ問題を解く。 チャレンジ問題を解く。
27: 3級:費用収益の見越し・繰り延べ 28: 2級　連結会計の仕訳	費用収益の見越しと繰延べの仕訳を確認する。 連結会計の仕訳をまとめる。
29: まとめ 30: 振り返り　グループワーク	これまで解いた問題をチェックし仕訳を行う。 これまでに解いた問題を見直す。

＊準備学習についての補足説明
・毎回の授業の時間で解けなかった問題は、準備学習の時間の中で解いてください。準備学習は、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回、プリントを配付します。教科書は使用しません。
必要に応じて、問題集を購入する場合があります。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習への意欲１０%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・日商簿記検定の受験を前提に授業を進めていきます。分からないところは、どんな些細なことでも質問してください。
・授業では、予習をしてのぞむこと。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
人的資源論	LP41206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では会社での働き方や様々な制度などを学びます。
また自分にとって働くことはどのようなことか、また会社(業界)と組織の両方を知ることで、自分がどのような仕事に向いているかを確認します。
そのために様々な業界についても学習します。

Ⅲ. 学習成果

会社(業界)、人事・報酬制度や人材マネジメントを理解し、どのような会社に就職したいかということに自分の意見を持って選択できるようになることを目標とします。また、会社での働き方やトラブルについて学ぶことで社会人になって苦境に陥った時に自分で対処できる知識を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 自分の現状と社会の現状を知る	予習:シラバスを読むこと 復習:テーマに沿った課題の完成
2:ブラック企業とは 劣悪な労働条件を考える	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
3:ブラック企業・ホワイト企業・グレー企業 自分にとっての良い会社、悪い会社	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
4:正規雇用と非正規雇用	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
5:労働問題に関する政府の対応 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
6:アパレル業界の働き方 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
7:会社でやってはいけないこと 会社の懲罰	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
8:小売業界の働き方①	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
9:多様化する働き方 限定社員(地域職)の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
10:ブライダル業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
11:金融業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
12:福利厚生	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
13:旅行業界の働き方	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
14:セカンドキャリア	予習: 復習:テーマに沿った課題の完成
15:Eコマース BtoBからCtoCへ	予習: 復習:

＊準備学習についての補足説明
テーマに沿った課題を課します。ほとんどが事後課題となります。課題にかける時間は30分から1時間程度を予定しています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、毎時間プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート課題(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、点数や評価を付けて返却します。また、良い課題は全員で共有するため演習内で報告します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
パーソナルファイナンス	LP41207	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

パーソナルファイナンスとは、個人のお金周りの管理に関する知識や技能を指す。人は企業とは異なり、ライフサイクルを持ち、人生における各ステージで考えるべき内容は当然異なる。将来の老齢年金の受取額が現在の高齢者より少なくなることが確実な中、自らのライフスタイルを考え、世の中にある金融商品をうまく活用し、豊かなライフプランを描く能力が必要とされている。本講座では、ファイナンシャルプランナー技能検定のテキストを使い、自分自身のライフプランを考えることから始め、自分自身の将来のお金周りについて考える機会を提供する予定である。

Ⅲ. 学習成果

①自分自身のライフプランを描き、自らのお金周りと合わせて検討できるようになる。具体的には、キャッシュフロー表を自ら作成できるようになる。
②人生の「貯め時」、「耐え時」を理解し、世の中の金融商品をうまく使うことで、自分の人生をより豊かにできることを理解する。
③人生の三大支出への備えを若い時に済ませることの重要性を理解することで、日々の細かな無駄な支出を抑制することができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション パーソナルファイナンスとは何か？	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:配布資料の要点をまとめておくこと。
2: 黒字人生・赤字人生 ライフプランとライフデザイン	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:「貯め時」と「耐え時」を理解し、自分の人生のお金周りを考えてみる。
3: 複利計算と現在価値①　※課題1の解説	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:複利計算の特徴を理解すること。
4: 複利計算と現在価値②	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:第3回と同じ。
5: キャッシュフロー表の作成①　※課題1の回収　パソコン室を利用	予習:課題1の完成。 復習:Excelシートを用いたキャッシュフロー表を作成する。
6: キャッシュフロー表の作成②　パソコン室を利用	予習:前回の講義の続きを行う。 復習:作成したキャッシュフロー表の特徴をまとめておくこと。
7: ライフプランニング①　※課題2の回収 教育資金設計	予習:課題2の完成。教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:教育資金の重要性を理解し、教科書を再読すること。
8: ライフプランニング② 住宅資金設計	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:住宅ローンの特徴を理解し、教科書を再読すること。
9: 社会保険の基礎知識① 社会保険・医療保険	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:社会保険・医療保険の特徴をまとめておくこと。
10: 社会保険の基礎知識② 労働災害保険・雇用保険	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:労災と雇用保険の特徴をまとめておくこと。
11: 社会保険の基礎知識③ リタイアメントプランニング(年金・介護)	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:公的年金・介護保険の特徴をまとめておくこと。
12: 有価証券の活用①　※課題3の解説 株式・債券投資	予習:社会保険(第9～11回)の振り返りを行う。 復習:配布資料を元に、株式と債券の違いを理解すること。
13: 有価証券の活用② 投資信託の活用	予習:有価証券とは何かを調べておくこと。 復習:配布資料を元に、投資信託の特徴をまとめておくこと。
14: 有価証券の活用③ キャッシュフロー表を活用したライフプランの再設計	予習:課題3に取り組み、キャッシュフロー表の見直しをすること。 復習:ライフプランの再設計の注意点を理解すること。
15: まとめ　※　課題3の回収	予習:課題3の完成。 復習:5期からの学びに向けて、再度全体を振り返ること。

＊準備学習についての補足説明
・求める準備学習は各回異なるので、担当者の指示に従い、予復習及び課題の作成を行うこと。・為替レート、金利、株価なども定期的に尋ねる。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「ファイナンシャル・プランニング入門 - for Students - 第5版」日本FP協会　日本FP協会監修
参考書 「ファイナンス論」 有斐閣　大村敬一著
「'20-'21年版みんなが欲しかった！ FPの教科書 3級」 TAC出版　滝澤ななみ著
「これでわかった！ファイナンス」 PHP新書　永野良佑著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　50%、課題3回　30%、学習の意欲　20%
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指定されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・定期的に、為替レート、金利、株価について尋ねるので、新聞やネットで日々確認する習慣を身につけて欲しい。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収するプリントは、次回の講義の際に返却を行う。
・毎回回収するプリントおよび課題は、必要に応じてコメントをつけて返却する。
・私語・スマートフォンの私的利用は禁止しており、減点の対象とする。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・Google Classroomの利用については、主として授業外学習の促進のために活用する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
調剤報酬請求事務	LP42206	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

保険診療の基礎や薬の知識を基に、調剤薬局における調剤報酬のしくみ、点数算定の方法とレセプト作成要領を実践的に学ぶ。
『調剤事務管理士技能認定試験』を受験できる能力をつけ、合格できるようになる。

Ⅲ. 学習成果

1. 調剤薬局などにおいて即戦力として働けるよう、調剤報酬のしくみを知り、確実な点数算定とレセプト記載の習得を目標とする。
2. 「処方箋」からレセプト作成がすばやくできるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(受講に関する諸注意と検定試験について) 保険診療の基礎、薬の知識の復習	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 薬の知識を復習して、まとめる。
2:保険調剤のしくみ(薬局と医薬品販売業、保険診療の流れ) 処方箋の基礎知識(様式と記載内容、その他の留意点)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 処方箋の読み方を復習して、まとめる。
3:薬剤と算定の基礎知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 練習問題を解く。
4:調剤報酬の算定方法① 調剤基本料、薬剤料など	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 薬剤料の計算方法を復習して、まとめる。
5:調剤報酬の算定方法② 調剤料	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 調剤料の加算問題を解く。
6:調剤報酬の算定方法③ 調剤料の加算、薬学管理料、小テスト	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 調剤報酬の算定方法を復習して、まとめる。
7:レセプト記載要領の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 レセプト作成問題を解く。
8:レセプト作成演習① 服用時点の読み方、加算項目の書き方など	トレーニングブックのレセプト作成問題を解く。
9:レセプト作成演習② 受付回数の考え方、調剤料を算定しない場合の書き方など	トレーニングブックのレセプト作成問題を解く。
10:レセプト作成演習③ 一包化加算、保険医が2名以上の場合の書き方など	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 トレーニングブックのレセプト作成問題を解く。
11:検定試験の学科問題演習対策	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 試験問題集の学科問題を解く。
12:レセプト点検演習対策	トレーニングブックのレセプト点検問題を解く。
13:レセプト作成演習(応用)	試験問題集のレセプト点検問題を解く。
14:レセプト作成・点検演習 グループワーク:各自で問題を解いた後、グループで解答を作成し、発表する。	試験問題集のレセプト点検問題を解く。
15:調剤検定試験について【模擬試験】 グループワーク:各々のわからないことを公表し、その勉強方法を発表する。	検定試験対策(計画)を立てる。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページと復習問題は、その都度確認する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1. 調剤薬局事務講座テキスト2「算定とレセプト」　2. テキスト3「トレーニングブック」　3. テキスト4「サポートブック」
4. 調剤試験問題集(ソラスト)　5.プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(60%)　2.課題提出・小テスト(30%)　3. 学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 9月の検定受験に焦点を合わせ、合格を目指します。
2. 週1回の授業だけでは知識の定着は難しいので、課題や練習問題で必ず復習してください。
3. 毎回、電卓を持参してください。
4. 教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
5. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却します。　6.授業中の私語・居眠り・携帯などの使用、テキスト忘れは減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療保障制度	LP42201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療保障制度の基本的なしくみや診療報酬の請求、支払いの流れなどの知識の習得を目標とする。
医療事務職にとって必要な医療制度にかかわる関係法規について学び、医療事務職としての業務を遂行するために必要な基礎づくりを行う。
3・4期に学習する「医療事務」に必要な基本知識が定着し、活用できるようになる。

Ⅲ. 学習成果

・医療保障制度や診療報酬のしくみ、医療事務の流れを理解できるようになる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の授業への導入となる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション・医療保障制度の概要 医療機関の概要、医療機関と薬局との関係	シラバスの内容を事前に確認しておく。 テキストP12の練習問題と応用問題を解く。
2:医療保障制度の基礎知識1 (医療保険のしくみ／医療保険の種類)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP25.P26の練習問題を解く。
3:医療保障制度の基礎知識2 (保険給付／給付割合と患者負担／高額療養費／保険外併用療養費)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP38の練習問題と応用問題を解く。
4:公費負担医療制度の概要 (制度の種類／制度のしくみ)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
5:医療関係制度 (労災保険／介護保険)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
6:医科・歯科での医療事務の業務内容 (日常業務／請求事務)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
7:受付事務の基礎知識 (被保険者証の見方、窓口徴収について)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。自分の保険証を調べてみよう。
8:診療録(カルテ)の上書き 診療報酬請求・審査・支払の流れ(レセプトオンライン化)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。診療録(カルテ)の上書きを書いてみよう。
9:保険医療機関及び保険医療養担当規則(医科・歯科)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 テキストP49～P58の保険医療養担当規則の要約を作成する。
10:調剤薬局での医療事務の業務内容 (日常業務／請求事務)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
11:保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則(調剤薬局)	テキストP60～P63の保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則を読んで、問題を解く。
12:医療事務スタッフとしての心構え グループワーク:「医療事務スタッフの心構」をグループで考え、まとめる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
13:診療報酬の算定方法1(点数表の見方・読み方)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 応用問題を解く。
14:診療報酬の算定方法2(カルテの見方・読み方)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 カルテを読んでみる。
15:まとめ	医療保障制度のしくみを理解し、診療報酬の算定をする。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1. 医療事務講座　テキスト1「医療保障制度」(ソラスト)
2. 配布プリント
参考書:「最新　医療関連法の完全知識　2022年版」(医学通信社)
「公衆衛生がみえる 2020-2021」(メディックメディア)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物(25%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
3.授業中の私語・居眠り・携帯などの使用、テキスト忘れは減点の対象とします。
4.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療の基礎知識	LP42202	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
加来　裕子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、医療事務従事者に求められる知識として、人体の基本的な構造と機能、代表的な疾患および、その検査・治療法について解説します。
各器官系の役割と正常な状態から、それぞれの病状を説明します。また、医療倫理をはじめ、多職種と連携が取れるよう理解を深めます。

Ⅲ. 学習成果

基本的な医学の専門用語について説明できる。
代表的な疾患の概要、検査・治療方法について理解し、医療事務検定試験に取り組むことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 人体の基本的構造について	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。
2: 全身の骨格	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。
3: 人体の機能と疾病の成り立ちについて	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。
4: 運動器(全身の筋) グループワーク・発表:身体の動きについての課題	問題プリント1(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
5: 頭部(脳疾患)	問題プリント2(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
6: 頭部(神経疾患)	問題プリント3(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
7: 胸部(循環器疾患)	問題プリント4(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
8: 胸部(呼吸器疾患)	問題プリント5(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
9: 感染症について グループワーク・発表:感染症予防についての課題	問題プリント6(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
10: 腹部(上部消化器疾患)	問題プリント7(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
11: 腹部(肝臓・膵臓疾患)	問題プリント8(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
12: 腹部(下部消化器疾患)	問題プリント9(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
13: 背部(腎・泌尿器疾患)	問題プリント10(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
14: 血液疾患	問題プリント11(10問程度)を配布、Google Classroomから提出。 採点結果をもとに授業のなかで模範解答・解説を行う。
15: 免疫系/まとめ	小テストを行います。 取り組む内容は、毎回説明します。

＊準備学習についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回45分以上行うこと。課題はプリントまたは Google Classroomから提出。詳しい内容・学習方法は毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『しくみと病気がわかる　からだの事典』田沼久美子ほか (監修)　成美堂出版　1,760円
常日頃から、現在の医療を取り巻く問題について、新聞やテレビ、インターネット等の情報に関心を持つよう心がけてください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　課題レポート・小テスト(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

配布資料等は、ファイルにまとめ保存してください。
課題については、講義内および Google Classroomで説明します。
「実務経験教員科目」特記事項:医療従事者(看護師資格)としての勤務経験を活かし、医療現場の状況を踏まえ解説を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療事務	LP42203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は、医療事務職として業務に従事できるよう基本的な知識と技能を修得することを目的としています。医療機関において重要な業務に、診療報酬請求業務があります。そのために必要となる診療報酬の点数計算について、診療行為別の算定方法とルールを学びます。
日本医療事務協会主催の医療事務検定試験の受験をすることができます。

Ⅲ. 学習成果

1.診療報酬請求の事務のしくみを理解することができる。
2.診療行為別の点数算定方法とそのルールを理解し、点数計算ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　オリエンテーション　(授業の進め方・評価方法)/医療事務の仕事	シラバスの内容を事前に確認しておく/テキストの指定ページを復習する。
2:　保険請求事務と窓口会計のしくみと流れ	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
3:　基本診療料　初診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
4:　基本診療料　初診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
5:　基本診療料　再診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
6:　基本診療料　再診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
7:　特掲診療料　医学管理料①　算定のルール　確認テスト①(初診料・再診料)	確認テストに向けて、初診料・再診料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
8:　特掲診療料　医学管理料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
9:　特掲診療料　在宅管理料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
10:　特掲診療料　医学管理料、在宅管理料　まとめ	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
11:　投薬料1　薬剤の区分とカルテ上の見分け方	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
12:　投薬料2　薬剤料の計算単位と薬価計算	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
13:　投薬料3　処方料、調剤料等の技術料	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
14:　投薬料4　まとめ　確認テスト②(投薬料)　グループワーク	確認テストに向けて、投薬料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
15:　注射料1　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
16:　注射料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
17:　処置料1　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
18:　処置料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
19:　リハビリ料　算定のルール・算定演習　確認テスト③(注射料、処置料)	確認テストに向けて、注射料・処置料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
20:　手術・麻酔料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
21:　手術・麻酔料　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
22:　検査料1　検査料全般	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
23:　検査料2　検体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
24:　検査料3　生体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
25:　病理検査・画像診断1(単純撮影)	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
26:　画像診断2　特殊撮影、造影剤使用撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
27:　画像診断3　コンピュータ断層撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
28:　入院料1　入院の費用、入院時食事療養費	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
29:　入院料2　外来と入院との算定方法の違い	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
30:　入院料3　まとめ　単位認定試験範囲について　グループワーク	苦手分野をピックアップしておく／単位認定試験に向けて準備する。

＊準備学習についての補足説明
・目安として予習30分、復習時間は60分程度です。授業だけでは算定練習の時間が限られます。復習をして、理解を深めるようにしてください。・確認テスト で間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて 、確実に算定できるようにしましょう。　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.医療事務講座(医科)テキスト1.2.3.5　ソラスト　2.診療点数早見表2022年4月増補版　医学通信社
3.医療事務講座 カルテ問題集　4.医療事務講座　カルテ問題集解答
参考図書:レセプト作成テキストブック(医科) 令和4年4月版　社会保険研究所
初心者のための診療報酬完全マスタードリル2021-2022年版　内芝修子　医学通信社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(50%)　2.確認テスト(30%)　3.授業への取組み姿勢(20%)(課題作成状況・積極性、予習・復習)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
2.ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出していただくので、配布プリントや課題、自己学習したものなどをファイリングするようにしてください。
3.受講するにあたり、電卓・マーカー・インデックスが必要です。電卓は毎回持参してください。メモリ機能「M＋」「M−」「MRC」がついたものが望ましいです。
4.確認テストについては実施授業回の2回前の授業で範囲等を伝えます。5.提出物は期限を守って提出してください。次回授業時に添削して返却します。
6.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療概論	LP42204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本の医療機関の機能と現状を把握し、実際に医療事務職が行う業務や取組、医療倫理などについて学ぶ。
また、医療事務職にとって必要な「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の知識を深めることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

・医療機関や医療事務職の特性を理解できる。
・医療機関での基本的な事務職の業務の心得を身につけることができる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」に必要となる薬の知識を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:医療概論の授業の進め方と評価方法 患者(家族)は医療機関に何を望んでいるのか	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者の心理を理解する。
2:医療機関とは 医療機関の定義、組織とチーム医療、医の倫理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の種類とその特徴やさまざま職種を調べる。
3:医療機関の経営と管理 診療情報管理、医療関係法規	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療関係法規の内容を理解する。
4:医療機関の環境整備	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の環境整備について考える。
5:医療の基礎知識 患者の移動、体位、診察介助、緊急時の対応、車いすの対応実習	医療事務職レポート
6:医療機関の医療・患者サービス	医療機関で実際に行われているサービスについて調べ、まとめる。
7:健康管理とストレスコントロール	貴女自身のストレスコントロール方法を考える。
8:医療事故の実例と防止対策	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関で実際に起こる事故について考える。
9:情報管理 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	医療に関する情報を収集して、要点をまとめる。
10:医療情報の理解	医療情報にはどのような物があるか考える。
11:医療文書の知識	診療情報提供書を作成する。
12:医薬品の基礎知識① 医薬品の定義、医薬品の種類、医薬品の名称	身近な医薬品からその名称や種類を調べ、まとめる。
13:医薬品の基礎知識② 薬価基準表の見方、薬の剤形、薬の投与方法	身近な医薬品から剤形、投与方法を調べ、まとめる。
14:薬物治療の概要 薬の作用と適用	身近な医薬品から効能などを調べ、まとめる。 今までの配布資料などを見て、まとめる。
15:まとめ、医療機関の現状と今後の課題	医療機関で働くうえで必要とされる心得をまとめる。

＊準備学習についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 現代医療秘書　役割と実務　　中村健壽監修　西文社　￥2，000＋税
2. 医療機器安全実践必携ガイド　医療概論編　一般社団法人　日本医療機器学会
3. 配布プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定に係わるレポート提出(40%)　2. 通常授業の提出物(45%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. 授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療秘書実務	LP42205	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療秘書して社会で貢献するために、医療秘書の役割や使命を理解し、常に新しい知識や技能を取得に意欲を持ち、医療現場で一人一人に応じた援助する力が力が必要となります。患者への感じの良い接遇を見につけ、院内で時・場所・機会に応じた医療秘書の業務が行えるようになることを目的とします。本講義では、医療機関における医療秘書の仕事内容や役割、求められる資質・能力についてまず学びます。次に医療機関での身だしなみ、接遇や電話応対、受付・会計業務、環境整備などについて学びます。グループワークやペアワークなどを行い、自分の理解度を明確にすることができます。

Ⅲ. 学習成果

1.医療秘書の役割・業務内容を理解し、説明することができる。
2.医療秘書に関する基本知識や技能を修得し、実践できる。
3.医療機関での接遇(身だしなみ、マナー、適切な言葉遣いなど)を理解し、患者や医師、職員の方に相応しい対応ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション:(授業の進め方・評価方法) 医療秘書の定義、仕事内容と役割、求められる資質・能力について	シラバスの内容を事前に確認しておく。該当ページを読んでおく。 医療秘書の仕事内容、求められる資質・能力について、整理する。
2:医療現場での基本的マナー① 挨拶の重要性と職場の人間関係／患者、スタッフ間のコミュニケーション	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者・スタッフ間のコミュニケーションに必要なことを考える。
3:医療現場での基本的マナー② 就業中のマナー、身だしなみ、挨拶、立ち居振る舞い	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 医療秘書として適切な言葉遣いを考える。
4:敬語、指示と報告	仕事の指示の受け方と報告の仕方を考える。 敬語の問題プリントに解答する。
5:接遇①:医師のサポート　来客応対 接遇の基本と実際　　案内・茶菓接待	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 来客応対について授業内容を復習し、練習する。
6:接遇②:患者応対の心構えと窓口業務	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者応対の流れについてポイントを整理する。
7:接遇③:患者応対会計業務　　◆小テスト実施 ロールプレイングとケーススタディ	小テストに向けて、準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
8:接遇④:様々な患者への対応 グループワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 様々な患者への対応のポイントを整理する。
9:電話応対①　電話の基本・患者応対 ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 基本的な電話応対についての流れを確認する。
10:電話応対②患者の家族、院内での電話応対 ペアワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者の家族・院内の電話応対のポイントを整理し、練習する。
11:接遇・電話応対:クレーム対応 クレーム対応の基本と実習　　◆小テスト実施	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者役をするためのクレーム内容を考えておく。
12:文書処理 医療機関における文書、文書作成、文書の受発信	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 文書作成の課題を行う。
13:情報の管理　　◆実技テスト 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	実技テストに向けて、練習する。 実技テストを振り返り、良かった点、改善点を整理する。
14:医師のスケジュール管理と出張業務 スケジュール表の作成と管理、出張に伴う業務	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 週間スケジュール表を作成する。
15:慶弔・贈答	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 15回の授業を復習し、単位認定試験に向けて学習する。

＊準備学習についての補足説明

予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してきてください。テキストの該当ページは授業時に指定します。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。

小テストで間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて確実に理解するようにしてください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「現代医療秘書　役割と実務」 中村健壽 監修(西文社) 2,000円(税別)
　　2.「現代医療秘書　ワークブック」 中村健壽　監修　1,700円(税別)

参考図書:医療事務職員のためのコミュニケーション・スキル　中村健壽　監修1, 800円(税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(筆記試験)　50%　2.実技試験(窓口応対)20%
3.授業への取り組み(積極性、挨拶・返事、発表、小テスト)20%　　4.レポート　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
2.実技テスト(第13回実施)については、第10回の授業時に内容等について説明します。3.レポートについては第10回授業時に内容等について説明します。
4.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。
5.講義、ワーク問題確認後、ペア・グループワークのロールプレイを行い、医療秘書・医療事務として感じがよく、適切な対応について実践できる力を積上げていきます。授業で身につけたことを学校生活や就職後に活かしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
銀行論	LP50205	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
渡辺　明治		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

社会生活を営むためには、お金が必要不可欠です。そのお金を扱う銀行は、私たちの生活と直接的・間接的に深くかかわっています。
近年いろんな分野で働き方改革が進み、銀行業務もAI(人工知能)やフインテックなど新技術の導入により大きく変わりつつあります。
この講義では主に地域の銀行を主体に、その役割や仕組みを学び、金融商品についても習得していきます。
さらに中央銀行である日本銀行やメガバンク等についても概要を学習します。

Ⅲ. 学習成果

銀行の仕組みを理解し、銀行等の職員として望ましいレベルの金融知識等を習得します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 銀行論を学ぶ理由	授業の進め方、教育目標について説明します。
2. 銀行の基本的な機能(3大機能など)	銀行の3大機能についてまとめる。(最低20分の予習および復習)
3: 我が国の金融機関の全体像(中央銀行)	中央銀行についてまとめる。(同上20分)
4: 我が国の金融機関(銀行、特に地域の銀行)	銀行の役割についてまとめる。(同上20)
5. 我が国の金融機関(協同組織金融機関、公的金融機関など)	その他の銀行についてまとめる。(同上20分)
6: 預金業務(預金の種類、金融債、信託など)	※アクティブ・ラーニング➡グループワーク&プレゼンテーション 銀行の預金業務についてまとめる。(同上20分)
7: 預金業務(預金利子課税制度と財形貯蓄制度)	銀行のその他預金業務についてまとめる。(同上20分)
8: 貸出業務(貸出の種類と金利)	銀行の貸出業務についてまとめる。(同上20分)
9: 貸出業務(貸出の構成と新しい貸し出し、リスク管理、中小企業向け貸し出し)	銀行のその他貸出業務についてまとめる。(同上20分)
10: 為替業務(概要と全銀システム、銀行ネットワークと電子マネー)	銀行の為替業務についてまとめる。(同上20分)
11: 証券業務(銀行自身の証券業務とグループ証券会社の業務)	銀行の証券業務についてまとめる。(同上20分)
12: 個人取引(概要と資産運用、個人向けローン、クレジットカード、リスク商品)	銀行の個人取引についてまとめる。(同上20分)
13: 法人取引(概要と中小企業向け貸し出し、地域密着型貸し出し、投資銀行ビジネス)	銀行の法人取引についてまとめる。(同上20分)
14: 銀行の経営(銀行の収益、リスク管理、銀行の将来像)	今後の銀行業界についてまとめる。(同上20分)
15: まとめ	第1回から第14回までの中で重要ポイントをこちらで選び第14回の講義中に指示する。選ばれた項目についてまとめる。(同上60分)

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回の教科書関連部分を読んでおくこと。内容については詳しく毎回の授業で説明します。　※アクティブ・ラーニングのテーマ・・・「預金業務の内容」について数名に分けてグループワークを行いその後グループ別に発表。(40分間)　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

図解即戦力　銀行業界の仕組みとビジネスがこれ1冊でしっかりわかる教科書　長塚孝子著　技術評論社　1,400円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学位認定試験60%　課題レポート30%　学習の意欲10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題については、授業内でコメントを提示します。
授業中の私語、スマートフォン等の使用は減点の対象とします。
「実務経験教員科目」特記事項:銀行員として勤務ー国内業務、国際業務　本部、支店、海外の経験などを活かし実学を教育。

関事務連系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日商簿記Ⅱ	LP50206	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記Ⅰを受講した学生を対象に、主に日商簿記検定の商業簿記2級の内容を学び、仕訳を理解し、基本問題が解けるようなることを目的とします。既に3級の内容は学んでいると思いますのでその知識を更に深める。有価証券の保有目的別の会計処理の違い、法人税、研究開発費の処理、200%定率法、株主資本等変動計算書、連結会計など2級の出題範囲の問題も解きます。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級の商業簿記の基礎的内容が概ね理解できる。
・会計構造の理解を深める。
・株式会社の簿記処理が理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 株式会社の簿記	シラバスで授業内容を確認する。
2: 株主資本等変動計算書	過去問から、株主資本等変動計算書の問題を解く。
3: 銀行勘定調整表	テキスト1－4の問題を解く。
4: 当座預金勘定における企業の帳簿と銀行口座の差異調整	テキスト1－5の問題を解く。
5: 売買目的有価証券の購入・売却と端数利息	テキスト1－10の問題を解く。
6: 満期保有目的債券の処理(償却原価法)	テキスト1－11の問題を解く。
7: 固定資産の取得と売却	テキスト2-4の問題を解く。
8: 減価償却(定額法・定率法・生産高比例法)	テキスト2－5の問題を解く
9: 建設仮勘定、未決算	テキスト2－8の問題を解く。
10: 固定資産の除却	テキスト2－9の問題を解く。
11: 国庫補助金の会計処理と圧縮記帳	テキスト2－13問題を解く。
12: リース会計、研究開発費の会計処理	テキスト2－16の問題を解く。
13: 割戻しと割引、棚卸減耗損、商品評価損	テキスト3－4問題を解く。
14: 売上原価対立法、サービス業の会計	テキスト3－7の問題を解く。
15: 不渡手形　手形の更改	テキスト4－4の問題を解く。
16: 電子記録債権と電子記録債務	テキスト4－8の問題を解く。
17: 株式会社の設立と株式の発行、合併会計	テキスト5－4の問題を解く。
18: 当期未処分利益の計上	テキスト5-8の問題を解く。
19: 法人税等と、税込・税抜き方式の消費税	テキスト6－4の問題を解く。
20: 評価性引当金と負債性引当金	テキスト6－8の問題を解く。
21: 2級の精算表と報告式の財務諸表の作成	テキスト7－2の問題を解く。
22: グループワーク(精算表を作成する)	テキスト7－4、7-6の問題を解く。
23: 連結財務諸表の概要	テキスト10－6の問題を解く。
24: 支配獲得日の連結について	テキスト10－12の問題を解く。
25: 税効果会計の概要、課税所得と法人税等の算定	テキスト11－5の問題を解く。
26: 外貨建取引	テキスト11－9の問題を解く。
27: 内部取引高と債権債務の相殺消去	テキスト11-9の問題を解く。
28: 未実現利益の消去	企業の連結について調べ、200字にまとめる。
29: まとめ	テキスト10－12の問題を解く。
30: グループワーク(連結会計について)	試験範囲を確認し、授業を振り返る。

＊準備学習についての補足説明
準備学習については、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

最新段階式　日商簿記検定問題集2級　商業簿記　3訂版　実教出版。
必要に応じてプリントを配付します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回の授業には、電卓を持参してください。
・授業では、予習をしてのぞむこと。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
・授業で習ったことは、その都度復習しましょう。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ファイナンシャルプランナーⅡ	LP50207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファイナンシャル・プランニング技能士資格(主に2級)の合格を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①ファイナンシャル・プランニング技能士(2級)を合格する。
②ファイナンシャル・プランニング技能士(3級)のサポートも行う。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ライフプランニングと資金計画①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
2: ライフプランニングと資金計画②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
3: リスクマネジメント①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
4: リスクマネジメント②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
5: 金融資産運用①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
6: 金融資産運用②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
7: タックスプランニング①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
8: タックスプランニング②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
9: 不動産①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
10: 不動産②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
11: 相続・事業承継①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
12: 相続・事業承継	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
13: 練習問題(学科試験・実技試験)①	予習:第1～6回までの復讐をこなう。 復習:練習問題の復習を行う。
14: 練習問題(学科試験・実技試験)②	予習:第7～12回までの復讐をこなう。 復習:練習問題の復習を行う。
15: 練習問題(学科試験・実技試験)③	予習:実技試験の内容を中心に復習を行う。 復習:これまでの全体の復習を行う。

＊準備学習についての補足説明
・(予習:自宅)→過去問→解説→(復習:自宅)というサイクルで授業を行う。詳細は、第一回目で話しをする。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　「'21-'22年版みんなが欲しかった！ FPの教科書 2級」 TAC出版 滝澤ななみ著
参考書　「令和3年度 FPテキスト 1～6」 日本FP協会 貝塚啓明監修

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験 80%、学習の意欲 20%。持ち込み電卓のみ。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・「パーソナルファイナンス」もしくは「ファイナンシャルプランナーⅠ」の受講者、もしくはFP3級取得者のみ履修を許可する。
・実技試験の内容を意識しながら授業を進めていくので、試験日までの日数を考えながら受講すること。
・専門用語が多く、3級と比べても内容がかなり難しいので、単位取得だけを目的とした学生や留学生は受講の際必ず担当者に相談すること。
・Google Classroomを使い、授業外の支援を行うので、必ず受講者は全員登録すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
保険の基礎知識	LP50204	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの日常生活や企業のビジネス活動には、様々なリスク・危険があります。保険とは、そうしたリスク・危険への有効な対応手段です。本講義では、保険の仕組み、特に社会保険(年金、医療、介護等)や民間の保険(生命保険、損害保険、医療保険等)の基礎的な内容を学び、保険の適切な活用方法の理解を目指します。ファイナンシャルプランナーの「リスクマネジメント」分野にも対応しています。

Ⅲ. 学習成果

①保険の仕組みと機能について、正しく理解できること。
②わが国の社会保険制度に関する基礎的な知識を習得すること。
③日常生活の中でのリスクと保険の活用方法について理解し、自らのライフプランの作成に活かせるようになること。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション 保険の仕組みと種類について解説を行う。	予習 ・シラバスをよく読み、授業内容をある程度把握しておくこと。 復習 ・「預金は三角、保険は四角」の意味を理解し、次回に備える。
2: 社会保障制度の概要 給与明細の見方について解説を行う。予習のための用紙の準備。	予習 ・給与明細のサンプルを読み、何が書いているのかを理解しておくこと。 復習 ・アルバイトの給与明細との違いをまとめること。
3: 公的年金制度の概要 ・予習の回収	予習 ・年金制度についての新聞記事をひとつ用意しておくこと。 復習 ・第3回目の資料に目を通し、次回に備えること。
4: 公的年金制度とライフプラン ・予習のための用紙の準備。	予習 ・国民年金手帳について調べておくこと。 復習 ・第4回目の資料に目を通し、次回に備えること。
5: 公的医療保険制度の概要 ・予習の回収	予習 ・医療制度についての新聞記事をひとつ用意しておくこと。 復習 ・第5回目の資料に目を通し、次回に備えること。
6: 公的医療保険制度と民間保険のベストミクス ・予習のための用紙の準備。	予習 ・自分自身の保険証を確認し、他との違いを調べておくこと。 復習 ・第6回目の資料に目を通し、次回に備えること。
7: 公的介護保険制度の概要 ・予習の回収。	予習 ・介護保険についての新聞記事をひとつ用意しておくこと。 復習 ・第7回目の資料に目を通し、次回に備えること。
8: 社会保険のまとめと今後の展開について 小テスト①	予習 ・第3～7回目の資料を読み直し、小テストに備えること。 復習 ・小テストの解説を踏まえ、次回以降の学びに備えること。
9: 公的保険と民間保険(私的保険)の役割	予習 ・シラバスを再度確認し、これまでの内容をまとめておくこと。 復習 ・第9回目の資料に目を通し、次回に備えること。
10: 自動車保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・各家庭の保険加入を調べる。自動車保険以外も含む。 復習 ・第10回目の資料に目を通し、次回に備えること。
11: 火災保険・地震保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・火災保険と地震保険の特徴を調べておくこと。 復習 ・第11回目の資料に目を通し、次回に備えること。
12: 生命保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・生命保険の種類を調べておくこと。 復習 ・第12回目の資料に目を通し、次回に備えること。
13: 医療保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・民間の医療保険の種類を調べておくこと。 復習 ・第13回目の資料に目を通し、次回に備えること。
14: 民間保険まとめと社会保険とのベストミクス 小テスト②	予習 第9～13回目の資料を読み直し、小テストに備えること。 復習 ・小テストの解説を踏まえ、次回に備えること。
15: まとめ	予習 ・第1～14回の要点を復習し、ポイントをまとめておくこと。 復習 ・単位認定試験に備え、第15回目の資料を中心に復習すること。

＊準備学習についての補足説明
上記の準備学習の欄をよく読み、担当者の指示に従い準備を行うこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は指定せず、毎回プリントを配布する。
(参考図書)はじめて学ぶリスクと保険(第4版)有斐閣　下和田功(編)
世界一やさしい保険の本　東洋経済新報社　保険相談センター著
損害保険を見直すならこの1冊　自由国民社　株式会社マネーライフナビ　株式会社マネーライフナビ著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験(筆記試験)(50%)、小テスト(20%)、学習の意欲(毎回回収するプリント、新聞記事の回収、グループワークへの関与度を含む)(30%)。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・講義では、毎回プリントを配布するので、資料を整理するためのフォルダを準備すること。
・社会保険を含めた保険制度に関わる話は日々の経済ニュースとして扱われているので、日々の情報収集を怠らないこと。
・社会保険関連　→　小テスト、民間保険関連　→　小テスト、という流れで講義を実施するので、予・復習を必ずすること。
・毎回配布するプリントを通して、質問を受け付けるので、各回の授業のフィードバックは翌回の冒頭で行う。
・Google Classroomについて、主として授業外学習の促進のために使用する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
コンピュータ会計	LP50208	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、会計ソフトのシェアトップである弥生会計を使って、簿記・会計の基礎と実務で必要となる処理を学びます。基礎的な知識はもちろん、企業分析に必要となる指標や計算方法・その数字が意味することなども学びます。後半は会社の財務指標を分析し、プレゼンテーションも行います。

Ⅲ. 学習成果

簿記の基礎知識を得て、経理関係の実務で基本的な作業ができるようになります。また事務職では正確さが求められるため、きちんと見直しができるような力も身に付きます。

関事務連系

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション	予習:シラバスを読むこと 復習:
2:簿記の基礎 簿記の仕組みと経理	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第1章) 復習:仕訳の問題を解くこと
3:弥生会計の基本操作 セットアップと各種帳簿	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第1章) 復習:弥生会計の使い方を確認すること
4:企業の基幹業務と会計処理① 業務システムと会計システム	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第2章　売掛金まで) 復習:弥生会計の使い方を確認すること
5:企業の基幹業務と会計処理② 現金、預金、売掛金、仕入、売上	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第2章　残り) 復習:弥生会計の使い方を確認すること
6:日次業務① 仕訳等の処理方法	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第3章　販売ソフトまで) 復習:仕訳の問題を解くこと
7:日次業務② 仕訳等の処理と入力	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第3章　経費まで) 復習:仕訳の問題を解くこと
8:日次業務③ 給与計算と処理方法	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第3章　残り) 復習:仕訳の問題を解くこと
9:総合問題 仕訳問題	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(これまでの内容) 復習:仕訳の問題を解くこと
10:決算業務と会計処理① 通帳の見方と処理	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第5章　通帳まで) 復習:仕訳の問題を解くこと
11:決算業務と会計処理② 社会保険の処理	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第5章　残り) 復習:仕訳の問題を解くこと
12:授業内課題①の作成 伝票からの起票	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(これまでの処理の内容) 復習:課題のテーマを深く調べること
13:授業内課題①の作成と発表 企業の貸借対照表と損益計算書	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(これまでの処理の内容) 復習:振り返りシートを完成させること
14:授業内課題② 財務分析	予習:分析する企業とその事業内容を調べること 復習:課題のテーマを深く調べること
15:授業内課題②とその発表 プレゼンテーション	予習:プレゼンテーションの準備をすること 復習:振り返りシートを完成させること

＊準備学習についての補足説明

専用のソフトを使用するため、自宅での課題等はできません。教科書を事前に読んでおくのが予習となります。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

テキストは使用せず、毎時間プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業内課題(50%)　授業内課題は計2回行います。
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、提出した課題に対してコメントと点数を添えて返却します。
また、予習・復習・授業内課題は、専用のソフトが必要ですので自宅のPCではできません。したがって授業時間内に全ての学生が終わるように課題や範囲を設定します。個人によっては授業が早く終わることもあります。
この科目は、経理上の処理を想定しており、入力には簿記の知識が必要になります。これまでに全く簿記の勉強をしたことのない学生は原則受講できません。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Excel演習	LP50201	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般(表作成、関数の理解と使用、テーブルの作成とデータの検索、種々の書式設定、種々のグラフ作成)をマスターし、見た目にもわかりやすい数表やグラフを作成できるようにする。

Ⅲ. 学習成果

Excelの基本オプションの設定や印刷の為の諸設定ができるようにする。
表計算ソフトの基本機能--データの入力、集計、検索、グラフ作成などが、完全にできるようにする。
Excelで使う数式の作成や、主要な関数の意味を理解し、適切に使用できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ワークシートとブックの作成	教科書1-1、1-2の内容の復習
2: ワークシートとブックの書式設定と入力規則の設定	教科書1-3の内容の復習
3: ワークシートやブックのオプション設定とカスタマイズ	教科書1-4の内容(～P69まで)の復習
4: マクロの記録と保存	教科書1-4(P70～P76)マクロの復習
5: 印刷設定と印刷のためのワークシートとブックの設定	教科書1-5の内容の復習
6: データの挿入と書式設定	教科書2-1、2-2の内容の復習
7: 条件付き書式、スパークライン、データの並び替え、アウトライン設定、テーブルの作成と設定、抽出・並び替え	教科書2-3、3-1、3-2、3-3の内容の復習
8: 数式の作成(四則演算、基本関数、絶対参照)	教科書4-1、4-2の内容の復習
9: 論理関数(IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF)	教科書4-3の内容の復習
10: 文字列関数(UPPER、LOWER、LEFT、RIGHT、MID、TRIM、CONCATENATE)	教科書4-4の内容の復習
11: VLOOKUP関数	VLOOKUP関数の復習
12: 関数ネスト(IF、VLOOKUP)、RANK.EQ	IF、VLOOKUP、RANK.EQ関数の復習
13: グラフ作成	教科書5-1の内容の復習
14: オブジェクト(画像、図形、SmartArt等)の作成	教科書5-2の内容の復習
15: 【プレゼンテーション】ポスター又はカレンダーを作成し、どのようなテクニックを使ったかクラスで披露し解説する。	作成するポスターやカレンダーについて、教科書を参照し、事前にある程度考えておく。

＊準備学習についての補足説明
授業中で理解が不十分な内容があれば、居残り、又は、空き時間に、同じPC室で練習する事。 長くても、1時間程度で完了できると思われる。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.FOM出版　Microsoft Excel 2013 対策テキスト& 問題集〈改訂版〉 ¥2,200(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出50%　 実技試験 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
授業で演習をした後、次回の授業の前に、復習をしておく。また、教科書に載せられている各機能の解説を、予習としてよく読んでおく(授業時は、演習が中心なので、機能説明を授業時だけで完全に理解するのは、難しいことがある)。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Word演習	LP50202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

課題の作成を通してWordの基礎から応用までを学びます。授業では4期開講のWord検定対策講座に繋ぐことができるようワープロ検定の内容も重視して授業を行います。また、Wordの文書作成機能以外の色々な便利な機能についても指導を行います。毎回、タイピング・入力練習を行う予定です。

Ⅲ. 学習成果

wordを使いこなせるようになります。Wordで正確なビジネス文書の作成ができるようになります。地図や組織図、表、チラシなど身の回りで役に立つ文書の作成ができるようになります。正確で速いタイピングのスキルが身につきます。

関事務連系

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容の説明・USBフラッシュメモリの使い方・便利なファイル操作の方法 タイピング練習①	授業終了時に課題について指示をする タイピング課題①(タイピング練習を行い結果を記録する)
2:Wordの基本操作①(文字入力・印刷) タイピング練習②	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題①印刷して提出
3:Wordの基本操作②(編集機能) タイピング練習③	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題②印刷して提出
4:色々な形式の文書の作成① タイピング練習④	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題③印刷して提出
5:ビジネス文書の作成方法 入力練習①	授業終了時に課題について指示をする(プリント配布) 入力課題④印刷して提出
6:表作成の基礎 タイピング練習⑤	表作成の課題を完成して提出する
7:表作成に関する色々な機能と練習問題(検定問題・見積書) 入力練習②	表作成の課題(検定問題・見積書・)を完成して提出する
8:図形機能の基礎と図形を使った地図の作成(検定地図・色々な地図) タイピング練習⑥	地図の課題を完成して提出する
9:テキストボックスの利用方法(しりとりの作成) 入力練習③	しりとりの課題を完成して提出する
10:コピー機能の利用方法(領収書・連絡網) タイピング練習⑦	領収書・連絡網の課題を完成して提出する
11:授業11回目までのまとめ(復習問題②)・差し込み印刷・段組み 入力練習④	段組みの課題を完成して提出する
12:wordで図と絵を描く(SmartArt・シェイプアート) タイピング練習⑧	SmartArt・シェイプアートの課題を完成して提出する
13:wordとExcelを組み合わせて使う方法(カレンダーの作成) 入力練習⑤	カレンダーの課題を完成して提出する
14:試験内容の説明	試験問題をもう一度作成し提出する
15:課題集の作成	課題集は決められた期日までに必ず提出する

＊準備学習についての補足説明

課題は提出日の授業開始前までに提出してください。

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成の資料を毎回配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技) 50%　課題提出　50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題の提出・未提出は個人情報に配慮しつつ毎回表示しますので確認してください。(Google　classroomで提示する場合もあります。)

提出した課題はチェック後返却します。(返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。)

日本語ワープロ検定・MOSのword検定の受験を希望する学生はこの科目を履修しWordの基礎を身につけて欲しいと思います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ファイナンシャルプランナーⅠ	LP50203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、ファイナンシャルプランニング技能士3級(日本FP協会主催)を取得することを目標とします。ライフプランニングから資産設計やリスクマネジメントまで幅広い知識を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

ファイナンシャルプランニング技能士3級程度の知識を身に付ける。また、お金に関する基本的な知識を身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ライフプランニングと資産形成① キャッシュフロー表(CHAPTER01)	予習:シラバスを読むこと 復習:指定された問題を解くこと
2:ライフプランニングと資産形成② 社会保険(CHAPTER01)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC8) 復習:指定された過去問題を解くこと
3:リスクマネジメント① 保険の基本、生命保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
4:リスクマネジメント② 損害保険、その他保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
5:金融資産運用① 金融・経済の基本(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
6:金融資産運用② 債権、投資信託(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
7:金融資産運用③ 金融商品(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC6～SEC9) 復習:指定された過去問題を解くこと
8:タックスプランニング① 所得税(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
9:タックスプランニング② その他税金(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC7) 復習:指定された過去問題を解くこと
10:不動産① 不動産の基本と取引(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
11:不動産② 不動産の税金(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
12:相続・事業承継① 相続(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
13:相続・事業承継② 贈与(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
14:総合問題① 学科問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること
15:総合問題② 実技問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること

＊準備学習についての補足説明

基本的には決められた範囲の教科書を読むこと。また、復習も重要なため、問題を解くこと。復習に関しては、日本FP協会の試験問題(過去問題)とする。準備学習の時間は60分程度を目安としています。　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「みんなが欲しかった！FP3級の教科書2021-22年版」 滝澤ななみ　TAC出版　1,500円＋税

※毎年改定されるため、予習の範囲は授業内容のCHAPTERのセクション(SEC)で表記している

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)

学習の意欲(30%)　授業の参加態度による加点と私語などによる減点

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

問題の答えを配布するとともに、授業内で問題を解く時間を設ける。その際に、間違えた箇所などの質問に応じる。

受講者は、原則として9月の日本FP協会主催のFP3級を受検すること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
財務会計論	LP50209	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:	事務系関連科目		
青柳　薫子		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達が生活している社会の中で、気がつけば会計用語が使われています。この授業では、社会の中で会計情報の果たしている役割について考えます。
将来、企業に就職した時に、仕事の内容の中に会計学に関する言葉が出てくることがあります。会社の営業成績も会計に直結することとなります。
後半では、国際基準と日本基準をテーマにグループディスカッションを行い、発表を行います。

Ⅲ. 学習成果

・財務会計の基礎的な内容が理解できる。
・基本的な会計用語が説明できる。

関事務連系

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 事業の共通言語としての会計	シラバスの内容を確認する。 会計に関する専門職にどのようなものがあるか3つ程度調べてくる。
2: 会計と複式簿記システム	仕訳の仕組みである「取引の8要素」をノートに記入してくる。
3: 会計の情報利用者とグローバル化	会計の利害関係者を8つ挙げ、それぞれを50字以内 で説明する。
4: 会計のグローバル化 日本における4つの会計基準	IFRSを使っている130か国を調べ、100字程度にまとめてくる。
5: 財務諸表の体系	貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書の特徴について200字でまとめる。
6: 資産について	資産の種類とその特徴について調べ、200字程度にまとめる。
7: 負債について	負債の種類とその特徴について調べ、200字程度にまとめる。
8: 純資産について	純資産の種類と特徴について調べ、200字程度にまとめる。
9: 収益と費用について	収益と費用の具体的な勘定科目をそれぞれ5つ挙げ、 収益と費用の特徴を200字程度にまとめる。
10: 損益計算書における5つの利益	損益計算書に記される5つの利益を記入し、それらの違いを 70字程度にまとめる。
11: キャッシュ・フロー計算書	企業のキャッシュ・フロー情報が重要視されるようになった理由 や背景について70字程度にまとめる。
12: 株主資本等変動計算書	株主資本にはどのような項目があるかを調べてくる。 繰越利益剰余金と当期純利益との違いを記入する。
13: グループワーク(国際会計基準、日本基準、米国基準、JMISについて)	IFRS(国際財務報告基準)はどのような基準なのか を調べ、70字程度にまとめる。
14: 発表会 「イオン株式会社の連結財務諸表から読み取れること」	グループでの発表を終えての感想と、他のグループの発表を 聞いた感想を200字程度で記入する。
15: まとめ	シラバスを読み、これまでに学んだ内容を振り返る。 これまで学んだ、会計用語について整理する。

＊準備学習についての補足説明
・ 準備学習については、毎回30分以上行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『入門会計学　改訂版ー決算書が読めるようになるエッセンスー』 片山　覚他著　　実教出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、グループワーク・提出物20%、学習への意欲10%とし、総合的に判断する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業はパワーポイントを使って行います。毎回資料を配付します。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
証券外務員Ⅰ（特別会員）	LP50210	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講座は、証券外務員試験の中でも、主に特別会員二種外務員資格試験に対応した講座です。九州及び近県の地方銀行及び信用金庫・信用組合といった、本学の卒業生が主に働く職場から、卒業時点で標記の資格を取得するように言われるケースが増えてきています。資格取得を目指し頑張りましょう。

Ⅲ. 学習成果

①特別会員　二種外務員　の合格
②特別会員　一種外務員　の合格　※合格のためには3コマ程度の補講が必要。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: イントロダクション	予習：テキストの受験内容について読んでおくこと。 復習：自分が受験する資格を確認すること。
2: 証券市場の基礎知識	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
3: 金融商品取引法①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
4: 金融商品取引法②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
5: 債券業務①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
6: 債券業務②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
7: 債券業務③	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
8: 投資信託①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
9: 投資信託②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
10: 投資信託③	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
11: 日本証券業協会	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
12: 株式業務	予習：前回までの復習 復習：配布プリントの復習
13: 練習問題①	予習：第1～4回の復習 復習：間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。
14: 練習問題②	予習：第5～10回の復習 復習：間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。
15: 練習問題③	予習：第11、12回の復習。第13、14回の練習問題の復習。 復習：練習問題の間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。

＊準備学習についての補足説明
・毎回の講義の復習をしっかり行い、ある程度進んでからは練習問題に取り掛かって欲しい。勉強の仕方については第一回目でお伝えする。
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：「2022～2023　証券外務員　学習テキスト　一種・二種対応」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
　　「2022～2023　証券外務員　一種　対策問題集」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
参考書：

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　80%、学習の意欲　20%。持ち込み電卓のみ。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・二種外務員については、上記の内容では不足しています。関連分野については、パーソナルファイナンス、経営概論、経済学で重複した内容を伝えているので、そちらも同時に受講して欲しい。
・授業の進度が早いので、一度欠席をするとなかなか理解が難しくなる。欠席をした場合は相応の準備をして次の授業に臨むこと。
・約2ヶ月学べば特別会員二種外務員試験に合格できる程度の実力はつくので、日々の勉強を怠らず、まじめに取り組むこと。
・証券外務員Ⅱからの受講は認めていない。必ずⅠ（本講座）から受講すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
証券外務員Ⅱ（正会員）	LP50211	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

3期開講の証券外務員Ⅰを受けて、本講座を開講する。本講座では、正会員1種外務員の合格を目指します。

Ⅲ. 学習成果

①正会員1種外務員の合格
②正会員2種外務員の合格

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 株式業務	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
2: 株式会社法概論	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
3: 経済・金融・財政の常識①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
4: 経済・金融・財政の常識②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
5: 財務諸表と企業分析①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
6: 財務諸表と企業分析②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
7: 証券税制①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
8: 証券税制②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
9: デリバティブ取引①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
10: デリバティブ取引②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
11: デリバティブ取引③	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
12: 練習問題①	予習：第1～4回の復習 復習：配布プリントの復習
13: 練習問題②	予習：第5～8回の復習 復習：配布プリントの復習
14: 練習問題③	予習：第9～11回の復習 復習：配布プリントの復習
15: まとめ	予習：第12～14回の練習問題の復習 復習：練習問題の間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。

＊準備学習についての補足説明
・毎回の講義の復習をしっかり行い、ある程度進んでからは練習問題に取り掛かって欲しい。
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：「2022～2023　証券外務員　学習テキスト　一種・二種対応」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
　　「2022～2023　証券外務員　一種　対策問題集」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
参考書：

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　80%、学習の意欲　20%。持ち込み電卓のみ。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・正会員1種外務員の合格を目指した内容となっている。よって、正会員2種を受験する学生については、別途対応を行う。
・証券外務員Ⅰがベースとなっているので、本講座からの受講は認めていない。必ずⅠを受講してから、本講座を履修すること。
・必要に応じて、ZoomやGoogle Classroomを用いて、授業外の支援を実施するので、必ず登録をすること。
・上記のスケジュールは、学事歴に沿ったものであるが、各学生の受験日に従い柔軟に対応する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ブライダル業務の実務	LP43203	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

結婚式・披露宴の当日を迎える迄の業務の流れや留意点を実際に使用する資料や書類等を使って解説します。
また挙式・披露宴の映像を観たり、ホテルや結婚式場への学外研修等も予定しています。

Ⅲ. 学習成果

実際にコーディネーター業務を行うに当たっての実践的な知識やマナーを身につけます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:受け付けにあたって ・人間関係の構築・最低限のマナー	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
2:施設見学(学外研修) ・ホテル・専門結婚式場	旅行などで婚礼施設のあるホテルに泊まった際には見学したり パンフレットを戴いたりしてみる
3:施設見学 ・貸衣装店	貸衣装店を見つけた時は外からでものぞいてみたり、迷惑で なければパンフレットを戴いたりしてみる
4:お申込みについて ・日時、会場の選択・結婚式(挙式スタイル)の検討	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
5:印刷物について(1) ・招待客のリストアップ・招待状	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
6:衣装について(1) ・和装	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
7:衣装について(2) ・洋装、列席者	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
8:ギフトについて ・引出物・引菓子(試食)・プチギフト	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
9:料理について ・和・洋(仏・伊)・中・ブッフェ	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
10:会場コーディネートについて ・テーブルクロス・チェアカバー・装花等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
11:ブーケ等について ・ブーケ・ブトニア・花束等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
12:印刷物について(2) ・配席表・席札・メニューカード等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
13:記録について ・写真・VTR等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
14:演出について ・進行・映像等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
15:まとめ 結婚式・披露宴前後の諸問題・ブライダル業界への就職	ブライダル業界に就職するならどういう業種が良いか考えてみる

＊準備学習についての補足説明
各単元ごとにブライダル業務Ⅰ,Ⅱで学習した事を復習しておいて下さい。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ホテルや結婚式場で実際に使用している資料や書類

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%
レポート　　30%
学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:レポートについては、基本的には個別に応答します。内容によっては全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:始礼終礼があります。学外研修の際は特に服装、言動、行動に気を遣いましょう。
「実務経験教員科目特記事項」:現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホテル業務概論	LP43204	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
多久　浩隆		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

世界のホテル史と日本のホテル史の歴史的な流れや、ホテル文化の社会的スタンスとホテル接客評価とは何かの基礎知識を学ぶ。
一流ホテルの経営理念と現実的な接客対応や、ホスピタリティを解りやすい内容で講義する。 ※動画等にて具体的な高級ホテルの現状を講義する。
また、ホテル業務実務全般を、具体的にロールプレイングとグループQ&A形式で、一般接客に於けるニーズの先取りと基本の大切さを学ぶ。
※コロナ禍の感染予防対策の事例研究。

Ⅲ. 学習成果

ホテル(サービス最前線)にリクルート希望の学生も多く見られる為、今後の就職活動を視野に入れた、ホテル人材教育を一歩踏み込んだ講義により、
実務に適切に対応出来る一般教養や 接客マネージメント力やホテルマンとしての基礎育成を学び、目標設定を持った、粘り強い社会人形成を目指す。
テーマレポート提出にてホスピタリティ (人に優しい・思いやり・おもてなし)の自己認識の重要性、受け身ではなく生徒が主体的に物事に取り組む姿勢や
能力を育成して自己完結を達成します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション ※コロナ禍の感染予防対策の現状。　※フリーディスカッション	準備学習内容については、授業で説明します。 ※次回の講義資料配布
2:ホテルの世界史と日本のホテル歴史。	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
3:ホテルスタッフ教育の今昔　実務概要説明	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
4:今後、求められるホテルスタッフ ※リッツカールトンホテル　(クレド参照)	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
5:ホテル部門別売上と組織構成の変化	第一回 ミニテストの実施
6:宿泊・レストラン・宴会の売上三本柱の変化	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
7:最近のホテルマーケティング・セールスの現状把握 ※ロールプレイニング実施	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
8:人を動かす職域と責任の重要性 ※デールカーネギーより ★接客の五大原則　※ロールプレイニング実施	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
9:予約の現場とインターネット環境の現状	第二回 ミニテストの実施
10:ホテルレストランのサービスと顧客管理の原則	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
11:宴集会の現場とセールスマーケティングプラン	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
12:ホテル業界のホスピタリティマインドとは・・・※ ※乃木坂46・ゆるキャラ(くまモン)に学ぶ事例研究　※フリーディスカッション	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
13:命を守る(安全・安心) ☆ホテル調理部門の衛生管理	第三回 ミニテストの実施
14:ホテルの環境対策と社会的役割　※ コロナ禍の現状分析	前回の講義で配布した資料をチェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、授業でまとめを解説します。
15:.ホテル業務概論まとめ ※ホスピタリティー;レポート (プレゼンテーション)　※グループ・プレゼン	テーマレポート提出

＊準備学習についての補足説明
配布する講義資料の予習・復習の徹底
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特に使用しないが、オリジナルプリント作成して配付
(ホテル資料・業界紙・インターネット資料・その他、映像資料を使用)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①ミニテスト 30%　②テーマレポート提出 35%　③学習の意欲 35%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

※ホテル施設利用体験 ・ (ロビー見学 ・ホテルHP閲覧など) ※授業中のスマートフォン使用は、授業に沿う形で使用を認める。
「実務経験教員科目」特記事項:
シティホテルにて販売支配人として業務経験あり。授業に於いては実務経験をもとに具体的にセールスマーケティングを講義する
授業内容としては、アクティブ・ラーニングを取り入れ、ホテル業務の一端をロール・プイニングにて学生間 (グループ) で実施する。
学習意欲としてテーマレポート提出で取り組む姿勢を完結する。

指定 ブライダル

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ブライダル業務Ⅲ	LP43205	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
多久　浩隆		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ブライダル(婚礼市場)の現状分析やブライダル施設の実務紹介など、業界の実務とこれからのブライダル業界の方向性を講義する。
具体的な婚礼事例を多く挙げ、結婚にまつわる【 問題点・留意点・トラブル・変化・傾向 】など、映像等を使用して分かり易く講義する。
　新たな授業の取り組みとして、テーマごとに学生同士 (グループ間)のロールプレイング方式を取り入れ理解と興味を深める。
※コロナ禍の感染予防対策の事例研究。

Ⅲ. 学習成果

数々の事例紹介をもって、結婚の価値観や宴集会の変化・自身の恋愛観や結婚観にサポートし、将来の未来予想図のヒントを探る。
リクルートに於いては、ブライダルプランナーとしても適切な【 想像力 ・ 判断力 ・ 責任力 ・ プランナー力 】実務者としての人間育成を目指す。
　総合的には、新社会人・ 職業婦人として実践的な粘り強さ・優しさ ・【 人としての大切な思いやりの気持 】ホスピタリティマインドの自己完結を図る。
☆　BIA技能検定 (ブライダルコーディネーター3級検定) の実力を目指す。 ※社団法人日本ブライダル文化振興協会主催。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ブライダルマーケット概要と担当講師オリエンテーション ※フリーディスカッション	準備学習内容については、授業で説明します。 ※次回の講義資料配布
2:ブライダルコーディネーター職域・職務概要 ※BIA検定試験の概要説明	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
3:新郎新婦から見た魅力あるブライダル施設とは ※BIA検定試験の概要説明　※映像資料	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
4:施設を決定する婚礼予定者の購買動機とネット要因	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
5:ブライダルセールスの現状と問題点 ※ロールプレイニング	第一回 ミニテストの実施
6:コロナ禍に於けるブライダル施設や商品環境の変化と取り組み紹介。	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
7:ブライダルプランナーとしてのあるべき姿 ※BIA検定試験の概要説明　※ロールプレニイング	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
8:満足度の高いブライダル商品のプラン比較研究 ※貴方のブライダルプラン作成	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
9:.ブライダルのトラブル事例紹介。※問題点と苦情の解説	第二回 ミニテストの実施
10:ブライダル演出の変化と傾向 ※サプライズ演出とファッション化の事例研究　※映像資料	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
11:最新のブライダル進行事例紹介 2h～3h ※実際の進行表をもとに司会進行してゆく模擬授業	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
12:.婚礼意識・価値観の変化と社会的な傾向を分析　※ロールプレニイング	前回の講義で配布した資料を再チェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、毎回の授業で説明します。
13:ブライダルセレモニーが消えてなくなる時？ ※事実婚と思い出作り・LGBT問題。	第三回 ミニテストの実施
14:.貴方のブライダル未来予想図　※映像資料	前回の講義で配布した資料をチェックして、講義に臨む。 準備学習内容については、授業でまとめを解説します。
15:ブライダル業務Ⅲまとめ　※ ブライダルプレゼンテーション	テーマレポート提出

＊準備学習についての補足説明

　配布する講義資料の予習・復習の徹底
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特に教科書は使用しないが、オリジナルプリントを作成して各自に配布する。
(ホテルブライダル資料・婚礼業界紙・インターネット資料・その他映像資料等を使用)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①ミニテスト 30%　②テーマレポート提出　50%　③学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

※婚礼情報誌・インターネット環境の閲覧 【 ゼクシー ・ メロン ・ 婚活情報誌など 】　※授業中のスマートフォン使用は、授業に沿う形で使用を認める。
「実務経験教員科目」特記事項:　シティホテルとウエディング施設で支配人として婚礼接客・業務管理の経験あり。
授業に於いては実務経験をもとに婚礼予定者 (お客様) とプランナー (担当者) との重要性を講義する。また、アクティブ・ラーニング(ロールプイニング)を取り入れ、学生間(グループ)での理解を深める。　※学習成果として、テーマレポート提出をもって学習意欲を自己実現する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光デザイン演習	LP44206	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本の観光振興の取り組みにおいて、地域資源を活用した着地型の観光商品・サービスの開発が重視されるようになってきました。
着地型観光とは、旅行者を受け入れる側の地域（着地）側がその地域でのおすすめの観光資源をもとにした観光商品や体験プログラムを企画・運営する形態です。本授業では、「観光」という視点で地域の魅力を捉え直し、地域の方々と連携しながら、観光商品やサービスを開発し、実際に販売に至るまでのプロセスを経験します。学生自らが企画・運営に携わるプロジェクトを計画・実施することになります。

Ⅲ. 学習成果

・観光を活性化させる力、「観光デザイン力」を身につけ、実践できる
・プロジェクトを計画し、プロジェクトに関わる人たちとコミュニケーションを図りながら実現に向けた活動を行うことができる
・地域の方々や観光客との交流において、「ホスピタリティ」「おもてなし」が感じられる行動や会話ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 観光デザインプロジェクトの概要説明	自分なりにプロジェクトのスケジュールを立てる
2: 地域の魅力を活かした観光商品・サービスの事例	観光商品・サービスに関する課題
3: 観光商品企画の骨子づくり① グループワーク　福岡の観光資源を掘り起こす	福岡の観光資源について調べておく
4: 観光商品企画の骨子づくり② グループワーク　商品タイトルと概要、商品の特徴、企画の背景と目的	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
5: 観光商品企画の骨子づくり③ グループワーク　活用する地域資源と活用方法	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
6: 観光商品企画の骨子づくり④ グループワーク　地域との連携・調整	対象地域の方々へ連絡・相談
7: フィールドワーク① 観光資源調査	実際に現場に足を運んで、調査を行う
8: フィールドワーク② 地域の方（関係機関）との打ち合わせ・交渉	実査に現場に足を運んで、打ち合わせ・交渉を行う
9: 具体的な商品内容と条件① グループワーク　商品内容と行程、所要時間（設定時間）、実施日、募集人数・条件	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
10: 具体的な商品内容と条件② グループワーク　参加代金、販売手数料、申込（予約）方法と通知方法、精算方法	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
11: 告知・PR方法 グループワーク　チラシ、動画（YouTube,TikTok等）、SNS（Instagram、Twitter等）	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
12: 媒体の作成・制作① グループワーク　販売にあたっての媒体を作成・制作	役割を決め、担当する媒体を作成・制作する
13: 媒体の作成・制作② グループワーク　販売にあたっての媒体を作成・制作	役割を決め、担当する媒体を作成・制作する
14: 販売方法 グループワーク　販路開拓について	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
15: 成果物の発表（プレゼンテーション）	発表の準備を進めておく

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果（成果物）50%
課題（提出物）30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・授業内でフィールドワークを実施する（地域の方々との打ち合わせ・交渉、商品の告知）を行う場合がある。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホスピタリティー論	LP44207	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「ホスピタリティ」は観光産業をはじめ、金融業界・医療業界などに浸透し、実践されてきた理念ですが、最近ではサービス業を中心にあらゆる業界で取り入れられています。本授業では、まず「ホスピタリティ」の概念に触れ、社会ではどのようにホスピタリティを実践しているのか、事例を学びます。
通常の講義に加えて、受講生自らが「ホスピタリティ」について考える、体験するグループワークを実施します。

Ⅲ. 学習成果

・「ホスピタリティ」の重要性を理解し、他者との良好な人間関係を築くことができる
・人の感動を生み出す質の高い真心のこもったサービスを提供できる
・ホスピタリティを日常生活で実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ホスピタリティとは何か、なぜ必要なのか	ホスピタリティの基本に関する課題
2: SDG'sとホスピタリティ① 持続可能な社会を実現するために必要なホスピタリティ	SDG'sの取り組みについて調べる
3: SDG'sとホスピタリティ② グループワーク 地球の未来のために取り組めること	自分たちが取り組めるSDG'sをまとめる
4: 文化とホスピタリティ① 「道」の付く日本文化	世界と日本のホスピタリティの違いをまとめる
5: 文化とホスピタリティ② 言葉、笑い・ユーモア	世界と日本のホスピタリティの違いをまとめる
6: 企業とホスピタリティ① 個人と組織、ホスピタリティのある企業文化	将来働いてみたい理想の職場についてまとめる
7: 企業とホスピタリティ② 社会と組織、組織の理念とホスピタリティ	将来働いてみたい理想の職場についてまとめる
8: ホスピタリティの事例(航空会社) ディスカッション 航空会社(ANA、スターフライヤー)の事例について	航空業界のサービスについて調べる
9: ホスピタリティの事例(ホテル・旅館) ディスカッション ホテル・旅館(リッツカールトン、星野リゾート)の事例について	ホテル業界のサービスについて調べる
10: ホスピタリティの事例(テーマパーク) ディスカッション テーマパーク(ディズニー、ハウステンボス)の事例について	テーマパーク業界のサービスについて調べておく
11: ホスピタリティの事例(その他) ディスカッション ホスピタリティが活かされている企業について	ホスピタリティが活かされている企業を調べておく
12: 日常生活にホスピタリティを活かす① 「好感力(度)」「楽しむ力」「人間関係力」を磨き、高める	自分が実践できるホスピタリティをまとめる
13: 日常生活にホスピタリティを活かす② 「学ぶ力」「幸福感受力」を磨き、高める	自分が実践できるホスピタリティをまとめる
14: 今までの考え方・習慣を変える	自分が実践できるホスピタリティをまとめる
15: ホスピタリティの実践に向けて 自分が実践したいホスピタリティを考える	課題のレポートを作成する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成資料等を使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート30%(内容は授業で指示します)
課題(提出物)50%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・講義内容に関連するニュースや記事などに注目し、グループワークやディスカッションの際のヒントとするよう心掛けてください。
・授業で学んだことをアルバイト先や学生生活で実践してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホテルビジネス概論	LP44201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光産業の市場概況を理解し、宿泊産業の歴史、国内外のホテル業界の動向、ホテル経営の課題等、最新の情報をもとに幅広く学んでいきます。
また、ホテル産業における宿泊・料飲・宴会（ブライダル含む）・調理部門の業務内容についても学びます。
ホテルビジネス実務検定試験（H検）のベーシックレベル2級の取得を目指した授業内容でもあります。

Ⅲ. 学習成果

・宿泊産業の歴史、ホテル業界についての基礎知識を修得し、説明ができる
・ホテルの各部門の業務内容を理解し、説明ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 授業ガイダンス	観光・ホテル専門誌やニュースで情報を収集し、まとめる
2: 世界と日本の観光動向 グループワーク　Withコロナ時代の「観光」について	観光・ホテル専門誌やニュースで情報を収集し、まとめる
3: 世界と日本の宿泊産業の歴史	宿泊産業の発達史に関する課題
4: 身近なホテル業界（福岡） グループワーク　福岡市内のホテルについて	自分が泊まってみたい福岡のホテルについて調べる
5: ホテル産業の概要（定義、分類、組織）	ホテル組織の特徴に関する課題
6: ホテルで働く者として必要な基本知識（国際的な慣習） グループワーク　異文化理解について	国際的なルールであるプロトコールについて調べる
7: ホテル英語	テキストにある「ホテル基本会話」「セクション専門会話」の表現を覚えてくる
8: 宿泊部門の概要 宿泊商品の特性、組織と業務役割	宿泊部門の組織や仕事に関する課題
9: 宿泊部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	宿泊部門の組織や仕事に関する課題
10: 料飲部門の概要 料飲商品の特性、組織と業務役割	料飲部門の組織や仕事に関する課題
11: 料飲部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	料飲部門の組織や仕事に関する課題
12: 宴会部門の概要 宴会商品の特性、組織と業務役割	宴会部門の組織や仕事に関する課題
13: 宴会部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	宴会部門の組織や仕事に関する課題
14: 調理部門の概要 調理商品の特性、組織と業務役割	調理部門の組織や仕事に関する課題
15: 調理部門の実務 基礎知識、主な担当者の業務	調理部門の組織や仕事に関する課題

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%（指定教科書の宿泊・料飲・宴会・調理部門から出題）
課題（提出物）30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光ビジネス論	LP44202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光は、現代人の生活になくてはならないものである。また、地域の活性化や雇用をもたらす産業としても注目されている。
本講義では、21世紀のリーディング産業のひとつである「観光」の基本的な概念について学び、現代社会におけるより良い観光のあり方について考える。

Ⅲ. 学習成果

観光の現代的意味を説明できる。
観光の現状、観光対象と観光資源、観光振興について学び、観光が内包する課題に対して、自分の考えを表現できる。
インバウンドについて学び、観光と国際経済の関わり、観光と国際社会・文化の関わりについて説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:観光の意味と現代的意義 観光と言う社会現象について研究する	「観光」に関して、解決すべき問題があるか、考える。 テキストP38セルフチェックの問題を解く。
2:観光が人間にもたらす効果 観光の経済効果	観光消費の地域波及効果の具体例を考える。 テキストP12-P18を読んでP21の問題を解く。
3:観光を構成する要素 観光者・観光対象・観光者と観光対象を結ぶモノやコト	観光者と観光対象を結ぶもので、特に重要なものは何か考える。テキストP40-P48を読んでP51①⑤の問題を解く。
4:観光資源と観光対象 観光対象の特徴	自分の身の回りの「観光資源」を考える。 テキストP54-P62を読んでP66の問題を解く。
5:観光資源と保護 エコツーリズム	エコ・ツーリズムについての情報を調べる。 テキストP64-P65,P264-P265を読んでP273⑦の問題を解く。
6:様々なツーリズム マスツーリズムからサスティナブル・ツーリズムへ	「サスティナブル・ツーリズム」の考え方が出てきた背景について考える。テキストP259-P272を読んでP273⑥⑧の問題を解く。
7:観光振興 開発と保護	「観光まちづくり」とはどのようなことをいうのか考える。 テキストP45-P48を読んでP51⑦の問題を解く。
8:観光と旅行業 旅行業の役割	消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える。 テキストP92-P109を読んでP114の問題を解く。
9.観光地を調べる 調べた観光地を発表する(プレゼンテーション)	旅行会社のパンフレットを詳しく読む。 観光地の見どころについて整理する。
10:調べた観光地を発表する(プレゼンテーション) 他の発表者の内容について評価する	発表準備のために地図や写真を準備する。 プレゼンテーションのリハーサルをする。
11:観光と宿泊業 観光と運輸業	交通の発達が旅行者にもたらす影響、観光地にもたらす影響について考える。テキストP116-P169を読んでP172の問題を解く。
12:観光と情報 観光情報の媒体	観光客が求める観光情報をを考える。 テキストP194-P210を読んでP211の問題を解く。
13:観光の歴史 観光の発展の条件、阻害要因を考える	旅行が大衆化した要因について考える。 テキストP250-P254を読んでP273①④の問題を解く。
14:インバウンド(訪日外国人旅行) インバウンドと異文化理解	外国人旅行者への対応について考える。 テキストP276-P290を読んでP290の問題を解く。
15:観光業界の人材 ミニレポート	ホスピタリティとは何かを考え、自分がホスピタリティに接した経験をレポートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明
日頃から、新聞・テレビなどの観光関連の情報を収集する。
事前学習は毎回45分以上行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

使用教科書　観光学基礎(第8版)　JTB総合研究所　2300円(税込価格)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　プレゼンテーション(10%)　小テスト(毎回)(10%)　ミニレポート(10%)　学習の意欲(10%)
いねむり、私語、スマートフォン等の使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回実施する小テストでは、授業の内容を自分の言葉でまとめ、具体例などを自分で考えてもらいます。
小テストは翌週、返却・講評をします。
「実務経験教員科目」特記事項:旅行会社勤務経験あり　授業第1回より第15回まで、旅行業の実務経験から得た事例を紹介している。
第8回では、旅行会社の業務内容を詳細に学び、観光業界に必要な資質や知識について考えさせる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホテルビジネス実務	LP44203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業ではホテルの各部門(特に宿泊・料飲・宴会)で必要とされるマインドとスキルについて学び、ロールプレイなど演習的な要素を取り入れながら理解を深めていきます。また、福岡市内のホテルや九州県内の温泉旅館にパートナー企業として協力を仰ぎ、各ホテル・旅館の施設・設備、商品プランを把握することで、今後ホテルに求められる商品を学生目線で企画・提案してまいります。

Ⅲ. 学習成果

・サービス業のやりがいと厳しさを学び、ホスピタリティ・マインドをもって行動ができる
・将来ホテルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 授業の進め方の説明、ホテルビジネス実務検定試験の案内	ホテル業界の企業について調べる
2: ホテル業界の企業研究 ホームページ、就職支援サイトなどを活用して企業研究を行う	企業研究シートを作成する
3: パートナー企業(ホテル・旅館)の紹介と選択	パートナー企業として希望するホテル・旅館について調べる
4: Withコロナ時代のホテルサービス グループワーク　ホテルサービスの在り方を考える	ホテルにおけるコロナ対策の動画を参考にホテルサービスの在り方について自分の意見をまとめる
5: パートナー企業の客室・宿泊商品 客室の構造・眺望、客室の設備・備品	客室を紹介する資料を作成する
6: 宿泊部門の実務 心のこもった来客応対(お客様のお迎えからお見送りまで)	接客トレーニングに関する課題
7: パートナー企業のレストラン 料飲施設の種類・プラン・メニュー	レストランについて紹介する資料を作成する
8: 料飲部門の実務 レストラン＆バンケットサービス	接客トレーニングに関する課題
9: パートナー企業のウェディング・宴会・会議 挙式会場・披露宴会場、プラン	ウェディングについて紹介する資料を作成する
10: ブライダル実務 接客、打ち合わせ(スケジュール・招待状・商品案内・席次表・引き出物等)	ペーパーアイテムを作成する
11: 冠婚葬祭の基礎知識 知っておきたい伝統文化、年中行事・暦、慶事・弔事	冠婚葬祭に関する課題
12: 宴会部門の実務 グループワーク　MICEのプランを考える	MICEプランを作成する
13: 和食のサービス 会席料理、箸の持ち方・お銚子の扱い方、日本の器	和食に関する課題
14: 九州の郷土料理	郷土料理のレシピから一つメニューを決め、料理を作る
15 温泉施設 ホテル・旅館での温泉マナー、入浴の心得、日本の温泉文化	温泉に関する課題

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書はありません。プリントなどの資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(企画書作成)50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光デザイン入門	LP44204	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

地域の特色を活かせる「観光」で地場産業や地域コミュニティを活性化していこうとする試みが全国各地で行われています。
本授業では、地域の新しい魅力を創造するための手法、「観光デザイン」についてまず学びます。
そして、地域の課題を解決するプロジェクトの企画・提案を行います。

Ⅲ. 学習成果

・観光を軸に地域社会の課題を発掘し、解決に向けた独創的なプロジェクトを創出することができる
・自ら地域の観光素材を発掘し、独自の観光デザインを描くことができる
・地域貢献につながる活動を計画・実行できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 観光デザインとは	福岡市の観光PR動画を視聴し、感想をまとめる
2: 日本の各地域が直面している社会課題と地域活性化の必要性 ディスカッション 「身近な社会課題」について	自分の住んでいる地域の社会課題をまとめる
3: 地域を変えるデザイン コミュニティが元気になるアイデアを紹介	地方創生政策アイデアの動画を視聴し、感想をまとめる
4: 地域の魅力を活かした観光デザインの事例	観光デザインの事例に関する課題
5: 地域データの収集① 地域経済分析システム(RESAS)、GoogleEarthの活用	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
6: 地域データの収集② 福岡市魅力紹介(福岡市のサイト)、福岡市観光統計	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
7: 地域の魅力と課題を見つける グループワーク 福岡市の観光SWOT分析	地域の魅力と課題をまとめる
8: 課題解決のフレームワーク① グループワーク ピラミッドチャートの作成	ピラミッドチャートを活用して、魅力と課題をまとめる
9: 課題解決のフレームワーク② グループワーク イメージマップの作成	イメージマップを活用して、アイデアをまとめてくる
10: 課題解決のフレームワーク③ グループワーク アイデアを整理し、検証する	ワークシートに企画をまとめる
11: フィールドワーク	フィールドワークで現地調査を行う
12: 企画書の作成 グループワーク タイトル、地域の魅力・課題、問題提起	担当する役割における作成の準備を進める
13: 企画書の作成 グループワーク アイデアの説明・実現方法と効果、結論	担当する役割における作成の準備を進める
14: 発表(プレゼンテーション)の準備 グループワーク 企画書の仕上げと発表練習	担当する役割における発表の準備を進める
15: 発表(プレゼンテーション)とまとめ	各グループの評価をまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成したプリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーション)50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・「観光デザイン演習」では、本授業で企画したプロジェクトを実行していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光英語	LP44205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
リチャード・カタラーノ		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

The students will learn a variety of different expressions in English related to travelling. 学生は旅行に関連する英語でさまざまな異なる表現を学びます。
They will be expected to come to every class, memorize conversations with intonation, and be active in class.
Active participation is required!

Ⅲ. 学習成果

Practice and remember vocabulary and conversational phrases. 語彙や会話のフレーズを練習して覚えてください。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: Shopping English & Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
2: Shopping English 2	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
3: Restaurant and Food English & Shopping Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
4: Restaurant and Food English 2	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
5: Talking about the Past: Places & Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
6: Talking about the Past 2: Places	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
7: Practical English: At a Hotel & Survey	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
8: Practical English: Making Plans	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
9: Practical English: Renting Things	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
10: Practical English: Visiting the Doctor	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
11: Practical English: Internet Café	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
12: Practical English: Asking for Help	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
13: Practical English: At the Tourist Information Desk	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
14: Practical English: At the Airport	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.
15: Practical English: On an Airplane & Final vocabulary review	Practice pronunciation of words and phrases in the Google Slides.

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

None

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Every lesson will have a Conversation Review Quiz and a Vocabulary Review Quiz. These will be 100% of the grade.
すべてのレッスンには、会話レビュークイズと語彙レビュークイズがあります。これらはグレードの100%になります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

We will review the previous lessons' quizzes in order to give feedback to each student. Students can reach me any time through Google Classroom.

各生徒にフィードバックを提供するために、前のレッスンのクイズを確認します。学生は、GoogleClassroomを通じていつでもインストラクターに連絡できます。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
美容芸術演習B	LP45207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
伊藤　恵		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

トータルコーディネートのアイテムとしてネイルは欠かせないものとなってきています。
皮膚・爪の構造、トラブルなども理解し、正しいネイルケアの技術を身に付けます。
また、ネイルアートをもっと気軽に、自分でも楽しめるようなテクニックも学びます。

Ⅲ. 学習成果

ネイル基礎知識が身に付く
自爪のネイルケアが身に付く
ネイルアート(フレンチ・ペイント・3Dなど)の技術が身に付く

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ネイルケアの歴史 爪の構造・皮膚生理学	爪の構造・皮膚生理学についてまとめる
2: ファイリング	ファイリングについて復習
3: ネイルケア 甘皮処理	甘皮処理について復習
4: ハンドマッサージ	ハンドマッサージを復習
5: カラーリング	カラーリングの復習
6: フレンチ・フレンチアレンジ	フレンチ・フレンチアレンジを考える
7: マーブル・ラインストーン	マーブル・ラインストーンのデザインを考える
8: ペイント 絵の具アート	絵の具アート作品の下絵を考える
9: 3Dアート	3Dアートの復習
10: ネイルアート総合練習	練習作品のイメージを考える
11: ネイルアート総合練習	作品練習のイメージを考える
12: 提出用チップ(10本)採寸、ファイリング	提出用チップ(10本)採寸の記録をとる
13: 提出チップ作成	提出チップを作成する
14: 提出チップ作成	提出チップを作成する
15: 提出チップ作成・作品提出	作品を提出する

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

JNAネイルテクニカルシステム

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(ネイルアートチップ10本作成)(60%)
授業態度(技術の上手い下手だけではなく、真面目かつ積極的な態度で授業に臨んでいるかという点で評価します)(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内でコメントを提示する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
美容芸術演習C	LP45208	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
伊藤　恵		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人の第一印象に大きく影響するヘアスタイル。
自分に合う髪型を知り、TPOに合わせたヘアアレンジの楽しみ方を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

頭皮・毛髪の知識が身に付く。
自分でヘアアレンジの技術が身に付く。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 基本知識 頭皮・毛髪の基本知識	頭皮・毛髪についてまとめる
2: 道具の使いかた ピン・ゴム・ブラシの用途、使い方	ピン・ゴム・ブラシの用途、使い方の復習
3: アップスタイル ゴムを使った結び方、ピンの留め方	ゴムを使った結び方、ピンの留め方の復習
4: アップスタイル 逆毛の立て方	逆毛の立て方の復習
5: 編み込みスタイル みつあみ、あみこみ、ツイスト、フィッシュボーン	みつあみ、あみこみ、ツイスト、フィッシュボーンの復習
6: 編み込みスタイル アップスタイルを作る	アップスタイルの復習
7: ヘアアイロンの使いかた 内巻き、外巻きなど	内巻き、外巻き　ヘア アイロンを使って復習
8: アップスタイル 夜会巻き	夜会巻きの復習
9: アップスタイル ハーフアップ	ハーフアップスタイルの復習
10: アップスタイル みつあみやツイストを使ったスタイル	みつあみやツイストを使ったスタイルの復習
11: アップスタイル カールアップ、サイドアップ	カールアップ、サイドアップの復習
12: フロントカット ウイッグの前髪カット	ウイッグの前髪カット復習
13: 自由作品 ウイッグ・セルフ・相モデルにて	自由作品のスタイルを考える
14: 自由作品 ウイッグ・セルフ・相モデルにて	自由作品のスタイルを考える
15: 自由作品 ウイッグ・セルフ・相モデルにて	自由作品のスタイルを考える

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし、モデルウイッグ使用。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

ヘアスタイル作成(60%)
授業態度(技術の上手い下手だけではなく、真面目かつ積極的な態度で授業に臨んでいるかという点で評価します)(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内でコメントを提示する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
カラーコーディネート演習Ⅰ	LP45201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
亀井　哲治		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

身の回りに溢れている「色」というものが何か、様々な視点から捉えながら紐解いていく。その中で、色の持つ特性や組み合わせを理解し、
ファッションやインテリアなど、生活の中にある色の効果的な色彩、配色の基礎を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色の性質や効果などの基礎知識を理解し、目的に合わせて配色できる。　AFT文科省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色とはなにか	色がなぜみえるのかについて
2: 光の性質と色	光の成分と可視光について
3: 眼のしくみ	反射など、光の特性について
4: 混色とは	色の見え方とその分類
5: 色の三属性	混色のしくみについて
6: 加法混色と減法混色	光の三原色と色料の三原色について
7: PCCSの色相環	色相と表記方法について
8: PCCSのトーン　色調のまとまりと分類	PCCSトーンの仕組みと表記ついて
9: 色調と色彩心理　色から受ける心理的効果	色の心理的効果について
10: 色の効果と錯覚　同化と混色	色の錯覚と同化と対比の違いについて
11: 色と視覚効果　様々な視覚効果と錯覚	具体的な色の錯覚や視覚効果例について
12: 色彩の調和　配色の手がかりとPCCSのカラーダイヤル	色相環を利用した配色方法の種類と分類について
13: 色調の調和　カラーダイヤルとトーン概念図	トーン概念図を用いた配色について
14: 配色の基本と色彩構成　配色の基本技法	配色の基本的な技法とその効果について
15: ファッションとインテリア	ファッションやインテリアにおける色の使われ方について

＊準備学習についての補足説明

準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。　参考図書:AFT文科省後援　色彩検定3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～15について出題) 45%、授業の課題、授業内で行う小テスト　45%、学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199b」を使用。ハサミ、のり、定規を準備すること。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルを持参。
授業中の私語、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点対象とする。
授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求める。また、理解度を確認するための小テストを行う。
授業で制作・提出された課題には、個別に色彩に対する理解度の確認とコメントを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
カラーコーディネート演習Ⅱ	LP45205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
亀井　哲治		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

様々な場面でそれぞれに合う色を選択しようとする場合、色の持つ性質を理解していれば、より効果的に配色することができる。
本演習では、配色カードを用いた実演とともに、色の特性や調和理論といった色彩学を応用、実践的なカラーコーディネートを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色彩学を応用し、様々なシーンにおいてカラーコーディネート出来る。
AFT文科省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色相環とトーン概念図	2期授業内容を振り返る
2: 色相をもとにした配色	色相環と配色方法について
3: トーンをもとにした配色	トーン概念図と配色方法について
4: 色彩調和と配色技法	論理的調和と様々な配色
5: 配色と分割	色相環の分割方法について
6: 配色とイメージ	配色によるイメージの違いについて
7: パーソナルカラーと色彩調和	パーソナルカラーのしくみについて
8: パーソナルカラーとフォーシーズン	フォーシーズンカラーの成り立ちについて
9: パーソナルアイデンティティ	肌・髪・瞳の色について
10: 似合う色の客観性	色の様々な対比と反射の影響について
11: 似合う色、似合わない色の影響	色の見え方による効果について
12: フォーシーズンカラー(春・秋)	イエローベースの色素傾向について
13: フォーシーズンカラー(夏・冬)	ブルーベースの色素傾向について
14: フォーディレクション	フォーシーズンカラーのまとめ方について
15: パーソナルカラーの実践	グループに分かれ、お互いにパーソナルカラーを診断し 診断結果についてディスカッションを行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文科省後援　色彩検定3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記内容1～14について出題)45%、授業の課題、授業内での小テスト　45%、学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、コメントをつけて返却します。
「新配色カード199b」を使用。ハサミ、のり、定規を準備すること。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルを持参。
授業中の私語、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点対象とする。
授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求める。授業で制作・提出された課題には、個別に色彩に対する理解度の確認とコメントを行う。
※2期にカラーコーディネート演習Ⅰを受講していること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
美容芸術演習A	LP45206	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
寺﨑　可那子		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

メイクアップとは顔に単純に色をのせるものではなく、又、表面的な特徴だけを見て色付けするものではありません
顔の骨格や筋肉を考え、印象をつかさどるカテゴリー(形・サイズ・色・質感等)を理解しそれぞれの顔に合ったメイクについて考える

Ⅲ. 学習成果

メイクの基本的な知識、さらに目的やテーマに合ったメイクバリエーションの修得

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 肌について(皮膚の構造、仕組みなど)	肌について(皮膚の構造、仕組みなど)授業で学んだ事をまとめる
2: スキンケア (クレンジング・化粧水・クリームの種類、選び方、使い方)	スキンケアの注意点をまとめる
3: ベースメイク (ファンデーションの種類、選び方、使い方)	ベースメイクについてまとめる
4: アイメイク (色の入れ方、ブラシの使い方)	アイメイクについてまとめる
5: アイブロウ(眉) (眉の形、描き方)	アイブロウについてまとめる
6: チーク (色の入れ方、ブラシの使い方)	チークの入れ方についてまとめる
7: リップ (ブラシの使い方)	リップブラシの使い方についてまとめる
8: フルメイク	フルメイク復習
9: ソフトメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	ソフトメイク基礎についてまとめる
10: シャープメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	シャープメイク基礎についてまとめる
11: ソフトメイク応用 (色味による印象操作)	ソフトメイク応用についてまとめる
12: シャープメイク応用 (色味による印象操作)	シャープメイク応用についてまとめる
13: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
14: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
15: 実技チェック	総合メイクについてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

TonyTanaka's Make-up　TEXT

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実技チェック(50%)、学習意欲(50%)【上手い下手ではなく、積極的な姿勢で授業に取り組んでいるかという点】

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内にてコメントで掲示する

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語コミュニケーション	LP51208	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
マーク・トンプソン		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English as it relates to situations where English is used.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will b
2:1.1 "What's your name?" and "How do you spell it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
3:1.2 "Are you a student?" and Names and jobs	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
4:2.1 "Where are you from?" and "What's your email address?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
5:2.2 Family and Family and friends	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
6:3.1 "Is that your notebook?" and "What's this called in English?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
7:3.2 Clothing and Favorite things	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
8:4.1 Getting around and "What time is it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
9:4.2 My routine and My weekend	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
10:5.1 Online habits and "How much is it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
11:5.2 "What do you do for fun?" and Online fun	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
12:6.1 "What does she do?" and "Can I speak to...?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
13:6.2 "Can you sing?" and Work and study	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
14:Special activities.	The special activities will be explained in class.
15:Review	Review lesson content.

＊準備学習についての補足説明
Always remember to bring a pencil case, your textbook, and, if possible, an English/Japanese dictionary or an electronic dictionary.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2nd Ed. 1A Student Book with Online Self-Study (Cambridje U.P.)　ISBN: 9781108687416

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!

関連 サービス系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ダイエット論	LP51209	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
宮原　葉子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目はダイエットにとって重要な食事、運動などについて理解し、望ましいダイエットのあり方やその方法について学習する。
学生が栄養学の基本的な知識を基に、健康を意識した食習慣を身につけ、適正なウエイトコントロールの方法を修得することがねらいである。

Ⅲ. 学習成果

1. 栄養に関する基本的な知識を身につけ、個人の適切なエネルギーおよび栄養素の摂取量が理解できるようになる。
2. 自分の食事管理(適切な食の選び方)を理解し、正しい食習慣を身につけることができるようになる。
3. 様々なダイエット方法の内容・問題点について理解でき、自分に適したダイエット計画を提案できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 健康で美しい身体とは 若年女性の栄養の問題点	若年女性の栄養の問題点を理解する
2: 食習慣アンケート	BMIの計算を行い、自分の体格を認識する 自分の日常の食習慣を評価する
3: エネルギー代謝と食事摂取基準	1日に必要なエネルギーおよび栄養素量を認識する 1回の食事でどれくらい食べることができるかを理解する
4: 栄養素の役割について　～炭水化物・脂質・たんぱく質～	食べものに含まれる主な栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)について調べてくる
5: 栄養素の役割について　～ビタミン・ミネラル～	食べものに含まれる主な栄養素(ビタミン・ミネラル)について調べてくる
6: 食物繊維と腸内細菌叢	食物繊維の働き、含有食品について調べてくる 次の回に確認テストを実施するため、栄養素について復習する
7: 栄養バランスのとれた食事とは 確認テスト(栄養素について)	食事を選ぶときのポイントについて学び、できることから実践する
8: 便秘改善のための食事とは	便秘の原因や改善点について理解する プロバイオティクスとプレバイオティクスの食品についてまとめる
9: ダイエットと食事　～調理法、レシピの提案～	ダイエットに効果的な食べもの・食べ方について調べてくる
10: ダイエットと運動　～脂肪を燃やすための運動、やせやすい体づくり～ (食事と運動の組み合わせ方のポイント)	脂肪を燃やすための運動、やせやすい体質になるための運動の方法や注意点についてまとめる
11: ダイエットとライフステージ　～女性の身体の変化に対応したダイエット～	ライフステージに適したダイエット方法について調べる
12: 様々なダイエット方法について① 様々なダイエット方法について紹介・解説	興味あるダイエット方法について調べる
13: ダイエット食品について	市販されているダイエット食品や話題となっている食品についてまとめる
14: 様々なダイエット方法について② 興味のあるダイエット方法について調べ、まとめる(グループワーク)	興味のあるダイエット方法について方法・どんな成果がみられるかをまとめる
15: まとめ	自分に合った、自分のためのダイエット方法についてまとめる (レポート提出)

＊準備学習についての補足説明
準備学習は各回45分以上行うこと。復習を兼ねて課題に取り組み、学んだことを自分の生活の中で意識し、さらに可能な限り実践しましょう。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。
教員作成の資料を毎回配布する。
授業中に参考となる図書を紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート(70%) ・ 小テスト(10%) ・ 提出物(10%) ・ 学習の意欲(10%)
授業中の私語・スマートフォンの使用は減点の対象です。
ただし、簡単な計算を行う際は、スマートフォンの電卓機能使用は認めます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

普段より食べ物や食事、健康に興味を持ち、意欲的に調べたり、疑問を持ち、授業に臨みましょう。
提出物はコメントをつけて返却したり、後日補足説明を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
フィジカルトレーニング	LP51210	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
佐田　明子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

毎日を元気に美しく過ごすためには、自己管理や運動習慣を意識する必要があります。
健康を維持するための行動や考え方を習得することを目的とし、楽しみながら様々な運動を行います。

Ⅲ. 学習成果

①運動の技能や知識を習得し、運動する楽しさ、喜びを体感することができる。
②自分の身体と向き合うことで、個々の課題を知ることができ、改善、対策を考えることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	運動を行うための意味付けとしての目標を設定する。
2: 有酸素運動と筋力トレーニング①	簡単な運動から始める。
3: 有酸素運動と筋力トレーニング②	授業で習った筋力トレーニングを自宅で実践する。
4: 有酸素運動と筋力トレーニング③	正しいフォームで筋力トレーニングができているかを見直す。
5: 有酸素運動と筋力トレーニング④	自分で1日10分の筋力トレーニングのメニューを作ってみる。
6: バランスボール①	バランスボールがあれば復習する。
7: バランスボール②	バランスボールがあれば復習する。
8: バランスボール③	バランスボールがあれば復習する。
9: バランスボール④	バランスボールがあれば復習する。
10: ヨガ　①	自分自身の呼吸に目を向けてみる。 腹式呼吸を行ってみる。
11: ヨガ　②	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
12: ヨガ　③	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
13: ヨガ　④	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
14: ヨガ　⑤	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
15: まとめ	学んだトレーニングメニューを復習する。

＊準備学習についての補足説明
生活のリズムを整えて、体調管理をしましょう。また、美しい姿勢を心掛け、1日の運動量を増やすような行動をしましょう。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

平常点(受講態度)　70%、学習意欲　30%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

◎動きやすい服装(デニム不可)、タオル、飲み物(水やお茶)を準備すること。
◎体調が悪いときは無理をせずに、授業前に連絡し、指示を受けること。
◎授業内容は、受講人数や要望によって変更することがあります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
和装コーディネート	LP51211	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
佐藤　僖良子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本の美しい伝統文化「きもの」から生まれた言葉「襟を正す」「躾」「折り目正しい」「辻褄を合わす」「袖振り合うも多生の縁」等からも解るように、技(具体的な物事のやり方、術(より良き方法・学問)、礼(相手を尊敬し、全てに感謝することでよりよい人間関係が実現できる)、道(人格の陶冶)、の段階的基本学習で、愛美礼和の精神が向上します。日本の伝統文化の基礎が学べ、現代にも馥郁たる人間性が発揚され活躍出来る人を期待しております。

Ⅲ. 学習成果

反復繰り返し技・術・礼・道を踏み、きものを美しく装うには、きものの基礎知識、TPO、コーディネート、所作、立居振舞、マナー等を身に付けることが大事です。
以上の総合的バランスが整って初めて真の魅力的な女性となり、社会から必要とされる人間力発揮を目指します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 和装とマナーは一体である理由 挨拶の仕方(会釈礼・敬愛礼・尊敬礼・最敬礼)	和装、マナー検定の為の教科書を中心に進める 毎回ノートを取ってもらう　その日の検印をする
2: 和装に必要なきもの・帯・小物一切の説明と立居振舞の練習 挨拶(会釈礼・敬愛礼・尊敬礼・最敬礼)の座礼と立礼	教科書の予習・復習の徹底をし、ノートの取りまとめをする
3: 物の取り扱いを美しく大切に 物の渡し方の実習	結果だけでなく過程の美しさもコーディネートの大事な要素である 教科書の図解で復習
4: マナ-検定資格・和装資格の教科書 勉強した内容の結果を獲得する。	初級マナー検定試験を受ける
5: 補正用具の作成、下着の付け方、小物、きもの、帯一切のたたみ方 きものの着装実習	反復練習でスピードを上げる
6: きものの練習と歴史、調和、染色、織り物、模様の種類、家紋について	予習を徹底してもらって進める ノートにまとめる
7: 中級マナー検定の教科書勉強と実習テーブルマナー きものの練習	テーブルマナー、教科書を熟読しておく 中級マナー検定の準備
8: 普段着(小紋・紬)、名古屋帯の着装実習	習ったところの復習を自宅で徹底練習をする 結局繰り返しが上手下手の分かれ道である
9: きものの四季における種類、きものと帯(紗・絽・羅) 中級マナー検定を受ける	きものを見てもらう。花鳥風月の和の美を感じ取ってもらう 教科書をよく読んでおく
10: 冠婚葬祭におけるきものと帯の調和と丁寧な言葉遣い、慣用句の使い方	なれなれしい言葉遣いは正式の場では、使い分ける 敬語の使い方のページを熟読し、ノートにまとめてくる
11: 未婚の第一礼装、「振袖」の他装の着装を見学	教科書で年齢等による襟あわせ等を予習しておく
12: 入室・退室ドア・職員室等におけるマナー　椅子の掛け方、立ち方練習 きものを着ての階段の上り下り	着付けただけのきものでは本当の美しさが漂って来ない ・きものと人格は一体で表現されるまとめを書く
13: 美しく着装をして和室での作法、座布団の座り方、降り方、 たたみでの歩き方	和室の作法を予習してくる 自装の教科書をよく確認しておく
14: 名古屋帯、きものの美しい着装仕上げと風呂敷包み	前もって練習をしておく、教科書の再確認 和装とマナーについてのレポート提出
15: 表彰状渡し等、正式な儀式の場合の授与の作法。花束贈呈の仕方	きものの自装と資格修了書渡し・花束贈呈に関して総仕上げ

＊準備学習についての補足説明
各回10～20分の説明をする。内容はその都度説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

基本的には教科書を使う。副読にプリントも使う。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(10%)、マナー検定試験と和装の筆記試験(50%)、実技の試験(40%)にて評価。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題はコメントを付けて返却します。
授業中の私語、スマートフォン使用は、減点の対象となります。
「実務経験教員科目」特記事項:
装道礼法、着装講師として、和装、正しい日本語の使い方、歴史マナー全般小・中・高、自衛隊、団体の場で講演活動中

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
マーケティング論	LP51201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

マーケティング論は応用範囲の広い学問で、企業のみならず、自治体や病院等でも活用されている。本講座では営利会社に注目しつつ、「売れる仕組み」について幅広く学習する予定である。また従来型の講義形式を中心とした授業ではなく、グループワークを主体とした授業展開を考えており、マーケティング論の基礎的考え方を押さえつつ、日常生活で行われている企業活動に着目し、各企業はどのように皆さんたちに「後一つ」商品やサービスを購入してもらうために努力しているのかについて多くの具体例を提供する予定である。自分の頭で考え、アウトプットを行い、全体で情報をシェアしながら講義を進める。

Ⅲ. 学習成果

①マーケティングの基礎的な考え(差別化、ポジショニング等)を理解する。
②企業が行っている様々な努力を浮き彫りにし、自分であればそれをどう活用するのかについてグループワークを通して理解を深められる。
③サービス業全盛の時代におけるマーケティングの在り方について理解し、3期から始まる各メジャーの学びに備える。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:教科書のはじめにを読むこと
2: マーケティングとは ブランディングの重要性	予習:教科書第1章を読むこと 復習:身近なブランディングの事例を考えておく。
3: 自分たちの強みを見つける	予習:教科書第2章を読むこと 復習:自分が好きなブランドの強みを考えておく
4: 顧客の本音を探す① マーケティング・リサーチ	予習:教科書第3章を読むこと 復習:顧客の本音を知るためにすべきことを考えておく
5: 顧客の本音を探す② ビデオ学習	予習:ペルソナについて調べてみる 復習:ターゲッティングについて調べてみる
6: 競合との最大の違いはなにか① 課題1の提示	予習:教科書第4章を読むこと 復習:差別化の事例を集めておくこと
7: 競合との最大の違いはなにか② グループワークの実施	予習:ポジショニングの事例を集めておくこと 復習:課題1に取り組む
8: 価値あるブランドについて①	予習:教科書第5章を読むこと 復習:自分が好きなブランドについて調べてみる
9: 価値あるブランドについて② ビデオ学習	予習:自分が好きなブランドの「らしさ」を検討してみる 復習:自分がなぜそのブランドが好きなのか、もう一度考えてみる
10: ブランディングの要素について① 課題2の提示	予習:教科書第6章を読むこと 復習:課題2に取り組む
11: ブランディングの要素について② グループワークの実施	予習:課題2を完成させる 復習:グループワークの仕方を再度調べる
12: 成功が続くブランドの育て方① 課題3の提示	予習:教科書第7章を読む 復習:課題3に取り組む
13: 成功が続くブランドの育て方② ビデオ学習	予習:課題3に取り組む 復習:課題3に取り組む
14: 成功が続くブランドの育て方③ グループワーク	予習:課題3に取り組む 復習:課題3を仕上げる
15: まとめ	予習:課題3について再度検討する 復習:第1～14回を振り返り、3期以降の学びに備えること。

＊準備学習についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　ブランディングが9割　青春出版社　乙幡　満男著
参考書「マーケティング入門」 日本経済新聞社　小川孔輔著
「企業を高めるブランド戦略」 講談社　田中洋著
「現代広告論」 有斐閣　岸志津江他著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出3回　30%(10%、10%、10%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験を実施する。上記の課題等を含めて総合的に評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Google Classroomについては、主として授業外学習の促進のために使用する。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英会話	LP51202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
マーク・トンプソン		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English as it relates to situations where English is used.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will b
2:7.1 Breakfast, lunch, dinner and "I like Chinese food!"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
3:7.2 Meals and Favorite food	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
4:8.1 Around town and "How do I get to...?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
5:8.2 Fun in the city and A great place to visit	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
6:9.1 "I'm looking for you." and "I can't talk right now."	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
7:9.2 These days and "What's new?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
8:10.1 Lost weekend and "You're kidding!"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
9:10.2 "Did you make dinner?" and "I saw a great movie."	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
10:11.1 "Where were you?" and "That's great!"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
11:11.2 My vacation and Travel experiences	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
12:12.1 I'm going to get married." and "Sure. I'd love to."	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
13:12.2 Planning a party and Birthdays	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
14: Special activities.	The special activities will be explained in class.
15: Review	Review lesson content.

＊準備学習についての補足説明
Always remember to bring a pencil case, your textbook, and, if possible, an English/Japanese dictionary or an electronic dictionary.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2nd Ed. 1B Student Book with Online Self-Study (Cambridje U.P.)　ISBN: 9781108649360

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
人間環境心理学	LP51203	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
脇浜　幸則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，人を取り巻く環境と人の行動，発達や心理との関連について幅広く学習することを目的としている。心理学的な観点から自身の行動や他者との関係性について理解を深めることは，これまでの対人関係が大きく変化する短大生にとって役立つと考えられる。そのため，本講義においては，日常生活の場面を取り上げつつ，環境と自身の行動の関係を理解するのに役立つ学びを得ることを目指す。本講義ではこの目的を達成するため，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における自身の行動について，環境との関連という観点から，心理学的な用語を用いて説明ができる。
・日常に潜む「障害」や社会的障壁に気付き，行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学についての説明，自己紹介ワーク	心理学について学んでみたいことを考える。 環境や社会とのあり方から「自己」について考える。
2: 「自己」と「発達」について	自己に関するワークシートの作成，振り返り
3: 対人魅力について	これまでの経験と対人魅力の関係について振り返る。 必要に応じてワークシートの作成。
4: 二者関係の親密化過程について	他者との関係とのあり方や，二者関係が親密化する過程について考える。
5: 原因帰属について	自身の中の原因帰属の傾向を知る。 原因帰属に関するワークシートの作成。
6: バイアスについて	自身の中にあるバイアスや自動思考に気づく。
7: 認知スタイルについて	自身の認知スタイルを振り返り，考えたことをまとめる。
8: 判断と意思決定	自身の判断や意思決定と，他者の存在の関係についてまとめる。
9: 他者の存在や行動が自身の行動に及ぼす影響	授業を通して考えたことについて振り返り，まとめる。 中間ワークシートの作成。
10: 集団意思決定について	集団の決定と，集団の中での自己の意思決定についてまとめる。
11: 集団内における個人のパフォーマンスについて	集団内にいる自身のパフォーマンスが変化したと思われる例についてまとめる。
12: リーダーシップ理論	リーダーシップに関する論文の抄読。
13: 「障害」と「合理的配慮」について	身の回りにある「障害」について考える。 実際の事例から考えられる合理的配慮についての考えをまとめる。
14: 心理学に関する論文抄読 グループごとに，論文を一つ選択し，その内容について理解を深める。	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる。 論文を選択し，その内容を理解する。
15: 心理学に関する論文抄読　発表，ディスカッション 選択した論文の内容をまとめ，グループごとに発表する。	論文の内容をまとめ，グループとして発表する。 他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習についての補足説明
14回目，および15回目はディスカッションやプレゼンテーションを行うことを想定している。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
グループ・プロセス	LP51204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義では、まず、対人的コミュニケーションの基本的な特性を押さえた上でノンバーバルコミュニケーションの役割について学ぶ。
次に、私たちが誰でも陥りやすい対人関係の躓きや不適応について、ケース研究を通して学び、より効果的な支援のあり方について学習し身につける。
さらに、グループ・ワークを経験することによって様々な態度の多様性に気づき、お互いの立場の相違を意識しつつも受容しながら、グループとしての
コンセンサスを得る方法について学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1　対人的コミュニケーションにおいてノンバーバル・コミュニケーションが話す役割について説明できる
2　対人関係の躓きや不適応を、これまでとは違った視点から捉え、効果的に支援する方法を学び身につける
3　グループ・ワークにおけるコンセンサスの学習内容を活かして、自分も相手も尊重する話し合いのスキルを身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:コミュニケーションのチャネルと危険なコミュニケーションについて	コミュニケーションのチャネルについてまとめる
2:お互いを知るエクササイズ(構成的グループ・エンカウンター)	構成的グループ・エンカウンターのエクササイズについて振り返り表に記入する
3:不適応に対する支援　ケース研究①　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
4:不適応に対する支援　ケース研究②　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
5:不適応に対する支援　ケース研究③　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
6:コンセンサス実習①　正解のあるグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
7:コンセンサス実習②　正解のあるグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
8:様々な心の特徴を知る①　質問紙法	心理テスト結果について振り返り表に記入する
9:様々な心の特徴を知る②　交流分析	交流分析について学んだ内容をまとめる
10:コンセンサス実習③　正解のないグループ・ワーク	本日のコンセンサス実習に関する振り返り表に記入する
11:様々な心の特徴を知る③　描画法	心理テスト結果について振り返り表に記入する
12:様々な心の特徴を知る④　得意分野を探る	心理テスト結果について振り返り表に記入する
13:共感的理解について考える①　グループ・ワーク	共感的理解について自らの経験を振り返りまとめる
14:共感的理解について考える②	共感、同情、同意の違いについてまとめる
15:まとめ	本講義内容について総復習し、試験に向けた学習を行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 60%　各授業後の振り返り表 20%　学習の意欲 20%
グループ・ワークおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本講義は「ピアヘルパー」認定資格取得に役立つ内容である。
多様なグループ・ワークや意見交換の場が準備されているため、積極的参加が求められる。
各時間の学習内容について振り返り表に記入した内容に関しては、教員が授業中にフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ピアサポート	LP51205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本演習は、『ピアヘルパー』認定資格取得のために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。『ピアヘルパー』は、直訳すれば「仲間を助ける人」であり、自分と自分の身近な人々の日常的なサポートに活かせる資格である。本演習では、心理学の理論と方法に基づいて適切な自己表現の仕方や友人の悩みに聞き方についてきちんと学習することで、自らのスキルアップをはかるとともに身近な人々をサポートする力を養う。

Ⅲ. 学習成果

1　カウンセリングの諸理論について基礎的な内容を説明できる
2　ヘルピングに必要な言語的技法および非言語的技法を説明できる
3　学んだ知識と技法を日常生活で適切に応用できる
4　ピアヘルパー認定試験に合格する

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:構成的グループエンカウンターについて学ぶ	ピアヘルパーハンドブックのPp.10-15を読んで要点をまとめる
2:構成的グループエンカウンター・エクササイズ	実習後に振り返りレポートを作成する
3:カウンセリングの定義と略史	ピアヘルパーハンドブックのPp.16-21を読んで要点をまとめる
4:カウンセリングの種類	ピアヘルパーハンドブックのPp.22-26を読んで要点をまとめる
5:自己理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.24を読んで要点をまとめる
6:精神分析について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.25を読んで要点をまとめる
7:行動理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.26を読んで要点をまとめる
8:論理療法について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.27を読んで要点をまとめる
9:ピアヘルピングの関連領域とプロセス	ピアヘルパーハンドブックのPp.27-39を読んで要点をまとめる
10:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向	ピアヘルパーハンドブックのPp.40-50を読んで要点をまとめる
11:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向の確認	ピアヘルパーワークブックのPp.8-9に記入し復習する
12:ピアヘルピングの言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.52-60を読んで要点をまとめる
13:ピアヘルピングの言語的技法②	ピアヘルパーハンドブックのPp.60-64を読んで要点をまとめる
14:ピアヘルピングの非言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.65-70を読んで要点をまとめる
15:ピアヘルピングの非言語的技法②	ピアヘルパーワークブックのPp.41-42に記入し復習する
16:対話上の諸問題への対処法	ピアヘルパーハンドブックのPp.71-77を読んで要点をまとめる
17:問題への対処法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.78-84を読んで要点をまとめる
18:問題への対処法②	ピアヘルパーワークブックP.34を読んでそれぞれの違いを復習する
19:ピアヘルパーの心がまえとヘルピングスキルの上達法	ピアヘルパーハンドブックのPp.85-94を読んで要点をまとめる
20:ピアヘルパーの活動許容範囲と留意点	ピアヘルパーハンドブックのPp.98-103を読んで要点をまとめる
21:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　学業領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.104-109を読んで要点をまとめる
22:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅰ（実施後のグループ・ワークを含む）	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
23:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　進路領域　友人領域　グループ領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.110-127を読んで要点をまとめる
24:カウンセリングスキルのまとめ	ピアヘルパーワークドブックのPp.32-33に記入し復習する
25:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　関係修復領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.129-134を読んで要点をまとめる
26:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　心理領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.135-141を読んで要点をまとめる
27:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅱ（実施後のグループ・ワークを含む）	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
28:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験Ⅲ（実施後のグループ・ワークを含む）	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
29:ピアヘルパー認定試験直前総復習①	資格認定試験に向けてテキスト前半の復習を行う
30:ピアヘルパー認定試験直前総復習②	資格認定試験に向けてテキスト後半の復習を行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ピアヘルパーハンドブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税
ピアヘルパーワークブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

グループ実習後の振り返りレポート 10%　3回の模擬試験結果 30%　ピアヘルパー認定試験受験 40%　学習の意欲 20%
テキストの読み合わせおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

複数回実施するピアヘルパー認定試験対策模擬試験では、全体の正答・誤答傾向のフィードバックを行った上で個人の誤答の確認と修正を行う。
さらに、個人の成績の変化もフィードバックする。
ピアヘルパー資格認定試験を必ず受験すること。

関連 サービス系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
フラワーアレンジメント	LP51207	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
石井　康子		履修要件他:	クリエイティブデザイン系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

花と暮らすことは心が和み、その空間はパッと華やぎます。授業では花を素敵に活けるための基礎知識を学び、季節、行事に合わせた作品を作ります。
テーマに合った植物での表現方法を学習します。植物と触れ合うことの楽しさ、そして想像力が培われます。

Ⅲ. 学習成果

「花を活ける」ことにより、日常の暮らしに笑顔と感謝の気持ちが培われます。 花を通して表現力を磨き、プレゼンテーションカを学習することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 必要な道具。水あげの基本。	(予習)テキストを読んで、確認する。
2: 花の扱いに慣れよう。 実習:スプレーバラを4通りにアレンジします。	(復習)4通りのうち気に入ったスタイルのアレンジを自宅でも再現する。
3: 大切な人に想いを伝えるフラワーギフトの贈り方の学習をする。 確認ワークをする。	(予習)テキストを読んで、花を贈る時のルールやマナーを確認する。
4: アレンジメントの基本の形について。花留めについて。 実習:花留めテクニックを習得する。	(復習)いろんな花留め方法を試す。
5: 吸水性スポンジの使い方。花材の挿し方。アレンジメント用語について。	(予習)アレンジメント用語を読む。
6: 実習:ハロウィーンの作品を作る。 ★作品について、プレゼンテーションをする。	(復習)作品の飾り方を検討する。
7: プリザーブドフラワーとはどのようなものかを学習する。 実習:プリザーブドフラワーのハーバリウムを作る。	(予習)作品テーマを考えてくる。
8: 実習:　吸水性スポンジを使い小さなアレンジメントを作る。 ★作品について、プレゼンテーションをする。	(復習)飾り方を検討する。
9: 季節の行事を花と緑で演出する方法について。 実習:秋色アジサイで作るクリスマスツリー。	(復習)クリスマスの演出方法を考える。
10: お正月について 実習:しめ縄を作る。	(復習)しめ縄の飾り方を確認する。
11: アレンジメントの基本三方見ファンスタイルについて。	(予習)テキストで飾る場所を学習する。
12: 実習:吸水性スポンジのカット。三方見ファンスタイルの作品を作る。	(復習)作品の飾り方を確認する。
13: アレンジメントの基本四方見ラウンドスタイルについて。	(予習)テキストで飾る場所を学習する。
14: 実習:吸水性スポンジのカット。四方見ラウンドスタイルの作品を作る。	(復習)作品の飾り方を確認する。
15: 実習:作品のテーマを決めて吸水性スポンジを使いアレンジメントを作る。 ★作品について、プレゼンテーションをする。	(予習)作品のテーマを考えてくる。

＊準備学習についての補足説明
予習については、事前にお知らせします。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

基本のフラワーアレンジ　森　美保　成美堂出版　¥1300＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

作品(60%)、学習意欲(20%)、確認ワーク(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・花の入荷状況により授業内容や順番が変更になる場合があります。
・授業で作った作品は、自宅に持ち帰りその後の管理を学習できます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
臨床心理学	LP51206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
脇浜　幸則		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では，臨床心理学という観点から精神障害，発達障害を中心に理解を深める。また，授業では関連する諸理論も紹介するとともに，心理学的視点から障害のある人の気持ちや出会う社会的障壁に気づくことを目的とする。その中で，障害に関する理解を深め，共生社会実現のために，社会を構成する一員として自身にどのようなことができるか，考えることとする。なお，この授業では障害に関する基礎的知識の教授だけでなく，体験的動画の視聴に加え，それらに対して抱いた思いや感情などを，グループディスカッションを行う。

Ⅲ. 学習成果

・いくつかの精神障害や発達障害に関する基礎的な知識を習得しており，障害に関する正しい理解をすることができる。
・それぞれの精神障害や発達障害に関して，社会的障壁という視点から物事を捉え，その障壁の除去のために考えて行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学について，ワークを通じた心理学的現象の紹介	臨床心理学という視点から学んでみたいことを考える。
2: バーチャルハルシネーション 統合失調症の世界の体験的理解	統合失調症体験に関するミニレポートの作成。
3: 統合失調症に関する基礎的知識，治療	統合失調症に関するTEDトークの視聴。 統合失調症者が日常で出会う社会的障壁について考える。
4: 双極性障害に関する基礎知識，治療	双極性障害に関するTEDトークの視聴。 双極性障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
5: うつ病性障害に関する基礎的知識，治療	うつ病に関するTEDトークの視聴。 自身の落ち込みの状態と「うつ」の状態の違いについて考える。
6: 不安障害群に関する基礎的知識	不安障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
7: 強迫性障害に関する基礎的知識	強迫的行動の背景について考える。 強迫性障害者が日常生活でどのように困るかを考える。
8: 神経性拒食症，過食症に関する基礎的知識	自身のこれまでの「食」に関する体験を振り返る。
9: 心理療法に関する諸理論	心理療法に関する諸理論を自身でまとめ， どのような考え方があるかを理解する。
10: 心理査定，傾聴法に関する諸理論 ～傾聴法の体験とグループディスカッション～	自身の話の聞き方の癖を振りかえり，自身の考えをまとめる。
11: 発達障害に関する基礎的知識 ～ASDを中心に～	ASDに関するTEDトークの視聴。 ASDに対する自身の偏見や無意識的思いに気づく。
12: 発達障害に関する基礎的知識 ～ADHD・SLDを中心に～	ADHDに関するTEDトークの視聴。 ADHD者が修学場面・就労場面で出会う困りについて考える。
13: 「障害」の社会モデルについて ～「障害」に関するディスカッション～	自身の中での障害の捉え方を整理する。 社会モデルという視点からこれまでの授業を振り返る。
14: 日常に潜む社会的障壁について	これまで取り上げた障害のうち1つを選び，その障害がある人が どのような社会的障壁に出会うか，考える。
15: 合理的配慮について ～事例をもとに，考えられる合理的配慮についてのディスカッション～	精神障害，発達障害のある人に対する合理的配慮として，何が考えられるか， 自分の考えを整理する。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での特別な配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

関連 サービス系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア計画	LP46205	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

様々なシーンのインテリアについて学んでいく。ここでは商業空間のインテリアについて、機能やターゲットを念頭に適切な空間つくりを学んでいく。
具体的には、飲食店と物販店について必要な家具とそのレイアウトの基本、コンセプトとイメージの実現のために必要な知識を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1.空間に必要とされる機能を理解する
2.機能にあった家具や什器のレイアウトができる
3.ターゲットにあったインテリアの提案ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(商業空間とは)	よく行く商業施設について取り扱っている商品・客層などを調べる
2:動線計画	サイン・ピクトグラムの役割について調べる
3:視線の誘導(フォーカルポイントの設定)	実際の店舗でフォーカルポイントになっているエレメントを調べる
4:カラースキーム	テクスチャーによる色の感じ方の違いをまとめる
5:インテリアエレメント	インテリアファブリックの種類をまとめる
6:飲食店の家具配置	よく行く飲食店の家具の配置を再現する
7:飲食店のプレゼンテーション	家具のレイアウトを行い発表の準備をする
8:物販店の家具配置	雑貨店の家具配置について調べる
9:物販店のプレゼンテーション	物販店の家具のレイアウトを行い、発表の準備をする
10:インテリアグリーン	観葉植物を効果的に使っている例を見つける
11:インテリアグリーンの提案　プレゼンテーション	季節感のあるグリーンの配置を考える
12:施設のインテリア(短大のインテリアを考える)	必要な機能や年間に行われる行事など、まとめる
13:施設のインテリア(短大のインテリアを提案する)	季節感を取り入れたインテリアについてまとめる
14:プレゼンテーションスキル(ドローイングテクニック)	家具のスケッチを行ってみる
15:まとめ	店舗のインテリア計画について必要な知識をまとめる

＊準備学習についての補足説明
実際に自分の身の回りにある商業空間について調べまとめる習慣をつけること。毎回60分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員作成の資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(動線計画や施設の機能などの観点から提案ができているか)50%、プレゼンテーション能力(提案書のわかりやすさ、伝え方等)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題は全体で講評を行う。グループでの活動の中でインテリアコーディネーターとして必要な資質(コミュニケーション能力)を高めていくための努力を行うこと。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア設計	LP46206	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
大坂　志保子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

パソコンを使った製図（JW CAD）を学びます。住み手からの様々な要望を想定してインテリアデザインへの提案を行い、住宅関連メーカーのホームページの情報も利用して、CAD作品にまとめます。

Ⅲ. 学習成果

1. JW　CADの基本技術が習得でき、プレゼンテーションの幅が広がる。
2. 自分が置かれているインテリア環境を見直し、より住みやすくなるよう工夫することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:製図基礎の復習 「住まい」について1　日本住宅の特徴	日本各地の伝統的な住居について調べる
2:「住まい」について2　ライフスタイルと住まい　他	色々なタイプの住宅インテリアプランを調べる
3:「住まい」について3　LDKという住まい方	身近な住まい（自宅や友人・親戚宅など）を再確認する
4:JW CADの基本操作（基本の図形）	「基本図形」の操作の要点を配布シートに整理
5:　〃　（自由点・読取点）	「自由点・読取点」の操作の要点を配布シートに整理
6:　〃　（レイヤーについて）	「レイヤー」の操作の要点を配布シートに整理
7:　〃　（建具について）	「建具」の操作の要点を配布シートに整理
8:　〃　（総合問題）	「基本操作のまとめ」を配布シートに整理
9:課題作品の検討1 設計条件とプランの検討	居室の広さを確認する
10:課題作品の検討2 プランの完成　プレゼンテーション	水回りの広さを確認する
11:課題のCAD作品化1 建築	CADの基本操作を再確認する（基本図形、自由点・読取点）
12:課題のCAD作品化2 家具の配置	CADの基本操作を再確認する（レイヤー、建具）
13:課題のCAD作品化3 住宅関連メーカーの設備図面の挿入	住宅関連メーカーの商品の特徴を調べる
14:課題のCAD作品化4 仕上げ　プレゼンテーション	課題作品のまとめ方について考えておく
15:課題作品のインテリアイメージシート作成とまとめ　プレゼンテーション	インテリアイメージシートのレイアウトを考える

＊準備学習についての補足説明

身の回りのインテリアデザインを観察し、演習で学んだ事が実際にはどうなっているのか照らし合わせてみる（毎回1時間程度）

単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成の資料配付

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品内容80%・学習の意欲（作品づくりへの意欲・工夫など）20%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

CADの基本操作は、講義の後、個別に指導しながら演習を進めていきます。

CAD操作の練習問題や課題作品の提出にはGoogle classroomを使用し、講評します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリアコーディネート	LP46207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
照井　善明		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアプレゼンテーションで学習してきた内容について、もう少し深く、実物に触れながら自分なりのインテリアコーディネートを完成させる。
学生それぞれの個性を尊重しながら知識を深める。

Ⅲ. 学習成果

インテリアコーディネートの実務に必要な知識を身につけると共に、自分で考える力、想像力を養う。
日本の文化である和室について学び、和室の良さ、畳の良さについて再認識できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: マンションのテーマ 水回り(キッチン、洗面、浴室、トイレなど)をカタログより選択	マンション一戸分の家族構成と暮らし方を考えておく マンション全体のインテリアイメージを考えておく。
2: パソコン(マンションプランを3Dで作成)①	マンション一戸分のプランを実際に計画する
3: パソコン(マンションプランを3Dで作成)②	プランの中でアピールする部分(独自のプラン)を考える
4: パソコン(マンションプランを3Dで作成)③	マンション全体のイメージを再確認。
5: 住宅設備のショールーム見学	水回り、照明器具、建材などの情報を確認する
6: パソコンによるインテリアプレゼンテーションを作成①	分かりやすくプレゼンする方法を考える。 ショールームで得た情報を取り入れる
7: パソコンによるインテリアプレゼンテーションを作成②	分かりやすくプレゼンする方法を考える。 ショールームで得た情報を取り入れる
8: マンションのインテリア模型の制作①	パソコンで作成したマンションプランを模型で表現 スチレンペーパーで床、壁を作る
9: マンションのインテリア模型の制作②	床仕上げ
10: マンションのインテリア模型の制作③	壁仕上げ
11: マンションのインテリア模型の制作④	壁仕上げ
12: マンションのインテリア模型の制作⑤	住設の製作
13: マンションのインテリア模型の制作⑥	家具の製作
14. 作品の評価	プレゼンンの準備をする
15: プレゼン、作品返却	授業の感想をまとめる

＊準備学習についての補足説明
いろいろな家の特徴やインテリア、水回り、またライフスタイルによる違いなど、興味を持ち観察する。洋室と和室の違いに気付く。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし(資料配付)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(80%)、学習への意欲(20%)
居眠り、私語、スマートフォンの使用(授業に関係無い時)。また授業に参加していない時(他の事をしている時)に際しては、「学習への意欲」の評価対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

インテリア入門ユニットを受講した学生のみ受講可、科目履修不可
提出した課題は、最後の日に全作品をファイルし、各人にコメントを付けて返却する。
「実務経験教員科目」特記事項:1級建築士事務所を主催し、ショールームや住宅展示場の見学において、専門的説明をし、実際に見たり、触れたりすること事で、現実的により深く考えられるよう、導く。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア入門	LP46201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートを行う際に必要な基礎知識(人間工学・動線・心理特性・色彩計画)について学ぶ。
住宅各室に求められている機能を理解し、適切な家具のレイアウトについて学び、考えていく。

Ⅲ. 学習成果

1.人体寸法とインテリアや建物の関係を正しく理解する。
2.動線と部屋の使いやすさの関係を理解し、家具のレイアウトが行えるようになる。
3.カラースキームの基本を理解し、応用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(西洋と日本の違い)	気候や文化がインテリアに与える影響についてまとめる
2:インテリアの歴史(家具の歴史～素材と技術の進歩)	現在使っている家具の素材について調べる
3:カラースキーム①(色の基本)	色の3要素についてまとめる
4:カラースキーム②(色の組み合わせ) イメージに合わせたカラースキームを行い、発表をする。	色の組み合わせの基本に従ってカラースキームを行い発表の準備をする
5:人間工学①(人体寸法と動作領域)	自分の人体寸法の概算値を計算する
6:人間工学②(家具への応用)	使いやすい家具のチェック項目に従って家具を調べる
7:人間工学③(家具の使用空間、単位空間)	家具の種類と人間の関わりについてまとめる
8:動作領域と動線	人の動きと住宅内での動きを調べる
9:心理特性と家具のレイアウト	様々な場所での家具のレイアウトをまとめる
10:感覚と知覚	錯覚(錯視)についてまとめる
11:室内環境(採光と照明、温熱環境)	体感温度について調べる
12:室内(通風と換気、音)	効率のいい換気を実験してみる　騒音の基準について調べる
13:居室の機能(公的空間) 公的空間(LDK)の家具のレイアウトを行い発表する	パブリック空間に求められる機能についてまとめる
14:居室の機能(私的空間) 私的空間(個室)の家具のレイアウトを行い発表する	プライベート空間に必要な家具のリストを作りレイアウトする
15:まとめ	マンションの間取り図に家具のレイアウトを行う

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うことが望ましい。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を授業中に配布する
参考図書:「インテリアの計画と設計」(彰国社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記の内容について、学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は、全体に対して講評を行い、個別にはコメントを渡す。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリアグリーン	LP46208	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
石井　康子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

生活に植物を取り入れ「潤いのある暮らし」を学びます。作品作りを通して「インテリアとしての植物」の学習ができます。

アロマテラピーは、検定試験に役立つ内容です。
学外見学を通して、ガーデニングライフの楽しさ、生活の中での植物の大切さを体感できます。

Ⅲ. 学習成果

1植物の効用、2インテリアとしての植物の活かし方、3アロマテラピーなどの基礎知識を習得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 植物の基礎知識① スライドショーにてガーデニングライフ紹介、植物の効能について、香りの持つイメージについて	学習したい内容を考える。好みの香りのイメージをプレゼンテーションする
2: アロマテラピー 作品作り　:　ルームフレッシュナー	作ったルームフレッシュナーを使ってみる
3: インテリアグリーン①「糸をまかない苔玉」のレッスンを見る	作品のポイントを見つける
4: インテリアグリーン②:「観葉植物のポット寄せ」を見る	作品のポイントを見つける
5: 学外見学 天神アクロス	アクロス山に登った感想を発表する
6: 学外見学 天神商業施設内のインテリアグリーン、壁面緑化	街中のインテリアグリーンについて考察する
7:　アロマテラピー①アロマテラピーとは何か？	インテリアの中の香りについて考察する
8: 作品作り:ハーバリウム	作品のテーマ、コンセプトを考えプレゼンテーションする
9: アロマテラピー②エッセンシャルオイルの効用について	暮らしに役立つエッセンシャルオイルを学ぶ
10: 作品作り　:　ハートアレンジ	作品のテーマ、コンセプトを考えプレゼンテーションする
11: 学外見学 福岡市植物園	屋外、温室内の植物を見学、学習し感想を発表する
12: 学外見学 福岡市植物園	〃
13: 作品作り:エアプランツ	作品を飾り鑑賞する
14: 作品作り:カラーサンドに観葉植物を植える	作品のテーマ、コンセプトを考えプレゼンテーションする
15: まとめ ※上記はあくまで目安であり、内容や順番は変更の可能性があります。	

＊準備学習についての補足説明
必要に応じて、授業の中で適宜説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

アロマテラピー検定　公式テキスト　1級、2級　発行:公益社団法人　日本アロマ環境協会　￥2,640

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実習作品の制作(30%)、テスト(35%)、学外研修当日提出レポート(20%)、学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

実習日・見学日は日焼け防止、虫除けのため、パンツ、袖のあるもの、スニーカー着用。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア販売	LP46202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリア商品(家具・照明・インテリアファブリック・インテリアアクセサリ等)は多く私たちの周りにあふれており、容易に手に入れることが可能になってきました。
インテリア商品の基礎知識を学び、お客様に対して適切なアドバイスや提案ができることを目指して学びます。

Ⅲ. 学習成果

1.インテリア商品の種類を知る
2.インテリア商品の基礎知識を持つ
3コミュニケーションをとるための表現方法を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(インテリア商品とその流通について)	流通について身の回りの例を取り上げまとめる
2:商品知識　家具①(脚物家具)	自分の部屋にある家具リストを作成する
3:商品知識　家具②(箱物家具)	脚物家具・箱物家具の種類と特徴をまとめる
4:商品知識　窓装飾①(カーテン、シェード)	カーテンの部材の名称と役割についてまとめる
5:商品知識　窓装飾②(ブラインド　スクリーン)	ブラインドの特徴について調べる
6:商品知識　照明	光源の種類とその特徴についてまとめる
7:住宅設備①(キッチン)	キッチンのレイアウト例と住宅の広さについてまとめる
8:住宅設備②(バス、トイレ)	トイレ・洗面・浴室が求められる機能についてまとめる
9:インテリアアクセサリー①(インテリアグリーン、テーブルウェア・テーブルリネン)	テーブルコーディネートの例を挙げリネンの使い方をまとめる
10:インテリアアクセサリー②(スリーピングリネン、バスリネン)	自分の持っているスリーピングリネンについてまとめる
11:情報	情報の種類と販売の際に必要な情報についてまとめる
12:接客販売　グループワークにより接客の基本動作の確認を行う	接客の際に必要なマインドについてまとめる
13:ビジネスマナー	言葉使い(敬語)についてよく使う語句と場面についてまとめる
14:購買心理　自分の購買のパターンについて発表する	自分の購買行動について振り返る
15:まとめ	インテリア商品の販売時に必要な知識と技術についてまとめる

＊準備学習についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する
参考書:「リビングスタイリスト資格試験　公式テキスト」(社)日本ライフスタイル協会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の講評は全体に対して行う。個別にはコメントを渡す

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア製図	LP46203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
大坂　志保子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

見本の住宅インテリア図面や模型を使って、製図の基礎を学びます。
また、家具の配置や住宅各所の寸法などインテリアプランニングの基礎を学び、自分で考えたプランを製図で表現します。

Ⅲ. 学習成果

1. 基本の住宅インテリア図面を理解し、描けるようになる。
2. 自分が置かれているインテリア環境を見直し、より住みやすくなるよう工夫することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:製図の基礎1 製図道具の使い方と線の引き方	広告・雑誌・PCなどを利用して、いろいろなタイプの住宅インテリアプランを比較する
2:製図の基礎2 基本となる寸法値・和室の観察	身近な住まい(自宅や友人・親戚宅など)を再確認する
3:平面図1 模型の平面図	自室の平面図(フリーハンド)を作成する
4:平面図2 模型の平面図に家具を配置	自室の平面図(フリーハンド)に家具を配置する
5:展開図1 模型の展開図(北・東面)	自室の展開図(フリーハンド)北・東面を作成する
6:展開図2 模型の展開図(南・西面)	自室の展開図(フリーハンド)南・西面を作成する
7:家具図1 家具図の描き方	いろいろな家具の寸法を測って表にまとめる
8:家具図2 家具のスケッチを家具図におこす	家具がどのように造られているか細部を観察しスケッチする
9:家具図3 オリジナル家具の作成　プレゼンテーション	日本や海外の家具デザインの事例を調べる
10:電気設備図・その他の図面　プレゼンテーション	自宅におけるスイッチやコンセントの位置・数などを調べる
11:自分の部屋をプランしてみよう1 設計条件とプランの検討	インテリアデザインの事例を調べて、作品づくりに取り入れる
12:自分の部屋をプランしてみよう2　プレゼンテーション 平面図	平面図の描き方を確認する
13:自分の部屋をプランしてみよう3　プレゼンテーション 展開図	展開図の描き方を確認する
14:自分の部屋をプランしてみよう4　プレゼンテーション 家具図	家具図の描き方を確認する
15:レポート(住宅のリフォーム案) 全体のまとめと作品集のプレゼンテーション	作品集の表紙のデザインを検討する

＊準備学習についての補足説明
身の回りのインテリアデザインを観察し、演習で学んだ事が実際にはどうなっているのか照らし合わせてみる(毎回1時間程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成の資料配付

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出80%・学習の意欲(作品づくりへの意欲・工夫など)20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回、製図作品を提出します。作品は、次回に全体講評し、個別に対応しながら演習を進めます。
配付資料は整理して、毎回忘れずに持参すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリアプレゼンテーション	LP46204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
入江　明美		履修要件他:			
中川路　美和		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネーターはどこで活躍しているのか、どのような仕事をしているのか、現役インテリアコーディネーターのリアルを学ぶ。
インテリアエレメント＝「室内」を構成するための「要素」として、家具やカーテン・建具・壁、床、天井・照明器具・CGパースなどの基礎を学び
ロールプレイングでヒアリングし、プレゼンテーションへの流れを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

インテリアコーディネーターが活躍する職場は多く、その職種・必要スキルを学び、インテリアプレゼンテーションの基礎を学び知ることで
自らの可能性を広げ、自信への一歩とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 自己PR　人間工学の基礎	自己紹介を考える スケールで体の部位を測り寸法を知る
2: インテリアコーディネーターの仕事	インテリアコーディネーターとその周辺の仕事で、どのような職種があるか、調べてみる
3: 家具・カーテンの基礎	家具・カーテンの種類と効果について
4: 床・壁・天井の基礎	床・壁・天井の種類と効果について
5: 照明器具の基礎	照明器具の種類と効果について
6:間取り図と建具の基礎	間取り図の読み取りと建具の種類
7: 3DCGパース作成①	6帖と4.5帖の続き間のインテリアイメージを考える 3DCGパース作成技術
8: 3DCGパース作成②	3DCGパース作成技術
9: 3DCGパース作成③	3DCGパース作成技術
10: ヒアリング	プレゼンするために、クライアント(仮定)から必要な情報を聴きとる(ロールプレイング)
11: プレゼンテーション①	クライアント(仮定)に提案するプレゼンテーションシート作成
12: プレゼンテーション②	クライアント(仮定)に提案するプレゼンテーションシート作成
13: プレゼンテーション③	クライアント(仮定)に提案するプレゼンテーションシート作成
14: プレゼンテーション　発表	クライアント(仮定)にプレゼンテーションする
15: 講評会-まとめ	講義を通して各自が興味を持ったことや自分の就きたい職種について考える

＊準備学習についての補足説明
事前・事後学習については30分～1時間必要。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(70%)　学習への意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

最終のプレゼンテーションにむかって1回目から学び重ねていくため毎回の出席を評価する。提出課題は、最後の日に各人にコメントをつけて返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:
技能の基礎を学びながら、現役インテリアコーディネーターとしてリアルな活きた情報と体験談とその職種の魅力を伝えたい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CGデザイン演習Ⅱ	LP47206	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
濵田　佳世		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

社会においてのグラフィックデザインの役割を理解します。
また、これまでの学びをベースに より知識を深めながら実践し、論理的な思考やそれらを言語化・視覚化する訓練をしていきます。
柔軟な発想力やコミュニケーション力を向上させることを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

・ 目的に沿ったプランニングができる
・ 社会におけるデザインの役割を体感し、視野を広げることができる
・ 漠然とした感覚を、言語化・視覚化し伝えることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:実在店舗のノベルティ制作:リサーチ	実在店舗(Dua予定)からのテーマに沿ってグッズの種類調査
2:実在店舗のノベルティ制作:グッズ検討	リサーチした種類から提案するグッズを検討
3:実在店舗のノベルティ制作:企画提案	提案したいグッズの企画をプランニング
4:実在店舗のノベルティ制作:手描きラフデザイン	アイデアをラフスケッチに10案以上起こす
5:実在店舗のノベルティ制作:手描きラフのブラッシュアップ	フィードバックを受け、精度を高める
6:実在店舗のノベルティ制作:デザイン	デザイン案を絞り込み、Illustratorでデザインする
7:実在店舗のノベルティ制作:デザインのブラッシュアップ	フィードバックを受け、精度を高める
8:実在店舗のノベルティ制作:デザインフィニッシュ	ディテールなど細部の修正
9:実在店舗のノベルティ制作:企画提案 - 企画書ラフ - ワイヤー	企画書を「起承転結」の流れに基づき作成する
10:実在店舗のノベルティ制作:企画提案 - 企画書ラフのブラッシュアップ	フィードバックを受け、精度を高める
11:実在店舗のノベルティ制作:企画提案 - 企画書作成 - 作り込み	企画書の作り込みをIllustratorで行う
12:実在店舗のノベルティ制作:企画提案 - 企画書のブラッシュアップ	フィードバックを受け、精度を高める
13:実在店舗のノベルティ制作 ▶ クライアントプレゼン前半 ※アクティブラーニング	協力クライアントを招き、一人ずつプレゼンする
14:実在店舗のノベルティ制作 ▶ クライアントプレゼン後半 ※アクティブラーニング	プレゼンの続き、協力クライアント・講師からの総評
15:お菓子のBranding:リサーチ	設定したいお菓子を各自で決め、デザイントーンや方向性を探る
16:お菓子のBranding:コンセプト立案／座学30分(ロゴマーク)	上記の続き／ロゴマークについての講義
17:お菓子のBranding シンボルマーク:サムネイル作成・フィードバック	対象の強みを分析し、コンセプトに基づき手描きでデザインする
18:お菓子のBranding シンボルマーク:デザイン	デザイン案を絞り込み、Illustratorでデザインする
19:お菓子のBranding シンボルマーク:デザイン	ブランドの特徴を多方面から分析、デザインする
20:お菓子のBranding シンボルマーク:フィードバック／座学30分(文字組)	フィードバックを受け、精度を高める／文字組みについての講義
21:お菓子のBranding シンボルマーク:デザイン完成	シンプルで強度のあるフォルムを意識し、デザインする
22:お菓子のBranding シンボルマーク:プレゼンシート／座学30分(ジャンプ率)	コンセプトをまとめる／ジャンプ率についての講義
23:お菓子のBranding 包装紙:リサーチ	デザイン案を絞り込み、Illustratorでデザインする
24:お菓子のBranding 包装紙:デザイン／座学30分(フォント)	上記の続き／フォントについての講義
25:お菓子のBranding 包装紙:フィードバック	フィードバックを受け、精度を高める
26:お菓子のBranding 包装紙:デザイン完成／座学30分(黄金比・白銀比)	上記の続き／黄金比・白銀比についての講義
27:お菓子のBranding 包装紙:プレゼンシート・フィードバック	コンセプトをまとめる・フィードバックを受け、精度を高める
28:お菓子のBranding 包装紙:出力・ラッピング	支給された紙と箱に出力・ラッピングする
29:お菓子のBranding 作品撮影:構図レクチャー・色補正	撮影データの色補正等をinstagramの編集機能で行う
30:お菓子のBranding :プレゼン・講評	集大成のプレゼンを行う

＊準備学習についての補足説明
課題制作の進行に計画性を持つこと。授業開始時またはその前に15分～30分程度、効率的な手順を整理した上で着手すること。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント・PDF等を配布。参考書籍は授業内で紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各課題における作品評価(60%)、プレゼンテーション力(20%)、学習の意欲(20%)を総合的に判断して評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アイデア出しやラフスケッチをするためのノート等を用意すること。
また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルやクリアファイルを持参すること。
プレゼンに際し、講師の口頭による講評・フィードバックを行います。
「実務経験教員科目」特記事項:講師は、コンセプト立案・ロゴマーク・パッケージ・エディトリアルなどブランディングデザインをトータルで行うアートディレクターです。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webプログラミング演習	LP47207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
川原　慎介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、ウェブにおいてのJavaScript の役割を学び、そのライブラリであるjQueryを用いて静的なウェブサイトから動きのあるホームページ制作を作成することを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

・JavaScriptを用いて、プログラミングの基礎を身に付けることが出来るようになる。
・ウェブサイト制作に必要な JavaScript / jQuery の利用が出来るようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: JavaScript とは/ jQueryとは？ 受講上の注意	受講上の注意として指示されたことを準備・自覚する
2: 画面への出力(コンソール / アラート)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
3: 変数の利用	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
4: JavsScriptによる四則演算(演算子)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
5: 分岐文(if文 / switch文)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
6: 繰り返し文(for文 / while文)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
7: 関数(自作関数)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
8: イベント概要(イベントハンドラ / イベントリスナー)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
9: アルゴリズム 概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
10: アルゴリズム 練習問題	未解答の練習問題に取り組む
11: イベントの実装(練習問題)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
12: JavaScript の復習と練習問題	未解答の練習問題に取り組む
13: jQuery のダウンロード / HTMLへの組み込み	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
14: jQueryを用いたHTML / CSSの操作	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
15: jQueryのオブジェクト / メソッド	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
16: jQueryのイベント概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
17: jQueryのイベント実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
18: jQueryのイベント応用	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
19: jQueryのイベント練習問題	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
20: jQueryのイベント復習	未解答の練習問題に取り組む
21: タブ切り替えの概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
22: タブ切り替えの実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
23: モーダルウィンドウの概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
24: モーダルウィンドウの実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
25: スライドショーの概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
26: JavaScript / jQuery プラグインを用いたスライドショーの実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
27: 課題制作に対する設計	課題制作に取り組む
28: 課題制作のプレゼンテーション	課題制作に取り組む
29: 設計した課題の実装	課題制作に取り組む
30: 制作した課題のデバッグ	課題制作に取り組む

＊準備学習についての補足説明

・出題された練習問題や課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること。 ・各自の理解不足を解消するために、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しない。授業中に配付した資料は、各自でファイリングするなどして整理を行い、いつでも参照できるようにすること。
・授業中に作成したデータも重要な資料となるので、各自でデータの管理を行い、いつでも参照できるようにすること。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出:100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理解度を確認するために練習問題を出題しますので、各受講生の作業状況に応じて、授業中にコメントしてフィードバックを行います。
・分からない個所は受講者によって異なります。この授業で一番大切なことは、自分が分からないことを積極的に質問や検索して解決できる能力です。
・授業は回を増すごとに難易度が上がっていきます。やむを得ず欠席した場合には授業内容や課題を各自で授業担当者や同じ受講者に確認して、
必ず授業内容や課題に対応すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CG演習A	LP47201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
岡崎　富美		履修要件他:	インテリア関連科目		
新田　依子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	◎
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

ベクトル画像処理ソフトAdobe　Illustratorを使用し、コンピュータグラフィックスの基本的な技術を学ぶ。
ベクトル画像の特徴であるベジエ曲線による作画と加工、多様な効果について段階的に学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1.ベクトル画像の特徴を理解する。
2.ベクトル画像の作画と加工をIllustratorを使ってできる。
3.印刷や適切なファイル形式への保存ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Illustratorの基本操作を学びます。 起動・終了方法、各ツールの説明	授業中に学んだ基本操作を覚える。
2: 図形・線・色の変更のツールを使用して、イラストを描きます。	学んだ操作方法をテキスト等で復習する。
3:　オブジェクトの作成を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(1)	ロゴマーク・アイコン等どのような物があるか調べる。
4: オブジェクトの編集方法を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(2)	ロゴマークやアイコン等の役割を考えまとめておく。
5: 文字の入力方法を学びます。 名刺の作成(1)	名刺に記入すべき内容を調べる。
6:　様々な文字の入力方法(エリア内入力・パス上入力)を学びます。 名刺の作成(2)	名刺を作成する。
7: オブジェクトの作成に関する操作方法を学びます。 地図の作成(1)	分かりやすいアクセスマップの例を見つける。
8: オブジェクト作成の操作方法を使用して地図を作成します。 地図の作成(2)	アクセスマップを作ってみる。
9: Illustratorに搭載されている効果・機能を学びます。 ポストカード・グリーティングカードの作成(1)	季節感のあるカード・絵葉書等を確認しておく。
10: 効果・機能を使用してカードを作成します。 ポストカード・グリーティングカードの作成(2)	カードに使用するパーツを作成する。
11: 図形の効果・一括編集の方法を学ぶ ロゴマーク・アイコンの作成(1)	テーマに合ったロゴマーク・アイコンについて調べる。
12: スウォッチの作成・登録、グラデーションツールの操作方法 ロゴマーク・アイコンの作成(2)	環境問題をテーマにしたロゴマークを考える。
13: 3D効果を使う ロゴマーク・アイコンの作成(3)	出力を考えたデザインを考える。
14: 各自作成したロゴマーク・アイコンに関するプレゼンテーション ※アクティブラーニング	発表がスムーズに出来るよう内容(皆に見せれるように作品や資料等)をまとめて用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと。
15: Illustratorの出力データの管理・まとめ 環境設定の操作方法	復習

＊準備学習についての補足説明
毎回学んだことをもとに課題を作成し提出すること(課題の作成には1時間程度必要)課題の提出や授業で必要な資料配布等をGoogleclassroomにて実施するため、Googleclassroomの授業登録をしておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を使用
参考図書:「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」(技術評論社)
参考図書:「Illustratorしっかり入門」(SBクリエイティブ株式会社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(60%)、授業への意欲(40%)を総合的な評価をします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出物のうち他の学生の参考になるものは、授業内で紹介します。Googleclassroomにて提出された課題は、個別にコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CG演習B	LP47202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:	インテリア関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

スマートフォンのアプリなどで簡単に画像加工できる時代になりましたが、そのアプリの元になっているプロが使用する
画像編集ソフト「Photoshop」の基本操作を習得し、写真の合成加工、文字データ編集、WEB用画像、グラフィックデザインへの応用など
ビジュアルコミュニケーションにおける基礎的な表現能力を伸ばす授業です。

Ⅲ. 学習成果

1　Photoshopの基本的な操作
2　画像編集の基礎学習
3　グラフィックデザイン、ブランディングの考え方を知る
4　プレゼンテーション(課題発表)で伝達力を高める

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 フォトショップの基本的な機能と使用法について	【復習】プリントに沿って基本操作を復習する。(30分程度)
2:【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 画像合成の仕方、色の塗り方、保存の仕方等	【復習】プリントに沿って基本操作を復習する。(30分程度)
3::【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 レイヤー作成、各種選択ツール等について	【復習】プリントに沿って、パスの作成/レイヤースタイル/エフェクトなどを復習する。
4::【課題1:DM作成(ポストカードデザイン)】 文字ツールを使用したロゴデザイン制作	【復習】プリントに沿って、パスの作成/レイヤースタイル/エフェクトなどを復習する。
5:【課題2:gifアニメーション】 講義:WEB用の画像について、拡張子の比較、画像形式の歴史	【復習】プリントに沿ってドット絵のアニメーションを制作する(30分程度)
6:【課題2:gifアニメーション】 スキャニングと画像補正、素材をアニメーションにする方法	【復習】キャラクターのフレームアニメーションを自主制作する (1時間程度)
7:【課題3:WEBバナー広告デザイン】 支給された素材でバナー広告をデザインする、WEB用画像の書き出し法	【予習】WEBサイトのバナー広告を収集しUSBに保存してくる(30分程度)
8:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 講義:商品開発とマーケティングについて	【予習】実店舗で売場調査(価格調査やカタログ収集)をし、 配布するプリントにまとめてレポート提出すること(1～2時間程度)
9:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 文字の編集及び加工等について	【復習】授業内で制作したデザインから数パターン展開して より良いデザインを選別する(1時間程度)
10:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 イラストレーターとの互換性、画像の解像度、画像の保存形式等について	【予習】WEBデザインカンプ(WEBサイトデザイン)の構想を練る
11:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 講義:レイアウトデザインの法則と用語について	【予習】ポスターデザインで使用する背景画像などをWEBのフリー素材 などから収集しUSBに保存してくること(1時間程度)
12:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
14:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:最終日プレゼンテーション(作品発表)**※アクティブラーニング要素** 1人5分程度の発表・質疑応答あり。プレゼンテーション後、講師が講評します。	【予習】発表がスムーズにできるよう台本(テキスト)を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(10～30分程度)

＊準備学習についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内で伝達しプリントを配布します。課題の遅れを解消する為の復習については作業時間を指定しませんが、個々人の学習意欲により復習時間を確保してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と指定の教科書(下記参照)を併用
「グラフィックデザイン Illustrator & Photoshop (デジタルハリウッドの本) 」
出版社 : 技術評論社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況 (80%) 、学習の意欲(20%)等で総合的に評価します。
デザインに必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

画像加工の基本操作を習得しながら、課題の後半では各学生が普段興味を持っていることをどのようにデザインとして表現するかを個別に指導していきます。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
・各課題は課題最終日にプレゼンテーション(課題発表)を行い、その場で講評し採点します。
「実務経験教員科目」特記事項:教員はイラストレーター、ジュエリーデザイナー、生活雑貨の企画開発、スマホアプリ開発などマルチに活動する現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webデザイン論	LP47203	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
おの　れいこ		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Webサイトの受注から納品までの一連の流れについて学ぶと共に、実際にWebページのデザインと素材作成を行うことを目的としています。
はじめに、クライアントの要望に沿ったデザインを起こすために必要な実務内容や、デザインするために必要なPhotoshopやIllsutratorの基礎スキルを学びます。その後、実際にWebページのデザインを行い、素材の作成を行っています。
授業の終盤では、Webデザイナーとして、今後必要な勉強の仕方や就職活動の仕方についても触れます。

Ⅲ. 学習成果

Webデザイン制作時に必須となるPhotoshop・Illustratorの基礎的な操作の習得。
Webサイトが完成するまでの一連の流れ(クライアントとの関係や案件を通しての他職種との関わり)の理解。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Webデザイナーの魅力とやりがい、Webデザイナーを目指すために必要なスキル 受注からの納品までの工程、この授業で学習する内容、受講上の注意点	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
2:ヒアリング・情報設計～デザインをおこすまで サイトマップとワイヤーフレーム	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
3:グループワーク「業種別webサイトデザインの調査・発表」	業種・ジャンルごとにどのような色、フォント、レイアウトが使われているか調査。
4:ロゴマーク・アイコン制作(1) Illustratorを使いアイコンを作成する	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
5:ロゴマーク・アイコン制作(1) Illustratorを使いロゴマークを作成する	【中間課題】オリジナルロゴ制作
6:トップページデザイン(1)ヘッダー／フッターの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
7:トップページデザイン(2)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
8:トップページデザイン(3)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
9:トップページデザイン(4)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
10:レスポンシブデザインについて Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
11:下層ページデザイン(1) Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
12:下層ページデザイン(2) Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
13:単位認定試験課題について 概要・テーマ決め	【単位認定試験課題】
14:テーマ発表・就職活動の準備や方法(ポートフォリオの作成、他)	【単位認定試験課題】
15:今後の学習の仕方、スキル・キャリア形成について	【単位認定試験課題】

＊準備学習についての補足説明
各自の理解不足を解消するため、教科書や授業中に配布する資料を利用して、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

後日アナウンスします。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:80%(締め切り厳守)　発表:20%(意欲や姿勢を考慮します)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebクリエート演習と一緒に受講すること。パソコンの基礎的な操作(キーボード入力・マウス操作)ができること。
・各受講者の作業状況や提出課題の内容に応じて、授業担当者から適宜フィードバックします
「実務経験教員科目」特記事項:フリーランスwebデザイナー。Webデザイナーとしての実務7年以上。大学や社会人スクールでの指導実績も多数。著書「初心者からちゃんとしたプロになるWebデザイン基礎入門」、「〃　HTML+CSS標準入門」、「〃　Photoshop基礎入門」。制作業や講師業のみならず、デザイン業界を盛り上げるべくイベント「デザイン読書日和」を企画・主催、またスクール＆コミュニティ「Beans College」主催。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webクリエート演習	LP47204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Web(World Wide Web)ページ構築に広く利用されているHTML・CSSの基礎的な知識と技術習得を目的とする。はじめに、Webとインターネットの概要を説明して、スクリプトをWebブラウザに表示する方法を学ぶ。その後、HTMLとCSSを用いたコーディング手法を学ぶことで、Webページを作成する方法を学び、自身の作業を発表する。授業後半では、Webデザイン論で作成したwebページの素材をインタラクティヴなWebページに加工する方法を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

・Webとインターネットの仕組みを説明できる
・HTML、CSSを用いた基礎的なコーディング技術を習得する
・Webデザインをインタラクティヴなwebページに加工する技術を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション、Webとインターネット	受講上の注意事項を理解するために、該当資料を確認しておくこと。
2:Webページの制作について	資料を復習して、Webページ制作のワークフローを理解しておくこと。
3:HTML(要素とタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
4:HTML(主要な要素)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
5:HTML(!DOCTYPE、head、body等の記述)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
6:HTML(テキスト関連のタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
7:HTML(リスト関連のタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
8:HTML(リンクやその他のタグ)	学習したHTMLの各タグの利用方法を調べておくこと。
9:CSSの基本	CSSの資料を復習し、CSSの利用方法を理解しておくこと。
10:HTML+CSS(スタイル指定)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
11:HTML+CSS(文字装飾)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
12:HTML+CSS(余白)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
13:HTML+CSS(Class、属性)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
14:HTML+CSS(メニューの制作)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
15:HTML+CSS(メニューの調整)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
16:HTML+CSS(最終調整)	学習したCSSを復習して、利用方法を理解しておくこと。
17:Webページのアップロード(サーバーへのアップロード)	授業資料を復習して、アップロード方法を理解しておくこと。
18:Webページのアップロード(最終調整)	授業資料を復習して、アップロード方法を理解しておくこと。
19:中間発表と講評	自身のWebページを閲覧可能な状態に仕上げておくこと。
20:デザインのスライス方法	スライス方法について資料を復習して理解しておくこと。
21:トップページのコーディング(ヘッダーエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
22:トップページのコーディング(キービジュアル、ナビゲーション)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
23:トップページのコーディング(メインコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
24:トップページのコーディング(メインコンテンツの共通レイアウト)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
25:トップページのコーディング(サイドコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
26:トップページのコーディング(フッターエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
27:下層ページの作成(ヘッダーエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
28:下層ページの作成(メインコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
29:下層ページの作成(サイドコンテンツ)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。
30:下層ページの作成(フッターエリア)	授業進度に合わせて、制作を進めておくこと。

＊準備学習についての補足説明
・授業課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること　・授業内容の理解を深めるために、60分以上の予習・復習を行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しない。授業中に資料を配付するので、各自でファイリングするなどして資料を整理し、いつでも参照できるようにすること
・授業中に作成したデータも重要な資料となるので、各自でデータの管理を行い、いつでも参照できるようにすること

Ⅵ. 評価方法と評価基準

最終課題:40%(ユーザビリティ、デザイン性、理解度を総合的に評価)
小課題と中間発表:40%(授業内容の理解度、努力量、課題の完成度を総合的に評価)
受講姿勢・授業態度:20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebデザイン論と一緒に受講すること
・各課題に対しては、直接もしくは課題にコメントする等してフィードバックを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CGデザイン演習Ⅰ	LP47205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2種類の画像処理ソフト(Adobe Illustrator, Adobe Photoshop)の基本的な操作に基づいて、
写真やテクスト等、様々な素材による構成技術を学びます。
商品開発の基礎やデザインの現場に関する内容を講義に取り入れ、知識を深めていきます。
※「CG演習A」「CG演習B」を履修していることが履修条件です※

Ⅲ. 学習成果

1　PhotoshopとIllustratorを組み合わせてより実践的な作品制作をする
2　企画会議をグループディスカッションとして取り入れ、コミュニケーション能力を高める
3　企画書から商品展開へとデザインの展開力を高める
4　プレゼンテーション(課題発表)で伝達力を高める

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:【課題1:雑誌の表紙デザイン】 PhotoshopとIllustratorの連動　画像リンクについての実習	【復習】プリントに沿ってイラストレーターでの画像の取り扱いを 復習する(30分程度)
2:【課題1:雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** ラフ画、イメージスケッチ、グループでの企画会議	【予習】既存の雑誌を観察しどのような雑誌をデザインするか グループ内でディスカッションしておく(30分程度)
3:【課題1:雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション	【予習】発表がスムーズにできるようテキストを用意し 発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)
4:【課題2:キャラクターデザイン】 講義:世界の文化背景から見るキャラクターデザインの考察	【予習】身近にあるキャラクターを良く観察して分類分けをし、 配布されたプリントにキャラクターの分布図をまとめる(1時間程度)
5:【課題2:キャラクターデザイン】 イラストからノベルティグッズをつくる方法をレクチャ	【復習】授業内で紹介したオンライングッズ制作サービスを利用し オリジナル画像やキャラクターで雑貨をデザインしてみる(30分)
6:【課題3:お菓子パッケージデザイン】 手描きのイラストから Illustratorを使ってイラストデザインを仕上げる	【予習】お菓子のパッケージに使用する為のオリジナルキャラクターの 手描きスケッチを準備してくること(10～30分程度)
7:【課題3:お菓子パッケージデザイン】 絵が描けない人でも Illustratorを使って画像からイラストを作成する方法	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
8:【課題3:お菓子パッケージデザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション(作品発表)	【復習】授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
9:【課題4:マイショップデザイン】飲食店、美容院、雑貨、アパレル、など、 各自が思い描くショップを企画書としてデザインし、パッケージまでデザイン展開する	【予習】冬季休暇中にデザインに使用する画像収集をすること (USBに保存推奨)
10:【課題4:マイショップデザイン】※アクティブラーニング要素　売場調査レポート デザイン実習(Photoshop / Illustrator)ショップカードデザイン	【予習】実店舗で売場調査(価格調査やカタログ収集)をし、 配布するプリントにまとめてレポート提出すること(1～2時間程度)
11:【課題4:マイショップデザイン】 デザイン実習(Photoshop / Illustrator)ショップバッグデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題4:マイショップデザイン】 デザイン実習(Photoshop / Illustrator)ハガキ、その他パッケージデザイン	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:講義:就活に役立つポートフォリオ(作品集)の作り方 課題で制作した作品のまとめ方をレクチャします	【復習】授業内で制作した課題作品を就活などに使用できる ポートフォリオとしてまとめる(2時間程度)
14:【課題4:マイショップデザイン】 デザイン実習(Photoshop / Illustrator)	【復習】授業中で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:【課題4:マイショップデザイン】※アクティブラーニング要素 最終日プレゼンテーション(作品発表)	【予習】発表がスムーズにできるよう内容(作品とテキスト)を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)

＊準備学習についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内で伝達しプリントを配布します。課題の遅れを解消する為の復習については作業時間を指定しませんが、個々人の学習意欲により復習時間を確保してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と教科書を併用。
教科書はCG演習Bで使用するものと同一です。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況 (80%) 、学習の意欲(20%)等で総合的に評価します。
デザインに必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アイデアを形にする経験を通して世の中を観察する力や様々な業種に活かせる応用力が身につきます。受講生の個性を発揮できるよう後半はデザインを個別指導します。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。　・「CG演習A」「CG演習B」を履修していること。
・各課題は課題最終日にプレゼンテーション(課題発表)を行い、その場で講評し採点します。
「実務経験教員科目」特記事項:教員はイラストレーター、ジュエリーデザイナー、生活雑貨の企画開発、スマホアプリ開発などマルチに活動する現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
雑貨製作	LP52202	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
金子　恭子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

その人の生活様式や美意識によって選ばれる雑貨には違いがある。
現代ファッションの中で活かせる温かみのある手作り雑貨やオシャレなアクセサリーなど、ある程度の収入が見込める収入源としての雑貨はどのようなモノなのか、オリジナル性があり、魅力的な商品としての価値観のある作品を、製作を通して学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1. 既製品と、時間をかけ、丁寧に製作した手作りの作品との比較や、価格設定などの方法が理解できる
2. お客様から喜ばれる雑貨とはどのような製品か、展示・販売などの体験を通して学ぶ。
3. 多種多様な素材やテクニックをどのように使ってオリジナル作品に活かすのか、知識や技術を学ぶと共に、創作する楽しみを味わう。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 概論 授業内容について、資料やサンプル作品等で説明	製作のための資料・サンプルを集める。
2: ピンクッション製作 （雑貨製作の実習で使用）	クロスステッチの図案を考える。
3: 刺しゅう糸の使い方とクロスステッチの刺し方	クロスステッチのサンプルを作る。
4: クロスステッチ刺しゅうで作るアクセサリー	授業時間内で出来なかった部分は自宅で完成させる。
5: ウール羊毛の使い方とアップリケの方法やアクセサリーの作り方	次回の為のオリジナル素材のサンプルを作ってみる。
6: オーガンジーをパンチングして作るオリジナル素材の作り方	ポーチの材料をそろえておく。
7: オリジナル素材のポーチ製作	ポーチの土台が出来なかった部分は完成させる。
8: ポーチの仕上げ	各自の持っている革や毛皮製品について調べる。
9: 革や毛皮について	授業時間内での準備工程が出来なかった人は完成させる。
10: 革のブローチ製作	刺しゅうやロゴ等について調べてくる。
11: 刺しゅうやビーズ刺しゅう等について	バックに施す図案やテクニックを考える。
12: バックを製作 （学んだテクニックを使い図案を作成）	バックに施す図案製作の50%完成が間に合っていない人は自宅で完成させる。
13: バックを製作 （オリジナル作品を仕上げる）	作品が完成していない、又はもっと付け加えたい人は製作する。
14: 仕上げ　作品展示と批評会 完成した作品を展示し、学生同士で批評会を行う	他の学生作品から学ぶ事をまとめておく。
15: まとめ 授業作品集を作り、反省や感想をまとめる	授業作品集を完成させる。。

＊準備学習についての補足説明
事前に調べておく事。詳しくは授業で説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　。　教員作成資料を毎回配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品（70%）・レポート（20%）・学習の意欲（10%）で評価を行う。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

オープンキャンパスでの作品展示。また、学内での文化祭（学科授業内容）にて展示・販売等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webデータベース演習	LP52203	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

近年、制作現場ではWordPressによるサイト制作が一般的となっています。
本科目では、WordPressを使って、Webサイト(ホームページ)制作を行います。
また、WordPressを通じ、初歩的なWebデータベースの仕組みを理解することを目指します。

Ⅲ. 学習成果

・一般的な会社や組織が持つようなWebサイト(ホームページ)をWordPressを使い制作できるようになる。
・Webサイト運営に対する知識の習得(SEO対策、セキュリティ強化など)。
・CMS(コンテンツマネージメントシステム)の利用に関する基礎知識の習得。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:受講上の注意点、Webサイト制作について、Webサーバー・データベースの仕組み	受講上の注意を理解して次回以降の準備をすること。
2:WordPressについて、WordPressのインストール	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
3:ログイン画面と管理画面の構成について、初期設定	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
4:WordPrressのテーマについて、テーマのインストール、拡張プラグインの有効化	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
5:コンテンツの作成、共通部分の設定(ロゴ、色等)	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
6:投稿・固定ページの作成①	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
7:投稿・固定ページの作成②	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
8:投稿・固定ページの作成③	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
9:メニュー、ウィジェット、プラグイン①	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
10:メニュー、ウィジェット、プラグイン②	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
11:目的別プラグイン	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
12:Webサイトの運用について(SNSとの連携)、写真素材について	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
13:HTMLとCSSの基礎	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
14:CSSでデザインのカスタマイズ	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
15:PHP基礎	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
16:セキュリティの強化	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
17:SEO対策	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
18:SEO対策の実践	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
19:演習問題①	演習問題の内容に取り組む。
20:演習問題②	演習問題の内容に取り組む。
21:復習および質問対応(まとめと振り返り)	これまでの理解不足を解消する。
22:オリジナルサイト制作①	オリジナルサイト制作に取り組む。
23:オリジナルサイト制作②	オリジナルサイト制作に取り組む。
24:オリジナルサイト制作③	オリジナルサイト制作に取り組む。
25:オリジナルサイト制作④	オリジナルサイト制作に取り組む。
26:オリジナルサイト制作⑤	オリジナルサイト制作に取り組む。
27:オリジナルサイト制作⑥	オリジナルサイト制作に取り組む。
28:オリジナルサイト制作⑦	オリジナルサイト制作に取り組む。
29:オリジナルサイト制作⑧	オリジナルサイト制作に取り組む。
30:【プレゼンテーション】制作したWebサイトをクラスで披露する。	発表内容(テーマや制作時のポイントなど)を事前に考えておく事。

＊準備学習についての補足説明
・理解できなかった内容は、必ず30分以上の復習を行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.いちばんやさしいWordPressの教本　第5版　5.X対応　(株式会社インプレス)　￥1,738(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(10%)　課題(30%)　オリジナルサイト制作(60%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点します。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
授業に欠席した場合は、授業内容や課題を各自で授業担当者や同じ受講者に確認して、必ず対応する事。
「実務経験教員科目」特記事項:Webデザイナーとしての実務経験は17年以上。Webサイトの企画・制作を行う会社を設立し現在に至る。デザイナーとして、Webサイト制作、フライヤー・ショップカードなど印刷物の制作にも携わっている。
現在のWeb業界の情報や一般企業のサイト制作に関してなど、授業で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
福祉住環境Ⅰ	LP52204	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
照井　善明		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

安全で住みやすい住環境を提案するため、生活者の視点に立ち、身体状態や生活環境など、あらゆる要件を視野に入れ問題解決を図るよう努める。
そのため、高齢者・障がい者の生活環境整備に必要な保健・医療・福祉と住宅改修・福祉用具についての知識をもち、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに最適な住環境を提案できる人材養成を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

福祉住環境コーディネーター3級試験に必要な基本的な知識を身につけることができる。
福祉住環境Ⅰでは、保健・医療・福祉と福祉用具についての分野を対象に理解することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 第1章　暮らしやすい生活環境をめざして 少子高齢社会の現状と課題	テキストをもとに、少子高齢社会の現状について調べまとめる。
2: 第1章　暮らしやすい生活環境をめざして 日本の住環境の問題点	テキストをもとに、日本の住環境ついて調べまとめる。
3: 第1章　暮らしやすい生活環境をめざして 介護保険制度について	テキストをもとに介護保険制度について調べまとめる。
4: 第2章　健康と自立をめざして 老化のとらえかた	テキストをもとに介護保険制度について調べまとめる。
5: 第2章　健康と自立をめざして 老年期の健康度と自立	テキストをもとに老化について調べまとめる。
6: 第3章　バリアフリーとユニバーサルデザイン バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方について	テキストをもとに、バリアフリーとユニバーサルデザインについて調べまとめる。
7: 第3章　バリアフリーとユニバーサルデザイン 福祉用具	テキストをもとに福祉用具について調べまとめる。
8: まとめ　単位認定試験 ＊授業回数7.5回、単位認定試験0.5回とします。	
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。詳細については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「福祉住環境コーディネーター検定試験　3級公式テキスト＜改訂5版＞」 東京商工会議所発行　2,750円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

福祉住環境コーディネーター検定試験は、年に2回実施されます。検定情報は、「http://www.kentei.org/fukushi/」を参照してください。　この講座では、11月試験をめざし、福祉住環境Ⅱを続けて受講することを推奨します。また、福祉住環境Ⅱからの受講はできません。受験希望者には直前対策講座(模擬試験及び解答解説)を予定しています。模擬問題は授業で解答・解説をしますので、自宅で取り組んでください。

「実務経験教員科目」特記事項:建築設計の実務経験あり。テキストに記載されている内容について、建築設計の事例等を踏まえ学生に分かりやすく説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
環境設計	LP52205	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

持続可能な社会を目指した考えは4Rからアップサイクルへと広がりを見せています。環境破壊の現状を知り、私たちが取るべき行動を学びます。
授業前半は横手校区環境委員会と連携し、プラスチックごみ削減のためのエコバッグのデザインと製作を行います。
さらに福岡市の環境局が行っている3R推進について学び、よりリサイクルが私たちの生活に根差すための方法を考えます。
さらに授業後半では伝統的な材料や手法を現代の私たちの生活に取り入れるためのデザインを行い、作品を製作します。

Ⅲ. 学習成果

1.持続可能な社会を目指したリサイクル・アップサイクルを生活に取り入れることができる。
2.季節感を取り入れた伝統的な生活の知恵を知り、現在の生活に活かすことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:環境とは(環境を演出することのの意味)	福岡市で行われている一人一花運動について調べる
2:持続可能な社会(リサイクルとアップサイクル) 横手校区環境委員会の活動を聞いて、現状を知り、今後のスケジュールを話し合う	リサイクルとアップサイクルの違いをまとめる
3:エコバッグのデザイン①(過去の作品と使い方)	市販されているエコバッグのデザイン(素材・大きさ)について調べる
4:エコバッグのデザイン②(デザインを考える)	自分の作品についてコンセプトをまとめ発表の準備を行う
5:エコバッグのデザイン③(エコバッグデザイン発表会)	他の人のデザインを参考にデザインをブラッシュアップする
6:エコバッグのデザイン④(横手環境委員会へのプレゼンテーション)	横手環境委員会へのプレゼン資料を作成する
7:エコバッグ製作 横手校区環境委員会と共同で制作する	製作に必要な道具を調べ、準備を行う
8:持続可能な社会を目指して(SDGs)4R	リサイクルについての法律を調べる
9:自然環境を守る(リサイクルステーションについて)	自分の住んでいるまちの資源回収の方法を調べる
10:リサイクルステーションを計画する	若者のリサイクルに対する意識を調べる
11:発表会	自分たちの計画の意図を発表するためにまとめる
12:水引細工①(水引が使用される場面と基本の結び)	水引細工の伝統的なデザインについて調べる
13:水引細工②(デザイン・製作)	自分の作品についてコンセプトをまとめ発表の準備を行う
14:伝統的な手法を使ったデザイン①(紋切型の基本)	紋切型の形のいみを調べる
15:伝統的な手法を使ったデザイン②(タペストリー)作品発表会	江戸時代の紋切り遊びを海外の事例を比べてその特徴をまとめる 自分の作品について発表の準備を行う

＊準備学習についての補足説明
毎回の準備学習を30分程度行うこと。内容は各授業でも伝える。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員が資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題・作品の提出(60%)プレゼンテーション(20%)学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題については全体の場で講評を行う。個別のコメントも行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
データベース入門演習	LP52201	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
中野　豊		履修要件他:	事務系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネス現場でのデータベースの使用方法を理解し，データベースの設計および操作（データの入力，検索，並び替え，出力）の基礎を学ぶ．「情報関連科目」を修得済みの学生を対象にした講義および演習であるので，特に1年生は注意されたい．

Ⅲ. 学習成果

Microsoft社のAccessを使ってデータベースの基礎を理解し，運用のための知識の習得を目指す．
また Access に限らない，一般的なデータベースの概念を理解できることを目指す

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: データベースの概要とその応用例	データベースの概念の理解し，どのような場面で活用されているのかを理解する
2: Accessの基礎知識	Accessの構造と基本的な操作方法を理解する
3: データベースの設計と作成	データベースの基本的な構造と設計方法を学び理解する
4: テーブルの作成	データベースにおけるテーブルの役割と作成について理解する
5: テーブルとリレーションシップの作成	データベースにおけるテーブルとリレーションシップの役割と作成について理解する
6: クエリの作成1	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
7: クエリの作成2	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
8: フォームの作成	データベースにおけるフォームの役割と作成について理解する
9: レポートの作成1	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
10: レポートの作成2	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
11: ピボットテーブルとピボットグラフの作成	Accessを使ったピボットテーブルとピボットグラフについて理解する
12: データシートビューの操作	Accessにおけるデータシートビューについて理解する
13: データベースの作成演習1	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う．不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，場合によっては次の授業で質問する．
14: データベースの作成演習2	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う．不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，場合によっては次の授業で質問する．
15: まとめ	データベース及びAccessに関して，最終的な理解の取りまとめを行う．

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「よくわかる Microsoft Access 2013 基礎」FOM出版　￥2,000円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲（15%），課題提出状況（15%）および終了時の実技試験（70%，テキスト持込可）で総合的に判断

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

提出された課題を元に学生が理解できていない点を把握し，次回以降の授業で重点的に解説する．

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
福祉住環境Ⅱ	LP52206	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
照井　善明		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

安全で住みやすい住環境を提案するためには、生活者の視点に立ち、身体状況や建築条件など、あらゆる条件を視野に入れて問題解決を図ることが求められる。

そのため、高齢者・障害者の生活環境整備に必要な住宅改修・福祉用具についての知識をもち、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに最適な住環境を提案できる人材養成を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

福祉住環境コーディネーター3級試験に必要な基本的な知識を身につける。

事例学習を通して、意欲的に実践的な課題に取り組むことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 第4章　安全・快適な住まい 安全快適な住まいの整備	テキストをもとに、手すりの種類について調べまとめる。
2: 第4章　安全・快適な住まい 安全快適な住まいの整備	テキストをもとに、屋外施設について調べまとめる。
3: 第4章　安全・快適な住まい 安全快適な住まいの整備	テキストをもとに、浴室の整備例について調べまとめる。
4: 第4章　安全・快適な住まい 安全快適な住まいの整備	介護保険で利用できる住宅改修について調べまとめる。
5: 第5章　安心できる住生活とまちづくり ライフスタイルの多様化と住まい	ケアハウスについて調べまとめる。
6: 第5章　安心できる住生活とまちづくり 高齢者・障害者に対応した住環境整備	テキストをもとに、生活援助員(LSA)について調べまとめる。
7: 第5章　安心できる住生活とまちづくり 住宅と福祉の施策	福祉のまちづくり条例について調べまとめる。
8: まとめ　単位認定試験 ＊授業回数7.5回、単位認定試験0.5回とします。	
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。詳細については毎回の授業で説明します。

単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「福祉住環境コーディネーター検定試験　3級公式テキスト＜改訂5版＞」 東京商工会議所発行　2月改訂　本体2,500円＋税(予定価格)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業は、テキストの第4章・第5章を7.5回で行います。福祉住環境Ⅱからの受講はできません。

福祉住環境コーディネーター検定試験は、年に2回実施されます。この講座では、福祉住環境Ⅰとともに11月試験をめざし、受験希望者には直前対策講座(模擬試験及び解答解説)を予定しています。

「実務経験教員科目」特記事項:建築設計の実務経験あり。テキストに記載されている内容について、建築設計の事例等を踏まえ学生に分かりやすく説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
情報システム概論	LP52207	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では映像の特性を理解して、スマートフォンを用いた映像制作の基礎を学習する。はじめに、映像の特性について理解を深めるために、映像メディアの知覚やスクリーンの系譜、映像の分析手法について解説する。その後、スマートフォンを用いて様々な映像制作に触れ、オリジナルの映像作品を制作して発表することで、映像制作の基礎的な知識・技術の実践的な習得を目指す。

Ⅲ. 学習成果

・映像メディアの知覚特性について説明できる
・映像メディアの基礎的な分析手法について説明できる
・映像制作の基礎的な知識・技術を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:映像メディアの特性(映像の知覚)	映像の知覚に関する小レポート課題を課すため、授業外時間を利用して執筆すること。
2:映像メディアの特性(スクリーンの系譜)	スクリーンの系譜に関する小レポート課題を課すため、授業外時間を利用して執筆すること。
3:映像の分析(ショット分析)	ショット分析に関する小レポート課題を課すため、授業外時間を利用して執筆すること。
4:映像の分析(色彩・配色分析)	色彩・配色に関する小レポート課題を課すため、授業外時間を利用して執筆すること。
5:撮影技法(ライティングとブロッキングサイズ)	ブロッキングサイズの理解を深めるために、授業資料を復習しておくこと。
6:撮影技法(室内におけるライティング)	ライティングの理解を深めるために、授業資料を復習しておくこと。
7:映像の撮影技法(ストップモーションアニメーション)	ストップモーションアニメーション作品を事前に視聴して理解を深めておくこと。
8:映像の編集技法(ストップモーションの編集)	授業外で編集作業を実施して課題を完成させること。
9:条件に沿った映像撮影(絵コンテをもとにした撮影)	授業内で撮り終わらない素材については、授業外で撮影しておくこと。
10:条件に沿った映像編集(絵コンテをもとにした編集)	授業外で編集作業を実施して課題を完成させること。
11:最終課題制作(絵コンテの作成)	どのような映像を作りたいかについて検討しておくこと。
12:最終課題制作(撮影)	授業内で撮り終わらない素材については、授業外で撮影しておくこと。
13:最終課題制作(編集)	授業外で編集作業を実施しておくこと。
14:最終課題制作(最終調整)	授業外で編集作業を実施して課題を完成させること。
15:発表と講評	自身の映像がどのような作品であるかについて、説明できるようにしておくこと。

＊準備学習についての補足説明
授業時間外に撮影や編集時間を60分以上設けて、理解を深めるようにしてください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、配布資料にて授業を進める。
「ニューメディアの言語、レフ=マノヴィッチ著」については授業内容理解の参考になるため、この欄にて紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各レポート課題:40%(レポートの体裁、論理的な思考力、内容の理解度を総合的に評価)
最終課題:30%(撮影技術、編集技術、完成度、新規性・独創性を総合的に評価)
撮影課題:30%(第5回～第10回までの課題の完成度、努力量、撮影・編集技術を総合的に評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートや提出された映像は、適宜フィードバックを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
芸術の世界	LP52208	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
杉森　映徳		履修要件他:	サービス系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・西洋美術、及び東洋美術(特に日本美術)の歴史を通して、其々の芸術的価値観の特性を学び、芸術表現の多様性を理解すると共に、現代社会に於ける芸術の必要性と「美」の意識を向上させることをねらいとする。
・日常生活における身の周りの「美」についての発見を促し、芸術の重要性、必要性について検証し、豊かな人間社会の基本的概念と形成を考察する。
・鑑賞力や表現力を養うため、グループ発表や講評会、美術展鑑賞を実施する。

Ⅲ. 学習成果

世界の芸術の歴史を学び、芸術的表現についての知識を深め、芸術的価値の理解や美意識の基盤を培うことができる。
身の周りの「美」の探索学習や美術作品鑑賞を通して、洞察力や鑑賞力を高めると共に、日常的な発見と感じたものごとを表現する力を養うことができる。
芸術の歴史からの学びを通して、芸術性豊かな「美」の要素を現代社会の日常の生活に取り入れ活用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 芸術の世界について 授業の流れ等について説明する。世界の美術品等の紹介をする。	世界の「美」についての文献、写真資料等を収集する。
2: 西洋の美① 西洋の美術の歴史(紀元前～古代)について学ぶ。	西洋美術の歴史(紀元前～古代)文献、写真資料等をまとめる。
3: 西洋の美② 西洋の美術(中世～近現代)について学ぶ。	西洋美術の歴史(中世～近現代)文献、写真資料等をまとめる。
4: 東洋の美(日本の美)① 東洋の美術の歴史(紀元前～古代)について学ぶ。	東洋美術の歴史(紀元前～古代)文献、写真資料等をまとめる。
5: 東洋の美(日本の美)② 東洋の美術の歴史(中世～近現代)について学ぶ。	東洋美術の歴史(中世～近現代)文献、写真資料等をまとめる。
6: 機能美について アクセサリー、ファッション、時計など機能的な「美」について学ぶ。	機能美について学習したことについて文献、写真資料等をまとめる。
7: 日本の工芸の美 日本の陶芸、着物、彫金、刀剣など、工芸美術について学ぶ。	工芸美について学習したことについて文献、写真資料等をまとめる。
8: 日常の美① 身の周りの「美」についてグループセッションを行う。	日常美について発見したこと等について感想、写真資料等をまとめる。
9: 日常の美② 街中の「美」を感じるものをグループで探索する。	日常美についてグループワークの成果をまとめる。
10: 美しい生活構想① 「美しい街」づくりについてグループセッションを行い構想を考える。	「美しい街」の構想をイメージし、アイディアスケッチを行う。
11: 美しい生活構想② 「美しい街」のイメージをグループで絵画やコラージュ等で表現する。	「美しい街」をテーマに絵画、コラージュ等の作品を制作する。
12: 美しい生活構想③ 「美しい街」のイメージ作品を提示し、グループ発表する。	グループ発表の準備を行い、発表成果をまとめる。
13: 造形演習① 粘土を使用したアクセサリー等のアイディアスケッチを行う。	創作に必要な資料等を準備する。
14: 造形演習② 粘土を使用したアクセサリー等を制作し、造形を学ぶ。	創作活動での学びを感想、作品写真等でまとめる。
15: 美術館鑑賞 美術館を鑑賞し、美術作品についての知識を深める。	鑑賞を通しての学びや感想をレポートにまとめる。

＊準備学習についての補足説明

・全15回の授業を通しての学びを一冊のファイルにまとめ資料を制作する。各回ごとの授業の事前、事後に参考資料等を準備、整理すること。・動画等による授業内容の説明など遠隔(ICT)を活用した事前事後学習を提示する場合がある。　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント、参考資料等を適宜配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験(50%)、提出ファイル(20%)、レポート(20%)、学習の意欲(10%)　　試験、ポートフォリオファイル、レポートの提出及び受講態度、学習意欲を未提出作品がある場合、評価を不可とすることがある。再試験 有　レポート提出等。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業毎に400字程度のレポートを提出。提出物にについては其々にコメント等をフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語検定対策講座A	LP60201	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　茂徳		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

英語検定試験に合格するための英語力を身につける。4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく勉強します。
単語・熟語数の増加，長文読解の思考力の強化，作文の表現力の向上，リスニングの音感の改善，スピーチの論理力の構築を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・英語の4技能に関する基本的な能力を身につけます。
・英語学習の方法を習得します。
・英語検定資格を有し，就職活動および社会で活用します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英語学習方法の指導(1):①単語・熟語の学習方法 ②読解力と表現力の学習方法	英文法、英語長文の復習が必要です。
2: 英語学習方法の指導(2):①リスニングの指導　②スピーチの指導	英文法、英語長文の復習が必要です。
3: 名詞の大切な働き(1):情報の中心 ・コミュニケーションのための表現(1)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(1)の復習が必要です。
4: 名詞の大切な働き(2):カタマリとしてみる ・コミュニケーションのための表現(2)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(2)の復習が必要です。
5: 名詞の大切な働き(3):文の流れを追う ・コミュニケーションのための表現(3)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(3)の復習が必要です。
6: 動詞の大切な働き(1): 他の語との組み合わせ ・コミュニケーションのための表現 (4)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(4)の復習が必要です。
7: 動詞の大切な働き(2): 日常でよく使う表現 ・コミュニケーションのための表現(5)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(5)の復習が必要です。
8: 動詞の大切な働き(3): 効果的表現 ・コミュニケーションのための表現(6)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(6)の復習が必要です。
9: 歴史・文化・社会に関するテーマ(1):テーマとあらすじを推測する ・コミュニケーションのための表現(7)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(7)の復習が必要です。
10: 歴史・文化・社会に関するテーマ(2):あらすじの中のキーワードを発見する ・コミュニケーションのための表現(8)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(8)の復習が必要です。
11: 歴史・文化・社会に関するテーマ(3):各段落のトピックスを探す。 ・コミュニケーションのための表現(9)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(9)の復習が必要です。
12: Eメールの表現(1):決まり文句 ・コミュニケーションのための表現 (10)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(10)の復習が必要です。
13: Eメールの表現(2):人間関係・仕事の手順などの理解 ・コミュニケーションのための表現 (11)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(11)の復習が必要です。
14: ライティングの技術向上(1):書き方のポイント ・コミュニケーションのための表現(12)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(12)の復習が必要です。
15: ライティングの技術向上(2):具体的例の大事さ ・コミュニケーションのための表現(13)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(13)の復習が必要です。

＊準備学習についての補足説明
英文法や英語長文の復習が必要です。(毎日30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 毎回資料配布。
2. 個別的に必要があれば適宜指示します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%
授業参加度　50%(積極的な授業参加が求められる)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英作文・読解問題における答案に関しては、添削を通して各自の問題点を指摘し、改善策を指導する。

検資定支格援・

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Word検定対策講座	LP60204	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
伊藤　るり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本情報処理検定協会主催のワープロ検定(準2級～初段)の合格のために級別の指導を行います。
・Microsoft　office　Specialist試験の合格のための指導を行います。
・受講者は必ずどちらかの検定を受験してください。
・授業は検定指導が主な内容になりますが、余裕がある場合は実務で役に立つ色々な形式のword文書作成を行います。

Ⅲ. 学習成果

・ワープロ検定・MOS検定に合格することができます。
・どちらの検定受検者も毎回、入力練習を行いますので正確で速いキーボード入力のスキルを身につけることができます。
・より高度なWordの機能を学ぶことができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:検定内容の説明 過去の問題にチャレンジしどちらの検定を受験するか決定する	タイピング練習を行い(2回以上)　記録表に記録する
2:タイピング練習・検定問題(レイアウトの確認)・入力練習①(ワープロ検定) タイピング練習・模擬練習問題①(MOS検定)	入力課題①→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
3:タイピング練習・検定問題(表作成の方法)・入力練習②(ワープロ検定) 入力練習①・模擬練習問題②(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題②→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
4:タイピング練習・検定問題(きりとり線と申込書)・入力練習③(ワープロ検定) 入力練習②・模擬練習問題③(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題③→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
5:タイピング練習・検定問題(地図の作成)・入力練習④(ワープロ検定) 入力練習③・模擬練習問題④(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題④→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
6:タイピング練習・受験希望級の問題を完成する・入力練習⑤(ワープロ検定) 入力練習④・模擬練習問題⑤(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑤→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
7:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑤・模擬テスト①②(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑥→印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
8:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑥・模擬テスト③④(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑦→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
9:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習・模擬テスト⑤⑥(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑧→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
10:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑦・模擬テスト⑦(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑨→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 授業内容の復習を行い復習テストに備える(MOS検定)
11:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)(ワープロ検定) 入力練習⑧・ 過去問に挑戦(MOS検定)・前回内容の復習テスト	入力課題⑩→級別(自分で10分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 過去問・模擬問題に取り組む(MOS検定)
12:模擬試験:検定当日と同じ流れで練習する(ワープロ検定) 模擬試験(MOS検定)→不得意の分野を確認する	作成課題①→級別(自分で20分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 過去問・模擬問題に取り組む(MOS検定)
13:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)→不得意科目を集中練習(ワープロ検定) 模擬試験(MOS検定)→不得意の分野を確認する	作成課題②→級別(自分で20分計時)印刷して提出(ワープロ検定) 過去問・模擬問題に取り組む(MOS検定)
14:期末試験内容の説明	説明を受けた期末試験の内容の復習
15:ワープロ検定・MOS検定→不得意科目を集中練習 課題集の作成	課題集は提出期限までに提出する

＊準備学習についての補足説明
課題は提出日の授業開始前までに提出してください。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

日本情報処理検定協会　級別ワープロ検定問題集　準2級・2級(￥770)　準1級・1級(￥880)　初段(￥1，331)
日経BP社　MOS攻略問題集第2版　￥1，980＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　50%　課題提出　50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

検定合格のためには授業中の練習だけではなく授業時間以外の個人練習が必要となります。
提出した課題はチェック・採点後、返却します。(返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。)
課題の提出・未提出は個人情報に配慮しつつ毎回表示しますので確認してください。(Google　classroomで提示する場合もあります。)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
秘書検定2級対策講座	LP60205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は秘書検定2級に合格するための検定対策講座です。秘書としての心構えや役割、要求される資質・能力について学びます。その後、秘書に必要な知識や社会常識について授業を進めていきます。学習することで、社会人として必要なマナー、常識を身につけ、適切な人間関係を保つ能力の育成を目的としています。
秘書検定2級の内容を学習し、受験、合格することで自信をもち、自己研鑽する意欲をもつことができます。

Ⅲ. 学習成果

1.秘書の役割や必要とされる資質について説明することができる。
2.社会人として必要なマナーや一般知識を身につけることができる。
3.秘書検定2級合格に求められている知識や技能を修得することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション 授業の進め方・評価方法説明／秘書とは、秘書検定について	シラバスの内容を事前に確認しておく。 秘書検定の過去問題①を解き、次回提出する。
2:秘書に必要とされる資質 秘書の心構え、秘書に必要な能力	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
3:秘書としての職務知識 秘書の機能と役割、秘書の職務、仕事の進め方	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
4:秘書に必要な知識　一般知識① ビジネス用語の知識	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
5:秘書に必要な知識 一般知識②　◆小テスト実施 カタカナ用語・略語	小テスト(一般知識①)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
6:マナー接遇①　人間関係と話し方・聞き方 職場での人間関係、話し方と聞き方、報告の仕方	秘書検定の過去問題②を解き、提出する。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
7:マナー接遇②　敬語・接遇用語　〈記述問題対策〉 尊敬語・謙譲語・丁寧語、接遇用語	敬語の問題を解いて、不明な点を整理しておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
8:マナー接遇③　電話応対・来客応対 電話応対・来客応対の基本と取り次ぎ　／　ペアワークで課題に取り組む	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 応対について流れとポイントを復習する。
9:マナー接遇④　交際業務　〈記述問題対策〉 慶事・弔事、贈答のマナー　／　グループワークで課題に取り組み、発表する	慶事・弔事についてわからない用語を書きだしておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
10:技能①　会議、スケジュール管理　◆小テスト実施 会議の知識、スケジュール管理、出張の手配	小テスト(交際業務について)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
11:技能②　ビジネス文書の作成1　〈記述問題対策〉 社内文書、社外文書の種類と形式／社外文書の慣用語句	ビジネス文書を作成する。 秘書検定の過去問題③を解き、間違った問題を復習する。
12:技能③　ビジネス文書の作成2　〈記述問題対策〉 電子メール、伝言メモ、グラフの種類と作成	グラフの課題問題を解いておく。 秘書検定の過去問題④を解き、間違った問題を復習する。
13:技能④ 文書の取り扱い　◆小テスト実施　〈記述問題対策〉 文書の受発信、秘文書の取り扱い、郵便の知識	小テスト(伝言メモ・グラフ問題)に向けて準備する。 秘書検定の過去問題⑤を解き、間違った問題を復習する。
14:技能⑤ 文書・資料管理、環境整備 ファイリング、名刺の整理、カタログ整理	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 秘書検定の過去問題⑥を解き、間違った問題を復習する。
15:まとめ　模擬試験	第1回から第14回授業までのポイントを確認し、模擬試験に向け準備する。 模擬試験の結果を確認し、間違った問題を復習する。

＊準備学習についての補足説明
・予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してくること。このための予習は30分程度、授業後の復習は60分程度が目安です。・小テストを実施する際には、授業の終了時に範囲を伝えるので、復習をして小テストで満点を取るように学習してください。　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.改訂2版　出る順問題集　秘書検定2級に面白いほど受かる本 佐藤一明　著 株式会社KADOKAWA　1,400 円(税別)
　　2.秘書検定2級実問題集2021年度版　公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版　1,400円(税別)
参考書:秘書検定2級集中講義 改訂版 公益財団法人実務技能検定協会　早稲田教育出版 1,300円(税別)
　　秘書検定2級パーフェクトマスター 公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版　1,300円(税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　50%　　・小テスト30%　　・授業への取り組み(積極性、挨拶・返事、発表、提出物)　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1 .2月の秘書検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指します。　2.秘書検定に関する説明会に出席してください。
3..秘書検定取得済みの人は、履修できません。　3.テキスト以外に補足・過去問題プリントを配布しますので、ファイリングしてください。
4.テキスト以外に補足・過去問題プリントを配布しますので、ファイリングしてください。　5.小テストや提出物は、次回の授業で返却します。
6..検定問題は何度も繰り返し解くことで、知識を定着させることができます。間違った問題は繰り返し解いて、不得意分野をなくすよう取り組んでください。
7.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

検資定支格援・

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語検定対策講座B	LP60206	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　茂徳		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

英語検定試験に合格するための実践的な英語力を身につける。4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく勉強します。
単語・熟語数の増加，長文読解の思考力の強化，作文の表現力の向上，リスニングの音感の改善，スピーチの論理力の構築を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・英語の4技能に関する実践的能力を身につけます。
・英語学習の方法を習得します。
・英語検定資格を有し，就職活動および社会で活用します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 社会情報に関する表現(1):経済活動(1) ・コミュニケーションのための表現(1)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(1)の復習が必要です。
2: 社会情報に関する表現(2):経済活動(2) ・コミュニケーションのための表現(2)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(2)の復習が必要です。
3: 社会情報に関する表現(3):経済活動(3) ・コミュニケーションのための表現(3)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(3)の復習が必要です。
4: 社会情報に関する表現(4):社会参画活動(1) ・コミュニケーションのための表現(4)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(4)の復習が必要です。
5: 社会情報に関する表現(5):社会参画活動(2) ・コミュニケーションのための表現(5)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(5)の復習が必要です。
6: 社会情報に関する表現(6):社会環境問題(1) ・コミュニケーションのための表現(6)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(6)の復習が必要です。
7: 社会情報に関する表現(7):社会環境問題(2) ・コミュニケーションのための表現(7)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(7)の復習が必要です。
8: 社会情報に関する表現(8):社会環境問題(3) ・コミュニケーションのための表現(8)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(8)の復習が必要です。
9: 医療に関する表現(1):病気 ・コミュニケーションのための表現(9)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(9)の復習が必要です。
10: 医療に関する表現(2):栄養 ・コミュニケーションのための表現(10)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(10)の復習が必要です。
11: 医療に関する表現(3):運動 ・コミュニケーションのための表現(11)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(11)の復習が必要です。
12: 調査研究に関する表現(1):心理的問題 ・コミュニケーションのための表現(12)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(12)の復習が必要です。
13: 調査研究に関する表現(2):ジェンダー問題 ・コミュニケーションのための表現(13)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(13)の復習が必要です。
14: インターネットに関する表現(1):グローバル化 ・コミュニケーションのための表現(14)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(14)の復習が必要です。
15: インターネットに関する表現(2):生活に関する影響 ・コミュニケーションのための表現(15)	英文法、英語長文コミュニケーションのための表現(15)の復習が必要です。

＊準備学習についての補足説明
英文法、英語長文の復習が必要です。(毎日30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 毎回資料配布。
2. 個別的に必要があれば適宜指示します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%
授業参加度　50%(積極的な授業参加が求められる)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

英作文・読解問題における答案に関しては、添削を通して各自の問題点を指摘し、改善策を指導する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Excel検定対策講座	LP60207	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。
この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般をマスターし、種々の検定試験にも対応できる実力を身につける。

Ⅲ. 学習成果

MOS(Microsoft Excel Specialist)取得レベルは完全にマスターする。
また、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級のレベルは完全マスターし、2級レベルの技能も、一通り、学ぶ。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　MOS対策:基本関数と絶対参照、文字列関数	MOS試験に出題される関数の復習
2:　MOS対策:論理関数、出題範囲1	MOS試験に出題される関数の復習 出題範囲1の問題を再確認して復習
3:　MOS対策:出題範囲2～5	出題範囲2～5の問題の復習
4:　MOS対策:模擬問題1(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
5:　MOS対策:模擬問題2(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
6:　MOS対策:模擬問題3(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
7:　MOS対策:模擬問題4(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
8:　MOS対策:模擬問題5(本番モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
9:　マクロ(MOS2013、Excel検定2級対策)	マクロの復習
10:　Excel検定3級・2級対策(ROUND、IF、VLOOKUP、RANK等)	Excel検定で出題される関数の復習
11:　Excel検定2級対策(ピボットテーブル、ゴールシーク、データの統合等)	ピボットテーブル、ゴールシークなど、発展的問題の復習
12:　Excel検定3級練習問題	3級練習問題の復習
13:　Excel検定2級練習問題	2級練習問題の復習
14:　Excel検定2級練習問題	2級練習問題の復習
15:　【プレゼンテーション】グループ内で、問題の解説をする	プレゼンテーションの準備と反省

＊準備学習についての補足説明
十分できなかった問題は、自分で、再度復習する。1時間前後で、復習できると思われる。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.FOM出版　Microsoft Excel 2013 対策テキスト& 問題集〈改訂版〉 ¥2,200(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出50%　　試験 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
MOS(Microsoft Excel Specialist)、または、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級または2級を受験することを、単位取得の条件とする。
検定合格には、授業中の練習だけではなく、授業時間以外での個人練習も必要となります。

検定支援・資格

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域創生論	LP61203	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2018年度にライフプランニング総合学科内で活動する学生組織として「Koran Girls」を立ち上げた。設立の主な目的は、学内外で企画されたプログラムへ参加し、それぞれの課題をクリアすることにあるが、真の目的は、社会で通用する学生の育成にある。1年次に行ってきた様々な課題をどう乗り越えたのか、そこで自身はどう成長したのかを考えてもらう。また、就職活動でアピールする工夫を「Koran Girls」全体でシェアすることで、就職活動を有利に進め、希望する業界・職種から内定を受けることを目指す。

Ⅲ. 学習成果

①MEG-FLAPの考えやスキルを再度復習し、自分自身のスキルとしてアップグレードさせる。
②次の「Koran Girls」の募集や育成に関わることで、自分自身の振り返りを行い、自身の活動を言語化することができる。
③最終的な成果を発表し、今後の目標や次の課題を明確にする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 今後の予定の確認	予習: 2,3,4期に配布した資料を整理しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
2: ファシリテーションについて 復習 ※グループワークの実施	予習: ファシリテーションについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
3: リーダーシップについて 復習 ※グループワークの実施	予習: リーダーシップについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
4: アサーションについて 復習 ※グループワークの実施	予習: アサーションについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
5: プレゼンテーションについて 復習 ※グループワークの実施	予習: プレゼンテーションについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
6: 最終報告に向けたプレゼンテーションの準備① ※グループワークの実施	予習: 配布資料全てを整理し、何をプレゼンするか検討しておく。 復習: 行動日誌の記入
7: 最終報告に向けたプレゼンテーションの準備② ※グループワークの実施	予習: 他の人の意見を聞きつつ、最終報告に向けた準備をする。 復習: 行動日誌の記入
8: 最終報告会	予習: プレゼンの再チャレンジ/レポートの書き方の解説 復習: 振り返りレポートの作成・提出
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習についての補足説明

・上記のスケジュールはあくまで、2021年1月段階のものである。よって、今後変更となる可能性は十分にある。変更となった場合は、後日周知する。
・準備学習も同様に変更が起こり得るが、行動日誌は毎日行うので、日々振り返りを行い、習慣化すること。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した240分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:ファシリテーション入門　第2版　堀　公俊著　日経文庫
参考書:スーパー公務員直伝! 糸島発! 公務員のマーケティング力　岡　祐輔著　学陽書房
KP法 シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション　川嶋 直著　みくに出版
ニュータイプの時代　山口　周著　ダイヤモンド社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「Koran Girls」に所属する学生のみである。
②2021年度は、追加募集は行わない。
③「地域創生入門」、「地域創生演習」の総決算として本講座を行う。これまでの資料を別途整理しておくこと。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、「Koran Girls」の学生は極力参加してほしい。
⑤Google Classroomについて、主として授業外学習の促進のために使用する。提出課題がある場合は、コメントして返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インターンシップ	LP62101	開講時期:	2期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して、社会や組織の仕組みについての知識を得る。
2 就職への意識が高まる。
3 社会人としてのマナーや言葉遣いが学べる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55%　報告書 30%　学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員					
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インターンシップ	LP62101	開講時期:	4期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して、社会や組織の仕組みについての知識を得る。
2 就職への意識が高まる。
3 社会人としてのマナーや言葉遣いが学べる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55%　報告書 30%　学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
海外研修	LP62102	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学科で定めた国で研修を行う。そのための事前オリエンテーション、研修後のレポートなどもこの科目に含まれる研修項目である。

Ⅲ. 学習成果

1 異文化への理解が深まる。
2 外国語を含むコミュニケーションの能力が上がる。
3 比較文化の視点が得られる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
①訪問国 学科で協議し、決定する。 ②研修期間 別途通知。11月または12月に3泊4日程度を予定。 ③費用 別途通知。 ④事前準備 a. 訪問国紹介 b. 研修内容紹介 c.パスポート取得指導 d. 研修組織編成 e. 訪問国研究 f. 海外旅行諸注意	訪問国についての情報を本、新聞、雑誌、インターネット等で積極的に収集することは研修の充実につながるので、可能な限り実践すること。

＊準備学習についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント配布。
必要に応じて研修先の国に関する図書および資料等を紹介。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

研修50% 事前オリエンテーションの参加と必要書類提出期限の厳守20% 研修後のレポート20% 学習の意欲10%を目安として、総合的に評価。
研修先における行事への積極的な参加、訪問先での積極的なコミュニケーション等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研修後の提出レポートは担当教員が添削して返却する。

チャレンジ

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した120分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。